

平成 25 年度厚生労働省
老人保健事業推進費等補助金
(老人保健健康増進等事業分)

居宅療養管理指導の実態に関する調査研究事業
報 告 書

平成 26 (2014) 年 3 月

株式会社 三菱総合研究所

— 目 次 —

I 本編	1
1. 目的	1
2. 実施体制	1
3. 方法	2
(1) 調査の概要	2
(2) 調査対象	2
(3) 調査方法	2
(4) 調査時期	2
(5) 調査内容	3
(6) 調査票配布方法（調査票の組み合わせ）	5
4. 結果	6
(1) 回収状況	6
(2) 職種別票調査結果	7
① 医師票	7
② 歯科医師票	38
③ 薬剤師票	71
④ 歯科衛生士票	113
⑤ 管理栄養士票	149
(3) 事業所票調査結果	185
① 在宅療養支援診療所	185
② 在宅療養支援病院	193
③ 在宅療養支援歯科診療所	201
④ 保険薬局	207
5. まとめと考察	212
(1) 専門職の回答に基づく整理	212
(2) 居宅療養管理指導の利用者像	214
(3) 居宅療養管理指導の実態に関する考察と課題	216



I. 本 編

I 本編

1. 目的

居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導は、利用者の療養生活の向上を目的とし、その居宅において可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、通院等が困難な利用者の居宅を訪問して療養上の管理や指導等を行うものである。

これは医師・歯科医師・薬剤師・看護師・管理栄養士・歯科衛生士が実施することが可能となっており、近年、各種別ごとにいずれも増加傾向を示し、平成23年度においては約500億円を超えている。

一方で、居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導の内容については、従来明らかになっていないのが現状であり、今後のサービス提供のあり方を検討する上では、指導内容の実態および対象となっている利用者の状態等について実態を把握する必要がある。

そこで、本事業においては、利用者の状態像や、実際に行われている指導内容・他の医療機関との連携状況を把握することを目的として実施した。

2. 実施体制

本研究の実施にあたり、調査内容に関して助言を受けるために、以下の各氏にアドバイザーへの就任を依頼した。

<アドバイザーの構成> (敬称略)

委員名	所属
安部 好弘	公益社団法人 日本薬剤師会 常務理事
新田 國夫	一般社団法人 全国在宅療養支援診療所連絡会 会長
細野 純	公益社団法人 日本歯科医師会 地域保健委員会委員
久保山 裕子	公益社団法人 日本歯科衛生士会 副会長
小山 秀夫	一般社団法人 日本健康・栄養システム学会 事務局長

3. 方法

(1) 調査の概要

全国の在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅療養支援歯科診療所、保険薬局に対し、アンケート調査を実施した。

(2) 調査対象

調査対象は以下のとおり。

種別	箇所数	対象	発送名簿の整備方法
在宅療養支援診療所	2000	無作為抽出	各厚生局 Web から収集・作成
在宅療養支援病院	350	無作為抽出	各厚生局 Web から収集・作成
在宅療養支援歯科診療所	1000	無作為抽出	各厚生局 Web から収集・作成
保険薬局	2000	抽出 (任意)	在宅療養支援診療所から、当該診療所が発行した処方箋の取り扱い枚数が最も多いと想定される薬局に配布いただく

※被災地等一部地域の事業所は対象外とした。

(3) 調査方法

本調査は、郵送配布・郵送回収により実施した。

(4) 調査時期

平成 26 年 2 月

(5) 調査内容

① 事業所票

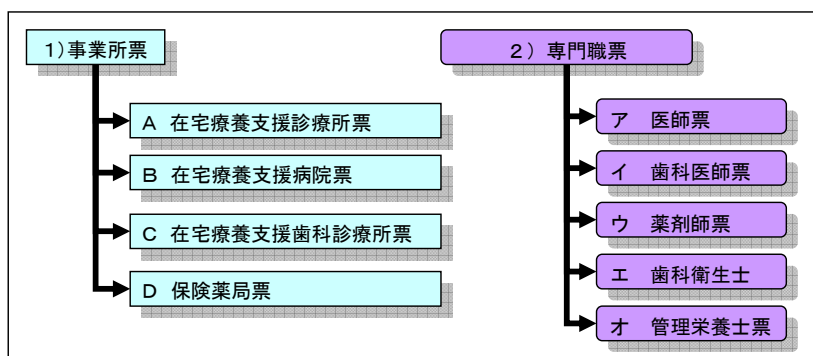
居宅療養管理指導を実施することが可能な4つの事業所類型別に調査票を作成。調査項目の概要は次のとおり。

○基本情報
・所在地 ・開設年 ・開設主体 ・標榜診療科 ・併設サービス
○施設規模
・病床数 ・1日平均入院患者数 ・平均在院日数 ・1日平均外来患者数
・月間処方箋発行枚数
○職員体制
・職種別常勤実人数 ・職種別非常勤実人数 ・職種別常勤換算数
○在宅療養実施状況
・月間算定件数
○在宅療養管理指導の実施状況
・職種別月間のべ算定件数 ・職種別月間実利用者数 ・算定期間別実利用者数
・要介護認定前からの訪問対象者数

※調査項目は、事業所の実態・制度を反映し、在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅療養支援歯科診療所、保険薬局で小項目に若干の相違がある。

② 職種別票（利用者の状況も尋ねる）

居宅療養管理指導を実施することができる専門職のうち、医師・歯科医師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士に対応した調査票を作成した。また、当該専門職が実際に居宅療養管理指導を実施している利用者について、任意の一人を選んでいただき、利用者の状況を把握することとした。



職種別表の調査項目の概要は次のとおり。

I 専門職編

○記入者属性

・年齢 ・性別 ・所属機関 ・勤務形態 ・経験年数 等

○居宅療養管理指導について

・月間訪問実人数 ・居宅療養管理指導月間算定人数 ・月間訪問回数
・居宅療養管理指導実施上の困難点 等

○他職種連携

・居宅療養管理指導で他職種と連携する上での困難点 ・他職種との同行訪問希望

○同行訪問時の他職種への期待

・職種別の同行訪問希望有無 ・職種別に期待する助言・行為

○居宅療養管理指導の算定要件に関する要望や困難点

II 利用者編

○利用者属性

・年齢 ・性別 ・初回訪問時の状態 ・現在の状態 ・現在の居住状態
・主な介護者

○利用者に対する居宅療養管理指導の指導実績

・訪問診療等の開始時期 ・居宅療養管理指導開始時期
・居宅療養管理指導の利用に至った理由 ・居宅療養管理指導の利用に至った経緯
・訪問開始後1ヶ月間の訪問回数 ・直近1ヶ月間の訪問回数
・訪問開始から現在までの合計訪問回数

○利用者に対する居宅量管理指導の具体的な内容

・ケアマネジャーへの情報提供の手段 ・ケアマネジャーへの情報提供の内容
・利用者・家族への情報提供の内容 ・利用者・家族への指導・助言に際しての課題
・1回の指導にかかる時間

○他の職種との連携

・利用者の指導について相談している職種 ・他職種への相談・情報提供の内容
・他職種との同行訪問の実績

※調査項目は、職種の実態・制度を反映し、在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅療養支援歯科診療所、保険薬局で小項目に若干の相違がある。

(6) 調査票配布方法（調査票の組み合わせ）

① 調査票の配布方法

- ・ 在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅療養支援歯科診療所の3種の事業所に対して、調査票を郵送送付・回収。
- ・ 保険薬局に対しては、在宅療養支援診療所から転送を依頼。

② 調査票の組み合わせ

1) 在宅療養支援診療所

在宅療養支援診療所にて回答いただく、在宅療養支援診療所票、医師票、管理栄養士票を送付するほか、保険薬局向けの保険薬局票、薬剤師票を同封。

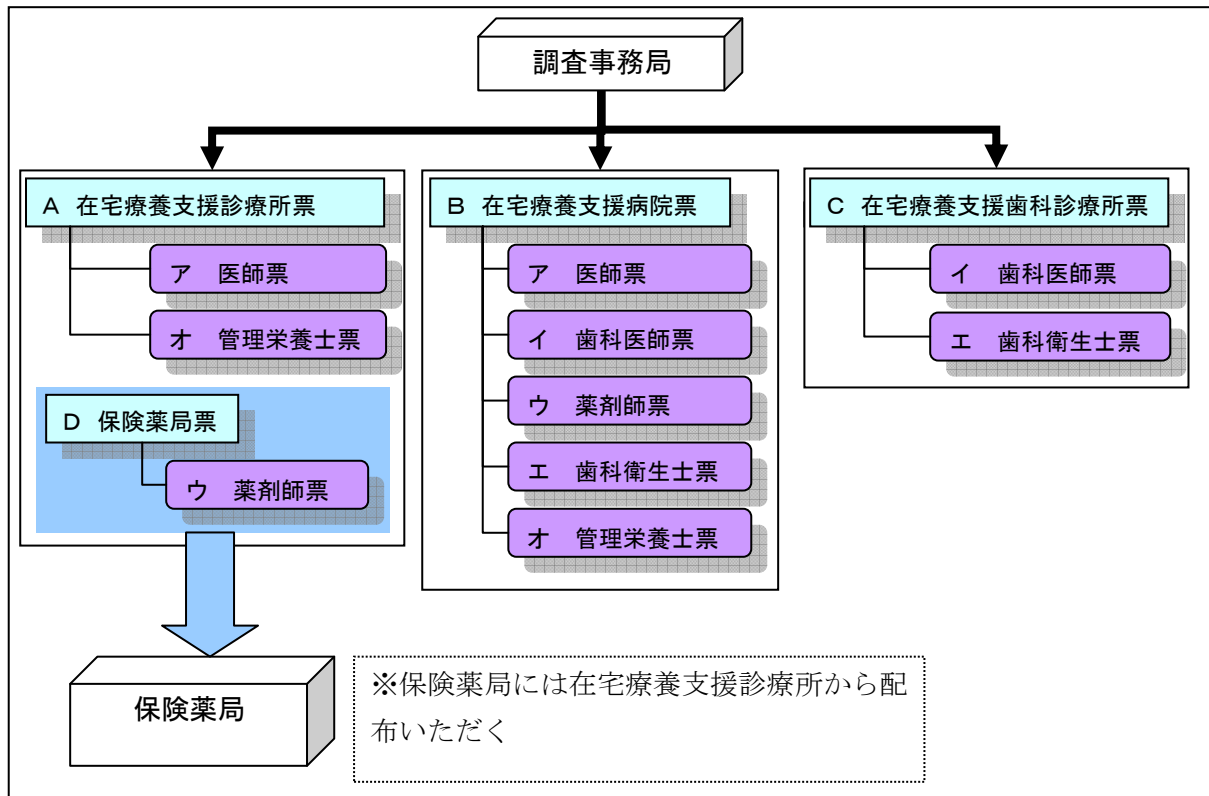
2) 在宅療養支援病院

在宅療養支援病院にて回答いただく、在宅療養支援病院票、医師票、歯科医師票、薬剤師票、歯科衛生士票、管理栄養士票を送付する。

3) 在宅療養支援歯科診療所

在宅療養支援歯科診療所にて回答いただく、在宅療養支援歯科診療所票、歯科医師票、歯科衛生士票を送付する。

調査票の組み合わせと配布イメージ



4. 結果

(1) 回収状況

- ・ 回収状況は以下のとおり

図表 1 施設区分別の事業所票回収状況

区分	有効票数	回収率
在宅療養支援診療所	500	25.0%
在宅療養支援病院	86	24.6%
在宅療養支援歯科診療所	402	40.2%
保険薬局	124	6.2%
計	1,112	20.8%

図表 2 職種別票回収状況

区分	有効票数
医師票	438
歯科医師票	274
薬剤師票	88
歯科衛生士票	232
管理栄養士票	26

(2) 職種別票調査結果

① 医師票

I 専門職編

ア. 属性

本調査に回答した医師は、診療所に所属する者が 88.1%と最も多く、次いで病院が 14.4%であった。

また、医師としての経験年数は 20～30 年未満が 34.5%で最も多く、次いで 30～40 年未満が 28.5%であり、平均で 28.0 年の経験年数であった。このうち、訪問診療の経験年数は平均 13.2 年、居宅療養管理指導については 7.7 年であった。

(ア) 所属機関

図表 ①-1 所属機関（複数回答）

全体	病院	診療所	その他	無回答
438 100.0%	63 14.4%	386 88.1%	5 1.1%	1 0.2%

(イ) 医師としての経験年数

図表 ①-2 医師としての経験年数

	合計	10年未満	10～19年未満	20～29年未満	30～39年未満	40年以上	無回答	平均	標準偏差
全体	438 100.0%	6 1.4%	81 18.5%	151 34.5%	125 28.5%	64 14.6%	11 2.5%	28.0	10.4
病院	63 100.0%	1 1.6%	10 15.9%	23 36.5%	15 23.8%	12 19.0%	2 3.2%	28.2	10.5
診療所	386 100.0%	6 1.6%	72 18.7%	132 34.1%	112 29.0%	54 14.0%	10 2.6%	27.9	10.4
その他	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	35.4	17.9

(ウ) 訪問診療の経験年数

図表 ①-3 訪問診療の経験年数

	合計	0年	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答	平均	標準偏差
全体	438 100.0%	0 0.0%	30 6.8%	29 6.6%	105 24.0%	95 21.7%	68 15.5%	91 20.8%	20 4.6%	13.2	9.2
病院	63 100.0%	0 0.0%	8 12.7%	7 11.1%	9 14.3%	13 20.7%	8 12.7%	13 20.6%	5 7.9%	11.8	8.5
診療所	386 100.0%	0 0.0%	25 6.5%	22 5.7%	99 25.7%	81 21.0%	63 16.3%	80 20.7%	16 4.1%	13.3	9.2
その他	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	15.5	16.9

(工) 居宅療養管理指導の経験年数

図表 ①-4 居宅療養管理指導の経験年数

	合計	0年	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	6年未満	7年未満	8年以上	無回答	平均	標準偏差
全体	438 100.0%	23 5.3%	58 13.2%	37 8.4%	119 27.2%	129 29.4%	21 4.8%	9 2.1%	42 9.6%	7.7	5.4		
病院	63 100.0%	2 3.2%	10 15.9%	6 9.5%	14 22.2%	19 30.1%	1 1.6%	3 4.8%	8 12.7%	7.8	5.6		
診療所	386 100.0%	22 5.7%	50 13.0%	31 8.0%	109 28.2%	111 28.7%	20 5.2%	6 1.6%	37 9.6%	7.6	5.4		
その他	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	12.8	15.6		

イ. 居宅療養管理指導に関する訪問人数について

2013年12月の1ヶ月間に訪問診療、居宅療養管理指導等で訪問を実施した人数は平均62.1人、うち、居宅療養管理指導を算定している人数は44.8人であった。同様に2013年12月1ヶ月間の訪問回数をみると、136.6回であり、うち居宅療養管理指導を算定している訪問回数は80.5回であった。

(ア) 2013年12月に訪問した人数

図表 ①-5 2013年12月に訪問した人数

	合計	0人	1人未満	2人未満	3人未満	4人未満	5人以上	無回答	平均	標準偏差
全体	438 100.0%	14 3.2%	65 14.8%	100 22.8%	75 17.1%	91 20.8%	77 17.6%	16 3.7%	62.1	85.2
病院	63 100.0%	1 1.6%	9 14.3%	18 28.6%	13 20.6%	8 12.7%	12 19.0%	2 3.2%	52.5	59.5
診療所	386 100.0%	13 3.4%	56 14.5%	86 22.3%	64 16.6%	85 22.0%	66 17.1%	16 4.1%	63.3	87.9
その他	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	34.8	43.7

図表 ①-6 うち居宅療養管理指導を算定している人数

	合計	0人	1人未満	2人未満	3人未満	4人未満	5人以上	無回答	平均	標準偏差
全体	438 100.0%	49 11.2%	71 16.2%	96 21.9%	63 14.4%	70 16.0%	44 10.0%	45 10.3%	44.8	71.1
病院	63 100.0%	5 7.9%	12 19.0%	16 25.5%	10 15.9%	7 11.1%	8 12.7%	5 7.9%	38.5	41.0
診療所	386 100.0%	44 11.4%	59 15.3%	84 21.7%	56 14.5%	64 16.6%	37 9.6%	42 10.9%	45.8	74.2
その他	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	28.0	33.5

(イ) 2013年12月に訪問した回数

図表 ①-7 2013年12月に訪問した回数

	合計	0回	未満足10回	1回未満30	3回未満50	5回未満10	10回未満15	15回未満20	20回以上	無回答	平均	標準偏差
全体	438 100.0%	12 2.7%	41 9.4%	72 16.4%	35 8.0%	79 18.0%	88 20.1%	89 20.4%	22 5.0%	136.6	204.2	
病院	63 100.0%	1 1.6%	8 12.7%	11 17.5%	7 11.1%	12 19.0%	8 12.7%	11 17.5%	5 7.9%	105.2	137.1	
診療所	386 100.0%	11 2.8%	33 8.5%	62 16.1%	31 8.0%	68 17.6%	82 21.4%	80 20.7%	19 4.9%	140.7	210.7	
その他	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	67.2	78.8	

図表 ①-8 うち居宅療養管理指導を算定した回数

	合計	0回	未満足10回	1回未満30	3回未満50	5回未満10	10回未満15	15回未満20	20回以上	無回答	平均	標準偏差
全体	438 100.0%	52 11.9%	64 14.6%	67 15.3%	49 11.2%	78 17.8%	52 11.9%	40 9.1%	36 8.2%	80.5	147.1	
病院	63 100.0%	6 9.5%	12 19.1%	10 15.9%	6 9.5%	11 17.5%	5 7.9%	6 9.5%	7 11.1%	61.7	78.0	
診療所	386 100.0%	46 11.9%	52 13.5%	59 15.3%	45 11.7%	70 18.1%	48 12.4%	35 9.1%	31 8.0%	83.3	153.6	
その他	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	30.6	32.3	

ウ. 居宅療養管理指導を実施する上での困難点

居宅療養管理指導を実施する上での困難点については、「利用者や家族が金銭負担に拒否感を示す」が25.1%と最も多く、次いで「家族の協力が得られない」(24.7%)、「利用者・家族に指導内容を理解してもらえない」「利用者の長年の習慣を変えるのが困難」(21.7%)が続いた。

図表 ①-9 居宅療養管理指導を実施する上での困難点 (複数回答)

	合計	内容が理解しにくい	訪問指導内容が理解しにくい	利用者が拒否感を示す	利用者が金銭負担に拒否感を示す	ケアマネジャーとの連携がとれない	その他の職種との連携がとれない	家族の協力が得られない(等)	利用者の長年の習慣を変えるのが困難	忙しいので居宅療養に養対管しきれない	求められるケアの水準が高すぎる	専門的な知識・技術が不足している	その他	無回答
全体	438 100.0%	95 21.7%	27 6.2%	9 2.1%	110 25.1%	74 16.9%	43 9.8%	108 24.7%	95 21.7%	41 9.4%	11 2.5%	76 17.4%	55 12.6%	88 20.1%
病院	63 100.0%	10 15.9%	7 11.1%	0 0.0%	12 19.0%	10 15.9%	5 7.9%	11 17.5%	20 31.7%	6 9.5%	2 3.2%	9 14.3%	12 19.0%	10 15.9%
診療所	386 100.0%	88 22.8%	22 5.7%	9 2.3%	100 25.9%	66 17.1%	39 10.1%	102 26.4%	80 20.7%	37 9.6%	9 2.3%	68 17.6%	44 11.4%	78 20.2%
その他	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%

エ. 居宅療養管理指導で他職種との連携

居宅療養管理指導を実施する上で、他職種と連携する際の困難点については、「サービス担当者会議に参加できない」が 43.8%と最も多く、次いで「多職種が顔を合わせる機会が少ない」が 35.4%と続いた。

また、訪問の際の他職種同行訪問の希望については、58.7%が「はい」を選択した。

(ア) 他職種と連携する上での困難点

図表 ①-10 居宅療養管理指導で他職種と連携する上での困難点（複数回答）

	合計	ケアマネジャーが連携の必要性を認識していない	訪問看護師・介護職が連携の必要性を認識していない	その他の職種が連携の必要性を認識していない	ケアマネジャーへの情報提供が煩雑	その他の職種への情報提供が煩雑	ケアマネジャーにどのような情報を提供すればいいのかわからない	その他の職種にどのような情報を提供すればいいのかわからない	サービス担当者会議に参加できない	多職種が顔を合わせる機会が少ない	多職種間で共有すべき情報が明確でない	地域の在宅療養管理職の情報が入っていない	そもそも連携が必要とは思わない	その他	無回答
全体	438	59	8	31	83	64	23	18	192	155	81	68	5	34	69
	100.0%	13.5%	1.8%	7.1%	18.9%	14.6%	5.3%	4.1%	43.8%	35.4%	18.5%	15.5%	1.1%	7.8%	15.8%
病院	63	7	2	3	11	6	3	2	28	26	14	10	0	4	8
	100.0%	11.1%	3.2%	4.8%	17.5%	9.5%	4.8%	3.2%	44.4%	41.3%	22.2%	15.9%	0.0%	6.3%	12.7%
診療所	386	53	7	28	76	59	20	16	170	135	68	59	5	31	61
	100.0%	13.7%	1.8%	7.3%	19.7%	15.3%	5.2%	4.1%	44.0%	35.0%	17.6%	15.3%	1.3%	8.0%	15.8%
その他	5	1	0	0	2	1	1	1	2	3	3	1	0	0	0
	100.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	60.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(イ) 他職種との同行訪問への意向

図表 ①-11 他職種との同行訪問への意向

	合計	はい	いいえ	無回答
全体	438	257	160	21
	100.0%	58.7%	36.5%	4.8%
病院	63	41	21	1
	100.0%	65.1%	33.3%	1.6%
診療所	386	223	144	19
	100.0%	57.8%	37.3%	4.9%
その他	5	3	2	0
	100.0%	60.0%	40.0%	0.0%

オ. 医師の各職種との同行訪問の希望及び同行訪問時に助言してほしいこと、行って欲しいことについて

医師の他の職種に対する同行訪問の希望と同行訪問時に各職種に助言してほしいこと、実施してほしいと感じていることを以下に対象職種別に整理する。

(ア) 歯科医師

歯科医師に対しては、58.3%の医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「摂食・嚥下機能訓練・評価」が72.7%と最も多く、次いで「口腔衛生状態の評価」(70.7%)、「口腔衛生指導」(56.0%)と続いた。

図表 ①-12 歯科医師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	257 100.0%	150 58.3%	86 33.5%	21 8.2%
病院	41 100.0%	25 61.0%	15 36.6%	1 2.4%
診療所	223 100.0%	130 58.3%	73 32.7%	20 9.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%

図表 ①-13 歯科医師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	口腔衛生状態の評価	口腔衛生指導	口腔清掃の指導	義歯の状態の評価	義歯指導清掃	摂食・嚥下機能訓練の評価	糖尿病患者への対応	顎骨壊死の処置	その他	無回答
全体	150 100.0%	106 70.7%	84 56.0%	70 46.7%	74 49.3%	33 22.0%	109 72.7%	19 12.7%	17 11.3%	3 2.0%	2 1.3%
病院	25 100.0%	18 72.0%	14 56.0%	9 36.0%	11 44.0%	4 16.0%	15 60.0%	2 8.0%	5 20.0%	0 0.0%	1 4.0%
診療所	130 100.0%	91 70.0%	72 55.4%	62 47.7%	64 49.2%	29 22.3%	99 76.2%	18 13.8%	12 9.2%	3 2.3%	1 0.8%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 薬剤師

薬剤師に対しては、70.8%の医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「利用者の状態に応じた適切な薬剤の形状の選択」が74.7%と最も多く、次いで「薬剤と栄養製剤・食事の副作用・相互作用についての助言」(52.7%)、「内服薬の副作用の検討と防止」(39.6%)と続いた。

図表 ①-14 薬剤師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	257 100.0%	182 70.8%	55 21.4%	20 7.8%
病院	41 100.0%	30 73.2%	10 24.4%	1 2.4%
診療所	223 100.0%	158 70.9%	46 20.6%	19 8.5%
その他	3 100.0%	1 33.4%	1 33.3%	1 33.3%

図表 ①-15 薬剤師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	のた利 選適 切用 者 な の 薬 剤 態 に 形 状 じ	用事薬 にの剤と つ副 作 用 の 製 剤 相 互 ・ 作 食	の静脈・ 指導・ 経腸 栄養 療法	指血 導糖 ・ 血 圧 等 の 管 理	用シ 法ン 等瘡 の外用 指薬 導の 選 定 ・ レ ッ 使	薬 剤 効 果 の 評 価	討内 と服 防薬 止の 副 作 用 の 検	緩和 ケア	その他	無 回 答
全体	182 100.0%	136 74.7%	96 52.7%	30 16.5%	26 14.3%	38 20.9%	49 26.9%	72 39.6%	43 23.6%	20 11.0%	2 1.1%
病院	30 100.0%	21 70.0%	17 56.7%	6 20.0%	7 23.3%	2 6.7%	9 30.0%	12 40.0%	8 26.7%	4 13.3%	0 0.0%
診療所	158 100.0%	120 75.9%	82 51.9%	25 15.8%	22 13.9%	36 22.8%	41 25.9%	61 38.6%	36 22.8%	17 10.8%	2 1.3%
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(ウ) 管理栄養士

管理栄養士に対しては、54.1%の医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「食事形態の提言」が69.8%と最も多く、次いで「必要な栄養量の算出」(51.1%)、「献立の提案」(46.8%)と続いた。

図表 ①-16 管理栄養士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	257 100.0%	139 54.1%	93 36.2%	25 9.7%
病院	41 100.0%	27 65.9%	13 31.7%	1 2.4%
診療所	223 100.0%	118 52.9%	81 36.3%	24 10.8%
その他	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%

図表 ①-17 管理栄養士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	の必要な栄養量の算出	へ利用者の嗜好への対応	定や使用する食品の調理法	の栄養補助食品の選択	献立の提案	言食事形態の提	管水分の評価	への糖尿病利用者への対応	その他	無回答
全体	139 100.0%	71 51.1%	50 36.0%	55 39.6%	62 44.6%	65 46.8%	97 69.8%	32 23.0%	49 35.3%	1 0.7%	3 2.2%
病院	27 100.0%	13 48.1%	10 37.0%	10 37.0%	12 44.4%	12 44.4%	19 70.4%	5 18.5%	13 48.1%	0 0.0%	1 3.7%
診療所	118 100.0%	61 51.7%	42 35.6%	47 39.8%	50 42.4%	55 46.6%	81 68.6%	27 22.9%	39 33.1%	1 0.8%	2 1.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(エ) 歯科衛生士

歯科衛生士に対しては、49.0%の医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「口腔衛生指導」が76.2%と最も多く、次いで「口腔清掃の指導」(69.8%)、「口腔衛生状態の評価」(64.3%)と続いた。

図表 ①-18 歯科衛生士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	257 100.0%	126 49.0%	105 40.9%	26 10.1%
病院	41 100.0%	21 51.3%	19 46.3%	1 2.4%
診療所	223 100.0%	107 48.0%	91 40.8%	25 11.2%
その他	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%

図表 ①-19 歯科衛生士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	口腔衛生状態の評価	口腔衛生指導	口腔清掃の指導	義歯の状態の評価	義歯清掃の方法	摂食・嚥下機能の評価	糖尿病患者への対応	その他	無回答
全体	126 100.0%	81 64.3%	96 76.2%	88 69.8%	57 45.2%	50 39.7%	59 46.8%	14 11.1%	3 2.4%	2 1.6%
病院	21 100.0%	16 76.2%	14 66.7%	15 71.4%	8 38.1%	5 23.8%	11 52.4%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	107 100.0%	67 62.6%	84 78.5%	75 70.1%	49 45.8%	45 42.1%	50 46.7%	13 12.1%	3 2.8%	2 1.9%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(オ) 訪問看護師

訪問看護師に対しては、91.5%の医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「利用者の療養上の様子の把握」が78.3%と最も多く、次いで「利用者・家族の療養上の要望の把握」(70.2%)、「利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有」(62.1%)と続いた。

図表 ①-20 訪問看護師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	257 100.0%	235 91.5%	14 5.4%	8 3.1%
病院	41 100.0%	40 97.6%	1 2.4%	0 0.0%
診療所	223 100.0%	202 90.6%	13 5.8%	8 3.6%
その他	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ①-21 訪問看護師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	利用者の療養上の把握	利用者の嗜好	利用者の療養上の家族	服用薬の点検	服薬の助言	利用者の療養上の家族との情報共有	その他	無回答
全体	235 100.0%	184 78.3%	60 25.5%	165 70.2%	122 51.9%	146 62.1%	14 6.0%	4 1.7%	
病院	40 100.0%	25 62.5%	8 20.0%	23 57.5%	18 45.0%	25 62.5%	4 10.0%	1 2.5%	
診療所	202 100.0%	163 80.7%	52 25.7%	144 71.3%	106 52.5%	124 61.4%	11 5.4%	3 1.5%	
その他	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	

(カ) 介護職

介護職に対しては、70.4%の医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「利用者の療養上の様子の把握」が77.3%と最も多く、次いで「利用者・家族の生活像を踏まえた要望の把握」(63.5%)、「利用者・家族の生活上の要望に関する職種間情報共有」(56.4%)と続いた。

図表 ①-22 介護職（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	257 100.0%	181 70.4%	48 18.7%	28 10.9%
病院	41 100.0%	28 68.3%	12 29.3%	1 2.4%
診療所	223 100.0%	158 70.9%	38 17.0%	27 12.1%
その他	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%

図表 ①-23 介護職（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	利用者の療養上の様子の把握	利用者の嗜好	利用者の生活像・要望の把握	服薬状況の確認	利用者の生活情報共有	利用者の生活状況の把握	その他	無回答
全体	181 100.0%	140 77.3%	61 33.7%	115 63.5%	74 40.9%	102 56.4%	84 46.4%	5 2.8%	4 2.2%
病院	28 100.0%	24 85.7%	9 32.1%	16 57.1%	8 28.6%	16 57.1%	11 39.3%	1 3.6%	0 0.0%
診療所	158 100.0%	120 75.9%	53 33.5%	100 63.3%	68 43.0%	88 55.7%	75 47.5%	4 2.5%	4 2.5%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(キ) 保健師

保健師に対しては、27.2%の医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「利用者の療養上の様子の把握」が60.0%と最も多く、次いで「利用者・家族の療養上の要望の把握」(54.3%)、「利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有」(52.9%)と続いた。

図表 ①-24 保健師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	257 100.0%	70 27.2%	153 59.6%	34 13.2%
病院	41 100.0%	12 29.3%	27 65.8%	2 4.9%
診療所	223 100.0%	61 27.4%	130 58.3%	32 14.3%
その他	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%

図表 ①-25 保健師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	利 用 者 の 療 養 上 の 様 子 の 把 握	利 用 者 の 嗜 好	利 用 者 の 療 養 上 の 家 族	利 用 者 の 薬 問 題 に 関 する 情 報 の 共 有	利 用 者 の 療 養 上 の 家 族 の 情 報 の 共 有	利 用 者 の 療 養 上 の 家 族 の 情 報 の 共 有	その他	無 回 答
全体	70 100.0%	42 60.0%	18 25.7%	38 54.3%	22 31.4%	37 52.9%	8 11.4%	3 4.3%	
病院	12 100.0%	8 66.7%	3 25.0%	6 50.0%	3 25.0%	6 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	
診療所	61 100.0%	37 60.7%	16 26.2%	33 54.1%	21 34.4%	32 52.5%	8 13.1%	3 4.9%	
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

(ク) 理学療法士

理学療法士に対しては、70.8%の医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「関節拘縮への対応」が88.5%と最も多く、次いで「麻痺への対応」(64.3%)、「摂食・嚥下に関連した指導・訓練」(57.7%)と続いた。

図表 ①-26 理学療法士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	257 100.0%	182 70.8%	57 22.2%	18 7.0%
病院	41 100.0%	35 85.4%	6 14.6%	0 0.0%
診療所	223 100.0%	153 68.6%	52 23.3%	18 8.1%
その他	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%

図表 ①-27 理学療法士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	の関節 対応 拘縮 へ	麻痺 への 対	ヘリ の 対 パ 浮 腫	指に摂 導関食 ・連・ 訓し嚥 練た下	運高吸 動め収 指る能 導身力 導身栄 体を養	導食 事 姿 勢 指	その他	無 回 答
全体	182 100.0%	161 88.5%	117 64.3%	75 41.2%	105 57.7%	66 36.3%	68 37.4%	11 6.0%	3 1.6%
病院	35 100.0%	28 80.0%	21 60.0%	7 20.0%	16 45.7%	9 25.7%	9 25.7%	3 8.6%	0 0.0%
診療所	153 100.0%	138 90.2%	99 64.7%	69 45.1%	94 61.4%	58 37.9%	60 39.2%	8 5.2%	3 2.0%
その他	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(ケ) 作業療法士

作業療法士に対しては、59.9%の医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「関節拘縮への対応」が64.9%と最も多く、次いで「麻痺への対応」(55.8%)、「利用者・家族の家事動作の支援」(51.9%)と続いた。

図表 ①-28 作業療法士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	257 100.0%	154 59.9%	77 30.0%	26 10.1%
病院	41 100.0%	28 68.3%	13 31.7%	0 0.0%
診療所	223 100.0%	130 58.3%	67 30.0%	26 11.7%
その他	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%

図表 ①-29 作業療法士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	の 関 節 拘 縮 へ	麻 痺 へ の 対	ヘ リ ン 対 パ 浮 腫	訓 し 指 撰 練 た 指 に ・ 導 関 嚥 ・ 連 下	運 高 吸 指 動 め 指 る 能 力 を 養	食 欲 や 栄 養	導 食 事 姿 勢 指	作 族 利 の 支 家 援 事 ・ 動 家	そ の 他	無 回 答
全体	154 100.0%	100 64.9%	86 55.8%	52 33.8%	79 51.3%	65 42.2%	57 37.0%	80 51.9%	7 4.5%	3 1.9%	
病院	28 100.0%	16 57.1%	13 46.4%	6 21.4%	11 39.3%	8 28.6%	8 28.6%	15 53.6%	3 10.7%	0 0.0%	
診療所	130 100.0%	87 66.9%	76 58.5%	47 36.2%	71 54.6%	58 44.6%	50 38.5%	66 50.8%	4 3.1%	3 2.3%	
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

(コ) 言語聴覚士

言語聴覚士に対しては、54.5%の医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「摂食・嚥下訓練」が77.9%と最も多く、次いで「高次脳機能障害の評価」(61.4%)、「高次脳機能障害への対応」「言語機能の評価」(56.4%)と続いた。

図表 ①-30 言語聴覚士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	257 100.0%	140 54.5%	88 34.2%	29 11.3%
病院	41 100.0%	29 70.8%	11 26.8%	1 2.4%
診療所	223 100.0%	115 51.5%	80 35.9%	28 12.6%
その他	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%

図表 ①-31 言語聴覚士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	高次脳機能障害の評価	高次脳機能障害への対応	言語機能の評価	言語回復方法の指導	代用音声機の選定	代用音声訓練	摂食・嚥下訓練	その他	無回答
全体	140 100.0%	86 61.4%	79 56.4%	79 56.4%	75 53.6%	34 24.3%	29 20.7%	109 77.9%	3 2.1%	2 1.4%
病院	29 100.0%	14 48.3%	13 44.8%	10 34.5%	7 24.1%	5 17.2%	3 10.3%	25 86.2%	1 3.4%	0 0.0%
診療所	115 100.0%	75 65.2%	68 59.1%	71 61.7%	70 60.9%	30 26.1%	27 23.5%	88 76.5%	2 1.7%	2 1.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(サ) 臨床心理士

臨床心理士に対しては、45.9%の医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「不安症状・抑うつの評価」が68.6%と最も多く、次いで「不安症状・抑うつ利用者への対応」「認知症の評価」(59.3%)、「症状に関する利用者の心理的負担の検討・改善」(57.6%)と続いた。

図表 ①-3 2 臨床心理士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	257 100.0%	118 45.9%	108 42.0%	31 12.1%
病院	41 100.0%	18 43.9%	21 51.2%	2 4.9%
診療所	223 100.0%	103 46.2%	91 40.8%	29 13.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%

図表 ①-3 3 臨床心理士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	う不安の症状評価・抑	のう不安の症状利用者への抑	認知症の評価	への認知症利用者	的利症・負担者に改善の関心する	改善担族状のの検心理的	ア家け緩族の利ケ心用アの者にお	その他	無回答
全体	118 100.0%	81 68.6%	70 59.3%	70 59.3%	55 46.6%	68 57.6%	66 55.9%	54 45.8%	3 2.5%	2 1.7%
病院	18 100.0%	15 83.3%	10 55.6%	8 44.4%	6 33.3%	6 33.3%	6 33.3%	5 27.8%	1 5.6%	0 0.0%
診療所	103 100.0%	69 67.0%	60 58.3%	63 61.2%	49 47.6%	62 60.2%	60 58.3%	49 47.6%	2 1.9%	2 1.9%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

カ. 居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点について

居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点については、「医療保険で算定可能にしてほしい」との回答が34.9%で最も多く、次いで「前回情報提供時から容体に変化がなかった場合のケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい」が32.9%であった。

図表 ①-34 居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点（複数回答）

	合計	も訪問診療の実績が無くても算定可能にしてほしい	医療保険で算定可能にしてほしい	訪問回数の上限を上げてほしい	算定単位数を増やしてほしい	指導開始からの変更に際しては	記録や情報提供項目を減らしてほしい	ケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい	前回情報提供時から容体に変化がなかった場合のケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい	前回情報提供時から容体に変化がなかった場合のケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい	その他	無回答
全体	438 100.0%	43 9.8%	153 34.9%	59 13.5%	97 22.1%	21 4.8%	95 21.7%	144 32.9%	100 22.8%	29 6.6%	97 22.1%	
病院	63 100.0%	4 6.3%	21 33.3%	13 20.6%	14 22.2%	6 9.5%	12 19.0%	26 41.3%	13 20.6%	3 4.8%	12 19.0%	
診療所	386 100.0%	39 10.1%	134 34.7%	47 12.2%	86 22.3%	15 3.9%	86 22.3%	122 31.6%	88 22.8%	26 6.7%	87 22.5%	
その他	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	

Ⅱ 利用者編

ア. 属性

本調査に回答した医師が担当する居宅療養管理指導の利用者は、平均年齢 83.8 歳、介護度は要介護 5 が 30.5%を占めた。認知症高齢者の日常生活自立度では「認知症なし」、「無回答」（診断を受けていない利用者が含まれると思われる）以外では「Ⅳ」が 12.8%で最も多かった。

居住状態は「利用者宅で同居者あり」が 54.8%で最も多かった。主な介護者は「同居の配偶者」が 28.1%で最も多く、次いで「同居の子または子の配偶者」が 22.4%であった。

(ア) 年齢

図表 ①-35 年齢

	合計	50歳以下	60歳	70歳	80歳	90歳以上	無回答	平均	標準偏差
全体	438 100.0%	8 1.8%	22 5.0%	65 14.8%	171 39.1%	102 23.3%	70 16.0%	83.8	9.7
病院	63 100.0%	1 1.6%	3 4.8%	8 12.7%	31 49.2%	16 25.4%	4 6.3%	84.6	10.1
診療所	386 100.0%	7 1.8%	20 5.2%	59 15.3%	146 37.8%	88 22.8%	66 17.1%	83.6	9.6
その他	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	87.6	7.0

(イ) 現在の要介護度・日常生活自立度

図表 ①-36 現在の状態（要介護度）

	合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	438 100.0%	6 1.4%	13 3.0%	27 6.2%	49 11.2%	61 13.9%	71 16.2%	134 30.5%	77 17.6%
病院	63 100.0%	1 1.6%	5 7.9%	4 6.3%	9 14.3%	6 9.5%	12 19.0%	18 28.7%	8 12.7%
診療所	386 100.0%	6 1.6%	10 2.6%	23 6.0%	42 10.9%	55 14.2%	63 16.3%	118 30.5%	69 17.9%
その他	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%

図表 ①-37 現在の状態（認知高齢者の日常生活自立度）

	合計	認知症なし	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明	無回答
全体	438	62	38	40	54	46	35	56	24	4	79
	100.0%	14.2%	8.7%	9.1%	12.3%	10.5%	8.0%	12.8%	5.5%	0.9%	18.0%
病院	63	10	4	11	9	7	4	7	5	0	6
	100.0%	15.9%	6.3%	17.6%	14.3%	11.1%	6.3%	11.1%	7.9%	0.0%	9.5%
診療所	386	54	36	30	46	41	32	50	19	4	74
	100.0%	14.0%	9.3%	7.8%	11.9%	10.6%	8.3%	13.0%	4.9%	1.0%	19.2%
その他	5	0	0	2	1	2	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(ウ) 現在の居住状態

図表 ①-38 現在の居住状態

	合計	者合（利用あり） （戸建て・同居集	合（利用） （戸建て・同居集	けきサ 住高 宅齢 者ビ 者ス 向付	ホ有 料 ム老 人	アホグ ハール ウム ス・ブ ケ	そ の 他	無 回 答
全体	438	240	45	17	37	23	5	71
	100.0%	54.8%	10.3%	3.9%	8.4%	5.3%	1.1%	16.2%
病院	63	41	7	4	5	2	0	4
	100.0%	65.2%	11.1%	6.3%	7.9%	3.2%	0.0%	6.3%
診療所	386	206	41	14	33	20	5	67
	100.0%	53.4%	10.6%	3.6%	8.5%	5.2%	1.3%	17.4%
その他	5	5	0	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(エ) 主な介護者

図表 ①-39 主な介護者

	合計	者同 居の 配偶	偶た同 者は居 子の子 の配ま	他同 親居 族の その	族在別 ・住居 親の・ 族家近 隣	族在別 ・住居 親の・ 族家遠 方	護パホ サー ーな ムビ どへ ス介 ル	者主 はた いる ない 介護	そ の 他	無 回 答
全体	438	123	98	12	21	10	85	6	11	72
	100.0%	28.1%	22.4%	2.7%	4.8%	2.3%	19.4%	1.4%	2.5%	16.4%
病院	63	19	18	0	4	2	10	2	3	5
	100.0%	30.1%	28.6%	0.0%	6.3%	3.2%	15.9%	3.2%	4.8%	7.9%
診療所	386	107	83	12	17	9	77	5	8	68
	100.0%	27.8%	21.5%	3.1%	4.4%	2.3%	19.9%	1.3%	2.1%	17.6%
その他	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

イ. 利用者に対する居宅療養管理指導の指導実績

訪問診療の開始時期については「平成 25 年」に開始したとの回答が 29.8%で最も多く、次いで「平成 24 年」が 15.8%であった。

居宅療養管理指導の開始時期についても「平成 25 年」が最も多く 31.7%、次いで「平成 24 年」が 15.8%であった。

(ア) 訪問診療を実施している場合、開始した時期

図表 ①-40 訪問診療を実施したことがある場合、開始した時期

	合計	以平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	無回答
全体	438 100.0%	41 9.4%	12 2.7%	23 5.3%	25 5.7%	44 10.0%	69 15.8%	131 29.8%	13 3.0%	80 18.3%
病院	63 100.0%	7 11.1%	1 1.6%	2 3.2%	5 7.9%	7 11.1%	9 14.3%	25 39.7%	3 4.8%	4 6.3%
診療所	386 100.0%	35 9.1%	11 2.8%	21 5.4%	21 5.4%	37 9.6%	62 16.1%	113 29.3%	10 2.6%	76 19.7%
その他	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 居宅療養管理指導を開始した時期

図表 ①-41 居宅療養管理指導を開始した時期

	合計	以平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	無回答
全体	438 100.0%	32 7.3%	10 2.3%	18 4.1%	25 5.7%	42 9.6%	69 15.8%	139 31.7%	18 4.1%	85 19.4%
病院	63 100.0%	4 6.3%	2 3.2%	1 1.6%	4 6.3%	7 11.1%	10 15.9%	26 41.3%	3 4.8%	6 9.5%
診療所	386 100.0%	29 7.5%	8 2.1%	17 4.4%	22 5.7%	35 9.1%	60 15.5%	121 31.3%	15 3.9%	79 20.5%
その他	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%

ウ. 居宅療養管理指導の利用に至った理由と経緯

当該利用者が居宅療養管理指導の利用に至った理由については、「身体機能が低下したため」が36.5%と最も多く、次いで「医療機関からの退院のため」が32.0%、「ケアマネジャー等への情報提供の必要性が生じたため」が29.9%と続いた。

居宅療養管理指導開始の直接的な経緯については、「ケアマネジャーからの依頼・情報提供による」が37.7%で最も多く、次いで「自身の患者・担当利用者であった」が29.0%と続いた。

(ア) 居宅療養管理指導の利用に至った理由

図表 ①-4 2 居宅療養管理指導の利用に至った理由（複数回答）

	合計	退院の機 関からの ため	た要 た介 ため 護認 定さ れ	化要 した た護 ため が重 度	重認 症知 化症 がが 発た た症 め・	し身 た体 た機 能が 低下	た必 栄養 性状 が態 生改 じ善 たの	生ケ じア た学 たの た必 ・歯 性学 が的	め要 薬性 学的 が生 管理 した た必	たの た必 へマ の要 性情 が報 生提 じ供	そ の 他	無 回 答
全体	438 100.0%	140 32.0%	67 15.3%	51 11.6%	64 14.6%	160 36.5%	36 8.2%	89 20.3%	36 8.2%	131 29.9%	16 3.7%	77 17.6%
病院	63 100.0%	26 41.3%	10 15.9%	4 6.3%	13 20.6%	26 41.3%	4 6.3%	13 20.6%	7 11.1%	16 25.4%	1 1.6%	6 9.5%
診療所	386 100.0%	120 31.1%	58 15.0%	48 12.4%	52 13.5%	140 36.3%	32 8.3%	80 20.7%	30 7.8%	119 30.8%	15 3.9%	71 18.4%
その他	5 100.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 居宅療養管理指導開始の経緯

図表 ①-4 3 居宅療養管理指導開始の経緯（複数回答）

	合計	供依 に頼 よ・ マ る情 か 報 ら 提 の	あ担 つ自 た身 た利 の用 患 者 者 で・	提の の自 供依 に他 頼職 よ・ 種 る情 か 報 ら 設	にの よ依 る頼 る家 ・族 ・相 か 利 談 ら 用	そ の 他	無 回 答
全体	438 100.0%	165 37.7%	127 29.0%	52 11.9%	97 22.1%	21 4.8%	76 17.4%
病院	63 100.0%	21 33.3%	15 23.8%	14 22.2%	14 22.2%	2 3.2%	6 9.5%
診療所	386 100.0%	156 40.4%	112 29.0%	38 9.8%	86 22.3%	19 4.9%	70 18.1%
その他	5 100.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%

エ. 訪問回数について

利用者への訪問開始後1ヶ月間の訪問回数は平均3.2回、直近(2013年12月)1ヶ月では平均5.2回であった。訪問開始から現在までの合計訪問回数は平均76.3回であり、うち、居宅療養管理指導を算定した訪問回数は43.8回であった。

(ア) 訪問開始後1ヶ月間の訪問回数

図表 ①-4 4 訪問開始後1ヶ月間の訪問回数

	合計	0回	満1 〜 3 回 未	満3 〜 5 回 未	未5 満 1 0 回	1 0 回 以上	無 回 答	平均	標準 偏差
全体	438 100.0%	0 0.0%	239 54.6%	86 19.6%	26 5.9%	14 3.2%	73 16.7%	3.2	4.0
病院	63 100.0%	0 0.0%	40 63.5%	15 23.8%	1 1.6%	3 4.8%	4 6.3%	3.4	6.1
診療所	386 100.0%	0 0.0%	205 53.1%	74 19.2%	26 6.7%	12 3.1%	69 17.9%	3.2	3.5
その他	5 100.0%	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2.2	1.1

(イ) 12月の訪問回数

図表 ①-4 5 12月の訪問回数

	合計	0回	満1 〜 3 回 未	満3 〜 5 回 未	未5 満 1 0 回	1 0 回 以上	無 回 答	平均	標準 偏差
全体	438 100.0%	1 0.2%	192 43.8%	63 14.4%	16 3.7%	29 6.6%	137 31.3%	5.2	17.1
病院	63 100.0%	1 1.6%	33 52.4%	10 15.9%	2 3.2%	4 6.3%	13 20.6%	4.1	7.7
診療所	386 100.0%	0 0.0%	164 42.4%	54 14.0%	15 3.9%	25 6.5%	128 33.2%	5.3	18.2
その他	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	2.0	1.7

(ウ) 訪問開始から現在までの合計訪問回数

図表 ①-46 訪問開始から現在までの合計訪問回数

	合計	0人	未満足1人	未満足1人未満3人	未満足3人未満5人	満足5人未満10人	満足10人以上	無回答	平均	標準偏差
全体	438 100.0%	0 0.0%	43 9.8%	100 22.8%	50 11.4%	73 16.7%	70 16.0%	102 23.3%	76.3	145.8
病院	63 100.0%	0 0.0%	9 14.3%	21 33.4%	8 12.7%	6 9.5%	12 19.0%	7 11.1%	103.7	293.0
診療所	386 100.0%	0 0.0%	38 9.8%	81 21.0%	43 11.1%	68 17.6%	60 15.5%	96 25.0%	70.3	91.3
その他	5 100.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	22.6	22.4

図表 ①-47 うち居宅療養管理指導を算定した回数

	合計	0人	未満足1人	未満足1人未満3人	未満足3人未満5人	満足5人未満10人	満足10人以上	無回答	平均	標準偏差
全体	438 100.0%	6 1.4%	75 17.1%	107 24.5%	57 13.0%	54 12.3%	36 8.2%	103 23.5%	43.8	61.6
病院	63 100.0%	1 1.6%	11 17.5%	22 34.9%	9 14.3%	6 9.5%	5 7.9%	9 14.3%	48.1	89.2
診療所	386 100.0%	5 1.3%	68 17.6%	88 22.8%	49 12.7%	49 12.7%	32 8.3%	95 24.6%	42.7	54.5
その他	5 100.0%	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10.2	8.8

オ. ケアマネジャーに対する情報提供

ケアマネジャーへの情報提供の主な手段は「文書（手渡し）」が 43.8%で最も多く、次いで「FAX」が 37.0%であった。情報提供に際しての具体的な内容は「病状変化」が 74.0%で最も多かった。「病状変化」の内訳は「病態への対処方法」に関する情報提供が最も多く 65.1%であった。

(ア) ケアマネジャーへの情報提供の主な手段

図表 ①-48 ケアマネジャーへの情報提供の主な手段（複数回答）

	合計	当サービス担当者会議	文書（手渡し）	メール	FAX	口頭	電話	その他	無回答
全体	438 100.0%	118 26.9%	192 43.8%	30 6.8%	162 37.0%	123 28.1%	154 35.2%	36 8.2%	67 15.3%
病院	63 100.0%	22 34.9%	33 52.4%	3 4.8%	23 36.5%	11 17.5%	22 34.9%	9 14.3%	3 4.8%
診療所	386 100.0%	104 26.9%	166 43.0%	27 7.0%	144 37.3%	113 29.3%	141 36.5%	29 7.5%	64 16.6%
その他	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%

(イ) ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容

図表 ①-49 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（複数回答）

	合計	方訪問診療での処	在宅利用と頻度の種	変更・利用の提案頻度	今後の利用の維持	病状変化	生活自立度	利用者の身体状況	応指調悪化時の対	状況たる介護者の	その他	無回答
全体	438 100.0%	233 53.2%	80 18.3%	131 29.9%	324 74.0%	225 51.4%	250 57.1%	229 52.3%	78 17.8%	13 3.0%	70 16.0%	
病院	63 100.0%	31 49.2%	10 15.9%	23 36.5%	51 81.0%	38 60.3%	45 71.4%	35 55.6%	12 19.0%	4 6.3%	3 4.8%	
診療所	386 100.0%	208 53.9%	72 18.7%	114 29.5%	284 73.6%	195 50.5%	211 54.7%	202 52.3%	70 18.1%	10 2.6%	67 17.4%	
その他	5 100.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	

図表 ①-50 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（病状変化）（複数回答）

	合計	高発い生	処病態への対	管必要の種医学	その他	無回答
全体	324 100.0%	157 48.5%	211 65.1%	125 38.6%	6 1.9%	53 16.4%
病院	51 100.0%	24 47.1%	38 74.5%	14 27.5%	1 2.0%	9 17.6%
診療所	284 100.0%	139 48.9%	180 63.4%	112 39.4%	5 1.8%	47 16.5%
その他	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%

図表 ①-5 1 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（生活自立度）（複数回答）

	合計	移動	摂食	排泄	入浴	無回答
全体	225 100.0%	136 60.4%	155 68.9%	130 57.8%	114 50.7%	42 18.7%
病院	38 100.0%	26 68.4%	23 60.5%	22 57.9%	23 60.5%	6 15.8%
診療所	195 100.0%	116 59.5%	137 70.3%	111 56.9%	98 50.3%	37 19.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ①-5 2 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（利用者の身体状況）（複数回答）

	合計	体温	血圧	血糖	A D L	その他	無回答
全体	250 100.0%	101 40.4%	151 60.4%	55 22.0%	140 56.0%	36 14.4%	35 14.0%
病院	45 100.0%	20 44.4%	29 64.4%	14 31.1%	24 53.3%	8 17.8%	6 13.3%
診療所	211 100.0%	86 40.8%	128 60.7%	45 21.3%	119 56.4%	30 14.2%	30 14.2%
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%

図表 ①-5 3 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（体調悪化時の対応指示）（複数回答）

	合計	発熱時	疼痛時	不眠時	その他	無回答
全体	229 100.0%	154 67.2%	130 56.8%	85 37.1%	32 14.0%	46 20.1%
病院	35 100.0%	21 60.0%	21 60.0%	14 40.0%	5 14.3%	8 22.9%
診療所	202 100.0%	137 67.8%	113 55.9%	75 37.1%	28 13.9%	41 20.3%
その他	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

カ. 利用者・家族への情報提供

利用者・家族への情報提供については、「口頭」が73.7%と最も多く、次いで「電話」が39.7%であった。利用者・家族への情報提供の具体的内容は「病状変化」が77.6%で最も多く、次いで「体調悪化時の対応指示」が63.2%であった。

(ア) 利用者や家族への情報提供の主な手段

図表 ①-5 4 利用者や家族への情報提供の主な手段（複数回答）

	合計	口頭	し文 書 （手渡）	電話	F A X	メ ー ル	そ の 他	無 回 答
全体	438 100.0%	323 73.7%	120 27.4%	174 39.7%	18 4.1%	9 2.1%	13 3.0%	69 15.8%
病院	63 100.0%	50 79.4%	23 36.5%	25 39.7%	1 1.6%	1 1.6%	4 6.3%	5 7.9%
診療所	386 100.0%	282 73.1%	101 26.2%	157 40.7%	17 4.4%	9 2.3%	9 2.3%	64 16.6%
その他	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 利用者や家族への情報提供の具体的な内容

図表 ①-5 5 利用者や家族への情報提供の具体的な内容（複数回答）

	合計	変 更 の 提 案 頻 度	今 後 の 居 宅 サ イ ー ズ	病 状 変 化	精 神 状 態	生 活 自 立 度	況 況 利 用 者 の 身 体 状	応 体 指 調 示 悪 化 時 の 対	そ の 他	無 回 答
全体	438 100.0%	145 33.1%	340 77.6%	143 32.6%	214 48.9%	256 58.4%	277 63.2%	5 1.1%	72 16.4%	
病院	63 100.0%	27 42.9%	54 85.7%	21 33.3%	38 60.3%	45 71.4%	45 71.4%	1 1.6%	5 7.9%	
診療所	386 100.0%	126 32.6%	297 76.9%	127 32.9%	183 47.4%	217 56.2%	241 62.4%	4 1.0%	68 17.6%	
その他	5 100.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	

図表 ①-5 6 利用者や家族への情報提供の具体的な内容（病状変化）（複数回答）

	合計	高 発 い 生 病 頻 度 の	処 方 態 度 へ の 対	管 理 必 要 な 種 類 学	そ の 他	無 回 答
全体	340 100.0%	199 58.5%	244 71.8%	148 43.5%	15 4.4%	64 18.8%
病院	54 100.0%	29 53.7%	33 61.1%	21 38.9%	2 3.7%	11 20.4%
診療所	297 100.0%	177 59.6%	218 73.4%	132 44.4%	14 4.7%	55 18.5%
その他	3 100.0%	1 33.3%	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ①-57 利用者や家族への情報提供の具体的な内容（生活自立度）（複数回答）

	合計	移動	摂食	排泄	入浴	無回答
全体	214 100.0%	127 59.3%	147 68.7%	137 64.0%	112 52.3%	32 15.0%
病院	38 100.0%	20 52.6%	27 71.1%	23 60.5%	19 50.0%	4 10.5%
診療所	183 100.0%	112 61.2%	125 68.3%	117 63.9%	98 53.6%	29 15.8%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ①-58 利用者や家族への情報提供の具体的な内容（利用者の身体状況）（複数回答）

	合計	体温	血圧	血糖	A D L	その他	無回答
全体	256 100.0%	131 51.2%	163 63.7%	69 27.0%	120 46.9%	26 10.2%	46 18.0%
病院	45 100.0%	25 55.6%	27 60.0%	13 28.9%	24 53.3%	6 13.3%	5 11.1%
診療所	217 100.0%	112 51.6%	141 65.0%	61 28.1%	100 46.1%	21 9.7%	41 18.9%
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%

図表 ①-59 利用者や家族への情報提供の具体的な内容（体調悪化時の対応指示）（複数回答）

	合計	発熱時	疼痛時	不眠時	その他	無回答
全体	277 100.0%	189 68.2%	166 59.9%	112 40.4%	34 12.3%	58 20.9%
病院	45 100.0%	31 68.9%	28 62.2%	18 40.0%	8 17.8%	9 20.0%
診療所	241 100.0%	165 68.5%	145 60.2%	99 41.1%	27 11.2%	51 21.2%
その他	5 100.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%

キ. 一回あたりの指導時間

居宅療養管理指導一回あたりに要する時間については、「情報収集等の準備時間」に平均 14.6 分、「実際の指導時間」に平均 12.7 分、「訪問後の帳簿記載」に平均 9.2 分、「他職種への連絡調整」に平均 12.0 分を要するとの回答が得られた。ただし、訪問診療における診療時間と居宅療養管理指導における指導時間を明確に分離できないため、両者の時間を合計した時間数が解答されている可能性がある点に留意が必要である。

図表 ①-60 1 回の指導にかかる時間(情報収集等の準備時間)

	合計	5分未満	5分未満 5分	1分未満 1分5	1分未満 1分20	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	438 100.0%	23 5.3%	80 18.3%	108 24.5%	34 7.8%	85 19.4%	108 24.7%	14.6	13.7
病院	63 100.0%	4 6.3%	13 20.6%	18 28.7%	8 12.7%	6 9.5%	14 22.2%	12.3	11.6
診療所	386 100.0%	21 5.4%	70 18.1%	94 24.4%	26 6.7%	80 20.7%	95 24.7%	14.9	14.1
その他	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	22.0	13.0

図表 ①-61 1 回の指導にかかる時間(実際の指導時間)

	合計	5分未満	5分未満 5分	1分未満 1分5	1分未満 1分20	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	438 100.0%	20 4.6%	97 22.1%	109 24.8%	48 11.0%	70 16.0%	94 21.5%	12.7	9.8
病院	63 100.0%	5 7.9%	9 14.3%	18 28.6%	9 14.3%	10 15.9%	12 19.0%	12.5	8.1
診療所	386 100.0%	16 4.1%	90 23.3%	96 24.9%	40 10.4%	61 15.8%	83 21.5%	12.6	10.0
その他	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	29.0	18.2

図表 ①-62 1 回の指導にかかる時間(訪問後の帳簿記載)

	合計	5分未満	5分未満 5分	1分未満 1分5	1分未満 1分20	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	438 100.0%	50 11.4%	122 27.9%	95 21.7%	39 8.9%	32 7.3%	100 22.8%	9.2	7.4
病院	63 100.0%	6 9.5%	13 20.6%	17 27.1%	10 15.9%	5 7.9%	12 19.0%	10.2	6.3
診療所	386 100.0%	45 11.7%	111 28.6%	83 21.5%	30 7.8%	28 7.3%	89 23.1%	9.1	7.6
その他	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	10.0	6.1

図表 ①-63 1回の指導にかかる時間(他職種への連絡調整時間)

	合計	5分未満	未5分未満 5分	1分未満 1分5	1分5分未満 2分	2分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	438 100.0%	30 6.8%	92 21.0%	111 25.3%	34 7.8%	49 11.2%	122 27.9%	12.0	12.9
病院	63 100.0%	6 9.5%	16 25.4%	17 27.1%	5 7.9%	4 6.3%	15 23.8%	9.4	6.8
診療所	386 100.0%	25 6.5%	78 20.2%	99 25.6%	30 7.8%	46 11.9%	108 28.0%	12.4	13.5
その他	5 100.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	8.8	7.5

ク. 他の職種との連携について

利用者の指導に関して医師が普段相談している職種は「訪問看護師」が64.8%で最も多く、次いで「介護職」が40.6%、「薬剤師」が40.4%であった。相談の具体的内容は「病状変化」が69.8%で最も多く、次いで「処方内容」が60.1%であった。なお、他職種への相談・情報提供をしない医師にその理由を尋ねたが、該当数は7件に留まった。

(ア) 利用者の指導に関して普段相談をしている職種

図表 ①-64 利用者の指導に関して普段相談をしている職種(複数回答)

	合計	主治 歯科 医	の主治 医師 以外	の主治 歯科 医以 外	薬 剤 師	歯 科 衛 生 士	訪 問 看 護 師	保 健 師	介 護 職	タ ッ フ ン リ ス テ ー	訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン ス タ フ	臨 床 心 理 士	提 供 は し な い 他 職 種 へ の 情 報	そ の 他	無 回 答
全体	438 100.0%	52 11.9%	100 22.8%	14 3.2%	177 40.4%	7 1.6%	284 64.8%	10 2.3%	178 40.6%	147 33.6%	0 0.0%	7 1.6%	38 8.7%	68 15.5%	
病院	63 100.0%	4 6.3%	13 20.6%	1 1.6%	27 42.9%	0 0.0%	47 74.6%	2 3.2%	28 44.4%	26 41.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 6.3%	5 7.9%	
診療所	386 100.0%	51 13.2%	91 23.6%	13 3.4%	157 40.7%	7 1.8%	248 64.2%	10 2.6%	154 39.9%	125 32.4%	0 0.0%	7 1.8%	34 8.8%	64 16.6%	
その他	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	

図表 ①-65 利用者の指導に関して普段相談をしている職種(訪問リハビリテーションスタッフ)(複数回答)

	合計	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	言 語 聴 覚 士	無 回 答
全体	147 100.0%	115 78.2%	39 26.5%	26 17.7%	26 17.7%
病院	26 100.0%	22 84.6%	10 38.5%	5 19.2%	2 7.7%
診療所	125 100.0%	97 77.6%	31 24.8%	23 18.4%	24 19.2%
その他	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%

(イ) 他職種への相談・情報提供の具体的内容

図表 ①-66 他職種への相談・情報提供の具体的内容（複数回答）

	合計	処方内容	在宅利用頻度	変更の提案・頻度	持病・利用の維持	病状変化	精神状態	生活自立度	利用者の身体状況	応指調悪化時の対応	状況たる介護者の	その他	無回答
全体	431 100.0%	259 60.1%	101 23.4%	134 31.1%	301 69.8%	146 33.9%	210 48.7%	251 58.2%	251 58.2%	97 22.5%	10 2.3%	84 19.5%	
病院	63 100.0%	40 63.5%	12 19.0%	22 34.9%	47 74.6%	20 31.7%	35 55.6%	38 60.3%	35 55.6%	13 20.6%	0 0.0%	7 11.1%	
診療所	379 100.0%	227 59.9%	94 24.8%	120 31.7%	264 69.7%	131 34.6%	181 47.8%	221 58.3%	224 59.1%	88 23.2%	10 2.6%	78 20.6%	
その他	5 100.0%	4 80.0%	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	3 60.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	

図表 ①-67 他職種への相談・情報提供の具体的内容（病状変化）（複数回答）

	合計	高発病頻度の	処方態への対	管必要な種医学	その他	無回答
全体	301 100.0%	151 50.2%	199 66.1%	123 40.9%	12 4.0%	86 28.6%
病院	47 100.0%	22 46.8%	27 57.4%	15 31.9%	2 4.3%	15 31.9%
診療所	264 100.0%	137 51.9%	178 67.4%	114 43.2%	12 4.5%	73 27.7%
その他	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%

図表 ①-68 他職種への相談・情報提供の具体的内容（生活自立度）（複数回答）

	合計	移動	摂食	排泄	入浴	無回答
全体	210 100.0%	132 62.9%	139 66.2%	126 60.0%	107 51.0%	43 20.5%
病院	35 100.0%	22 62.9%	23 65.7%	20 57.1%	18 51.4%	5 14.3%
診療所	181 100.0%	115 63.5%	121 66.9%	110 60.8%	95 52.5%	38 21.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

図表 ①-69 他職種への相談・情報提供の具体的内容（利用者の身体状況）（複数回答）

	合計	体温	血圧	血糖	A D L	その他	無回答
全体	251 100.0%	134 53.4%	159 63.3%	77 30.7%	129 51.4%	29 11.6%	56 22.3%
病院	38 100.0%	21 55.3%	23 60.5%	12 31.6%	21 55.3%	4 10.5%	8 21.1%
診療所	221 100.0%	119 53.8%	140 63.3%	70 31.7%	114 51.6%	27 12.2%	49 22.2%
その他	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%

図表 ①-70 他職種への相談・情報提供の具体的内容（体調悪化時の対応指示）（複数回答）

	合計	発熱時	疼痛時	不眠時	その他	無回答
全体	251 100.0%	163 64.9%	150 59.8%	107 42.6%	29 11.6%	62 24.7%
病院	35 100.0%	18 51.4%	14 40.0%	12 34.3%	4 11.4%	13 37.1%
診療所	224 100.0%	152 67.9%	142 63.4%	100 44.6%	25 11.2%	50 22.3%
その他	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%

(ウ) 他職種への相談・情報提供をしない理由

図表 ①-71 他職種への相談・情報提供をしない理由（複数回答）

	合計	しな自 たいら たとが め判必 断要	断要ジケ しなヤア たいーマ たとがネ め判必	か依他 つ頼職 たが種 た無か めら	た族利 たが用 め拒者 否・し 家	その他	無回答
全体	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%
病院	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

ケ. 他職種との同行訪問の実績

他職種との同行訪問の実績については、「たまにする」との回答が 36.6%で最も多く、次いで「ときどきする」が 17.1%であった。

同行訪問する理由では「自らが必要と判断したため」が 59.3%と最も多く、次いで「他職種から依頼があったため」が 48.5%であった。

(ア) 他職種との同行訪問の有無

図表 ①-72 他職種との同行訪問の有無

	合計	るほ ぼ 毎 回 す	る と き ど き す	た ま に す る	な ま い っ た く し	無 回 答
全体	438 100.0%	60 13.7%	75 17.1%	160 36.6%	71 16.2%	72 16.4%
病院	63 100.0%	13 20.6%	7 11.1%	20 31.8%	15 23.8%	8 12.7%
診療所	386 100.0%	48 12.4%	71 18.4%	143 37.1%	59 15.3%	65 16.8%
その他	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%

(イ) 同行訪問をする理由

図表 ①-73 同行訪問をする理由（複数回答）

	合計	た と 自 ら 判 断 が し 必 要	た 要 シ ケ た と ヤ マ 判 断 が ネ シ 必	た 依 他 た 頼 職 め が 種 あ か つ ら	た 望 族 利 め が か ら あ ら つ の ・ た 要 家	そ の 他	無 回 答
全体	295 100.0%	175 59.3%	124 42.0%	143 48.5%	35 11.9%	6 2.0%	16 5.4%
病院	40 100.0%	27 67.5%	16 40.0%	17 42.5%	6 15.0%	0 0.0%	3 7.5%
診療所	262 100.0%	153 58.4%	112 42.7%	131 50.0%	31 11.8%	6 2.3%	14 5.3%
その他	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

② 歯科医師票

I 専門職編

ア. 属性

本調査に回答した歯科医師は、歯科診療所に所属する者が 88.0%と最も多く、次いで診療所が 9.1%であった。

また、歯科医師としての経験年数は 20～30 年未満が 31.7%で最も多く、次いで 30～40 年未満が 30.7%であり、平均で 25.8 年の経験年数であった。このうち、訪問歯科診療の経験年数は平均 12.8 年、居宅療養管理指導については 6.3 年であった。

(ア) 所属機関

図表 ②-1 所属機関（複数回答）

全体	病院	診療所	歯科診療所	その他	無回答
274 100.0%	6 2.2%	25 9.1%	241 88.0%	2 0.7%	1 0.4%

(イ) 歯科医師としての経験年数

図表 ②-2 歯科医師としての経験年数

	合計	1 0 年 未 満	年 1 未 0 満 1 2 0	年 2 未 0 満 2 3 0	年 3 未 0 満 3 4 0	4 0 年 以 上	無 回 答	平 均	標 準 偏 差
全体	274 100.0%	22 8.0%	52 19.0%	87 31.7%	84 30.7%	26 9.5%	3 1.1%	25.8	10.6
病院	6 100.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	17.0	12.4
診療所	25 100.0%	1 4.0%	2 8.0%	9 36.0%	9 36.0%	3 12.0%	1 4.0%	28.2	8.9
歯科診療所	241 100.0%	18 7.5%	49 20.3%	78 32.4%	73 30.3%	23 9.5%	0 0.0%	25.9	10.6
その他	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	17.5	17.7

(ウ) 訪問歯科診療の経験年数

図表 ②-3 訪問歯科診療の経験年数

	合計	0年	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答	平均	標準偏差
全体	274 100.0%	5 1.8%	17 6.2%	26 9.5%	50 18.2%	57 20.8%	46 16.8%	65 23.8%	8 2.9%	12.8	8.5
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	8.5	8.8
診療所	25 100.0%	0 0.0%	1 4.0%	3 12.0%	0 0.0%	7 28.0%	7 28.0%	6 24.0%	1 4.0%	15.0	9.4
歯科診療所	241 100.0%	5 2.1%	16 6.6%	20 8.3%	47 19.5%	50 20.7%	39 16.2%	58 24.1%	6 2.5%	12.7	8.4
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5.5	2.1

(エ) 居宅療養管理指導の経験年数

図表 ②-4 居宅療養管理指導の経験年数

	合計	0年	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答	平均	標準偏差
全体	274 100.0%	22 8.0%	45 16.4%	31 11.3%	66 24.1%	63 23.0%	6 2.2%	3 1.1%	38 13.9%	6.3	5.0
病院	6 100.0%	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1.5	1.0
診療所	25 100.0%	2 8.0%	2 8.0%	4 16.0%	3 12.0%	10 40.0%	1 4.0%	0 0.0%	3 12.0%	7.7	5.2
歯科診療所	241 100.0%	20 8.3%	38 15.8%	25 10.4%	63 26.1%	53 22.0%	5 2.1%	3 1.2%	34 14.1%	6.3	5.0
その他	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2.3	2.4

イ. 居宅療養管理指導に関する訪問人数について

2013年12月の1ヶ月間に訪問診療、居宅療養管理指導等で訪問を実施した人数は平均24.2人、うち、居宅療養管理指導を算定している人数は14.0人であった。同様に2013年12月1ヶ月間の訪問回数をみると、44.7回であり、うち居宅療養管理指導を算定している訪問回数は19.4回であった。

(ア) 2013年12月に訪問した人数

図表 ②-5 2013年12月に訪問した人数

	合計	0人	未1 満1 0人	人1 未0 満3 0	人3 未0 満5 0	満15 00 05 人未	上1 0 0 人 以	無 回 答	平均	標準 偏差
全体	274 100.0%	46 16.8%	86 31.4%	63 23.0%	29 10.6%	19 6.9%	17 6.2%	14 5.1%	24.2	38.9
病院	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	3 49.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	23.4	13.4
診療所	25 100.0%	6 24.0%	4 16.0%	8 32.0%	7 28.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	17.2	16.9
歯科診療所	241 100.0%	40 16.6%	80 33.1%	53 22.0%	19 7.9%	19 7.9%	17 7.1%	13 5.4%	25.1	41.0
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	13.0	-

図表 ②-6 うち居宅療養管理指導を算定している人数

	合計	0人	未1 満1 0人	人1 未0 満3 0	人3 未0 満5 0	満15 00 05 人未	上1 0 0 人 以	無 回 答	平均	標準 偏差
全体	274 100.0%	58 21.2%	103 37.5%	31 11.3%	23 8.4%	12 4.4%	6 2.2%	41 15.0%	14.0	24.6
病院	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	11.3	13.1
診療所	25 100.0%	7 28.0%	10 40.0%	1 4.0%	5 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.0%	10.6	14.6
歯科診療所	241 100.0%	50 20.7%	91 37.7%	27 11.2%	18 7.5%	12 5.0%	6 2.5%	37 15.4%	14.5	25.8
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	10.0	-

(イ) 2013年12月に訪問した回数

図表 ②-7 2013年12月に訪問した回数

Table with 12 columns: 合計, 0回, 未満足10回, 未満足13回, 未満足30回, 未満足50回, 未満足00回, 未満足00回, 未満足00回, 未満足00回, 無回答, 平均, 標準偏差. Rows include 全体, 病院, 診療所, 歯科診療所, その他.

図表 ②-8 うち居宅療養管理指導を算定した回数

Table with 12 columns: 合計, 0回, 未満足10回, 未満足30回, 未満足50回, 未満足00回, 未満足00回, 未満足00回, 未満足00回, 無回答, 平均, 標準偏差. Rows include 全体, 病院, 診療所, 歯科診療所, その他.

ウ. 居宅療養管理指導を実施する上での困難点

居宅療養管理指導を実施する上での困難点については、「利用者や家族からの口腔ケアの重要性への理解が得られない」が 36.1%と最も多く、次いで「家族の協力が得られない」「利用者の長年の習慣を変えるのが困難」(28.5%)、「利用者・家族に指導内容を理解してもらえない」(22.3%)が続いた。

図表 ②-9 居宅療養管理指導を実施する上での困難点（複数回答）

Table with 17 columns: 合計, 利用者や家族からの理解が得られない, その他, 無回答, etc. Rows include 全体, 病院, 診療所, 歯科診療所, その他.

オ. 歯科医師の各職種との同行訪問の希望及び同行訪問時に助言してほしいこと、行って欲しいことについて

歯科医師の他の職種に対する同行訪問の希望と同行訪問時に各職種に助言してほしいこと、実施してほしいと感じていることを以下に対象職種別に整理する。

(ア) 医師

医師に対しては、73.0%の歯科医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「既往症に応じた注意事項」が84.5%と最も多く、次いで「在宅療養全般に関する利用者・家族の希望の把握」(50.5%)、「状態像に応じた服薬判断」(31.1%)と続いた。

図表 ②-12 医師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	141 100.0%	103 73.0%	28 19.9%	10 7.1%
病院	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	14 100.0%	10 71.5%	3 21.4%	1 7.1%
歯科診療所	123 100.0%	89 72.4%	25 20.3%	9 7.3%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ②-13 医師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	望者に在 の・関宅 把家す療 握族る養 の利全 希用般	た既 注往 意症 に 項 応 じ	た状 服態 薬像 判に 断 応 じ	説導薬 明の剤 必師 要訪 性問 の指	図処 の方 説設 明計 の意	策感 染症 予防 対	へ糖 の尿 対病 利 用 者	そ の 他	無 回 答
全体	103 100.0%	52 50.5%	87 84.5%	32 31.1%	4 3.9%	13 12.6%	24 23.3%	16 15.5%	6 5.8%	0 0.0%
病院	4 100.0%	3 75.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	10 100.0%	5 50.0%	8 80.0%	5 50.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	89 100.0%	44 49.4%	76 85.4%	26 29.2%	4 4.5%	12 13.5%	21 23.6%	16 18.0%	6 6.7%	0 0.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 薬剤師

薬剤師に対しては、44.6%の歯科医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「利用者の状態に応じた適切な薬剤の形状の選択」「薬剤と栄養製剤・食事の副作用・相互作用についての助言」が49.2%と最も多く、次いで「内服薬の副作用の検討と防止」(34.9%)、「血糖・血圧等の管理指導」(19.0%)と続いた。

図表 ②-14 薬剤師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	141 100.0%	63 44.6%	60 42.6%	18 12.8%
病院	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
診療所	14 100.0%	3 21.4%	10 71.5%	1 7.1%
歯科診療所	123 100.0%	57 46.4%	49 39.8%	17 13.8%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ②-15 薬剤師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	剤応利 のじ用 形た者 状適の の切状 選な態 択薬に	つ用剤薬 い・・剤 て相食と の互事栄 助作の養 言用副製 に作	療静 法脈 の・経 指導腸 栄養	管血 理糖 指・血 導圧 等の	の選レ 指ッ瘡 導・シ外 用ン用 グ薬 法剤や 等のド	薬 剤 効果 の 評価	の内 検 討 薬 と の 防 止 作 用	緩 和 ケ ア	そ の 他	無 回 答
全体	63 100.0%	31 49.2%	31 49.2%	4 6.3%	12 19.0%	2 3.2%	7 11.1%	22 34.9%	3 4.8%	0 0.0%	1 1.6%
病院	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	57 100.0%	28 49.1%	28 49.1%	4 7.0%	12 21.1%	1 1.8%	6 10.5%	19 33.3%	3 5.3%	0 0.0%	1 1.8%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(ウ) 管理栄養士

管理栄養士に対しては、56.1%の歯科医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「食事形態の提言」が74.7%と最も多く、次いで「必要な栄養量の算出」(35.4%)、「使用する食品や調理法の決定」(34.2%)と続いた。

図表 ②-16 管理栄養士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	141 100.0%	79 56.1%	46 32.6%	16 11.3%
病院	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
診療所	14 100.0%	7 50.0%	6 42.9%	1 7.1%
歯科診療所	123 100.0%	69 56.1%	39 31.7%	15 12.2%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ②-17 管理栄養士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	量必 の要 算な 出栄 養	好利 へ用 の者 対の 応嗜	の品使 決や用 定調す 理す 法食	品栄 の養 選補 択助 食	献立 の提 案	提食 言事 形態 の	価質水 管分理 の電 評解	者糖 へ尿 の病 対利 応用	そ の 他	無 回 答
全体	79 100.0%	28 35.4%	22 27.8%	27 34.2%	19 24.1%	20 25.3%	59 74.7%	19 24.1%	12 15.2%	2 2.5%	1 1.3%
病院	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	7 100.0%	3 42.9%	2 28.6%	1 14.3%	3 42.9%	1 14.3%	6 85.7%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	69 100.0%	23 33.3%	19 27.5%	25 36.2%	15 21.7%	18 26.1%	53 76.8%	15 21.7%	10 14.5%	2 2.9%	1 1.4%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(エ) 歯科衛生士

歯科衛生士に対しては、75.1%の歯科医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「食事形態の提言」が50.0%と最も多く、次いで「利用者の嗜好への対応」(16.0%)、「糖尿病利用者への対応」(13.2%)と続いた。

図表 ②-18 歯科衛生士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	141 100.0%	106 75.1%	18 12.8%	17 12.1%
病院	4 100.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%
診療所	14 100.0%	11 78.6%	2 14.3%	1 7.1%
歯科診療所	123 100.0%	92 74.8%	16 13.0%	15 12.2%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ②-19 歯科衛生士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	量必 の要 算な 出栄 養	好利 へ用 の者 対の 応嗜	の品使 決や用 定調す 理す 法食	品栄 の養 選補 択助 食	献立 の提 案	提食 言事 形態 の	価質水 管分理 の電 評解	者糖 へ尿 の病 対利 応用	そ の 他	無 回 答
全体	106 100.0%	8 7.5%	17 16.0%	12 11.3%	12 11.3%	6 5.7%	53 50.0%	6 5.7%	14 13.2%	36 34.0%	9 8.5%
病院	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	11 100.0%	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%	7 63.6%	1 9.1%	0 0.0%	2 18.2%	2 18.2%
歯科診療所	92 100.0%	5 5.4%	15 16.3%	11 12.0%	11 12.0%	5 5.4%	44 47.8%	5 5.4%	13 14.1%	34 37.0%	7 7.6%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(オ) 訪問看護師

訪問看護師に対しては、75.9%の歯科医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「利用者の療養上の様子の把握」が69.2%と最も多く、次いで「利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有」(53.3%)、「利用者・家族の療養上の要望の把握」(49.5%)と続いた。

図表 ②-20 訪問看護師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	141 100.0%	107 75.9%	25 17.7%	9 6.4%
病院	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	14 100.0%	10 71.4%	4 28.6%	0 0.0%
歯科診療所	123 100.0%	93 75.6%	21 17.1%	9 7.3%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ②-21 訪問看護師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	握上利 の用 様者 子の の療 把養	の利 把用 握者 の嗜 好	望の利 把養者 握上・ の家 要族	把わ剤服 握る使薬 問用介 間に助 点か・ のか薬	種望の利 間に療用 情関養者 報す上・ 共るの家 有職要族	その他	無 回 答
全体	107 100.0%	74 69.2%	16 15.0%	53 49.5%	32 29.9%	57 53.3%	7 6.5%	1 0.9%
病院	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	2 50.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	10 100.0%	8 80.0%	2 20.0%	6 60.0%	3 30.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	93 100.0%	63 67.7%	12 12.9%	45 48.4%	28 30.1%	52 55.9%	7 7.5%	1 1.1%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(カ) 介護職

介護職に対しては、77.3%の歯科医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「利用者の療養上の様子の把握」が74.3%と最も多く、次いで「利用者・家族の生活像を踏まえた要望の把握」(60.6%)、「利用者・家族の生活上の要望に関する職種間情報共有」(54.1%)と続いた。

図表 ②-22 介護職（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	141 100.0%	109 77.3%	18 12.8%	14 9.9%
病院	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	14 100.0%	8 57.2%	5 35.7%	1 7.1%
歯科診療所	123 100.0%	97 78.8%	13 10.6%	13 10.6%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ②-23 介護職員（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	利用者の療養把握	利用者の嗜好	利用者の生活像・家族の踏	服薬状況の確認	利用者の生活情報共有	利用者の生活把握・家族	その他	無回答
全体	109 100.0%	81 74.3%	25 22.9%	66 60.6%	21 19.3%	59 54.1%	40 36.7%	6 5.5%	0 0.0%
病院	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	8 100.0%	7 87.5%	3 37.5%	2 25.0%	3 37.5%	1 12.5%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	97 100.0%	71 73.2%	21 21.6%	62 63.9%	17 17.5%	54 55.7%	36 37.1%	6 6.2%	0 0.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(キ) 保健師

保健師に対しては、32.6%の歯科医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「利用者の療養上の様子の把握」が60.9%と最も多く、次いで「利用者・家族の療養上の要望の把握」(58.7%)、「利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有」(43.5%)と続いた。

図表 ②-24 保健師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	141 100.0%	46 32.6%	76 53.9%	19 13.5%
病院	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%
診療所	14 100.0%	5 35.7%	8 57.2%	1 7.1%
歯科診療所	123 100.0%	39 31.7%	66 53.7%	18 14.6%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ②-25 保健師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	握上利 の用 様者 子の の療 把養	の利 把用 握者 の嗜 好	望の利 把養者 握上・ の家 要族	把わ剤服 握る使薬 問用介 題に助 点か・ のか薬	種望の利 間に療用 情関養者 報す上・ 共るの家 有職要族	そ の 他	無 回 答
全体	46 100.0%	28 60.9%	6 13.0%	27 58.7%	8 17.4%	20 43.5%	0 0.0%	0 0.0%
病院	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	39 100.0%	23 59.0%	5 12.8%	24 61.5%	7 17.9%	18 46.2%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(ク) 理学療法士

理学療法士に対しては、54.6%の歯科医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「摂食・嚥下に関連した指導・訓練」が80.5%と最も多く、次いで「食事姿勢指導」(51.9%)、「関節拘縮への対応」「麻痺への対応」(44.2%)と続いた。

図表 ②-26 理学療法士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	141 100.0%	77 54.6%	53 37.6%	11 7.8%
病院	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
診療所	14 100.0%	7 50.0%	6 42.9%	1 7.1%
歯科診療所	123 100.0%	67 54.5%	46 37.4%	10 8.1%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ②-27 理学療法士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	の関節拘縮への対応	麻痺への対応	ヘリパ浮腫への対応	指に摂食・連嚥訓練	運動指導	高吸収能や体力を養	食事姿勢指導	その他	無回答
全体	77 100.0%	34 44.2%	34 44.2%	7 9.1%	62 80.5%	22 28.6%	40 51.9%	3 3.9%	0 0.0%	
病院	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	
診療所	7 100.0%	4 57.1%	3 42.9%	0 0.0%	6 85.7%	2 28.6%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	
歯科診療所	67 100.0%	28 41.8%	30 44.8%	7 10.4%	54 80.6%	19 28.4%	35 52.2%	3 4.5%	0 0.0%	
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

(ケ) 作業療法士

作業療法士に対しては、51.8%の歯科医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「摂食・嚥下に関連した指導・訓練」が82.2%と最も多く、次いで「食事姿勢指導」(53.4%)、「関節拘縮への対応」(39.7%)と続いた。

図表 ②-28 作業療法士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	141 100.0%	73 51.8%	55 39.0%	13 9.2%
病院	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
診療所	14 100.0%	7 50.0%	6 42.9%	1 7.1%
歯科診療所	123 100.0%	63 51.2%	48 39.0%	12 9.8%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ②-29 作業療法士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	の関節拘縮への対応	麻痺への対応	ヘルパ対応浮腫	指に摂食・連・訓練した下	運動高吸能や栄養	食事姿勢指導	家族の用事・支障・動家	その他	無回答
全体	73 100.0%	29 39.7%	26 35.6%	8 11.0%	60 82.2%	20 27.4%	39 53.4%	14 19.2%	1 1.4%	0 0.0%
病院	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	7 100.0%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	7 100.0%	3 42.9%	5 71.4%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	63 100.0%	25 39.7%	24 38.1%	7 11.1%	52 82.5%	16 25.4%	32 50.8%	12 19.0%	1 1.6%	0 0.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(コ) 言語聴覚士

言語聴覚士に対しては、62.4%の歯科医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「摂食・嚥下訓練」が77.3%と最も多く、次いで「高次脳機能障害の評価」(38.6%)、「言語機能の評価」「言語機能の回復方法指導」(36.4%)と続いた。

図表 ②-30 言語聴覚士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	141 100.0%	88 62.4%	42 29.8%	11 7.8%
病院	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	14 100.0%	7 50.0%	7 50.0%	0 0.0%
歯科診療所	123 100.0%	77 62.6%	35 28.5%	11 8.9%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ②-31 言語聴覚士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	高次脳機能障害の評価	高次脳機能障害への対応	言語機能の評価	言語機能回復方法の指導	代替音声機器の選定	代替音声訓練	摂食・嚥下訓練	その他	無回答
全体	88 100.0%	34 38.6%	28 31.8%	32 36.4%	32 36.4%	5 5.7%	5 5.7%	68 77.3%	2 2.3%	1 1.1%
病院	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	7 100.0%	4 57.1%	3 42.9%	3 42.9%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	77 100.0%	29 37.7%	24 31.2%	27 35.1%	30 39.0%	4 5.2%	5 6.5%	61 79.2%	2 2.6%	1 1.3%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(サ) 臨床心理士

臨床心理士に対しては、40.4%の歯科医師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「認知症の評価」が59.6%と最も多く、次いで「不安症状・抑うつ利用者への対応」「認知症利用者への対応」(56.1%)、「不安症状・抑うつの評価」(52.6%)と続いた。

図表 ②-3 2 臨床心理士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	141 100.0%	57 40.4%	67 47.5%	17 12.1%
病院	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%
診療所	14 100.0%	6 42.9%	7 50.0%	1 7.1%
歯科診療所	123 100.0%	49 39.8%	58 47.2%	16 13.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ②-3 3 臨床心理士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	う不安の症状評価・抑	のう不安対応利用者・へ抑	認知症の評価	への認知症利用者	討的利症改善・負担者の関係心する	改負家症のの検心する	ア家け緩るの利ケの者にお	その他	無回答
全体	57 100.0%	30 52.6%	32 56.1%	34 59.6%	32 56.1%	17 29.8%	18 31.6%	13 22.8%	1 1.8%	0 0.0%
病院	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	6 100.0%	1 16.7%	3 50.0%	3 50.0%	4 66.7%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	49 100.0%	28 57.1%	28 57.1%	29 59.2%	27 55.1%	16 32.7%	17 34.7%	11 22.4%	1 2.0%	0 0.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

カ. 居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点について

居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点については、「前回情報提供時から容体に変化が無かった場合のケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい」との回答が39.8%で最も多く、次いで「記録や情報提供に記載義務のある項目を減らしてほしい」が38.3%であった。

図表 ②-34 居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点（複数回答）

	合計	訪問歯科診療の実績が無くても算定可能にしてほしい	医療保険で算定可能にしてほしい	訪問回数の上限を上げてほしい	算定単位数を増やしてほしい	指導開始から期間によって単位数を変えてほしい	記録や情報提供に記載義務のある項目を減らしてほしい	ケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい	前回情報提供時から容体に変化が無かった場合の手段をマ化してほしい	前回情報提供時から容体に変化が無かった場合の手段をマ化してほしい	その他	無回答
全体	274 100.0%	50 18.2%	90 32.8%	84 30.7%	91 33.2%	13 4.7%	105 38.3%	109 39.8%	72 26.3%	12 4.4%	45 16.4%	
病院	6 100.0%	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	
診療所	25 100.0%	5 20.0%	12 48.0%	5 20.0%	5 20.0%	0 0.0%	9 36.0%	7 28.0%	5 20.0%	2 8.0%	5 20.0%	
歯科診療所	241 100.0%	42 17.4%	74 30.7%	76 31.5%	82 34.0%	11 4.6%	93 38.6%	100 41.5%	62 25.7%	10 4.1%	40 16.6%	
その他	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	

II 利用者編

ア. 属性

本調査に回答した歯科医師が担当する居宅療養管理指導の利用者は、平均年齢 80.1 歳、介護度は要介護 5 が 21.2% を占めた。認知症高齢者の日常生活自立度では「認知症なし」、「無回答」（診断を受けていない利用者が含まれると思われる）以外では「I」が 8.0% で最も多かった。

居住状態は「利用者宅で同居者あり」が 44.6% で最も多かった。主な介護者は「同居の配偶者」が 29.1% で最も多く、次いで「ホームヘルパーなど介護サービス」が 27.0% であった。

(ア) 年齢

図表 ②-35 年齢

	合計	50歳以下	60歳	70歳	80歳	90歳以上	無回答	平均	標準偏差
全体	274 100.0%	6 2.2%	17 6.2%	57 20.8%	101 36.9%	23 8.4%	70 25.5%	80.1	9.1
病院	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	71.0	5.7
診療所	25 100.0%	1 4.0%	2 8.0%	5 20.0%	8 32.0%	2 8.0%	7 28.0%	79.1	9.9
歯科診療所	241 100.0%	5 2.1%	14 5.8%	49 20.3%	92 38.2%	21 8.7%	60 24.9%	80.4	9.1
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	81.0	8.5

(イ) 現在の要介護度・日常生活自立度

図表 ②-36 現在の状態（要介護度）

	合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	274 100.0%	2 0.7%	6 2.2%	20 7.3%	29 10.6%	43 15.7%	42 15.3%	58 21.2%	74 27.0%
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%
診療所	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	5 20.0%	3 12.0%	1 4.0%	9 36.0%	6 24.0%
歯科診療所	241 100.0%	2 0.8%	6 2.5%	19 7.9%	24 10.0%	37 15.4%	40 16.6%	48 19.9%	65 26.9%
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ②-37 現在の状態（認知高齢者の日常生活自立度）

	合計	認知症なし	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明	無回答
全体	274 100.0%	61 22.3%	22 8.0%	16 5.8%	14 5.1%	9 3.3%	4 1.5%	16 5.8%	4 1.5%	41 15.0%	87 31.7%
病院	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	3 49.9%
診療所	25 100.0%	7 28.0%	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	3 12.0%	1 4.0%	4 16.0%	7 28.0%
歯科診療所	241 100.0%	54 22.4%	20 8.3%	15 6.2%	13 5.4%	8 3.3%	3 1.2%	13 5.4%	3 1.2%	36 14.9%	76 31.7%
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(ウ) 現在の居住状態

図表 ②-38 現在の居住状態

	合計	者合（利 あり）で 同・宅 居集	合（利 ）で建者 独・宅 居集	けきサ 住高 宅齢 者ス 向付	ホ有 一料 ム老 人	アホグ ハール ウム・ ス・ プ ケ	そ の 他	無 回 答
全体	274 100.0%	122 44.6%	20 7.3%	10 3.6%	30 10.9%	23 8.4%	1 0.4%	68 24.8%
病院	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%
診療所	25 100.0%	9 36.0%	3 12.0%	0 0.0%	4 16.0%	3 12.0%	0 0.0%	6 24.0%
歯科診療所	241 100.0%	112 46.6%	16 6.6%	10 4.1%	23 9.5%	20 8.3%	1 0.4%	59 24.5%
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(エ) 主な介護者

図表 ②-39 主な介護者

	合計	同居の配偶者	同居の子または同居の配偶者	同居の親族その他	別居の親族	別居の住居・親族	別居の住居・親族	ホームヘルプサービス	主たる介護者ではない	その他	無回答
全体	274 100.0%	80 29.1%	38 13.9%	3 1.1%	3 1.1%	1 0.4%	74 27.0%	2 0.7%	4 1.5%	69 25.2%	
病院	6 100.0%	2 33.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	
診療所	25 100.0%	5 20.0%	4 16.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 24.0%	
歯科診療所	241 100.0%	73 30.4%	34 14.1%	3 1.2%	3 1.2%	1 0.4%	61 25.3%	2 0.8%	4 1.7%	60 24.9%	
その他	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

イ. 利用者に対する居宅療養管理指導の指導実績

訪問診療の開始時期については「平成 25 年」に開始したとの回答が 30.3%で最も多く、次いで「平成 24 年」が 12.0%であった。

居宅療養管理指導の開始時期についても「平成 25 年」が最も多く 32.2%、次いで「平成 24 年」が 13.5%であった。

(ア) 訪問歯科診療を実施している場合、開始した時期

図表 ②-40 訪問歯科診療を実施している場合、開始した時期

	合計	以平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	無回答
全体	274 100.0%	21 7.7%	7 2.6%	6 2.2%	16 5.8%	20 7.3%	33 12.0%	83 30.3%	6 2.2%	82 29.9%
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%
診療所	25 100.0%	2 8.0%	2 8.0%	1 4.0%	2 8.0%	3 12.0%	1 4.0%	7 28.0%	0 0.0%	7 28.0%
歯科診療所	241 100.0%	19 7.9%	5 2.1%	5 2.1%	14 5.8%	15 6.2%	31 12.9%	74 30.6%	6 2.5%	72 29.9%
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 居宅療養管理指導を開始した時期

図表 ②-41 居宅療養管理指導を開始した時期

	合計	以平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	無回答
全体	274 100.0%	11 4.0%	9 3.3%	9 3.3%	13 4.7%	19 6.9%	37 13.5%	88 32.2%	6 2.2%	82 29.9%
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	3 50.0%
診療所	25 100.0%	2 8.0%	2 8.0%	1 4.0%	1 4.0%	3 12.0%	1 4.0%	8 32.0%	0 0.0%	7 28.0%
歯科診療所	241 100.0%	9 3.7%	7 2.9%	8 3.3%	12 5.0%	16 6.6%	35 14.5%	77 32.0%	6 2.5%	71 29.5%
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%

ウ. 居宅療養管理指導の利用に至った理由と経緯

当該利用者が居宅療養管理指導の利用に至った理由については、「医学的・歯学的ケアの必要性が生じたため」が 50.7%と最も多く、次いで「身体機能が低下したため」が 23.0%、「ケアマネジャー等への情報提供の必要性が生じたため」が 14.6%と続いた。

居宅療養管理指導開始の直接的な経緯については、「ケアマネジャーからの依頼・情報提供による」が 34.7%で最も多く、次いで「利用者・利用者の家族からの依頼・相談による」が 25.2%と続いた。

(ア) 居宅療養管理指導の利用に至った理由

図表 ②-4 2 居宅療養管理指導の利用に至った理由（複数回答）

	合計	退院の医療機関からのため	要介護認定されたため	要介護度が重度化したため	重症化症が発症したため	身体機能が低下したため	栄養状態が改善したため	医学的・歯学的ケアのため	薬学的管理のため	ケアマネジャーへの情報提供のため	その他	無回答
全体	274 100.0%	20 7.3%	26 9.5%	16 5.8%	17 6.2%	63 23.0%	18 6.6%	139 50.7%	1 0.4%	40 14.6%	11 4.0%	77 28.1%
病院	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%
診療所	25 100.0%	3 12.0%	1 4.0%	3 12.0%	1 4.0%	5 20.0%	0 0.0%	11 44.0%	1 4.0%	4 16.0%	0 0.0%	8 32.0%
歯科診療所	241 100.0%	17 7.1%	24 10.0%	13 5.4%	16 6.6%	56 23.2%	17 7.1%	125 51.9%	0 0.0%	35 14.5%	11 4.6%	66 27.4%
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 居宅療養管理指導開始の経緯

図表 ②-4 3 居宅療養管理指導開始の経緯（複数回答）

	合計	ケアマネジャーからの依頼	家族からの依頼	本人からの依頼	その他からの依頼	その他	無回答
全体	274 100.0%	95 34.7%	47 17.2%	23 8.4%	69 25.2%	6 2.2%	74 27.0%
病院	6 100.0%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%
診療所	25 100.0%	5 20.0%	5 20.0%	2 8.0%	6 24.0%	2 8.0%	7 28.0%
歯科診療所	241 100.0%	86 35.7%	42 17.4%	20 8.3%	63 26.1%	4 1.7%	64 26.6%
その他	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

エ. 訪問回数について

利用者への訪問開始後1ヶ月間の訪問回数は平均3.3回、直近(2013年12月)1ヶ月では平均5.6回であった。訪問開始から現在までの合計訪問回数は平均56.9回であり、うち、居宅療養管理指導を算定した訪問回数は27.1回であった。

(ア) 訪問開始後1ヶ月間の訪問回数

図表 ②-44 訪問開始後1ヶ月間の訪問回数

	合計	0回	満1 ～ 3 回未	満3 ～ 5 回未	未5 ～ 1 0 回	1 0 回 以上	無 回 答	平均	標準 偏差
全体	274 100.0%	1 0.4%	88 32.0%	84 30.7%	18 6.6%	4 1.5%	79 28.8%	3.3	3.3
病院	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	3.3	1.7
診療所	25 100.0%	0 0.0%	12 48.0%	5 20.0%	1 4.0%	0 0.0%	7 28.0%	2.6	1.2
歯科診療所	241 100.0%	1 0.4%	75 31.1%	76 31.6%	16 6.6%	4 1.7%	69 28.6%	3.4	3.5
その他	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2.5	2.1

(イ) 12月の訪問回数

図表 ②-45 12月の訪問回数

	合計	0回	満1 ～ 3 回未	満3 ～ 5 回未	未5 ～ 1 0 回	1 0 回 以上	無 回 答	平均	標準 偏差
全体	274 100.0%	16 5.8%	73 26.6%	42 15.3%	5 1.8%	4 1.5%	134 49.0%	5.6	35.0
病院	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 66.6%	2.5	2.1
診療所	25 100.0%	3 12.0%	9 36.0%	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 44.0%	1.4	1.3
歯科診療所	241 100.0%	13 5.4%	63 26.1%	38 15.8%	5 2.1%	4 1.7%	118 48.9%	6.1	37.3
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	4.0	-

(ウ) 訪問開始から現在までの合計訪問回数

図表 ②-46 訪問開始から現在までの合計訪問回数

	合計	0人	1未満 10人	1人 030	3人 050	5満 00人未	1上 00人以	無回答	平均	標準偏差
全体	274 100.0%	2 0.7%	56 20.4%	60 21.9%	32 11.7%	20 7.3%	20 7.3%	84 30.7%	56.9	167.2
病院	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	42.0	52.6
診療所	25 100.0%	1 4.0%	6 24.0%	3 12.0%	3 12.0%	2 8.0%	2 8.0%	8 32.0%	37.4	46.8
歯科診療所	241 100.0%	1 0.4%	49 20.3%	55 22.8%	28 11.6%	18 7.5%	17 7.1%	73 30.3%	59.3	176.9
その他	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22.0	22.6

図表 ②-47 うち居宅療養管理指導を算定した回数

	合計	0人	1未満 10人	1人 030	3人 050	5満 00人未	1上 00人以	無回答	平均	標準偏差
全体	274 100.0%	5 1.8%	76 27.7%	56 20.4%	27 9.9%	15 5.5%	8 2.9%	87 31.8%	27.1	47.7
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	13.0	3.0
診療所	25 100.0%	1 4.0%	7 28.0%	3 12.0%	3 12.0%	2 8.0%	1 4.0%	8 32.0%	25.6	30.1
歯科診療所	241 100.0%	4 1.7%	69 28.6%	49 20.3%	24 10.0%	13 5.4%	7 2.9%	75 31.1%	27.5	49.7
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	20.0	-

オ. 利用者に対する居宅療養管理指導の指導実績

ケアマネジャーへの情報提供の主な手段は「文書（手渡し）」が 38.7%で最も多く、次いで「FAX」が 33.9%であった。情報提供に際しての具体的な内容は「口腔内状況」が 67.9%で最も多かった。「口腔内状態」の内訳は「清掃の状況」に関する情報提供が最も多く 74.2%であった。

(ア) ケアマネジャーへの情報提供の主な手段

図表 ②-48 ケアマネジャーへの情報提供の主な手段（複数回答）

	合計	当サ 者ー 会 議 担	し文 書 （ 手 渡 し	メ ー ル	F A X	口 頭	電 話	そ の 他	無 回 答
全体	274 100.0%	18 6.6%	106 38.7%	5 1.8%	93 33.9%	54 19.7%	58 21.2%	9 3.3%	72 26.3%
病院	6 100.0%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	2 33.3%
診療所	25 100.0%	4 16.0%	10 40.0%	0 0.0%	7 28.0%	5 20.0%	4 16.0%	1 4.0%	7 28.0%
歯科診療所	241 100.0%	14 5.8%	92 38.2%	4 1.7%	84 34.9%	48 19.9%	51 21.2%	8 3.3%	62 25.7%
その他	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容

図表 ②-49 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（複数回答）

	合計	療導居歯 の・宅科 受訪療医 問養師 状問管に 況問理よ 診診指る	類宅利 とサ用 利し 用びて 頻ス 度 の 種居	変持ビ今 更・ス後 の中利の 提止用居 案・の宅 頻維サ 度	口 腔 内 状 態	口 腔 機 能 の 状 態	歯 科 管 理 計 画	改 善 目 標	活 利 上 者 の 留 意 日 常 項 生	そ の 他	無 回 答
全体	274 100.0%	113 41.2%	22 8.0%	29 10.6%	186 67.9%	148 54.0%	105 38.3%	70 25.5%	92 33.6%	3 1.1%	75 27.4%
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	3 50.0%	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	3 50.0%
診療所	25 100.0%	11 44.0%	1 4.0%	1 4.0%	15 60.0%	12 48.0%	6 24.0%	5 20.0%	5 20.0%	0 0.0%	7 28.0%
歯科診療所	241 100.0%	101 41.9%	21 8.7%	28 11.6%	167 69.3%	132 54.8%	96 39.8%	64 26.6%	84 34.9%	2 0.8%	64 26.6%
その他	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%

図表 ②-50 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（口腔内状態）（複数回答）

	合計	清掃 の 状況	口 腔 乾 燥	む し 歯	歯 周 疾 患	疾 患 口 腔 軟 組 織	状 況 義 歯 の 使 用	の 噛 み 合 わ せ	無 回 答
全体	186 100.0%	138 74.2%	92 49.5%	100 53.8%	111 59.7%	69 37.1%	105 56.5%	69 37.1%	41 22.0%
病院	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%
診療所	15 100.0%	12 80.0%	8 53.3%	7 46.7%	8 53.3%	4 26.7%	5 33.3%	6 40.0%	3 20.0%
歯科診療所	167 100.0%	125 74.9%	84 50.3%	92 55.1%	102 61.1%	65 38.9%	100 59.9%	63 37.7%	35 21.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

図表 ②-51 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（口腔機能の状態）（複数回答）

	合計	咀 嚼 機 能	機 能 摂 食 ・ 嚥 下	発 音 機 能	無 回 答
全体	148 100.0%	96 64.9%	97 65.5%	56 37.8%	33 22.3%
病院	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%
診療所	12 100.0%	9 75.0%	7 58.3%	5 41.7%	2 16.7%
歯科診療所	132 100.0%	86 65.2%	89 67.4%	51 38.6%	28 21.2%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

カ. 利用者・家族への指導・助言

利用者・家族への指導・助言については、「口頭」が 57.7%と最も多く、次いで「文書（手渡し）」が 45.6%であった。利用者・家族への情報提供の具体的内容は「歯みがき支援」が 57.3%で最も多く、次いで「口腔機能向上に関する情報提供」が 55.5%であった。

（ア）利用者や家族への指導・助言の主な手段

図表 ②-5 2 利用者や家族への指導・助言の主な手段（複数回答）

	合計	口頭	し文書 （手渡）	電話	F A X	メ ー ル	そ の 他	無 回 答
全体	274 100.0%	158 57.7%	125 45.6%	40 14.6%	12 4.4%	2 0.7%	7 2.6%	72 26.3%
病院	6 100.0%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%
診療所	25 100.0%	13 52.0%	14 56.0%	4 16.0%	0 0.0%	2 8.0%	1 4.0%	7 28.0%
歯科診療所	241 100.0%	144 59.8%	108 44.8%	34 14.1%	11 4.6%	0 0.0%	6 2.5%	61 25.3%
その他	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

（イ）利用者や家族への指導・助言の具体的な内容

図表 ②-5 3 利用者や家族への指導・助言の具体的な内容（複数回答）

	合計	変 更 の 頻 度	今 後 の 居 宅 サ ー ビ ス の 提 案	関 心 す る 機 能 向 上 に 関 する 情 報 の 提 供	口 腔 機 能 向 上 に 関 する 情 報 の 提 供	体 操 ・ 嚥 下 の 指 導	歯 み が き 支 援	食 事 姿 勢 ・ 食 環 境 の 指 導	訓 練	そ の 他	無 回 答
全体	274 100.0%	53 19.3%	152 55.5%	107 39.1%	157 57.3%	88 32.1%	141 51.5%	5 1.8%	72 26.3%		
病院	6 100.0%	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%		
診療所	25 100.0%	5 20.0%	12 48.0%	7 28.0%	10 40.0%	7 28.0%	11 44.0%	2 8.0%	7 28.0%		
歯科診療所	241 100.0%	47 19.5%	136 56.4%	98 40.7%	143 59.3%	80 33.2%	127 52.7%	3 1.2%	62 25.7%		
その他	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%		

図表 ②-5 4 利用者や家族への指導・助言の具体的な内容（訓練）（複数回答）

	合計	歯みがき	かむ	飲み込み	発音・発声	呼吸	その他	無回答
全体	141 100.0%	108 76.6%	60 42.6%	73 51.8%	48 34.0%	25 17.7%	13 9.2%	13 9.2%
病院	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	11 100.0%	7 63.6%	5 45.5%	6 54.5%	3 27.3%	2 18.2%	0 0.0%	1 9.1%
歯科診療所	127 100.0%	99 78.0%	53 41.7%	66 52.0%	44 34.6%	23 18.1%	13 10.2%	12 9.4%
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

キ. 一回あたりの指導時間

居宅療養管理指導一回あたりに要する時間については、「情報収集等の準備時間」に平均 13.5 分、「実際の指導時間」に平均 19.7 分、「訪問後の帳簿記載」に平均 11.0 分、「他職種への連絡調整」に平均 9.7 分を要するとの回答が得られた。ただし、訪問診療における診療時間と居宅療養管理指導における指導時間を明確に分離できないため、両者の時間を合計した時間数が解答されている可能性がある点に留意が必要である。

図表 ②-5 5 1 回の指導にかかる時間(情報収集等の準備時間)

	合計	5分未満	5分未満 5分	1分未満 1分	1分未満 2分	2分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	274 100.0%	16 5.8%	64 23.4%	53 19.3%	17 6.2%	40 14.6%	84 30.7%	13.5	15.1
病院	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	10.0	4.1
診療所	25 100.0%	2 8.0%	8 32.0%	2 8.0%	0 0.0%	4 16.0%	9 36.0%	10.2	9.5
歯科診療所	241 100.0%	13 5.4%	55 22.8%	49 20.3%	16 6.6%	36 14.9%	72 30.0%	13.9	15.7
その他	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	8.5	9.2

図表 ②-56 1回の指導にかかる時間(実際の指導時間)

	合計	5分未満	未5分未満 10分	分1未0分未満 15	分1未5分未満 20	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	274 100.0%	5 1.8%	6 2.2%	27 9.9%	29 10.6%	130 47.4%	77 28.1%	19.7	8.7
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	18.8	8.5
診療所	25 100.0%	0 0.0%	1 4.0%	1 4.0%	3 12.0%	12 48.0%	8 32.0%	19.1	6.2
歯科診療所	241 100.0%	5 2.1%	5 2.1%	25 10.4%	25 10.4%	115 47.6%	66 27.4%	19.8	9.0
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	26.0	5.7

図表 ②-57 1回の指導にかかる時間(訪問後の帳簿記載)

	合計	5分未満	未5分未満 10分	分1未0分未満 15	分1未5分未満 20	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	274 100.0%	16 5.8%	62 22.6%	63 23.0%	21 7.7%	31 11.3%	81 29.6%	11.0	8.4
病院	6 100.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	6.3	3.9
診療所	25 100.0%	0 0.0%	11 44.0%	2 8.0%	2 8.0%	2 8.0%	8 32.0%	9.1	7.1
歯科診療所	241 100.0%	14 5.8%	49 20.3%	60 24.9%	19 7.9%	29 12.0%	70 29.1%	11.4	8.6
その他	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7.0	7.1

図表 ②-58 1回の指導にかかる時間(他職種への連絡調整時間)

	合計	5分未満	未5分未満 10分	分1未0分未満 15	分1未5分未満 20	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	274 100.0%	25 9.1%	61 22.3%	52 19.0%	11 4.0%	26 9.5%	99 36.1%	9.7	7.9
病院	6 100.0%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	10.0	10.0
診療所	25 100.0%	2 8.0%	5 20.0%	7 28.0%	0 0.0%	1 4.0%	10 40.0%	8.0	4.5
歯科診療所	241 100.0%	22 9.1%	53 22.0%	45 18.7%	11 4.6%	24 10.0%	86 35.6%	9.9	8.2
その他	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	13.5	16.3

ク. 他の職種との連携について

利用者の指導に関して歯科医師が普段相談している職種は「歯科衛生士」が 36.1%で最も多く、次いで「介護職」が 35.8%、「主治医」が 34.7%であった。相談の具体的内容は「口腔内状態」が 60.4%で最も多く、次いで「口腔機能の状態」が 46.9%であった。なお、他職種への相談・情報提供をしない歯科医師にその理由を尋ねたが、該当数は 14 件に留まった。

(ア) 利用者の指導に関して普段相談をしている職種

図表 ②-59 利用者の指導に関して普段相談をしている職種（複数回答）

	合計	主治医	の主治 医師 以外	の主治 歯科医 以外	薬剤師	歯科 衛生 士	訪問 看護 師	保健 師	介護 職	タ ッ フ シ ョ ン リ テ ィ ー	訪 問 リ ハ ビ リ テ ィ ー	臨 床 心 理 士	い 提 相 他 供 談 職 は し 情 種 へ の 報	そ の 他	無 回 答
全体	274 100.0%	95 34.7%	8 2.9%	11 4.0%	6 2.2%	99 36.1%	54 19.7%	9 3.3%	98 35.8%	20 7.3%	0 0.0%	14 5.1%	26 9.5%	75 27.4%	
病院	6 100.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	
診療所	25 100.0%	8 32.0%	2 8.0%	2 8.0%	1 4.0%	11 44.0%	5 20.0%	2 8.0%	9 36.0%	3 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.0%	9 36.0%	
歯科診療所	241 100.0%	85 35.3%	6 2.5%	9 3.7%	4 1.7%	85 35.3%	47 19.5%	7 2.9%	88 36.5%	15 6.2%	0 0.0%	14 5.8%	23 9.5%	63 26.1%	
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

図表 ②-60 利用者の指導に関して普段相談をしている職種（訪問リハビリテーションスタッフ）（複数回答）

	合計	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	言 語 聴 覚 士	無 回 答
全体	20 100.0%	7 35.0%	3 15.0%	11 55.0%	5 25.0%
病院	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%
診療所	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%
歯科診療所	15 100.0%	5 33.3%	1 6.7%	8 53.3%	4 26.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 他職種への相談・情報提供の具体的内容

図表 ②-6 1 他職種への相談・情報提供の具体的内容（複数回答）

	合計	療導居歯 の・宅科 受訪療医 問養師 状歯管による 診指	類宅利 とサ― 用ビして 用頻ス 度居	変持ビ今 更・ス後 の中利用 の提止居 案・頻の 度宅サ―	口腔 内状 態	口腔 機能 の状 態	歯科 管理 計画	改善 目標	活利 上者の 留意 事項 日常 生	その他	無 回 答
全体	260 100.0%	85 32.7%	26 10.0%	34 13.1%	157 60.4%	122 46.9%	72 27.7%	60 23.1%	68 26.2%	1 0.4%	90 34.6%
病院	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	3 50.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%
診療所	25 100.0%	10 40.0%	3 12.0%	4 16.0%	13 52.0%	10 40.0%	4 16.0%	4 16.0%	4 16.0%	0 0.0%	10 40.0%
歯科診療所	227 100.0%	74 32.6%	22 9.7%	27 11.9%	141 62.1%	110 48.5%	67 29.5%	55 24.2%	63 27.8%	1 0.4%	76 33.5%
その他	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

図表 ②-6 2 他職種への相談・情報提供の具体的内容（口腔内状態）（複数回答）

	合計	清掃 の状 況	口腔 乾燥	むし 歯	歯周 疾患	疾口 患腔 軟組 織	状義 況歯 の使 用	の噛 み合 わせ	無 回 答
全体	157 100.0%	108 68.8%	73 46.5%	86 54.8%	94 59.9%	62 39.5%	84 53.5%	63 40.1%	40 25.5%
病院	3 100.0%	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%
診療所	13 100.0%	7 53.8%	5 38.5%	5 38.5%	6 46.2%	4 30.8%	4 30.8%	4 30.8%	5 38.5%
歯科診療所	141 100.0%	98 69.5%	67 47.5%	79 56.0%	86 61.0%	57 40.4%	78 55.3%	57 40.4%	35 24.8%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ②-6 3 他職種への相談・情報提供の具体的内容（口腔機能の状態）（複数回答）

	合計	咀嚼 機能	機摂 能食 ・嚥 下	発音 機能	無 回 答
全体	122 100.0%	69 56.6%	78 63.9%	40 32.8%	31 25.4%
病院	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%
診療所	10 100.0%	6 60.0%	7 70.0%	3 30.0%	3 30.0%
歯科診療所	110 100.0%	62 56.4%	70 63.6%	36 32.7%	27 24.5%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(ウ) 他職種への相談・情報提供をしない理由

図表 ②-6 4 他職種への相談・情報提供をしない理由（複数回答）

	合計	しな自 たいら たとが め判必 断要	断要ジケ しなヤア たい！マ たとがネ め判必	か依他 っ頼職 たが種 たが無 めから	た族利 たが用 め拒者 否し家	そ の 他	無 回 答
全体	14 100.0%	6 42.9%	0 0.0%	7 50.0%	0 0.0%	3 21.4%	0 0.0%
病院	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	14 100.0%	6 42.9%	0 0.0%	7 50.0%	0 0.0%	3 21.4%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

ケ. 他職種との同行訪問の実績

他職種との同行訪問の実績については、「まったくしない」との回答が 22.6%で最も多く、次いで「たまにする」が 21.5%であった。

同行訪問する理由では「自らが必要と判断したため」が 75.6%と最も多く、次いで「他職種から依頼があったため」が 21.5%であった。

(ア) 他の職種との同行訪問の有無

図表 ②-65 他の職種との同行訪問の有無

	合計	るほ ぼ 毎 回 す	る と き ど き す	た ま に す る	な ま い っ た く し	無 回 答
全体	274 100.0%	52 19.0%	24 8.8%	59 21.5%	62 22.6%	77 28.1%
病院	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	3 49.9%
診療所	25 100.0%	5 20.0%	2 8.0%	3 12.0%	6 24.0%	9 36.0%
歯科診療所	241 100.0%	45 18.7%	22 9.1%	55 22.8%	55 22.8%	64 26.6%
その他	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

(イ) 同行訪問をする理由

図表 ②-66 同行訪問をする理由（複数回答）

	合計	た と 自 ら 判 断 が し 必 要	た と 自 ら 判 断 が し 必 要	た と 自 ら 判 断 が し 必 要	た と 自 ら 判 断 が し 必 要	た と 自 ら 判 断 が し 必 要	た と 自 ら 判 断 が し 必 要	無 回 答
全体	135 100.0%	102 75.6%	20 14.8%	29 21.5%	18 13.3%	5 3.7%	5 3.7%	
病院	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
診療所	10 100.0%	7 70.0%	3 30.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	
歯科診療所	122 100.0%	92 75.4%	17 13.9%	26 21.3%	17 13.9%	5 4.1%	4 3.3%	
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

③ 薬剤師票

I 専門職編

ア. 属性

本調査に回答した薬剤師は、保険薬局に所属する者が 90.9%と最も多く、次いで病院が 6.8%であった。

また、薬剤師としての経験年数は 20～30 年未満が 30.7%で最も多く、次いで 10～20 年未満が 29.5%であり、平均で 20.0 年の経験年数であった。このうち、在宅患者訪問薬剤管理指導の経験年数は平均 5.6 年、居宅療養管理指導については 5.4 年であった。

(ア) 所属機関

図表 ③-1 所属機関（複数回答）

全体	病院	診療所	保険薬局	その他	無回答
88 100.0%	6 6.8%	2 2.3%	80 90.9%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 薬剤師としての経験年数

図表 ③-2 薬剤師としての経験年数

	合計	10年未満	年1未満 20	年2未満 30	年3未満 40	40年以上	無回答	平均	標準偏差
全体	88 100.0%	17 19.3%	26 29.5%	27 30.7%	13 14.8%	5 5.7%	0 0.0%	20.0	10.6
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	31.3	11.4
診療所	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	19.0	14.1
保険薬局	80 100.0%	16 20.0%	26 32.4%	22 27.5%	13 16.3%	3 3.8%	0 0.0%	19.2	10.1
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

(ウ) 在宅患者訪問薬剤管理指導の経験年数

図表 ③-3 在宅患者訪問薬剤管理指導の経験年数

	合計	0年	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	6年以上	無回答	平均	標準偏差
全体	88 100.0%	18 20.5%	13 14.8%	10 11.4%	22 24.8%	10 11.4%	8 9.1%	0 0.0%	7 8.0%	5.6	5.4
病院	6 100.0%	1 16.5%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	5.4	6.7
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	11.5	7.8
保険薬局	80 100.0%	17 21.3%	12 15.0%	9 11.3%	20 24.9%	10 12.5%	6 7.5%	0 0.0%	6 7.5%	5.5	5.3
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

(エ) 居宅療養管理指導の経験年数

図表 ③-4 居宅療養管理指導の経験年数

	合計	0年	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	6年以上	無回答	平均	標準偏差
全体	88 100.0%	11 12.5%	18 20.5%	14 15.9%	25 28.4%	12 13.6%	5 5.7%	0 0.0%	3 3.4%	5.4	4.7
病院	6 100.0%	1 16.5%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	5.4	6.7
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10.0	5.7
保険薬局	80 100.0%	10 12.5%	17 21.3%	13 16.3%	23 28.6%	11 13.8%	4 5.0%	0 0.0%	2 2.5%	5.3	4.5
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

イ. 居宅療養管理指導について

2013年12月の1ヶ月間に訪問薬剤管理指導、居宅療養管理指導等で訪問を実施した人数は平均22.3人、うち、居宅療養管理指導を算定している人数は21.2人であった。同様に2013年12月1ヶ月間の訪問回数をみると、58.0回であり、うち居宅療養管理指導を算定している訪問回数は50.4回であった。

(ア) 2013年12月に訪問した人数

図表 ③-5 2013年12月に訪問した人数

	合計	0人	未1 満1 0人	未1 満3 0人	未3 満5 0人	未5 満0 人	未1 満0 人	無 回 答	平 均	標 準 偏 差
全体	88 100.0%	9 10.2%	34 38.7%	26 29.5%	7 8.0%	4 4.5%	6 6.8%	2 2.3%	22.3	37.5
病院	6 100.0%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	18.0	29.1
診療所	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13.0	9.9
保険薬局	80 100.0%	7 8.8%	32 39.8%	23 28.8%	7 8.8%	3 3.8%	6 7.5%	2 2.5%	22.9	38.7
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

図表 ③-6 うち居宅療養管理指導を算定している人数

	合計	0人	未1 満1 0人	未1 満3 0人	未3 満5 0人	未5 満0 人	未1 満0 人	無 回 答	平 均	標 準 偏 差
全体	88 100.0%	7 8.0%	31 35.2%	22 25.0%	8 9.1%	5 5.7%	4 4.5%	11 12.5%	21.2	35.3
病院	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.2%	17.8	28.5
診療所	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13.0	9.9
保険薬局	80 100.0%	6 7.5%	29 36.2%	20 25.0%	8 10.0%	4 5.0%	4 5.0%	9 11.3%	21.6	36.2
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

(イ) 2013年12月に訪問した回数

図表 ③-7 2013年12月に訪問した回数

	合計	0回	未1 満5 1 0 回	回1 未0 満5 3 0	回3 未0 満5 5 0	満15 00 05 回 未	満21 00 00 回 未	上2 0 0 回 以	無 回 答	平 均	標 準 偏 差
全体	88 100.0%	7 8.0%	29 32.9%	18 20.5%	11 12.5%	11 12.5%	2 2.3%	6 6.8%	4 4.5%	58.0	153.2
病院	6 100.0%	1 16.5%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	27.0	32.9
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	21.5	9.2
保険薬局	80 100.0%	6 7.5%	28 34.9%	15 18.8%	10 12.5%	10 12.5%	2 2.5%	6 7.5%	3 3.8%	60.9	159.6
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

図表 ③-8 うち居宅療養管理指導を算定した回数

	合計	0回	未1 満5 1 0 回	回1 未0 満5 3 0	回3 未0 満5 5 0	満15 00 05 回 未	満21 00 00 回 未	上2 0 0 回 以	無 回 答	平 均	標 準 偏 差
全体	88 100.0%	7 8.0%	27 30.6%	18 20.5%	13 14.8%	8 9.1%	1 1.1%	5 5.7%	9 10.2%	50.4	143.7
病院	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.2%	19.5	28.1
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20.0	11.3
保険薬局	80 100.0%	6 7.5%	26 32.2%	15 18.8%	13 16.3%	7 8.8%	1 1.3%	5 6.3%	7 8.8%	52.9	149.2
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

ウ. 居宅療養管理指導を実施する上での困難点

居宅療養管理指導を実施する上での困難点については、「利用者・家族が居宅管理指導の金銭負担に拒否感を示す」が30.7%と最も多く、次いで「利用者・家族から服薬コンプライアンスの重要性への理解が得られない」(22.7%)、「家族の協力が得られない」(21.6%)が続いた。

図表 ③-9 居宅療養管理指導を実施する上での困難点（複数回答）

	合計	利用者・家族に指導内容を理解してもらえない	訪問看護士・介護士に指導内容を理解してもらえない	必要性への理解が得られない	利用者・家族から服薬コンプライアンスの重要性への理解が得られない	スラフ薬性への理解が得られない	訪問看護師・介護士に拒否感を示す	利用者に家族が薬剤に拒否感を示す	利用者・家族が居宅管理指導の金銭負担に拒否感を示す	利用者の家族が服薬補助具を支払えない	ケアマネジャーとの連携がうまく取れない
全体	88 100.0%	11 12.5%	1 1.1%	20 22.7%	3 3.4%	16 18.2%	27 30.7%	2 2.3%	7 8.0%		
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%		
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%		
保険薬局	80 100.0%	11 13.8%	1 1.3%	19 23.8%	3 3.8%	14 17.5%	25 31.3%	2 2.5%	7 8.8%		
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
	がその他の職種との連携	いい家族の協力が得られず、忙しい	変利用者の長年の習慣を	き指忙しなくて居宅に療養管理しきれない	が高められるケアの水	必専門外の知識・技術が	がその他の職種との連携	無回答			
全体	14 15.9%	19 21.6%	16 18.2%	13 14.8%	1 1.1%	16 18.2%	6 6.8%	12 13.6%			
病院	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%			
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%			
保険薬局	14 17.5%	18 22.5%	15 18.8%	13 16.3%	1 1.3%	13 16.3%	4 5.0%	10 12.5%			
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%			

エ. 居宅療養管理指導について

居宅療養管理指導を実施する上で、他職種と連携する際の困難点については、「多職種が顔を合わせる機会が少ない」が 46.6%と最も多く、次いで「退院時カンファレンスに呼ばれない」が 27.3%と続いた。

また、訪問の際の他職種同行訪問の希望については、62.5%が「はい」を選択した。

(ア) 居宅療養管理指導で他職種と連携する上での困難点

図表 ③-10 居宅療養管理指導で他職種と連携する上での困難点（複数回答）

	合計	医師を 認識して いない	ケアマネ ジャーが いない	訪問看護 士が いない	介護士 がいない	その他の 職種が いない	医師が 煩雑な 情報提供 をしない	ケアマネ ジャーが 煩雑な 情報提供 をしない	その他の 職種が 煩雑な 情報提供 をしない	医師に どの 情報も 提供 しない	ケアマネ ジャーに どの 情報も 提供 しない	その他の 職種に どの 情報も 提供 しない
全体	88 100.0%	4 4.5%	2 2.3%	4 4.5%	1 1.1%	15 17.0%	23 26.1%	8 9.1%	5 5.7%	11 12.5%	6 6.8%	
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
保険薬局	80 100.0%	4 5.0%	2 2.5%	4 5.0%	1 1.3%	14 17.5%	22 27.5%	7 8.8%	5 6.3%	10 12.5%	6 7.5%	
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	ス退 院に 呼ば れな い	ス退 院に 呼ば れな い	にサ ービ ス担 当者 が ない	きに サ ービ ス担 当者 が ない	る多 職種 が 顔を あ わせ ない	き多 職種 が 顔を あ わせ ない	な指 導の 情報 が 明 確 で ない	とそ も 思 わ な い	そ の 他	無 回 答		
全体	24 27.3%	13 14.8%	15 17.0%	9 10.2%	41 46.6%	15 17.0%	9 10.2%	1 1.1%	4 4.5%	13 14.8%		
病院	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%		
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%		
保険薬局	24 30.0%	13 16.3%	15 18.8%	9 11.3%	39 48.8%	13 16.3%	8 10.0%	1 1.3%	3 3.8%	9 11.3%		
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

(イ) 他職種との同行訪問への意向

図表 ③-11 他職種との同行訪問への意向

	合計	はい	いいえ	無回答
全体	88 100.0%	55 62.5%	28 31.8%	5 5.7%
病院	6 100.0%	2 33.4%	2 33.3%	2 33.3%
診療所	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	51 63.7%	26 32.5%	3 3.8%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

オ. 薬剤師の各職種との同行訪問の希望及び同行訪問時に助言してほしいこと、行って欲しいことについて

薬剤師の他の職種に対する同行訪問の希望と同行訪問時に各職種に助言してほしいこと、実施してほしいと感じていることを以下に対象職種別に整理する。

(ア) 医師

医師に対しては、87.3%の薬剤師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「処方設計の意図の説明」が58.3%と最も多く、次いで「在宅療養全般に関する利用者・家族の希望の把握」(52.1%)、「状態像に応じた服薬判断」(41.7%)と続いた。

図表 ③-12 医師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	55 100.0%	48 87.3%	5 9.1%	2 3.6%
病院	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	51 100.0%	44 86.3%	5 9.8%	2 3.9%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-13 医師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	望者に在 の・関宅 把家す療 握族る養 の利全 希用般	た既 注往 意症 事に 項応 じ	た状 服態 薬像 判に 断応 じ	説導薬 明の剤 必師訪 要性問 の指	図処 の方 説設 明計 の意	策感 染症 予防 対	へ糖 の尿 対病 利 用者	そ の 他	無 回 答
全体	48 100.0%	25 52.1%	17 35.4%	20 41.7%	12 25.0%	28 58.3%	1 2.1%	3 6.3%	2 4.2%	0 0.0%
病院	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
保険薬局	44 100.0%	23 52.3%	16 36.4%	19 43.2%	10 22.7%	27 61.4%	1 2.3%	3 6.8%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 歯科医師

歯科医師に対しては、23.6%の薬剤師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「摂食・嚥下機能訓練・評価」が61.5%と最も多く、次いで「口腔衛生状態の評価」「口腔衛生指導」(30.8%)、「口腔清掃の指導」「糖尿病利用者への対応」「歯科処置による出血・顎骨壊死リスクの説明」(23.1%)と続いた。

図表 ③-14 歯科医師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	55 100.0%	13 23.6%	35 63.7%	7 12.7%
病院	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
保険薬局	51 100.0%	12 23.5%	32 62.8%	7 13.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-15 歯科医師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	口腔衛生状態の評価	口腔衛生指導	口腔清掃の指導	義歯の状態の評価	義歯指導清掃方法	摂食・嚥下機能訓練の評価	糖尿病患者への対応	顎骨壊死の説明	その他	無回答
全体	13 100.0%	4 30.8%	4 30.8%	3 23.1%	1 7.7%	1 7.7%	8 61.5%	3 23.1%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%
病院	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	12 100.0%	3 25.0%	4 33.3%	3 25.0%	1 8.3%	1 8.3%	7 58.3%	3 25.0%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(ウ) 管理栄養士

管理栄養士に対しては、41.8%の薬剤師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「必要な栄養量の算出」が56.5%と最も多く、次いで「栄養補助食品の選択」(43.5%)、「食事形態の提言」「水分・電解質管理の評価」(34.8%)と続いた。

図表 ③-16 管理栄養士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	55 100.0%	23 41.8%	27 49.1%	5 9.1%
病院	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
保険薬局	51 100.0%	22 43.1%	24 47.1%	5 9.8%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-17 管理栄養士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	量必 の要 算な 出栄 養	好利 へ用 の者 対の 応嗜	の品使 決や用 定調す 理る 法食	品栄 の養 選補 択助 食	献立 の提 案	提食 言事 形態 の	価質水 管分 理・電 評解	者糖 への尿 の病利 対応用	そ の 他	無 回 答
全体	23 100.0%	13 56.5%	5 21.7%	4 17.4%	10 43.5%	4 17.4%	8 34.8%	8 34.8%	5 21.7%	0 0.0%	0 0.0%
病院	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	22 100.0%	12 54.5%	5 22.7%	3 13.6%	10 45.5%	4 18.2%	8 36.4%	8 36.4%	5 22.7%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(エ) 歯科衛生士

歯科衛生士に対しては、16.4%の薬剤師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「口腔衛生指導」「口腔清掃の指導」「摂食・嚥下機能訓練・評価」が55.6%と最も多く、次いで「口腔衛生状態の評価」(44.4%)と続いた。

図表 ③-18 歯科衛生士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	55 100.0%	9 16.4%	39 70.9%	7 12.7%
病院	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
保険薬局	51 100.0%	8 15.7%	36 70.6%	7 13.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-19 歯科衛生士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	口腔衛生状態の評価	口腔衛生指導	口腔清掃の指導	義歯の状態の評価	義歯清掃の方法指導	摂食・嚥下機能訓練の評価	糖尿病患者への対応	その他	無回答
全体	9 100.0%	4 44.4%	5 55.6%	5 55.6%	1 11.1%	1 11.1%	5 55.6%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
病院	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	8 100.0%	4 50.0%	4 50.0%	4 50.0%	1 12.5%	1 12.5%	5 62.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(オ) 訪問看護師

訪問看護師に対しては、87.2%の薬剤師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「服薬介助・薬剤使用にかかわる問題点の把握」が75.0%と最も多く、次いで「利用者の療養上の様子の把握」(60.4%)、「利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有」(39.6%)と続いた。

図表 ③-20 訪問看護師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	55 100.0%	48 87.2%	4 7.3%	3 5.5%
病院	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	51 100.0%	45 88.2%	3 5.9%	3 5.9%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-21 訪問看護師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	握上利 の用 様者 子の の療 把養	の利 把用 握者 の嗜 好	望の利 把養者 握上・ の家族	把わ剤服 握る使薬 問用介 題に助 点か・ のか薬	種望の利 間に療用 情関養者 報す上・ 共るの家 有職要族	その他	無 回 答
全体	48 100.0%	29 60.4%	7 14.6%	12 25.0%	36 75.0%	19 39.6%	1 2.1%	0 0.0%
病院	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	45 100.0%	27 60.0%	7 15.6%	12 26.7%	34 75.6%	18 40.0%	1 2.2%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(カ) 介護職

介護職に対しては、81.8%の薬剤師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「服薬状況の確認」が71.1%と最も多く、次いで「利用者の療養上の様子の把握」(48.9%)、「利用者・家族の生活像を踏まえた要望の把握」「利用者・家族の生活上の要望に関する職種間情報共有」(40.0%)と続いた。

図表 ③-22 介護職（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	55 100.0%	45 81.8%	7 12.7%	3 5.5%
病院	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
保険薬局	51 100.0%	43 84.3%	5 9.8%	3 5.9%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-23 介護職（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	握上利 の用 様者 子の 療 把養	の利 把用 握者 の嗜 好	把まの利 握え生用 た活者 要像・ 望を家 の踏族	認服薬 状況の 確	種望の利 間に生用 情関活者 報す上・ 共るの家 有職要族	状の利 況生用 の活者 把・・ 握経家 済族	そ の 他	無 回 答
全体	45 100.0%	22 48.9%	8 17.8%	18 40.0%	32 71.1%	18 40.0%	8 17.8%	0 0.0%	0 0.0%
病院	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	43 100.0%	22 51.2%	8 18.6%	17 39.5%	30 69.8%	17 39.5%	8 18.6%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(キ) 保健師

保健師に対しては、21.8%の薬剤師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目としてが「服薬介助・薬剤使用にかかわる問題点の把握」「利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有」50.0%と最も多く、次いで「利用者の療養上の様子の把握」(41.7%)、「利用者・家族の療養上の要望の把握」(33.3%)と続いた。

図表 ③-24 保健師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	55 100.0%	12 21.8%	35 63.7%	8 14.5%
病院	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
保険薬局	51 100.0%	12 23.5%	32 62.8%	7 13.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-25 保健師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	握上利 の用 様者 子の の療 把養	の利 把用 握者 の嗜 好	望の利 把養者 握上・ の家 要族	把わ剤服 握る使薬 問用介 題に助 点か・ のか薬	種望の利 間に療用 情関養者 報す上・ 共るの家 有職要族	そ の 他	無 回 答
全体	12 100.0%	5 41.7%	1 8.3%	4 33.3%	6 50.0%	6 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
病院	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	12 100.0%	5 41.7%	1 8.3%	4 33.3%	6 50.0%	6 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(ク) 理学療法士

理学療法士に対しては、23.6%の薬剤師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「摂食・嚥下に関連した指導・訓練」が69.2%と最も多く、次いで「麻痺への対応」(53.8%)、「関節拘縮への対応」(46.2%)と続いた。

図表 ③-26 理学療法士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	55 100.0%	13 23.6%	34 61.9%	8 14.5%
病院	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
保険薬局	51 100.0%	12 23.5%	32 62.8%	7 13.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-27 理学療法士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	の関節拘縮への対応	麻痺への対応	ヘルニアへの対応	指に摂食・連・嚥下訓練	運動指導	高吸収能や栄養を養	食事姿勢指導	その他	無回答
全体	13 100.0%	6 46.2%	7 53.8%	2 15.4%	9 69.2%	5 38.5%	5 38.5%	0 0.0%	0 0.0%	
病院	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
保険薬局	12 100.0%	6 50.0%	7 58.3%	2 16.7%	8 66.7%	5 41.7%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%	
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

(ケ) 作業療法士

作業療法士に対しては、20.0%の薬剤師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「摂食・嚥下に関連した指導・訓練」が54.5%と最も多く、次いで「関節拘縮への対応」「食事姿勢指導」(45.5%)、「リンパ浮腫への対応」「食欲や栄養吸収能力を高める身体運動指導」(36.4%)と続いた。

図表 ③-28 作業療法士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	55 100.0%	11 20.0%	36 65.5%	8 14.5%
病院	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
保険薬局	51 100.0%	10 19.6%	34 66.7%	7 13.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-29 作業療法士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	の関節拘縮への対応	麻痺への対応	リンパ浮腫への対応	指に摂食・嚥下に関連した訓練	高吸収能や栄養を高める身体	食事姿勢指導	家族の支え・援助	利用者への支援・動機づけ	その他	無回答
全体	11 100.0%	5 45.5%	3 27.3%	4 36.4%	6 54.5%	4 36.4%	5 45.5%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	
病院	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
保険薬局	10 100.0%	5 50.0%	3 30.0%	4 40.0%	6 60.0%	3 30.0%	5 50.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

(コ) 言語聴覚士

言語聴覚士に対しては、14.5%の薬剤師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「摂食・嚥下訓練」が87.5%と最も多く、次いで「高次脳機能障害の評価」(50.0%)、「言語機能の回復方法指導」(37.5%)と続いた。

図表 ③-30 言語聴覚士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	55 100.0%	8 14.5%	40 72.8%	7 12.7%
病院	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
保険薬局	51 100.0%	8 15.7%	37 72.5%	6 11.8%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-31 言語聴覚士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	高次脳機能障害の評価	高次脳機能障害への対応	言語機能の評価	言語回復方法の指導	代替音声機器の選定	代替音声訓練	摂食・嚥下訓練	その他	無回答
全体	8 100.0%	4 50.0%	2 25.0%	2 25.0%	3 37.5%	0 0.0%	1 12.5%	7 87.5%	0 0.0%	0 0.0%
病院	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	8 100.0%	4 50.0%	2 25.0%	2 25.0%	3 37.5%	0 0.0%	1 12.5%	7 87.5%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(サ) 臨床心理士

臨床心理士に対しては、27.3%の薬剤師が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「不安症状・抑うつ利用者への対応」「認知症の評価」が60.0%と最も多く、次いで「認知症利用者への対応」(53.3%)、「緩和ケアにおける利用者・家族の心のケア」(40.0%)と続いた。

図表 ③-32 臨床心理士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	55 100.0%	15 27.3%	31 56.3%	9 16.4%
病院	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
保険薬局	51 100.0%	14 27.5%	29 56.8%	8 15.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-33 臨床心理士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	不安 症状 評価・ 抑	不安 症状 利用者・ 抑	認知 症の 評価	認知 症利 用者 への 対応	利用者 の関 心す る	症 状に 関 する 検 討	家 族の 心 理 的 的	家 族の 心 理 的 的 的	緩 和 ケ ア に お け る	そ の 他	無 回 答
全体	15 100.0%	5 33.3%	9 60.0%	9 60.0%	8 53.3%	4 26.7%	4 26.7%	6 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
病院	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
保険薬局	14 100.0%	4 28.6%	8 57.1%	9 64.3%	7 50.0%	4 28.6%	4 28.6%	6 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

カ. 居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点について

居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点については、「訪問間隔の制限を緩めてほしい」との回答が44.3%で最も多く、次いで「前回情報提供時から容体に変化が無かった場合のケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい」が37.5%であった。

図表 ③-34 居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点（複数回答）

	合計	に無 しして ても ほし い	医 師・ 菌科 医 師の 指 示が	て医 療保 険で 算定 可能 にし	ほ訪 問回 数の 上限 を 上げ て	ほ訪 問間 隔の 制限 を 緩め て	し算 定単 位数 を増 やして ほ	し指 導開 始から の期間 を 変えて ほ	ほ務 録の あや る情 報提 供を 減ら し 載 て	頻ケ 度を マ ネ へ の情 報 提 供の	手ケ 段を マ ネ へ の情 報 提 供の	前 回情 報 提 供時 から 容 体	そ の 他	無 回 答
全体	88 100.0%	25 28.4%	25 28.4%	17 19.3%	39 44.3%	15 17.0%	3 3.4%	20 22.7%	33 37.5%	20 22.7%	6 6.8%	11 12.5%		
病院	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	3 50.0%		
診療所	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%		
保険薬局	80 100.0%	24 30.0%	23 28.8%	15 18.8%	37 46.3%	15 18.8%	3 3.8%	20 25.0%	29 36.3%	17 21.3%	5 6.3%	8 10.0%		
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

II 利用者編

ア. 属性

本調査に回答した薬剤師が担当する居宅療養管理指導の利用者は、平均年齢 81.4 歳、介護度は要介護 3 が 21.6%を占めた。認知症高齢者の日常生活自立度では「認知症なし」、「無回答」（診断を受けていない利用者が含まれると思われる）以外では「I」「IIb」が 6.8%で最も多かった。

居住状態は「利用者宅で独居」が 39.8%で最も多かった。主な介護者は「ホームヘルパーなど介護サービス」が 37.5%で最も多く、次いで「同居の子または子の配偶者」が 19.3%であった。

(ア) 年齢

図表 ③-35 年齢

	合計	50歳以下	60歳	70歳	80歳	90歳以上	無回答	平均	標準偏差
全体	88 100.0%	1 1.1%	6 6.8%	19 21.6%	39 44.3%	10 11.4%	13 14.8%	81.4	9.2
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	83.3	15.3
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	77.5	9.2
保険薬局	80 100.0%	1 1.3%	6 7.5%	16 20.0%	37 46.1%	9 11.3%	11 13.8%	81.4	8.9
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

(イ) 現在の要介護度・日常生活自立度

図表 ③-36 現在の状態（要介護度）

	合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	88 100.0%	3 3.4%	7 8.0%	8 9.1%	12 13.6%	19 21.6%	9 10.2%	13 14.8%	17 19.3%
病院	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.2%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	3 3.8%	6 7.5%	8 10.0%	12 15.0%	18 22.3%	7 8.8%	11 13.8%	15 18.8%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-37 現在の状態（認知高齢者の日常生活自立度）

	合計	認知症なし	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明	無回答
全体	88	35	6	3	6	2	1	1	0	15	19
	100.0%	39.9%	6.8%	3.4%	6.8%	2.3%	1.1%	1.1%	0.0%	17.0%	21.6%
病院	6	3	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
診療所	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保険薬局	80	32	6	3	5	1	1	0	0	15	17
	100.0%	39.7%	7.5%	3.8%	6.3%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	18.8%	21.3%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(ウ) 現在の居住状態

図表 ③-38 現在の居住状態

	合計	者合（利 あり）戸用 で建者 同・宅 居集	合（利 ）戸用 で建者 独・宅 居集	けきサ 住高 宅齢 ビ者 ス向 付	ホ有 一料 ム老 人	アホグ ハ一ル ウム一 ス・プ ケ	そ の 他	無 回 答
全体	88	31	35	3	4	2	0	13
	100.0%	35.2%	39.8%	3.4%	4.5%	2.3%	0.0%	14.8%
病院	6	3	0	0	1	0	0	2
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%
診療所	2	2	0	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保険薬局	80	26	35	3	3	2	0	11
	100.0%	32.5%	43.6%	3.8%	3.8%	2.5%	0.0%	13.8%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(エ) 主な介護者

図表 ③-39 主な介護者

	合計	者同 居の 配偶	偶た同 者は居 子の子 配ま	他同 親居 族の その	族在別 ・住居 ・親の ・族家 ・近隣	族在別 ・住居 ・親の ・族家 ・遠方	護パホ サ一ム 一なム ビどヘ ス介ル	者主 はた る介 ない 介護	そ の 他	無 回 答
全体	88	14	17	0	6	2	33	3	0	13
	100.0%	15.9%	19.3%	0.0%	6.8%	2.3%	37.5%	3.4%	0.0%	14.8%
病院	6	2	1	0	0	0	1	0	0	2
	100.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%
診療所	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保険薬局	80	10	16	0	6	2	32	3	0	11
	100.0%	12.5%	20.0%	0.0%	7.5%	2.5%	39.9%	3.8%	0.0%	13.8%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

イ. 利用者に対する居宅療養管理指導の指導実績

在宅患者訪問薬剤管理指導の開始時期については「平成 25 年」に開始したとの回答が 18.2%で最も多く、次いで「平成 24 年」が 9.1%であった。

居宅療養管理指導の開始時期についても「平成 25 年」が最も多く 43.2%、次いで「平成 24 年」が 21.6%であった。

(ア) 在宅患者訪問薬剤管理指導を実施したことがある場合、開始した時期

図表 ③-40 在宅患者訪問薬剤管理指導を実施したことがある場合、開始した時期

	合計	以平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	無 回答
全体	88 100.0%	3 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.3%	0 0.0%	8 9.1%	16 18.2%	2 2.3%	57 64.7%
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	3 49.9%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	3 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.5%	0 0.0%	7 8.8%	13 16.3%	1 1.3%	54 67.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 居宅療養管理指導を開始した時期

図表 ③-41 居宅療養管理指導を開始した時期

	合計	以平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	無 回答
全体	88 100.0%	2 2.3%	1 1.1%	1 1.1%	5 5.7%	6 6.8%	19 21.6%	38 43.2%	3 3.4%	13 14.8%
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	2 2.5%	1 1.3%	1 1.3%	5 6.3%	6 7.5%	17 21.3%	35 43.5%	2 2.5%	11 13.8%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

ウ. 居宅療養管理指導の利用に至った理由と経緯

当該利用者が居宅療養管理指導の利用に至った理由については、「薬学的管理の必要性が生じたため」が 39.8%と最も多く、次いで「医療機関からの退院のため」が 28.4%、「身体機能が低下したため」が 23.9%と続いた。

居宅療養管理指導開始の直接的な経緯については、「医師からの指示・依頼による」が 70.5%で最も多く、次いで「ケアマネジャーからの依頼・情報提供による」が 19.3%と続いた。

(ア) 居宅療養管理指導の利用に至った理由

図表 ③-4 2 居宅療養管理指導の利用に至った理由（複数回答）

	合計	退院の医療機関からのため	要介護認定されたため	要介護度が重度化したため	認知症が発症したため	身体機能が低下したため	栄養状態が改善したため	生じたため	医学的・歯学的	薬学的管理のため	ケアマネジャーからの情報提供のため	その他	無回答
全体	88 100.0%	25 28.4%	7 8.0%	1 1.1%	7 8.0%	21 23.9%	1 1.1%	1 1.1%	35 39.8%	3 3.4%	11 12.5%	16 18.2%	
病院	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	
診療所	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	
保険薬局	80 100.0%	24 30.0%	6 7.5%	1 1.3%	7 8.8%	20 25.0%	1 1.3%	1 1.3%	31 38.8%	2 2.5%	10 12.5%	13 16.3%	
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

(イ) 居宅療養管理指導開始の経緯

図表 ③-4 3 居宅療養管理指導開始の経緯（複数回答）

	合計	ケアマネジャーからの情報提供による	ケアマネジャーからの情報提供による	自身の利用者で	他の利用者種別による情報提供	家族利権による	医師・依頼による	歯科医師依頼による	その他	無回答
全体	88 100.0%	17 19.3%	4 4.5%	4 4.5%	0 0.0%	62 70.5%	0 0.0%	6 6.8%	14 15.9%	
病院	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	
診療所	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
保険薬局	80 100.0%	15 18.8%	4 5.0%	2 2.5%	0 0.0%	59 73.8%	0 0.0%	6 7.5%	11 13.8%	
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

エ. 訪問回数について

利用者への訪問開始後1ヶ月間の訪問回数は平均2.5回、直近(2013年12月)1ヶ月では平均5.0回であった。訪問開始から現在までの合計訪問回数は平均49.9回であり、うち、居宅療養管理指導を算定した訪問回数は41.2回であった。

(ア) 訪問開始後1ヶ月間の訪問回数

図表 ③-4 4 訪問開始後1ヶ月間の訪問回数

	合計	0回	満1 ～ 3 回未	満3 ～ 5 回未	未5 ～ 1 0 回	1 0 回 以上	無 回 答	平均	標準 偏差
全体	88 100.0%	0 0.0%	58 66.0%	15 17.0%	3 3.4%	1 1.1%	11 12.5%	2.5	1.5
病院	6 100.0%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	2.0	0.8
診療所	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2.5	2.1
保険薬局	80 100.0%	0 0.0%	54 67.3%	13 16.3%	3 3.8%	1 1.3%	9 11.3%	2.5	1.6
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

(イ) 12月の訪問回数

図表 ③-4 5 12月の訪問回数

	合計	0回	満1 ～ 3 回未	満3 ～ 5 回未	未5 ～ 1 0 回	1 0 回 以上	無 回 答	平均	標準 偏差
全体	88 100.0%	1 1.1%	47 53.4%	13 14.8%	3 3.4%	3 3.4%	21 23.9%	5.0	13.6
病院	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	28.0	45.0
診療所	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1.5	0.7
保険薬局	80 100.0%	1 1.3%	43 53.6%	13 16.3%	3 3.8%	2 2.5%	18 22.5%	4.0	10.3
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

(ウ) 訪問開始から現在までの合計訪問回数

図表 ③-46 訪問開始から現在までの合計訪問回数

	合計	0人	1未満 10人	1人 030	3人 050	5人 000	10人以上	無回答	平均	標準偏差
全体	88 100.0%	0 0.0%	21 23.9%	24 27.2%	7 8.0%	12 13.6%	6 6.8%	18 20.5%	49.9	138.4
病院	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	292.8	571.5
診療所	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16.0	15.6
保険薬局	80 100.0%	0 0.0%	18 22.5%	22 27.4%	7 8.8%	12 15.0%	5 6.3%	16 20.0%	35.8	37.9
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

図表 ③-47 うち居宅療養管理指導を算定した回数

	合計	0人	1未満 10人	1人 030	3人 050	5人 000	10人以上	無回答	平均	標準偏差
全体	88 100.0%	0 0.0%	20 22.7%	28 31.8%	8 9.1%	8 9.1%	5 5.7%	19 21.6%	41.2	111.3
病院	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	311.0	527.4
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	24.0	1.4
保険薬局	80 100.0%	0 0.0%	18 22.5%	26 32.5%	8 10.0%	8 10.0%	4 5.0%	16 20.0%	29.1	30.3
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

オ. 利用者に対する居宅療養管理指導の指導実績

ケアマネジャーへの情報提供の主な手段は「FAX」が 48.9%で最も多く、次いで「文書（手渡し）」が 23.9%であった。情報提供に際しての具体的な内容は「処方薬の服薬状況」が 83.0%で最も多かった。「薬剤の管理状況」の内訳は「飲み忘れ」に関する情報提供が最も多く 65.7%であった。

(ア) ケアマネジャーへの情報提供の主な手段

図表 ③-48 ケアマネジャーへの情報提供の主な手段（複数回答）

	合計	当サ ー 会 議 担	し文 書 （ 手 渡	メ ー ル	F A X	口 頭	電 話	そ の 他	無 回 答
全体	88 100.0%	2 2.3%	21 23.9%	1 1.1%	43 48.9%	7 8.0%	17 19.3%	11 12.5%	13 14.8%
病院	6 100.0%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	2 2.5%	16 20.0%	1 1.3%	42 52.5%	6 7.5%	17 21.3%	11 13.8%	11 13.8%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容

図表 ③-49 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（複数回答）

	合計	状 況 方 薬 の 服 用	状 康 併 用 食 品 薬 の 品 服 ・ 用 健	無 他 科 受 診 の 有	況 薬 剤 の 管 理 状	食 事 状 況	排 泄	睡 眠	運 動	い 習 慣 方 の 食 容 と 違 食
全体	88 100.0%	73 83.0%	48 54.5%	46 52.3%	70 79.5%	38 43.2%	44 50.0%	34 38.6%	35 39.8%	7 8.0%
病院	6 100.0%	4 66.7%	1 16.7%	1 16.7%	4 66.7%	3 50.0%	3 50.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%
診療所	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	67 83.8%	46 57.5%	44 55.0%	64 80.0%	34 42.5%	39 48.8%	30 37.5%	33 41.3%	6 7.5%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	処 方 薬 の 効 果	作 副 用 の 用 有 ・ 無 相 互	の 指 理 導 度 助 言 へ	い 認 知 症 の 度 合	A D L	Q O L	の 主 状 た る 介 護 者	事 に 当 日 項 対 す 常 訪 る 介 問 依 護 を 頼 職 担	そ の 他	無 回 答
全体	35 39.8%	54 61.4%	21 23.9%	6 6.8%	9 10.2%	7 8.0%	16 18.2%	25 28.4%	0 0.0%	13 14.8%
病院	2 33.3%	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	2 33.3%
診療所	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	32 40.0%	48 60.0%	18 22.5%	6 7.5%	9 11.3%	7 8.8%	14 17.5%	21 26.3%	0 0.0%	11 13.8%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-5 0 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（薬剤の管理状況）（複数回答）

	合計	保管状況	薬剤の重複	飲み忘れ	残った飲みめに飲み	飲みすぎ	無回答
全体	70 100.0%	44 62.9%	17 24.3%	46 65.7%	12 17.1%	19 27.1%	9 12.9%
病院	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
保険薬局	64 100.0%	40 62.5%	14 21.9%	43 67.2%	11 17.2%	18 28.1%	9 14.1%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-5 1 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（食事状況）（複数回答）

	合計	食欲	食事量・回数	味覚	嚥下障害	副作用の影響	無回答
全体	38 100.0%	27 71.1%	10 26.3%	5 13.2%	11 28.9%	10 26.3%	1 2.6%
病院	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
診療所	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	34 100.0%	24 70.6%	9 26.5%	5 14.7%	11 32.4%	8 23.5%	1 2.9%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-5 2 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（排泄）（複数回答）

	合計	排尿回数	便秘	発汗	副作用の影響	無回答
全体	44 100.0%	20 45.5%	38 86.4%	2 4.5%	13 29.5%	0 0.0%
病院	3 100.0%	2 66.7%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	39 100.0%	18 46.2%	33 84.6%	2 5.1%	13 33.3%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-5 3 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（睡眠）（複数回答）

	合計	睡眠時間	服用睡眠時間導入剤	服用睡眠後導入環境剤	の睡眠効果導入判定剤	副作用の影響	無回答
全体	34 100.0%	17 50.0%	4 11.8%	7 20.6%	14 41.2%	14 41.2%	1 2.9%
病院	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
保険薬局	30 100.0%	17 56.7%	4 13.3%	6 20.0%	13 43.3%	12 40.0%	1 3.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-5 4 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（睡眠時間）

	合計	昼間	夜間	無回答
全体	17 100.0%	0 0.0%	4 23.5%	13 76.5%
病院	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	17 100.0%	0 0.0%	4 23.5%	13 76.5%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-5 5 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（運動）（複数回答）

	合計	等不ふの随ら問題運き動・	薬剤の影響	無回答
全体	35 100.0%	20 57.1%	21 60.0%	4 11.4%
病院	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
診療所	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%
保険薬局	33 100.0%	19 57.6%	19 57.6%	4 12.1%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-5 6 ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容（日常訪問を担当する介護職に対する依頼事項）（複数回答）

	合計	関服する薬の介助事項に	項にラ服関イ薬するコンスプ	報い副告て作依の用頼状に況つ	無回答
全体	25 100.0%	11 44.0%	17 68.0%	10 40.0%	0 0.0%
病院	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
診療所	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	21 100.0%	11 52.4%	15 71.4%	8 38.1%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

カ. 医師・歯科医師への情報提供

医師・歯科医師への情報提供については、「文書（手渡し）」が 58.0%と最も多く、次いで「FAX」が 21.6%であった。利用者・家族への情報提供の具体的な内容は「処方薬の服用状況」「薬剤の管理状況」が 80.7%で最も多く、次いで「副作用・相互作用の有無」が 69.3%であった。

（ア）医師・歯科医師への情報提供の主な手段

図表 ③-5 7 医師・歯科医師への情報提供の主な手段（複数回答）

	合計	口頭	し文書（手渡し）	メール	FAX	電話	その他	無回答
全体	88 100.0%	16 18.2%	51 58.0%	2 2.3%	19 21.6%	16 18.2%	5 5.7%	11 12.5%
病院	6 100.0%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%
診療所	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	13 16.3%	47 58.8%	2 2.5%	18 22.5%	16 20.0%	3 3.8%	9 11.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 医師・歯科医師への情報提供の具体的な内容

図表 ③-58 医師・歯科医師への情報提供の具体的な内容（複数回答）

	合計	処方薬の服用	併用薬品の服用	他科受診の有	薬剤の管理状況	食事状況	排泄	睡眠	運動	処方薬の内容と違い
全体	88 100.0%	71 80.7%	47 53.4%	49 55.7%	71 80.7%	38 43.2%	48 54.5%	37 42.0%	33 37.5%	10 11.4%
病院	6 100.0%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	4 66.7%	2 33.3%	3 50.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%
診療所	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	66 82.5%	46 57.5%	47 58.8%	65 81.3%	35 43.8%	43 53.8%	33 41.3%	31 38.8%	9 11.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	処方薬の効果	副作用の有・無	の指導・助言への理解度	い認知症の度合い	A D L	Q O L	の主たる状況たる介護者	しに当日 た対する 事項を 依頼を 頼職を担	その他	無回答
全体	40 45.5%	61 69.3%	19 21.6%	5 5.7%	11 12.5%	7 8.0%	13 14.8%	22 25.0%	2 2.3%	11 12.5%
病院	2 33.3%	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%
診療所	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	37 46.3%	55 68.8%	17 21.3%	5 6.3%	11 13.8%	7 8.8%	11 13.8%	20 25.0%	2 2.5%	9 11.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-59 医師・歯科医師への情報提供の具体的な内容（薬剤の管理状況）（複数回答）

	合計	保管状況	薬剤の重複	飲み忘れ	残った飲みものに飲み	飲みすぎ	無回答
全体	71 100.0%	45 63.4%	23 32.4%	51 71.8%	18 25.4%	21 29.6%	8 11.3%
病院	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
保険薬局	65 100.0%	41 63.1%	20 30.8%	47 72.3%	17 26.2%	20 30.8%	8 12.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-6 0 医師・歯科医師への情報提供の具体的な内容（食事状況）（複数回答）

	合計	食欲	食事量・回数	味覚	嚥下障害	副作用の影響	無回答
全体	38 100.0%	26 68.4%	9 23.7%	4 10.5%	12 31.6%	11 28.9%	2 5.3%
病院	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
診療所	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	35 100.0%	24 68.6%	8 22.9%	4 11.4%	12 34.3%	10 28.6%	2 5.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-6 1 医師・歯科医師への情報提供の具体的な内容（排泄）（複数回答）

	合計	排尿回数	便秘	発汗	副作用の影響	無回答
全体	48 100.0%	17 35.4%	43 89.6%	1 2.1%	11 22.9%	2 4.2%
病院	3 100.0%	2 66.7%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	43 100.0%	15 34.9%	38 88.4%	1 2.3%	11 25.6%	2 4.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-6 2 医師・歯科医師への情報提供の具体的な内容（睡眠）（複数回答）

	合計	睡眠時間	服用睡眠時間導入剤	服用睡眠後導入環境剤	の睡眠効果導入判定剤	副作用の影響	無回答
全体	37 100.0%	19 51.4%	2 5.4%	7 18.9%	13 35.1%	13 35.1%	1 2.7%
病院	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
保険薬局	33 100.0%	19 57.6%	2 6.1%	6 18.2%	12 36.4%	11 33.3%	1 3.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-6 3 医師・歯科医師への情報提供の具体的な内容（睡眠時間）

	合計	昼間	夜間	無回答
全体	19 100.0%	0 0.0%	6 31.6%	13 68.4%
病院	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	19 100.0%	0 0.0%	6 31.6%	13 68.4%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-6 4 医師・歯科医師への情報提供の具体的な内容（運動）（複数回答）

	合計	等不 の随 の意 問 題 運 動・	薬 剤 の 影 響	無 回 答
全体	33 100.0%	19 57.6%	17 51.5%	2 6.1%
病院	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
診療所	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%
保険薬局	31 100.0%	18 58.1%	15 48.4%	2 6.5%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-6 5 医師・歯科医師への情報提供の具体的な内容（日常訪問を担当する介護職に対する依頼事項）（複数回答）

	合計	関 服 す 薬 の 介 助 事 項 に	項 に ラ 服 関 イ 薬 す ア コ ン 事 ス プ	報 い 副 告 て 作 依 の 用 頼 状 に 況 つ	無 回 答
全体	22 100.0%	11 50.0%	14 63.6%	8 36.4%	1 4.5%
病院	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	20 100.0%	11 55.0%	13 65.0%	7 35.0%	1 5.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

キ. 薬剤師による報告・提案に関する状況

薬剤師による報告・提案に関する状況については、「関係職種によって報告・提案について協議のうえ、実施された」が48.9%と最も多く、次いで「報告・提案はしていない（必要なかった）」が22.7%であった。

図表 ③-66 薬剤師による報告・提案に関する状況

	合計	えつて関 、い報係 実て告職 施協・種 さ議提に れの案よ たうにつ	た反が報 映、告 さ協・提 れ議な か上し つ、た	なて報 かい告 つな・提 たい案 ～（必 は要し	無 回 答
全体	88 100.0%	43 48.9%	8 9.1%	20 22.7%	17 19.3%
病院	6 100.0%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%
診療所	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	38 47.4%	8 10.0%	19 23.8%	15 18.8%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

ク. 薬学的管理指導計画の変更の頻度

薬学的管理指導計画の変更の頻度については、「必要に応じて実施するため頻度は決まっていな
い」が44.4%と最も多く、次いで「1～2ヶ月に1回」が35.2%であった。

図表 ③-67 薬学的管理指導計画の変更の頻度

	合計	1 1 回、 2 ヶ 月 に	1 3 回、 4 ヶ 月 に	1 5 回、 6 ヶ 月 に	そ れ 以 下	て頻実必 い施要 なはずに い決る応 またじ つめて	無 回 答
全体	88 100.0%	31 35.2%	3 3.4%	2 2.3%	1 1.1%	39 44.4%	12 13.6%
病院	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	2 33.3%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
保険薬局	80 100.0%	30 37.5%	3 3.8%	1 1.3%	1 1.3%	36 44.8%	9 11.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

ケ. 利用者・家族への情報提供

利用者・家族への情報提供については、「口頭」が77.3%と最も多く、次いで「文書（手渡し）」が25.0%であった。利用者・家族への情報提供の具体的内容は「一包化調剤の実施」が73.9%で最も多く、次いで「薬剤の内容説明」が62.5%であった。

（ア）利用者や家族への指導・助言の主な手段

図表 ③-68 利用者や家族への指導・助言の主な手段（複数回答）

	合計	口頭	し文書 （手渡）	電話	F A X	メ ー ル	そ の 他	無 回 答
全体	88 100.0%	68 77.3%	22 25.0%	18 20.5%	2 2.3%	0 0.0%	2 2.3%	11 12.5%
病院	6 100.0%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%
診療所	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	63 78.8%	19 23.8%	18 22.5%	1 1.3%	0 0.0%	2 2.5%	9 11.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

（イ）利用者や家族への指導・助言の具体的な内容

図表 ③-69 利用者や家族への指導・助言の具体的な内容（複数回答）

	合計	方薬 法剤 保管 の	服 薬 方 法	説薬 明剤 の 内 容	導報る薬 提た識 供めを ・の高 指情め	用ツ服 ー薬 ル支 の援 利	嚥 下 の 補 助	の 一 実 包 施 化 調 剤	そ の 他	無 回 答
全体	88 100.0%	43 48.9%	48 54.5%	55 62.5%	28 31.8%	52 59.1%	20 22.7%	65 73.9%	4 4.5%	15 17.0%
病院	6 100.0%	2 33.3%	4 66.7%	4 66.7%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	4 66.7%	0 0.0%	2 33.3%
診療所	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	39 48.8%	43 53.8%	49 61.3%	25 31.3%	48 60.0%	19 23.8%	59 73.8%	4 5.0%	13 16.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-7 0 利用者や家族への指導・助言の具体的な内容（服薬支援ツールの利用）（複数回答）

	合計	お薬手帳	服薬カレンダー	薬整理箱	その他	無回答
全体	52 100.0%	33 63.5%	39 75.0%	18 34.6%	0 0.0%	0 0.0%
病院	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	48 100.0%	29 60.4%	38 79.2%	17 35.4%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-7 1 利用者や家族への指導・助言の具体的な内容（嚥下の補助）（複数回答）

	合計	実粉 施砕 調剤 の	の簡 易 施懸 濁法	実剤 施形 変更 の	錠 剤 の カ ツ 用	用ラ ブゼ ーの リ ト オ ー の ブ タ 活 イ	そ の 他	無 回 答
全体	20 100.0%	13 65.0%	3 15.0%	10 50.0%	2 10.0%	9 45.0%	0 0.0%	3 15.0%
病院	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	19 100.0%	12 63.2%	3 15.8%	10 52.6%	2 10.5%	9 47.4%	0 0.0%	3 15.8%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

コ. 一回あたりの指導時間

居宅療養管理指導一回あたりに要する時間については、「情報収集等の準備時間」に平均 14.9 分、「実際の指導時間」に平均 18.0 分、「訪問後の帳簿記載」に平均 16.3 分、「他職種への連絡調整」に平均 10.9 分を要するとの回答が得られた。ただし、他の機会での訪問時間と居宅療養管理指導における指導時間を明確に分離できないため、両者の時間を合計した時間数が回答されている可能性がある点に留意が必要である。

図表 ③-72 1回の指導にかかる時間(情報収集等の準備時間)

	合計	5分未満	5分未満 10分	10分未満 15分	15分未満 20分	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	88 100.0%	1 1.1%	9 10.2%	29 33.0%	12 13.6%	21 23.9%	16 18.2%	14.9	9.4
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	11.3	2.5
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	16.5	4.9
保険薬局	80 100.0%	1 1.3%	9 11.3%	25 31.1%	11 13.8%	20 25.0%	14 17.5%	15.0	9.8
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

図表 ③-73 1回の指導にかかる時間(実際の指導時間)

	合計	5分未満	5分未満 10分	10分未満 15分	15分未満 20分	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	88 100.0%	2 2.3%	7 8.0%	18 20.5%	16 18.2%	33 37.4%	12 13.6%	18.0	11.0
病院	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	12.5	11.9
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	26.5	4.9
保険薬局	80 100.0%	2 2.5%	5 6.3%	17 21.3%	16 20.0%	30 37.4%	10 12.5%	18.1	11.0
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

図表 ③-7 4 1回の指導にかかる時間(訪問後の帳簿記載)

	合計	5分未満	5分未満 10分	1分未満 15	1分未満 20	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	88 100.0%	0 0.0%	10 11.4%	23 26.1%	15 17.0%	27 30.7%	13 14.8%	16.3	9.9
病院	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%	11.3	4.8
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	20.0	14.1
保険薬局	80 100.0%	0 0.0%	9 11.3%	21 26.3%	13 16.3%	26 32.3%	11 13.8%	16.4	10.0
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

図表 ③-7 5 1回の指導にかかる時間(他職種への連絡調整時間)

	合計	5分未満	5分未満 10分	1分未満 15	1分未満 20	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	88 100.0%	2 2.3%	22 25.0%	30 34.0%	7 8.0%	9 10.2%	18 20.5%	10.9	7.1
病院	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	8.8	2.5
診療所	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	14.0	8.5
保険薬局	80 100.0%	2 2.5%	20 25.0%	27 33.7%	7 8.8%	8 10.0%	16 20.0%	10.9	7.3
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

サ. 利用者への確認

利用者の要介護度の確認については、「たまにしている」が52.2%で最も多く、「よくしている」が23.9%であった。

利用者の疾患の確認については、「たまにしている」が50.0%で最も多く、「よくしている」が30.7%であった。

利用者のほかの介護サービス利用の確認については、「たまにしている」が47.7%で最も多く、「よくしている」が20.5%であった。

図表 ③-76 利用者の要介護度の確認

	合計	よく してい	いた まに して	して いな い	無 回 答
全体	88 100.0%	21 23.9%	46 52.2%	10 11.4%	11 12.5%
病院	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%
診療所	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	18 22.5%	45 56.2%	8 10.0%	9 11.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-77 利用者の疾患の確認

	合計	よく してい	いた まに して	して いな い	無 回 答
全体	88 100.0%	27 30.7%	44 50.0%	6 6.8%	11 12.5%
病院	6 100.0%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	2 33.3%
診療所	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	25 31.3%	40 49.9%	6 7.5%	9 11.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-78 利用者のほかの介護サービス利用状況の確認

	合計	るよくして いて	いたまに して	して いない	無 回 答
全体	88 100.0%	18 20.5%	42 47.7%	16 18.2%	12 13.6%
病院	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%
診療所	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	17 21.3%	40 49.9%	13 16.3%	10 12.5%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

シ. 要介護認定後の在宅緊急訪問指導の実施経験の有無

要介護認定後の在宅緊急訪問指導の実施経験の有無については、62.5%が「ない」を選択した。

図表 ③-79 要介護認定後の在宅緊急訪問指導の実施経験の有無

	合計	あ る	な い	無 回 答
全体	88 100.0%	19 21.6%	55 62.5%	14 15.9%
病院	6 100.0%	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	18 22.5%	50 62.5%	12 15.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

ス. 他の職種との連携について

利用者の指導に関して薬剤師が普段相談している職種は「主治医」が71.6%で最も多く、次いで「訪問看護師」が38.6%、「介護職」が26.1%であった。

図表 ③-80 利用者の指導に関して普段相談をしている職種（複数回答）

	合計	主治医	主治 歯科 医	の主治 医師 以外	の主治 科医 以外	管理 栄養 士	歯科 衛生 士	訪問 看護 師	保健 師	介護 職	タ ン ジ ッ ヨ ン リ ハ ス テ ィ	訪 問 リ ハ リ ス テ ィ	臨 床 心 理 士	い 提 供 は し な 報 の	他 職 種 へ の 情 報	そ の 他	無 回 答
全体	88 100.0%	63 71.6%	0 0.0%	2 2.3%	1 1.1%	2 2.3%	0 0.0%	34 38.6%	0 0.0%	23 26.1%	3 3.4%	0 0.0%	1 1.1%	11 12.5%	13 14.8%		
病院	6 100.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%		
診療所	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
保険薬局	80 100.0%	58 72.5%	0 0.0%	2 2.5%	1 1.3%	2 2.5%	0 0.0%	30 37.5%	0 0.0%	23 28.8%	2 2.5%	0 0.0%	1 1.3%	9 11.3%	11 13.8%		
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

セ. 他職種との同行訪問の実績

他職種との同行訪問の実績については、「まったくしない」との回答が51.5%で最も多く、次いで「たまにする」が21.6%であった。

同行訪問する理由では「自らが必要と判断したため」が53.1%と最も多く、次いで「他職種から依頼があったため」が28.1%であった。

よく同行する職種では、「主治医」が53.1%と最も多く、次いで「訪問看護師」が46.9%、「介護職」が31.3%であった。

(ア) 他の職種との同行訪問の有無

図表 ③-81 他の職種との同行訪問の有無

	合計	る ほ ぼ 毎 回 す	る と き ど き す	た ま に す る	な ま い つ た く し	無 回 答
全体	88 100.0%	6 6.8%	7 8.0%	19 21.6%	45 51.1%	11 12.5%
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%
診療所	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	6 7.5%	7 8.8%	14 17.5%	44 54.9%	9 11.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 同行訪問をする理由

図表 ③-82 同行訪問をする理由 (複数回答)

	合計	必要と した ため	主治 科医 断が 主	主治 科医 断が 主	必要 と 判 断 が 主	ケ ア マ ナ シ	自 ら 断 が 必 要	他 種 あ ら う	依 頼 あ ら う	た ま あ ら う	望 め あ ら う	族 か ら あ ら う	利 用 者 の 要 求	そ の 他	無 回 答
全体	32 100.0%	8 25.0%	3 9.4%	17 53.1%	9 28.1%	1 3.1%	2 6.3%	1 3.1%							
病院	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%							
診療所	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%							
保険薬局	27 100.0%	7 25.9%	2 7.4%	15 55.6%	8 29.6%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%							
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%							

(ウ) よく同行する職種

図表 ③-83 よく同行する職種 (複数回答)

	合計	主治 医	主治 歯科 医	の 主治 医 以 外	の 主治 科 医 以 外	管 理 栄 養 士	歯 科 衛 生 士	訪 問 看 護 師	保 健 師	介 護 職	タ ッ プ ス リ ハ ー	訪 問 リ ハ ー	臨 床 心 理 士	そ の 他	無 回 答
全体	32 100.0%	17 53.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 46.9%	0 0.0%	10 31.3%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	5 15.6%	0 0.0%
病院	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	27 100.0%	15 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 44.4%	0 0.0%	10 37.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 11.1%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

ソ. サポート薬局（緊急時等に代わりに居宅療養管理指導を実施できる提携薬局）について

サポート薬局との情報共有については、「すべての患者に対してサポート薬局は使用していない」が63.6%で最も多く、「提携しているサポート薬局はあるが、当該患者は対象としていない」が13.6%であった。

情報共有している場合、情報共有の主な手段については、「口頭」「文書（手渡し）」「メール」がいずれも50.0%であった。

提携しているサポート薬局はあるが、当該患者は対象としていない場合、その理由については、「人手が足りており、必要性を感じない」が66.7%で最も多かった。

すべての患者に対してサポート薬局は使用していない場合、サポート薬局がない理由については、「人手が足りており、必要性を感じない」が46.4%で最も多く、次いで「情報共有や報告に手間がかかる」が37.5%であった。

図表 ③-8 4 当該利用者についてサポート薬局との情報共有

	合計	いりポ提 る、携 情トし 報薬て 共有が しあ せて	象がポ提 と、携 し当トし て該薬 い患者は ないはあ いはあ 対る	はしす 使てべ 用せて しポの てー患 いト者 な薬に い局対	度サ をポ 知ら ない 薬局 の制	無 回 答
全体	88 100.0%	2 2.3%	12 13.6%	56 63.6%	5 5.7%	13 14.8%
病院	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	3 50.0%
診療所	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	80 100.0%	1 1.3%	12 15.0%	54 67.4%	3 3.8%	10 12.5%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-8 5 情報共有している場合、情報共有の主な手段（複数回答）

	合計	口 頭	し文 書 （手 渡 ）	メ ー ル	F A X	電 話	そ の 他	無 回 答
全体	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
病院	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ③-86 提携しているサポート薬局はあるが、当該患者は対象としていない場合、当該患者を対象としていない理由（複数回答）

	合計	算定の煩雑	情報共有のやり取り	必要な手続き	人手が足りない	家族利用拒否	その他	無回答
全体	12 100.0%	1 8.3%	1 8.3%	8 66.7%	1 8.3%	2 16.7%	1 8.3%	
病院	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
診療所	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
保険薬局	12 100.0%	1 8.3%	1 8.3%	8 66.7%	1 8.3%	2 16.7%	1 8.3%	
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

図表 ③-87 すべての患者に対してサポート薬局は使用していない場合、サポート薬局がない理由（複数回答）

	合計	地域に他居宅	責任の相手が引	算定の煩雑	情報共有の報告	人手が足りない	その他	無回答
全体	56 100.0%	6 10.7%	8 14.3%	17 30.4%	21 37.5%	26 46.4%	7 12.5%	2 3.6%
病院	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
診療所	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保険薬局	54 100.0%	6 11.1%	8 14.8%	16 29.6%	21 38.9%	26 48.1%	6 11.1%	2 3.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

④ 歯科衛生士票

I 専門職編

ア. 属性

本調査に回答した歯科衛生士は、歯科診療所に所属する者が 87.1%と最も多く、次いで診療所が 10.8%であった。

また、歯科衛生士としての経験年数は 10～20 年未満が 36.2%で最も多く、次いで 20～30 年未満が 26.7%であり、平均で 16.4 年の経験年数であった。このうち、訪問歯科診療の経験年数は平均 6.8 年、居宅療養管理指導については 4.3 年であった。

(ア) 所属機関

図表 ④-1 所属機関（複数回答）

全体	病院	診療所	歯科診療所	その他	無回答
232 100.0%	4 1.7%	25 10.8%	202 87.1%	4 1.7%	1 0.4%

(イ) 歯科衛生士としての経験年数

図表 ④-2 歯科衛生士としての経験年数

	合計	10年未満	10～19年未満	20～29年未満	30～39年未満	40年以上	無回答	平均	標準偏差
全体	232 100.0%	59 25.4%	84 36.2%	62 26.7%	23 9.9%	2 0.9%	2 0.9%	16.4	9.3
病院	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	19.3	12.1
診療所	25 100.0%	7 28.0%	6 24.0%	5 20.0%	6 24.0%	1 4.0%	0 0.0%	19.6	12.0
歯科診療所	202 100.0%	51 25.2%	76 37.7%	55 27.2%	17 8.4%	1 0.5%	2 1.0%	16.0	8.9
その他	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	21.8	6.7

(ウ) 訪問歯科診療の経験年数

図表 ④-3 訪問歯科診療の経験年数

	合計	0年	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答	平均	標準偏差
全体	232 100.0%	10 4.3%	43 18.5%	40 17.2%	62 26.8%	38 16.4%	16 6.9%	9 3.9%	14 6.0%	6.8	5.6
病院	4 100.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	5.8	6.8
診療所	25 100.0%	1 4.0%	2 8.0%	4 16.0%	3 12.0%	6 24.0%	3 12.0%	2 8.0%	4 16.0%	9.7	8.2
歯科診療所	202 100.0%	9 4.5%	39 19.3%	35 17.3%	59 29.2%	32 15.8%	12 5.9%	7 3.5%	9 4.5%	6.5	5.2
その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	7.7	4.5

(エ) 居宅療養管理指導の経験年数

図表 ④-4 居宅療養管理指導の経験年数

	合計	0年	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答	平均	標準偏差
全体	232 100.0%	28 12.1%	54 23.2%	42 18.1%	54 23.3%	25 10.8%	1 0.4%	0 0.0%	28 12.1%	4.3	3.8
病院	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1.4	0.7
診療所	25 100.0%	5 20.0%	5 20.0%	3 12.0%	3 12.0%	5 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 16.0%	4.3	4.7
歯科診療所	202 100.0%	23 11.4%	44 21.8%	39 19.3%	51 25.2%	20 9.9%	1 0.5%	0 0.0%	24 11.9%	4.4	3.7
その他	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	5.3	5.9

イ. 居宅療養管理指導について

2013年12月の1ヶ月間に訪問診療、居宅療養管理指導等で訪問を実施した人数は平均22.7人、うち、居宅療養管理指導を算定している人数は14.6人であった。同様に2013年12月1ヶ月間の訪問回数をみると、34.6回であり、うち居宅療養管理指導を算定している訪問回数は21.9回であった。

(ア) 2013年12月に訪問した人数

図表 ④-5 2013年12月に訪問した人数

	合計	0人	未満足10人	未満足30人	未満足50人	満足150人未満	満足100人以上	無回答	平均	標準偏差
全体	232 100.0%	37 15.9%	82 35.4%	51 22.0%	25 10.8%	20 8.6%	9 3.9%	8 3.4%	22.7	37.5
病院	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	33.5	34.1
診療所	25 100.0%	8 32.0%	7 28.0%	3 12.0%	6 24.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	15.1	18.5
歯科診療所	202 100.0%	28 13.9%	74 36.5%	47 23.3%	18 8.9%	18 8.9%	9 4.5%	8 4.0%	23.5	39.4
その他	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	3.3	3.2

図表 ④-6 うち居宅療養管理指導を算定している人数

	合計	0人	未満足10人	未満足30人	未満足50人	満足150人未満	満足100人以上	無回答	平均	標準偏差
全体	232 100.0%	45 19.4%	89 38.3%	38 16.4%	17 7.3%	10 4.3%	5 2.2%	28 12.1%	14.6	29.8
病院	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12.8	8.5
診療所	25 100.0%	7 28.0%	9 36.0%	3 12.0%	3 12.0%	1 4.0%	0 0.0%	2 8.0%	10.1	15.2
歯科診療所	202 100.0%	36 17.8%	80 39.6%	32 15.8%	14 6.9%	9 4.5%	5 2.5%	26 12.9%	15.3	31.6
その他	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	3.3	3.2

(イ) 2013年12月に訪問した回数

図表 ④-7 2013年12月に訪問した回数

	合計	0回	未1満 10回	回1未 満30	回3未 満50	満15 00回	満21 00回	上20 0回	無回答	平均	標準 偏差
全体	232 100.0%	36 15.5%	72 31.0%	37 15.9%	17 7.3%	28 12.1%	19 8.2%	5 2.2%	18 7.8%	34.6	54.4
病院	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	49.7	46.1
診療所	25 100.0%	7 28.0%	6 24.0%	3 12.0%	2 8.0%	4 16.0%	1 4.0%	1 4.0%	1 4.0%	30.5	53.3
歯科診療所	202 100.0%	28 13.9%	65 32.2%	34 16.8%	15 7.4%	22 10.9%	18 8.9%	4 2.0%	16 7.9%	35.0	55.0
その他	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	9.5	10.6

図表 ④-8 うち居宅療養管理指導を算定した回数

	合計	0回	未1満 10回	回1未 満30	回3未 満50	満15 00回	満21 00回	上20 0回	無回答	平均	標準 偏差
全体	232 100.0%	45 19.4%	77 33.2%	34 14.7%	10 4.3%	23 9.9%	8 3.4%	2 0.9%	33 14.2%	21.9	40.1
病院	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	35.7	31.0
診療所	25 100.0%	6 24.0%	8 32.0%	2 8.0%	3 12.0%	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%	4 16.0%	19.0	37.2
歯科診療所	202 100.0%	37 18.3%	69 34.1%	32 15.8%	7 3.5%	20 9.9%	7 3.5%	2 1.0%	28 13.9%	22.1	40.8
その他	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	9.5	10.6

ウ. 居宅療養管理指導を実施する上での困難点

居宅療養管理指導を実施する上での困難点については、「利用者の長年の習慣を変えるのが困難」が 33.2%と最も多く、次いで「利用者や家族から口腔ケアの重要性への理解が得られない」(29.7%)、「家族の協力が得られない」(19.8%)が続いた。

図表 ④-9 居宅療養管理指導を実施する上での困難点 (複数回答)

	合計	も導利用 ら内容 えな ない 解決 して 指	解職訪 して問 もら えな ない 理護	ない の理 解が 得重 要か れ性	口 腔ケ アが 重 要か れ性	重 要な 理 解が 得重 要か れ性	訪 問者 から 理 解が 得重 要か れ性	感 を 示 す こと に 拒 否	利 用 者 が 理 解 が 得重 要か れ性	示 し ない こと に 拒 否	利 用 者 が 理 解 が 得重 要か れ性	れ のケ アが 重 要か れ性	な らぬ 理 解が 得重 要か れ性	そ の理 解が 得重 要か れ性	い れ ぬ 理 解が 得重 要か れ性	家 族の 理 解が 得重 要か れ性	疑 難 な 理 解が 得重 要か れ性	利 用 者 が 理 解 が 得重 要か れ性	に 対 し て 理 解 が 得重 要か れ性	忙 し さ が 理 解 が 得重 要か れ性	水 準 が 理 解 が 得重 要か れ性	あ る 理 解 が 得重 要か れ性	そ の 理 解 が 得重 要か れ性	無 回 答
全体	232 100.0%	37 15.9%	21 9.1%	69 29.7%	22 9.5%	2 0.9%	33 14.2%	25 10.8%	40 17.2%	46 19.8%	77 33.2%	13 5.6%	1 0.4%	39 16.8%	22 9.5%	50 21.6%								
病院	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%								
診療所	25 100.0%	3 12.0%	2 8.0%	7 28.0%	1 4.0%	1 4.0%	3 12.0%	1 4.0%	3 12.0%	7 28.0%	6 24.0%	1 4.0%	0 0.0%	3 12.0%	1 4.0%	8 32.0%								
歯科診療所	202 100.0%	34 16.8%	19 9.4%	59 29.2%	20 9.9%	1 0.5%	30 14.9%	23 11.4%	37 18.3%	37 18.3%	70 34.7%	12 5.9%	1 0.5%	35 17.3%	20 9.9%	40 19.8%								
その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%								

エ. 居宅療養管理指導について

居宅療養管理指導を実施する上で、他職種と連携する際の困難点については、「多職種が顔を合わせる機会が少ない」が39.7%と最も多く、次いで「多職種間で共有すべき情報が明確でない」が23.7%と続いた。

また、訪問の際の他職種同行訪問の希望については、51.8%が「はい」を選択した。

(ア) 居宅療養管理指導で他職種と連携する上での困難点

図表 ④-10 居宅療養管理指導で他職種と連携する上での困難点（複数回答）

	合計	連携医師の必要性を認めない	連携ケアマネジャーを認めない	訪問看護士を必要としない	その他の職種を必要としない	医師への情報提供が煩雑	ケアマネジャーへの情報提供が煩雑	情報の提供が煩雑	情報の提供が煩雑	情報の提供が煩雑	情報の提供が煩雑	情報の提供が煩雑
全体	232	15	26	28	27	20	36	15	14	21	25	
	100.0%	6.5%	11.2%	12.1%	11.6%	8.6%	15.5%	6.5%	6.0%	9.1%	10.8%	
病院	4	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	
診療所	25	0	1	0	2	1	3	2	2	2	3	
	100.0%	0.0%	4.0%	0.0%	8.0%	4.0%	12.0%	8.0%	8.0%	8.0%	12.0%	
歯科診療所	202	15	25	28	23	18	33	13	11	17	20	
	100.0%	7.4%	12.4%	13.9%	11.4%	8.9%	16.3%	6.4%	5.4%	8.4%	9.9%	
その他	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	ン退院に呼ばれない	がン退院に参加できない	議サに呼ばれない	参議サに呼ばれない	せ多職種が顔を合わせる機会が少ない	なべ多職種間で共有すべき情報が明確でない	入他地理域での情報共有が難しい	要そとも思わない	その他	無回答		
全体	40	6	42	17	92	55	49	0	10	49		
	17.2%	2.6%	18.1%	7.3%	39.7%	23.7%	21.1%	0.0%	4.3%	21.1%		
病院	1	0	1	0	2	1	2	0	0	1		
	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%		
診療所	2	0	3	3	9	9	3	0	1	10		
	8.0%	0.0%	12.0%	12.0%	36.0%	36.0%	12.0%	0.0%	4.0%	40.0%		
歯科診療所	37	6	38	14	81	45	44	0	9	38		
	18.3%	3.0%	18.8%	6.9%	40.1%	22.3%	21.8%	0.0%	4.5%	18.8%		
その他	1	0	1	0	2	0	0	0	1	0		
	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%		

(イ) 他職種との同行訪問への意向

図表 ④-11 他職種との同行訪問への意向

	合計	はい	いいえ	無回答
全体	232	120	88	24
	100.0%	51.8%	37.9%	10.3%
病院	4	2	1	1
	100.0%	50.0%	25.0%	25.0%
診療所	25	12	11	2
	100.0%	48.0%	44.0%	8.0%
歯科診療所	202	106	76	20
	100.0%	52.5%	37.6%	9.9%
その他	4	3	1	0
	100.0%	75.0%	25.0%	0.0%

オ. 歯科衛生士の各職種との同行訪問の希望及び同行訪問時に助言してほしいこと、行って欲しいことについて

歯科衛生士の他の職種に対する同行訪問の希望と同行訪問時に各職種に助言してほしいこと、実施してほしいと感じていることを以下に対象職種別に整理する。

(ア) 医師

医師に対しては、50.8%の歯科衛生士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「既往症に応じた注意事項」が75.4%と最も多く、次いで「在宅療養全般に関する利用者・家族の希望の把握」(36.1%)、「感染症予防対策」(21.3%)と続いた。

図表 ④-12 医師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	120 100.0%	61 50.8%	41 34.2%	18 15.0%
病院	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
診療所	12 100.0%	4 33.3%	5 41.7%	3 25.0%
歯科診療所	106 100.0%	56 52.8%	36 34.0%	14 13.2%
その他	3 100.0%	1 33.4%	1 33.3%	1 33.3%

図表 ④-13 医師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	望者に在の・関宅把家す療握族る養の利全希用般	た既注往意症に項応じ	た状服態薬像判に断応じ	説導薬明の剤必師要訪性問の指	図処の方説設明計の意	策感染症予防対	へ糖の尿対病応利用	その他	無回答
全体	61 100.0%	22 36.1%	46 75.4%	11 18.0%	0 0.0%	2 3.3%	13 21.3%	11 18.0%	1 1.6%	2 3.3%
病院	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
診療所	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	56 100.0%	19 33.9%	44 78.6%	11 19.6%	0 0.0%	1 1.8%	12 21.4%	11 19.6%	1 1.8%	1 1.8%
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 歯科医師

歯科医師に対しては、83.3%の歯科衛生士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「義歯の状態評価」が66.0%と最も多く、次いで「摂食・嚥下機能訓練・評価」(63.0%)、「口腔衛生状態の評価」(60.0%)と続いた。

図表 ④-14 歯科医師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	120 100.0%	100 83.3%	9 7.5%	11 9.2%
病院	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
診療所	12 100.0%	8 66.7%	1 8.3%	3 25.0%
歯科診療所	106 100.0%	91 85.9%	8 7.5%	7 6.6%
その他	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%

図表 ④-15 歯科医師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	態口の 評価 衛生 状態	導口の 衛生 指	指口の 清掃 の	評義 歯の 状態	法義 指歯 清掃 方	評機摂 価能食 訓・ 練嚥 ・下	者糖 への 病 対 利 応 用	又顎よ ク骨 の科 壊出 説死 置 明 り・ に	そ の 他	無 回 答
全体	100 100.0%	60 60.0%	29 29.0%	26 26.0%	66 66.0%	22 22.0%	63 63.0%	26 26.0%	36 36.0%	5 5.0%	4 4.0%
病院	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	8 100.0%	3 37.5%	2 25.0%	2 25.0%	5 62.5%	4 50.0%	6 75.0%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%
歯科診療所	91 100.0%	56 61.5%	27 29.7%	24 26.4%	61 67.0%	18 19.8%	56 61.5%	24 26.4%	33 36.3%	4 4.4%	3 3.3%
その他	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%

(ウ) 薬剤師

薬剤師に対しては、24.2%の歯科衛生士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「利用者の状態に応じた適切な薬剤の形状の選択」が58.6%と最も多く、次いで「薬剤と栄養製剤・食事の副作用・相互作用についての助言」(48.3%)、「内服薬の副作用の検討と防止」(27.6%)と続いた。

図表 ④-16 薬剤師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	120 100.0%	29 24.2%	69 57.5%	22 18.3%
病院	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
診療所	12 100.0%	4 33.3%	5 41.7%	3 25.0%
歯科診療所	106 100.0%	25 23.6%	63 59.4%	18 17.0%
その他	3 100.0%	1 33.4%	1 33.3%	1 33.3%

図表 ④-17 薬剤師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	剤応利 のじ用 形た者 状適の の切状 選な態 択薬に	つ用劑薬 い・・劑 て相食と の互事栄 助作の養 言用副製 に作	療静脈 法の・ 指経腸 導導 栄養	管血糖 理指・ 導血 圧等 の	の選し 指指 定定 シシ ンン 用用 ググ 薬薬 法法 剤剤 や 等 のド	薬劑 効果 の 評価	の内 服薬 との 防副 止作 用	緩和 ケア	その他	無 回 答
全体	29 100.0%	17 58.6%	14 48.3%	4 13.8%	6 20.7%	2 6.9%	2 6.9%	8 27.6%	0 0.0%	2 6.9%	2 6.9%
病院	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
歯科診療所	25 100.0%	15 60.0%	14 56.0%	4 16.0%	5 20.0%	1 4.0%	2 8.0%	8 32.0%	0 0.0%	1 4.0%	2 8.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

(エ) 管理栄養士

管理栄養士に対しては、45.0%の歯科衛生士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「食事形態の提言」が79.6%と最も多く、次いで「栄養補助食品の選択」(37.0%)、「必要な栄養量の算出」(35.2%)と続いた。

図表 ④-18 管理栄養士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	120 100.0%	54 45.0%	50 41.7%	16 13.3%
病院	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
診療所	12 100.0%	6 50.0%	5 41.7%	1 8.3%
歯科診療所	106 100.0%	47 44.3%	45 42.5%	14 13.2%
その他	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%

図表 ④-19 管理栄養士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	量必 の要 算な 出栄 養	好利 へ用 の者 対の 応嗜	の品使 決や用 定調す 理る 法食	品栄 の養 の選 補助 食	献立 の提 案	提食 言事 形態 の	価質水 管分理 の電 評解	者糖 への病 対利 応	その他	無 回 答
全体	54 100.0%	19 35.2%	16 29.6%	10 18.5%	20 37.0%	16 29.6%	43 79.6%	14 25.9%	8 14.8%	2 3.7%	2 3.7%
病院	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	6 100.0%	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%	3 50.0%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	47 100.0%	16 34.0%	12 25.5%	9 19.1%	18 38.3%	13 27.7%	39 83.0%	11 23.4%	8 17.0%	2 4.3%	2 4.3%
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

(オ) 訪問看護師

訪問看護師に対しては、60.8%の歯科衛生士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「利用者の療養上の様子の把握」が72.6%と最も多く、次いで「利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有」(52.1%)、「利用者・家族の療養上の要望の把握」(49.3%)と続いた。

図表 ④-20 訪問看護師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	120 100.0%	73 60.8%	32 26.7%	15 12.5%
病院	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
診療所	12 100.0%	7 58.4%	4 33.3%	1 8.3%
歯科診療所	106 100.0%	65 61.3%	28 26.4%	13 12.3%
その他	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ④-21 訪問看護師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	握上利 の用 様者 子の の療 把養	の利 把用 握者 の嗜 好	望の利 の療 把養者 握上・ の家 要族	把わ剤服 握る使薬 問用介 題に助 点か・ のか薬	種望の利 間に療用 情関養者 報す上・ 共るの家 有職要族	そ の 他	無 回 答
全体	73 100.0%	53 72.6%	21 28.8%	36 49.3%	21 28.8%	38 52.1%	1 1.4%	2 2.7%
病院	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	7 100.0%	4 57.1%	2 28.6%	4 57.1%	0 0.0%	5 71.4%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	65 100.0%	48 73.8%	18 27.7%	31 47.7%	20 30.8%	32 49.2%	1 1.5%	2 3.1%
その他	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%

(カ) 介護職

介護職に対しては、67.5%の歯科衛生士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「利用者の療養上の様子の把握」が71.6%と最も多く、次いで「利用者・家族の生活像を踏まえた要望の把握」(51.9%)、「利用者・家族の生活上の要望に関する職種間情報共有」(49.4%)と続いた。

図表 ④-22 介護職（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	120 100.0%	81 67.5%	25 20.8%	14 11.7%
病院	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
診療所	12 100.0%	7 58.3%	3 25.0%	2 16.7%
歯科診療所	106 100.0%	73 68.8%	22 20.8%	11 10.4%
その他	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%

図表 ④-23 介護職（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	握上利 の用 様者 子の の療 把養	の利 把用 握者 の嗜 好	把まの利 握え生用 た活者 要像・ 望を家 の踏族	認服 薬状 況の 確	種望の利 間に生用 情関活者 報す上・ 共有職要 族	状の利 況生用 の活者 把・・ 握経家 族	そ の 他	無 回 答
全体	81 100.0%	58 71.6%	26 32.1%	42 51.9%	21 25.9%	40 49.4%	21 25.9%	3 3.7%	2 2.5%
病院	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	7 100.0%	6 85.7%	3 42.9%	4 57.1%	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	73 100.0%	51 69.9%	22 30.1%	37 50.7%	20 27.4%	38 52.1%	18 24.7%	3 4.1%	2 2.7%
その他	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(キ) 保健師

保健師に対しては、22.5%の歯科衛生士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「利用者の療養上の様子の把握」が74.1%と最も多く、次いで「利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有」(55.6%)、「利用者・家族の療養上の要望の把握」(51.9%)と続いた。

図表 ④-24 保健師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	120 100.0%	27 22.5%	70 58.3%	23 19.2%
病院	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
診療所	12 100.0%	4 33.3%	6 50.0%	2 16.7%
歯科診療所	106 100.0%	23 21.7%	63 59.4%	20 18.9%
その他	3 100.0%	1 33.4%	1 33.3%	1 33.3%

図表 ④-25 保健師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	握上利 の用 様者 子の 療 把養	の利 把用 握者 の 嗜好	望の利 の療用 把養者 握上・ の家 要族	把わ剤服 握る使薬 問用介 題に助 点か・ のか薬	種望の利 間に療用 情関養者 報す上・ 共るの家 有職要族	そ の 他	無 回 答
全体	27 100.0%	20 74.1%	9 33.3%	14 51.9%	4 14.8%	15 55.6%	0 0.0%	1 3.7%
病院	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	23 100.0%	19 82.6%	8 34.8%	13 56.5%	3 13.0%	12 52.2%	0 0.0%	1 4.3%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

(ク) 理学療法士

理学療法士に対しては、47.5%の歯科衛生士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「摂食・嚥下に関連した指導・訓練」が82.5%と最も多く、次いで「食事姿勢指導」(49.1%)、「食欲や栄養吸収能力を高める身体運動指導」(47.4%)と続いた。

図表 ④-26 理学療法士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	120 100.0%	57 47.5%	47 39.2%	16 13.3%
病院	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
診療所	12 100.0%	5 41.6%	5 41.7%	2 16.7%
歯科診療所	106 100.0%	51 48.1%	42 39.6%	13 12.3%
その他	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ④-27 理学療法士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	の関節拘縮へ	麻痺への対応	ヘルパ対応浮腫	指に摂食・連・嚥下訓練	運動高吸収能や栄養を養	食事姿勢指導	その他	無回答
全体	57 100.0%	18 31.6%	21 36.8%	6 10.5%	47 82.5%	27 47.4%	28 49.1%	0 0.0%	2 3.5%
病院	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	4 80.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	51 100.0%	16 31.4%	19 37.3%	5 9.8%	42 82.4%	24 47.1%	25 49.0%	0 0.0%	2 3.9%
その他	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%

(ケ) 作業療法士

作業療法士に対しては、47.5%の歯科衛生士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「摂食・嚥下に関連した指導・訓練」が86.0%と最も多く、次いで「食事姿勢指導」(52.6%)、「食欲や栄養吸収能力を高める身体運動指導」(42.1%)と続いた。

図表 ④-28 作業療法士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	120 100.0%	57 47.5%	46 38.3%	17 14.2%
病院	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
診療所	12 100.0%	5 41.6%	5 41.7%	2 16.7%
歯科診療所	106 100.0%	51 48.1%	41 38.7%	14 13.2%
その他	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%

図表 ④-29 作業療法士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	の関 対節 応拘 縮へ	応麻 痺へ の対	への ン 対パ 応浮 腫	指に摂 導関食 ・連・ 訓し嚥 練た下	運高吸食 動め収欲 指る能や 導身力栄 導体を養	導食 事 姿 勢 指	作族利 のの 支家者 援事・ 動家	そ の 他	無 回 答
全体	57 100.0%	11 19.3%	22 38.6%	4 7.0%	49 86.0%	24 42.1%	30 52.6%	11 19.3%	1 1.8%	1 1.8%
病院	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	4 80.0%	2 40.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	51 100.0%	9 17.6%	20 39.2%	3 5.9%	44 86.3%	21 41.2%	26 51.0%	9 17.6%	1 2.0%	1 2.0%
その他	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%

(コ) 言語聴覚士

言語聴覚士に対しては、50.0%の歯科衛生士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「摂食・嚥下訓練」が83.3%と最も多く、次いで「言語機能の回復方法指導」(41.7%)、「言語機能の評価」(38.3%)と続いた。

図表 ④-30 言語聴覚士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	120 100.0%	60 50.0%	44 36.7%	16 13.3%
病院	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
診療所	12 100.0%	7 58.4%	4 33.3%	1 8.3%
歯科診療所	106 100.0%	52 49.1%	40 37.7%	14 13.2%
その他	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%

図表 ④-31 言語聴覚士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	高次脳機能障害の評価	高次脳機能障害への対応	言語機能の評価	言語回復方法の指導	代用音声機器の選定	代用音声訓練	摂食・嚥下訓練	その他	無回答
全体	60 100.0%	17 28.3%	20 33.3%	23 38.3%	25 41.7%	3 5.0%	4 6.7%	50 83.3%	0 0.0%	1 1.7%
病院	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	7 100.0%	2 28.6%	2 28.6%	3 42.9%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	6 85.7%	0 0.0%	0 0.0%
歯科診療所	52 100.0%	14 26.9%	17 32.7%	19 36.5%	22 42.3%	3 5.8%	4 7.7%	43 82.7%	0 0.0%	1 1.9%
その他	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

(サ) 臨床心理士

臨床心理士に対しては、28.3%の歯科衛生士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「認知症利用者への対応」が73.5%と最も多く、次いで「不安症状・抑うつ利用者への対応」(55.9%)、「不安症状・抑うつの評価」「認知症の評価」(47.1%)と続いた。

図表 ④-3 2 臨床心理士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	120 100.0%	34 28.3%	65 54.2%	21 17.5%
病院	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
診療所	12 100.0%	5 41.6%	5 41.7%	2 16.7%
歯科診療所	106 100.0%	28 26.4%	60 56.6%	18 17.0%
その他	3 100.0%	1 33.4%	1 33.3%	1 33.3%

図表 ④-3 3 臨床心理士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	不安症状・抑うつ の評価・抑	不安症状・抑うつ 利用者への抑	認知症の評価	認知症利用者への 対応	利用者に対する 改善の検討	症状改善の検討 ・利用者への対応	家族の検心 ・的	家族の検心 ・的	家族の検心 ・的	その他	無回答
全体	34 100.0%	16 47.1%	19 55.9%	16 47.1%	25 73.5%	14 41.2%	14 41.2%	11 32.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%	
病院	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
診療所	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	4 80.0%	3 60.0%	3 60.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%		
歯科診療所	28 100.0%	14 50.0%	16 57.1%	14 50.0%	20 71.4%	10 35.7%	10 35.7%	7 25.0%	0 0.0%	1 3.6%		
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%		

カ. 居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点について

居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点については、「訪問回数の上限をあげてほしい」との回答が32.3%で最も多く、次いで「前回情報提供時から容体に変化が無かった場合のケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい」が26.3%であった。

図表 ④-34 居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点（複数回答）

	合計	ほ し い	し 訪 問 回 数 の 上 限 を 上 げ て ほ し い	め 訪 問 で き る 期 間 の 制 限 を 緩 め て ほ し い	位 採 算 が 合 わ な い の で 算 定 単 位 を 増 や し て ほ し い	て 指 導 位 数 を 変 え て ほ し い	れ い て 居 宅 療 養 管 理 指 導 料 の 算 定 に よ り 機 関 の 依 頼 を 受 け ら な い	マ 緩 和 し て ほ し い	変 化 が 無 か つ た 場 合 の ケ ア マ ネ へ の 情 報 提 供 の 頻 度 を 緩 和 し て ほ し い	前 回 情 報 提 供 時 か ら 容 体 に 変 化 が 無 か つ た 場 合 の ケ ア マ ネ へ の 情 報 提 供 の 手 段 を 簡 便 に し て ほ し い	前 回 情 報 提 供 時 か ら 容 体 に 変 化 が 無 か つ た 場 合 の ケ ア マ ネ へ の 情 報 提 供 の 手 段 を 簡 便 に し て ほ し い	そ の 他	無 回 答
全体	232 100.0%	57 24.6%	75 32.3%	41 17.7%	52 22.4%	7 3.0%	16 6.9%	61 26.3%	40 17.2%	6 2.6%	66 28.4%		
病院	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%		
診療所	25 100.0%	5 20.0%	7 28.0%	1 4.0%	8 32.0%	0 0.0%	2 8.0%	6 24.0%	4 16.0%	0 0.0%	10 40.0%		
歯科診療所	202 100.0%	49 24.3%	67 33.2%	40 19.8%	44 21.8%	7 3.5%	14 6.9%	54 26.7%	35 17.3%	6 3.0%	54 26.7%		
その他	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%		

II 利用者編

ア. 属性

本調査に回答した歯科衛生士が担当する居宅療養管理指導の利用者は、平均年齢 79.3 歳、介護度は要介護 5 が 27.2%を占めた。認知症高齢者の日常生活自立度では「認知症なし」、「無回答」（診断を受けていない利用者が含まれると思われる）以外では「I」が 7.3%で最も多かった。

居住状態は「利用者宅で同居者あり」が 44.3%で最も多かった。主な介護者は「ホームヘルパーなど介護サービス」が 30.5%で最も多く、次いで「同居の配偶者」が 26.3%であった。

(ア) 年齢

図表 ④-35 年齢

	合計	50歳以下	60歳	70歳	80歳	90歳以上	無回答	平均	標準偏差
全体	232 100.0%	11 4.7%	18 7.8%	43 18.5%	93 40.1%	17 7.3%	50 21.6%	79.3	10.3
病院	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	80.7	9.1
診療所	25 100.0%	2 8.0%	0 0.0%	6 24.0%	8 32.0%	2 8.0%	7 28.0%	79.7	9.8
歯科診療所	202 100.0%	9 4.5%	18 8.9%	36 17.8%	83 41.1%	15 7.4%	41 20.3%	79.3	10.4
その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	81.3	4.9

(イ) 現在の要介護度・日常生活自立度

図表 ④-36 現在の状態（要介護度）

	合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	232 100.0%	4 1.7%	8 3.4%	19 8.2%	15 6.5%	36 15.5%	35 15.1%	63 27.2%	52 22.4%
病院	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%
診療所	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 16.0%	1 4.0%	5 20.0%	2 8.0%	6 24.0%	7 28.0%
歯科診療所	202 100.0%	4 2.0%	8 4.0%	15 7.4%	14 6.9%	30 14.9%	33 16.3%	55 27.2%	43 21.3%
その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%

図表 ④-37 現在の状態（認知高齢者の日常生活自立度）

	合計	認知症なし	I	II a	II b	III a	III b	IV	?	不明	無回答
全体	232	57	17	12	9	16	2	12	6	39	62
	100.0%	24.6%	7.3%	5.2%	3.9%	6.9%	0.9%	5.2%	2.6%	16.8%	26.6%
病院	4	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1
	100.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
診療所	25	5	1	4	0	1	0	1	1	3	9
	100.0%	20.0%	4.0%	16.0%	0.0%	4.0%	0.0%	4.0%	4.0%	12.0%	36.0%
歯科診療所	202	52	15	8	8	14	2	11	5	36	51
	100.0%	25.8%	7.4%	4.0%	4.0%	6.9%	1.0%	5.4%	2.5%	17.8%	25.2%
その他	4	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1
	100.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%

(ウ) 現在の居住状態

図表 ④-38 現在の居住状態

	合計	者合（利用あり） （戸建て・同居集	合（利用） （戸建て・同居集	けきサ 住高 宅ビ 者ス 向付	ホ有 料 ム老 人	アホグ ハ ウム ス・ プ ケ	そ の 他	無 回 答
全体	232	103	18	7	31	22	3	48
	100.0%	44.3%	7.8%	3.0%	13.4%	9.5%	1.3%	20.7%
病院	4	2	0	0	1	0	0	1
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
診療所	25	7	2	1	3	4	0	8
	100.0%	28.0%	8.0%	4.0%	12.0%	16.0%	0.0%	32.0%
歯科診療所	202	94	16	6	27	18	3	38
	100.0%	46.5%	7.9%	3.0%	13.4%	8.9%	1.5%	18.8%
その他	4	2	1	0	0	0	0	1
	100.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%

(エ) 主な介護者

図表 ④-39 主な介護者

	合計	者同 居の 配偶	偶た同 者は居 子の子 配ま	他同 親居 族の その	族在別 ・住居 親の・ 族家近 隣	族在別 ・住居 親の・ 族家遠 方	護バホ サー ー ナム ビドヘ ス介ル	者主 はた いる ない 介 護	そ の 他	無 回 答
全体	232	61	34	4	2	0	71	1	5	54
	100.0%	26.3%	14.7%	1.7%	0.9%	0.0%	30.5%	0.4%	2.2%	23.3%
病院	4	2	0	0	0	0	1	0	0	1
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
診療所	25	4	2	0	0	0	7	0	2	10
	100.0%	16.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.0%	0.0%	8.0%	40.0%
歯科診療所	202	55	32	4	2	0	63	1	3	42
	100.0%	27.2%	15.8%	2.0%	1.0%	0.0%	31.2%	0.5%	1.5%	20.8%
その他	4	1	1	0	0	0	1	0	0	1
	100.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%

イ. 利用者に対する居宅療養管理指導の指導実績

訪問診療の開始時期については「平成 25 年」に開始したとの回答が 12.5%で最も多く、次いで「平成 24 年」が 5.2%であった。

居宅療養管理指導の開始時期についても「平成 25 年」が最も多く 36.4%、次いで「平成 24 年」が 12.1%であった。

(ア) 在宅患者訪問薬剤管理指導を実施したことがある場合、開始した時期

図表 ④-4 0 在宅患者訪問薬剤管理指導を実施したことがある場合、開始した時期

	合計	以平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	無 回 答
全体	232 100.0%	1 0.4%	4 1.7%	0 0.0%	5 2.2%	6 2.6%	12 5.2%	29 12.5%	0 0.0%	175 75.4%
病院	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
診療所	25 100.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	2 8.0%	1 4.0%	0 0.0%	5 20.0%	0 0.0%	16 64.0%
歯科診療所	202 100.0%	1 0.5%	3 1.5%	0 0.0%	3 1.5%	5 2.5%	12 5.9%	24 11.9%	0 0.0%	154 76.2%
その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%

(イ) 居宅療養管理指導を開始した時期

図表 ④-4 1 居宅療養管理指導を開始した時期

	合計	以平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	無 回 答
全体	232 100.0%	8 3.4%	11 4.7%	4 1.7%	14 6.0%	11 4.7%	28 12.1%	84 36.4%	1 0.4%	71 30.6%
病院	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%
診療所	25 100.0%	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%	2 8.0%	2 8.0%	0 0.0%	10 40.0%	0 0.0%	9 36.0%
歯科診療所	202 100.0%	7 3.5%	10 5.0%	4 2.0%	12 5.9%	9 4.5%	28 13.9%	71 35.0%	1 0.5%	60 29.7%
その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%

ウ. 居宅療養管理指導の利用に至った理由と経緯

当該利用者が居宅療養管理指導の利用に至った理由については、「医学的・歯学的ケアの必要性が生じたため」が49.1%と最も多く、次いで「身体機能が低下したため」が20.7%、「ケアマネジャー等への情報提供の必要性が生じたため」が12.9%と続いた。

居宅療養管理指導開始の直接的な経緯については、「ケアマネジャーからの依頼・情報提供による」が31.5%で最も多く、次いで「利用者・利用者の家族からの依頼・相談による」が30.2%と続いた。

(ア) 居宅療養管理指導の利用に至った理由

図表 ④-4 2 居宅療養管理指導の利用に至った理由（複数回答）

	合計	退院の機 関のた め	た 要 介 護 認 定 さ れ た た め	化 要 介 護 た め が 重 度	重 認 症 知 化 し た た め ・ 発 症 た め	し 身 体 機 能 が 低 下	た 必 要 性 が 生 じ た た め ・ 改 善 た め	生 ケ 医 学 的 た 必 要 性 が 生 じ た た め ・ 歯 学 的 た 必 要 性 が 生 じ た た め	め 要 薬 性 学 的 生 理 的 た 必 要 性 が 生 じ た た め	た の 等 ケ ア マ ネ ジ ャ ー 等 へ の 情 報 提 供 の 必 要 性 が 生 じ た た め	そ の 他	無 回 答
全体	232 100.0%	23 9.9%	18 7.8%	6 2.6%	6 2.6%	48 20.7%	10 4.3%	114 49.1%	1 0.4%	30 12.9%	7 3.0%	64 27.6%
病院	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%
診療所	25 100.0%	2 8.0%	2 8.0%	0 0.0%	1 4.0%	6 24.0%	2 8.0%	12 48.0%	0 0.0%	2 8.0%	0 0.0%	9 36.0%
歯科診療所	202 100.0%	20 9.9%	16 7.9%	6 3.0%	5 2.5%	40 19.8%	8 4.0%	100 49.5%	1 0.5%	27 13.4%	7 3.5%	53 26.2%
その他	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%

(イ) 居宅療養管理指導開始の経緯

図表 ④-4 3 居宅療養管理指導開始の経緯（複数回答）

	合計	供 依 頼 に よ る 情 報 提 言	あ 担 自 身 の 利 用 者 者 で ・	提 の の 自 身 に よ る 情 報 提 言	に の 者 利 用 者 ・ 家 族 ・ 相 談 に よ る	示 医 ・ 師 に よ る 指 導	に の 歯 科 医 生 ・ 指 導 に よ る	そ の 他	無 回 答
全体	232 100.0%	73 31.5%	25 10.8%	15 6.5%	70 30.2%	9 3.9%	66 28.4%	1 0.4%	64 27.6%
病院	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%
診療所	25 100.0%	3 12.0%	4 16.0%	1 4.0%	7 28.0%	3 12.0%	6 24.0%	1 4.0%	9 36.0%
歯科診療所	202 100.0%	69 34.2%	21 10.4%	14 6.9%	61 30.2%	6 3.0%	59 29.2%	0 0.0%	53 26.2%
その他	4 100.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%

エ. 訪問回数について

利用者への訪問開始後1ヶ月間の訪問回数は平均3.2回、直近(2013年12月)1ヶ月では平均3.0回であった。訪問開始から現在までの合計訪問回数は平均51.5回であり、うち、居宅療養管理指導を算定した訪問回数は43.0回であった。

(ア) 訪問開始後1ヶ月間の訪問回数

図表④-44 訪問開始後1ヶ月間の訪問回数

	合計	0回	満1 3 回未	満3 5 回未	未 満 5 1 0 回	1 0 回 以上	無 回 答	平均	標準 偏差
全体	232 100.0%	2 0.9%	66 28.4%	89 38.4%	10 4.3%	3 1.3%	62 26.7%	3.2	2.0
病院	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	3.3	1.2
診療所	25 100.0%	0 0.0%	7 28.0%	9 36.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 36.0%	2.9	1.1
歯科診療所	202 100.0%	2 1.0%	58 28.7%	78 38.6%	10 5.0%	3 1.5%	51 25.2%	3.2	2.1
その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	4.0	0.0

(イ) 12月の訪問回数

図表④-45 12月の訪問回数

	合計	0回	満1 3 回未	満3 5 回未	未 満 5 1 0 回	1 0 回 以上	無 回 答	平均	標準 偏差
全体	232 100.0%	7 3.0%	51 22.0%	49 21.1%	7 3.0%	3 1.3%	115 49.6%	3.0	2.5
病院	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	3.5	0.7
診療所	25 100.0%	0 0.0%	5 20.0%	8 32.0%	1 4.0%	0 0.0%	11 44.0%	3.1	1.9
歯科診療所	202 100.0%	7 3.5%	46 22.8%	39 19.3%	6 3.0%	3 1.5%	101 49.9%	3.0	2.6
その他	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	2.0	-

(ウ) 訪問開始から現在までの合計訪問回数

図表 ④-46 訪問開始から現在までの合計訪問回数

	合計	0人	未満足1人	未満足3人	未満足5人	未満足10人	未満足15人以上	1人以上	無回答	平均	標準偏差
全体	232	0	44	44	29	18	23	74	51.5	83.6	
	100.0%	0.0%	19.0%	19.0%	12.5%	7.8%	9.9%	31.8%			
病院	4	0	0	0	2	0	0	2	42.0	5.7	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%			
診療所	25	0	7	5	1	1	2	9	52.8	108.4	
	100.0%	0.0%	28.0%	20.0%	4.0%	4.0%	8.0%	36.0%			
歯科診療所	202	0	37	39	26	17	21	62	51.5	81.4	
	100.0%	0.0%	18.3%	19.3%	12.9%	8.4%	10.4%	30.7%			
その他	4	0	1	2	0	0	0	1	15.0	7.5	
	100.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%			

図表 ④-47 うち居宅療養管理指導を算定した回数

	合計	0人	未満足1人	未満足3人	未満足5人	未満足10人	未満足15人以上	1人以上	無回答	平均	標準偏差
全体	232	4	52	45	26	12	17	76	43.0	78.4	
	100.0%	1.7%	22.4%	19.4%	11.2%	5.2%	7.3%	32.8%			
病院	4	0	0	0	2	0	0	2	39.5	9.2	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%			
診療所	25	0	7	4	2	1	1	10	44.0	99.2	
	100.0%	0.0%	28.0%	16.0%	8.0%	4.0%	4.0%	40.0%			
歯科診療所	202	4	45	41	22	11	16	63	42.9	76.9	
	100.0%	2.0%	22.3%	20.3%	10.9%	5.4%	7.9%	31.2%			
その他	4	0	1	2	0	0	0	1	15.0	7.5	
	100.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%			

オ. 利用者に対する居宅療養管理指導計画

管理指導計画を立てたとき、協働した職種は「主治歯科医」が59.9%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が31.9%であった。管理指導計画の見直しの頻度は「必要に応じて実施するため頻度は不定」が50.8%で最も多かった。

(ア) 管理指導計画を立てたとき、協働した職種

図表 ④-4 8 管理指導計画を立てたとき、協働した職種（複数回答）

	合計	ケアマネ	主治医	主治歯科医	主治医以外	主治歯科医以外	薬剤師	管理栄養士	訪問看護師	保健師	介護職	ソーシャルワーカー	訪問リハビリ	臨床心理士	自分でひたり	その他	無回答
全体	232 100.0%	74 31.9%	14 6.0%	139 59.9%	0 0.0%	2 0.9%	1 0.4%	3 1.3%	9 3.9%	1 0.4%	19 8.2%	4 1.7%	0 0.0%	3 1.3%	6 2.6%	54 23.3%	
病院	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
診療所	25 100.0%	6 24.0%	2 8.0%	13 52.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	2 8.0%	0 0.0%	4 16.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 16.0%	8 32.0%	
歯科診療所	202 100.0%	66 32.7%	12 5.9%	124 61.4%	0 0.0%	2 1.0%	1 0.5%	2 1.0%	7 3.5%	1 0.5%	14 6.9%	3 1.5%	0 0.0%	3 1.5%	5 2.5%	44 21.8%	
その他	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	

(イ) 管理指導計画の見直しの頻度

図表 ④-4 9 管理指導計画の見直しの頻度

	合計	毎回指導後	1ヶ月3回指導に2	1ヶ月5回指導に4	不定期実施に頻度は不定	ほとんどなし	その他	無回答
全体	232 100.0%	25 10.8%	13 5.6%	12 5.2%	118 50.8%	7 3.0%	3 1.3%	54 23.3%
病院	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%
診療所	25 100.0%	0 0.0%	1 4.0%	1 4.0%	12 48.0%	2 8.0%	0 0.0%	9 36.0%
歯科診療所	202 100.0%	25 12.4%	12 5.9%	11 5.4%	104 51.5%	5 2.5%	2 1.0%	43 21.3%
その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%

カ. 口腔機能スクリーニングについて

口腔機能スクリーニングの実施頻度は「必要に応じて実施するため頻度は不定」が37.6%で最も多く、次いで「1~2ヶ月に1回」が17.2%であった。口腔機能スクリーニングに際しての具体的な測定内容は「問診または視診等による口腔内の衛生状況」が78.0%で最も多かった。「問診または視診等による口腔内の衛生状況」の内訳は「歯周病」に関する情報提供が最も多く72.9%であった。

(ア) 口腔機能スクリーニングの実施頻度

図表 ④-50 口腔機能スクリーニングの実施頻度

	合計	に1 1ヶ月 に2 回	に3 1ヶ月 に4 回	に5 1ヶ月 に6 回	それ 以下	不 定	た て 必 要 に 頻 度 に 応 じ る	な ほ と ん ど し	そ の 他	無 回 答
全体	232 100.0%	40 17.2%	34 14.7%	6 2.6%	1 0.4%	87 37.6%	10 4.3%	1 0.4%	53 22.8%	
病院	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	
診療所	25 100.0%	4 16.0%	3 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 32.0%	
歯科診療所	202 100.0%	35 17.3%	31 15.3%	6 3.0%	1 0.5%	75 37.1%	10 5.0%	1 0.5%	43 21.3%	
その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	

(イ) 口腔機能スクリーニングでの具体的な測定内容

図表 ④-51 口腔機能スクリーニングでの具体的な測定内容（複数回答）

	合計	衛 生 状 況 に よ り	問 診 ま た は 視 診 等 に よ り	義 歯 の 衛 生 状 況	口 腔 の 衛 生 習 慣	自 立 清 掃 の 状 況	食 事 状 況	T (R)	下 反 復 ス ト ス ト	キ ネ シ ア ル コ	い ぶ く う が ぶ く ま	し の 膨 ら ま	Q O L	回 お 一 定 期 発 熱 に	そ の 他	無 回 答
全体	232 100.0%	181 78.0%	127 54.7%	112 48.3%	111 47.8%	124 53.4%	117 50.4%	35 15.1%	18 7.8%	58 25.0%	85 36.6%	26 11.2%	4 1.7%	48 20.7%		
病院	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	2 50.0%	2 50.0%	2 50.0%	3 75.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%		
診療所	25 100.0%	17 68.0%	11 44.0%	12 48.0%	15 60.0%	15 60.0%	12 48.0%	2 8.0%	0 0.0%	5 20.0%	7 28.0%	2 8.0%	1 4.0%	8 32.0%		
歯科診療所	202 100.0%	161 79.7%	114 56.4%	98 48.5%	94 46.5%	107 53.0%	102 50.5%	32 15.8%	17 8.4%	51 25.2%	77 38.1%	24 11.9%	3 1.5%	38 18.8%		
その他	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	3 75.0%	3 75.0%	2 50.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%		

図表 ④-5 2 口腔機能スクリーニングでの具体的な測定（問診または視診等による口腔内の衛生状況）（複数回答）

	合計	う 歯	歯 周 病	食 物 残 渣	舌 苔	歯 義 の 歯 汚 れ ま た は	口 臭	口 の 渴 き	無 回 答
全体	181 100.0%	125 69.1%	132 72.9%	124 68.5%	122 67.4%	123 68.0%	94 51.9%	106 58.6%	30 16.6%
病院	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%
診療所	17 100.0%	12 70.6%	13 76.5%	12 70.6%	12 70.6%	11 64.7%	8 47.1%	8 47.1%	4 23.5%
歯科診療所	161 100.0%	111 68.9%	118 73.3%	110 68.3%	108 67.1%	110 68.3%	84 52.2%	96 59.6%	25 15.5%
その他	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%

図表 ④-5 3 口腔機能スクリーニングでの具体的な測定（食事状況）（複数回答）

	合計	む せ	食 べ こ ぼ し	痰 の か ら み	残 食 量	食 固 べ い に 食 く 物 さ の	無 回 答
全体	117 100.0%	82 70.1%	40 34.2%	45 38.5%	37 31.6%	39 33.3%	23 19.7%
病院	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%
診療所	12 100.0%	6 50.0%	4 33.3%	5 41.7%	4 33.3%	4 33.3%	3 25.0%
歯科診療所	102 100.0%	74 72.5%	35 34.3%	40 39.2%	32 31.4%	34 33.3%	19 18.6%
その他	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%

図表 ④-5 4 口腔機能スクリーニングでの具体的な測定（QOL）（複数回答）

	合計	欲 食 事 へ の 意	足 食 度 事 へ の 満	食 事 摂 取 量	観 口 腔 的 健 内 康 の 観 主	無 回 答
全体	85 100.0%	44 51.8%	22 25.9%	40 47.1%	40 47.1%	21 24.7%
病院	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	7 100.0%	3 42.9%	2 28.6%	5 71.4%	3 42.9%	2 28.6%
歯科診療所	77 100.0%	40 51.9%	19 24.7%	35 45.5%	37 48.1%	19 24.7%
その他	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%

キ. 口腔機能アセスメント

口腔機能アセスメントの実施頻度は「必要に応じて実施するため頻度は不定」が 39.7%で最も多く、次いで「3~4 か月に 1 回」が 14.7%であった。口腔機能アセスメントに際しての具体的な内容は「問診または視診等による口腔内の衛生状況」が 70.3%で最も多かった。「問診または視診等による口腔内の衛生状況」の内訳は「歯周病」に関する情報提供が最も多く 64.4%であった。

(ア) 口腔機能アセスメントの実施頻度

図表 ④-55 口腔機能アセスメントの実施頻度

	合計	に 1 1 回 2 ヶ 月	に 3 1 回 4 ヶ 月	に 5 1 回 6 ヶ 月	それ 以下	不 定 頻 度 に は る じ	た て 必 要 に 応 じ る じ	な ほ と ん ど し	そ の 他	無 回 答
全体	232 100.0%	26 11.2%	34 14.7%	11 4.7%	1 0.4%	92 39.7%	15 6.5%	1 0.4%	53 22.8%	
病院	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	
診療所	25 100.0%	2 8.0%	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 52.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 32.0%	
歯科診療所	202 100.0%	23 11.4%	31 15.3%	11 5.4%	1 0.5%	78 38.6%	15 7.4%	1 0.5%	43 21.3%	
その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	

(イ) 口腔機能アセスメントでの具体的な測定内容

図表 ④-56 口腔機能アセスメントでの具体的な測定内容 (複数回答)

	合計	歯 生 口 腔 等 ま た は 問 診 等 に よ る 状 況 に よ る	問 診 ま た は 視 診 等 に よ る 口 腔 内 の 衛 生 状 況	種 々 の 歯 の 状 況 に よ る	歯 周 病 に 関 する 情 報 提 供	口 腔 の 衛 生 状 況	自 立 口 腔 清 掃 の 状 況	清 掃 用 具 の 状 況	食 事 の 状 況	下 咽 頭 の 状 況	反 復 吐 き 戻 し の 状 況	キ ネ マ シ ア ラ ス コ の 状 況	オ ー ラ ス の 状 況	い ふ く ま の 影 響	類 々 の 飲 み 水 の 飲 み	改 訂 水 飲 み	ト ラ イ ド テ ス ト	Q O L	回 お け る 期 間 に 関 する	そ の 他	無 回 答
全体	232 100.0%	163 70.3%	110 47.4%	117 50.4%	108 46.6%	110 47.4%	102 44.0%	41 17.7%	24 10.3%	54 23.3%	17 7.3%	4 1.7%	75 32.3%	27 11.6%	4 1.7%	62 26.7%					
病院	4 100.0%	3 75.0%	3 75.0%	2 50.0%	3 75.0%	2 50.0%	3 75.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
診療所	25 100.0%	16 64.0%	11 44.0%	10 40.0%	11 44.0%	13 52.0%	8 32.0%	2 8.0%	1 4.0%	4 16.0%	2 8.0%	0 0.0%	6 24.0%	2 8.0%	2 8.0%	2 8.0%	0 0.0%	2 8.0%	2 8.0%	2 8.0%	9 36.0%
歯科診療所	202 100.0%	144 71.3%	96 47.5%	105 52.0%	94 46.5%	95 47.0%	91 45.0%	38 18.8%	22 10.9%	50 24.8%	15 7.4%	4 2.0%	68 33.7%	25 12.4%	2 1.0%	51 25.2%					
その他	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	3 75.0%	3 75.0%	2 50.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%

図表 ④-5 7 口腔機能アセスメントでの具体的な測定内容（問診または視診等による口腔内の衛生状況）（複数回答）

	合計	う 歯	歯 周 病	食 物 残 渣	舌 苔	歯 義 の 歯 汚 ま れ は	口 臭	口 の 渴 き	無 回 答
全体	163 100.0%	101 62.0%	105 64.4%	99 60.7%	103 63.2%	99 60.7%	84 51.5%	90 55.2%	42 25.8%
病院	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%
診療所	16 100.0%	8 50.0%	9 56.3%	8 50.0%	8 50.0%	8 50.0%	6 37.5%	7 43.8%	7 43.8%
歯科診療所	144 100.0%	92 63.9%	96 66.7%	90 62.5%	94 65.3%	90 62.5%	77 53.5%	83 57.6%	33 22.9%
その他	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%

図表 ④-5 8 口腔機能アセスメントでの具体的な測定内容（食事状況）（複数回答）

	合計	む せ	食 べ こ ぼ し	痰 の か ら み	残 食 量	食 固 べ い に 食 く 物 さ の	無 回 答
全体	102 100.0%	75 73.5%	42 41.2%	39 38.2%	32 31.4%	34 33.3%	23 22.5%
病院	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%
診療所	8 100.0%	4 50.0%	3 37.5%	3 37.5%	3 37.5%	4 50.0%	2 25.0%
歯科診療所	91 100.0%	70 76.9%	38 41.8%	35 38.5%	29 31.9%	30 33.0%	19 20.9%
その他	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%

図表 ④-5 9 口腔機能アセスメントでの具体的な測定内容（QOL）（複数回答）

	合計	欲 食 事 へ の 意	足 食 事 へ の 満	食 事 摂 取 量	観 口 腔 的 健 内 康 の 観 主	無 回 答
全体	75 100.0%	43 57.3%	27 36.0%	34 45.3%	39 52.0%	14 18.7%
病院	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	6 100.0%	3 50.0%	2 33.3%	4 66.7%	3 50.0%	2 33.3%
歯科診療所	68 100.0%	39 57.4%	24 35.3%	29 42.6%	36 52.9%	12 17.6%
その他	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%

ク. 歯科医師に対するモニタリング報告

歯科医師へのモニタリング報告の主な手段は「口頭」が69.0%で最も多く、次いで「文書（手渡し）」が32.3%であった。情報提供に際しての具体的な内容は「問診または視診等による口腔内の衛生状況」が73.3%で最も多かった。「問診または視診等による口腔内の衛生状況」の内訳は「歯周病」に関する情報提供が最も多く63.5%であった。

(ア) 歯科医師へのモニタリング報告の主な手段

図表 ④-60 歯科医師へのモニタリング報告の主な手段（複数回答）

	合計	口頭	し文書 （手渡し）	電話	FAX	メール	その他	無回答
全体	232 100.0%	160 69.0%	75 32.3%	14 6.0%	7 3.0%	6 2.6%	3 1.3%	52 22.4%
病院	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
診療所	25 100.0%	13 52.0%	5 20.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 40.0%
歯科診療所	202 100.0%	144 71.3%	68 33.7%	14 6.9%	6 3.0%	6 3.0%	3 1.5%	40 19.8%
その他	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%

(イ) 歯科医師へのモニタリング報告での具体的な報告項目

図表 ④-61 歯科医師へのモニタリング報告での具体的な報告項目（複数回答）

	合計	衛生視問 生口診診 状況等ま 況内にた のよは	状況（義 種歯 ）ナ類の ンや状 スメ況	慣口 の腔 有無 衛生 習	自口 立腔 状清 掃の	状清 掃用 具の	食事 状況	T（ R） 下反 ステ ス唾 S液 S嚥	キテ ネイ シラ スド コ	いぶ く（ う空 がぶ らく ま	類の の膨 がら くま	Q O L	回お 一 数け 定 る期 発間 熱に	そ の 他	無 回 答
全体	232 100.0%	170 73.3%	122 52.6%	108 46.6%	110 47.4%	105 45.3%	101 43.5%	28 12.1%	17 7.3%	43 18.5%	68 29.3%	20 8.6%	7 3.0%	54 23.3%	
病院	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	
診療所	25 100.0%	14 56.0%	10 40.0%	13 52.0%	12 48.0%	10 40.0%	10 40.0%	3 12.0%	1 4.0%	5 20.0%	4 16.0%	1 4.0%	2 8.0%	10 40.0%	
歯科診療所	202 100.0%	153 75.7%	110 54.5%	94 46.5%	97 48.0%	94 46.5%	90 44.6%	24 11.9%	15 7.4%	37 18.3%	63 31.2%	19 9.4%	5 2.5%	42 20.8%	
その他	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	3 75.0%	3 75.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	

図表 ④-6 2 歯科医師へのモニタリング報告での具体的な報告項目（問診または視診等による口腔内の衛生状況）（複数回答）

	合計	う 歯	歯 周 病	食 物 残 渣	舌 苔	歯 義 の 歯 汚 ま れ は	口 臭	口 の 渴 き	無 回 答
全体	170 100.0%	104 61.2%	108 63.5%	90 52.9%	85 50.0%	96 56.5%	66 38.8%	79 46.5%	45 26.5%
病院	3 100.0%	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
診療所	14 100.0%	8 57.1%	9 64.3%	8 57.1%	8 57.1%	8 57.1%	7 50.0%	6 42.9%	5 35.7%
歯科診療所	153 100.0%	93 60.8%	97 63.4%	80 52.3%	75 49.0%	86 56.2%	57 37.3%	72 47.1%	40 26.1%
その他	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%

図表 ④-6 3 歯科医師へのモニタリング報告での具体的な報告項目（食事状況）（複数回答）

	合計	む せ	食 べ こ ぼ し	痰 の か ら み	残 食 量	食 固 べ い に 食 く 物 さ の	無 回 答
全体	101 100.0%	62 61.4%	38 37.6%	32 31.7%	28 27.7%	32 31.7%	31 30.7%
病院	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
診療所	10 100.0%	4 40.0%	4 40.0%	3 30.0%	4 40.0%	3 30.0%	4 40.0%
歯科診療所	90 100.0%	57 63.3%	33 36.7%	28 31.1%	24 26.7%	28 31.1%	27 30.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%

図表 ④-6 4 歯科医師へのモニタリング報告での具体的な報告項目（QOL）（複数回答）

	合計	欲 食 事 へ の 意	足 食 事 へ の 満	食 事 摂 取 量	観 口 的 腔 内 健 康 の 観 主	無 回 答
全体	68 100.0%	33 48.5%	21 30.9%	26 38.2%	32 47.1%	16 23.5%
病院	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	1 25.0%
歯科診療所	63 100.0%	31 49.2%	21 33.3%	23 36.5%	30 47.6%	15 23.8%
その他	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%

ケ. 利用者・家族への指導・助言

利用者・家族への指導・助言については、「口頭」が65.1%と最も多く、次いで「文書（手渡し）」が51.3%であった。利用者・家族への情報提供の具体的内容は「機能訓練」が60.3%で最も多く、次いで「歯磨き支援方法」が55.2%であった。

(ア) 利用者や家族への指導・助言の主な手段

図表 ④-65 利用者や家族への指導・助言の主な手段（複数回答）

	合計	口頭	し文書 （手渡し）	電話	F A X	メ ー ル	そ の 他	無 回 答
全体	232 100.0%	151 65.1%	119 51.3%	34 14.7%	10 4.3%	1 0.4%	4 1.7%	51 22.0%
病院	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%
診療所	25 100.0%	13 52.0%	11 44.0%	5 20.0%	3 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 36.0%
歯科診療所	202 100.0%	135 66.8%	106 52.5%	27 13.4%	7 3.5%	0 0.0%	4 2.0%	40 19.8%
その他	4 100.0%	2 50.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%

(イ) 利用者や家族への指導・助言の具体的な内容

図表 ④-66 利用者や家族への指導・助言の具体的な内容（複数回答）

	合計	機能 訓練	情報に 関する 口腔機 関提供 に関する 情報	嚙口 下腔 体操 ・	方歯 法磨 き支 援	食食 環事 境姿 勢や	評義 価歯 の状 態	方義 法歯 の指 導掃	そ の 他	無 回 答
全体	232 100.0%	140 60.3%	80 34.5%	88 37.9%	128 55.2%	54 23.3%	85 36.6%	100 43.1%	5 2.2%	55 23.7%
病院	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	3 75.0%	3 75.0%	1 25.0%	3 75.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%
診療所	25 100.0%	13 52.0%	6 24.0%	8 32.0%	13 52.0%	5 20.0%	8 32.0%	8 32.0%	0 0.0%	9 36.0%
歯科診療所	202 100.0%	125 61.9%	72 35.6%	77 38.1%	112 55.4%	48 23.8%	74 36.6%	90 44.6%	5 2.5%	44 21.8%
その他	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	2 50.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%

図表 ④-6 7 利用者や家族への指導・助言の具体的な内容（機能訓練）（複数回答）

	合計	指 導 歯 磨 き 実 地	嚙 む	飲 み 込 み	発 音 ・ 発 声	呼 吸	無 回 答
全体	140 100.0%	116 82.9%	40 28.6%	47 33.6%	38 27.1%	21 15.0%	22 15.7%
病院	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
診療所	13 100.0%	9 69.2%	3 23.1%	4 30.8%	4 30.8%	2 15.4%	4 30.8%
歯科診療所	125 100.0%	106 84.8%	36 28.8%	43 34.4%	33 26.4%	19 15.2%	17 13.6%
その他	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%

コ. 一回あたりの指導時間

居宅療養管理指導一回あたりに要する時間については、「情報収集等の準備時間」に平均 12.0 分、「実際の指導時間」に平均 21.8 分、「訪問後の帳簿記載」に平均 10.3 分、「他職種への連絡調整」に平均 8.1 分を要するとの回答が得られた。ただし、他の制度による訪問時間と居宅療養管理指導における指導時間を明確に分離できないため、両者の時間を合計した時間数が回答されている可能性がある点に留意が必要である。

図表 ④-6 8 1 回の指導にかかる時間(情報収集等の準備時間)

	合計	5 分 未 満	未 5 分 未 満 1 0 分	分 1 未 満 1 5	分 1 未 満 5 2 0	2 0 分 以 上	無 回 答	平均	標 準 偏 差
全体	232 100.0%	17 7.3%	57 24.6%	47 20.3%	14 6.0%	34 14.7%	63 27.1%	12.0	10.5
病院	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	23.3	11.5
診療所	25 100.0%	2 8.0%	7 28.0%	4 16.0%	0 0.0%	3 12.0%	9 36.0%	10.6	10.0
歯科診療所	202 100.0%	15 7.4%	50 24.8%	42 20.8%	14 6.9%	29 14.4%	52 25.7%	11.9	10.5
その他	4 100.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	13.3	14.4

図表 ④-69 1回の指導にかかる時間(実際の指導時間)

	合計	5分未満	未5分未満 5分	分1未未満 1分5	分1未未満 5分20	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	232 100.0%	0 0.0%	2 0.9%	11 4.7%	28 12.1%	136 58.6%	55 23.7%	21.8	7.8
病院	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	20.0	0.0
診療所	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.0%	3 12.0%	11 44.0%	9 36.0%	20.1	7.1
歯科診療所	202 100.0%	0 0.0%	2 1.0%	9 4.5%	25 12.4%	122 60.3%	44 21.8%	22.0	8.0
その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	31.7	7.6

図表 ④-70 1回の指導にかかる時間(訪問後の帳簿記載)

	合計	5分未満	未5分未満 5分	分1未未満 1分5	分1未未満 5分20	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	232 100.0%	13 5.6%	58 25.1%	56 24.1%	23 9.9%	24 10.3%	58 25.0%	10.3	6.7
病院	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	15.0	13.2
診療所	25 100.0%	1 4.0%	5 20.0%	8 32.0%	1 4.0%	1 4.0%	9 36.0%	9.6	6.3
歯科診療所	202 100.0%	12 5.9%	52 25.7%	47 23.3%	22 10.9%	22 10.9%	47 23.3%	10.3	6.6
その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	13.3	2.9

図表 ④-71 1回の指導にかかる時間(他職種への連絡調整時間)

	合計	5分未満	未5分未満 5分	分1未未満 1分5	分1未未満 5分20	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	232 100.0%	30 12.9%	56 24.1%	46 19.8%	14 6.0%	13 5.6%	73 31.6%	8.1	5.9
病院	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	10.0	0.0
診療所	25 100.0%	3 12.0%	7 28.0%	3 12.0%	1 4.0%	0 0.0%	11 44.0%	6.1	3.8
歯科診療所	202 100.0%	27 13.4%	49 24.3%	41 20.3%	13 6.4%	13 6.4%	59 29.2%	8.3	6.1
その他	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	11.7	5.8

サ. 他の職種との連携について

利用者の指導に関して歯科衛生士が普段相談している職種は「主治歯科医」が 62.9%で最も多く、次いで「介護職」が 21.6%、「訪問看護師」が 11.2%であった。

(ア) 利用者の指導に関して普段相談をしている職種

図表 ④-7 2 利用者の指導に関して普段相談をしている職種（複数回答）

	合計	主治医	主治歯科医	の主治医以外	の主治歯科医以外	薬剤師	管理栄養士	訪問看護師	保健師	介護職	タシヒ訪問リハビリ	臨床心理士	い相他談職は種しへの	その他	無回答
全体	232 100.0%	18 7.8%	146 62.9%	1 0.4%	6 2.6%	0 0.0%	3 1.3%	26 11.2%	2 0.9%	50 21.6%	8 3.4%	0 0.0%	9 3.9%	13 5.6%	70 30.2%
病院	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%
診療所	25 100.0%	3 12.0%	11 44.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.0%	3 12.0%	0 0.0%	4 16.0%	1 4.0%	0 0.0%	2 8.0%	1 4.0%	12 48.0%
歯科診療所	202 100.0%	15 7.4%	134 66.3%	1 0.5%	5 2.5%	0 0.0%	1 0.5%	22 10.9%	2 1.0%	45 22.3%	6 3.0%	0 0.0%	7 3.5%	11 5.4%	55 27.2%
その他	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%

図表 ④-7 3 利用者の指導に関して普段相談をしている職種（訪問リハビリテーションスタッフ）（複数回答）

	合計	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	無回答
全体	8 100.0%	5 62.5%	3 37.5%	6 75.0%	1 12.5%
病院	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%
診療所	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
歯科診療所	6 100.0%	4 66.7%	2 33.3%	5 83.3%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

シ. 他職種との同行訪問の実績

他職種との同行訪問の実績については、「まったくしない」との回答が 24.6%で最も多く、次いで「ほぼ毎回する」が 21.6%であった。

同行訪問する理由では「主治医・主治歯科医が必要と判断したため」が 75.7%と最も多く、次いで「自らが必要と判断したため」が 25.2%であった。

(ア) 他の職種との同行訪問の有無

図表 ④-74 他の職種との同行訪問の有無

	合計	る ほ 毎 回 す	る と き ど き す	た ま に す る	な ま っ た く し	無 回 答
全体	232 100.0%	50 21.6%	22 9.5%	35 15.1%	57 24.6%	68 29.2%
病院	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%
診療所	25 100.0%	4 16.0%	2 8.0%	4 16.0%	3 12.0%	12 48.0%
歯科診療所	202 100.0%	46 22.8%	20 9.9%	29 14.4%	54 26.7%	53 26.2%
その他	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%

(イ) 同行訪問をする理由

図表 ④-75 同行訪問をする理由（複数回答）

	合計	し 必 要 と 判 断 が 主	治 医 ・ 主 治 科 医 の 判 断	主 治 医 の 判 断 が 主	要 と 判 断 が 主	ケ ア マ ネ シ 必 要	自 ら が 判 断 し た 要	た た い に 他 職 種 の あ か ら	他 職 種 の あ か ら の あ か ら	利 用 者 の あ か ら の あ か ら	そ の 他	無 回 答
全体	107 100.0%	81 75.7%	19 17.8%	27 25.2%	12 11.2%	20 18.7%	1 0.9%	1 0.9%				
病院	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%				
診療所	10 100.0%	5 50.0%	2 20.0%	3 30.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%				
歯科診療所	95 100.0%	76 80.0%	17 17.9%	22 23.2%	11 11.6%	18 18.9%	1 1.1%	0 0.0%				
その他	3 100.0%	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%				

(ウ) よく同行する職種

図表 ④-76 よく同行する職種（複数回答）

	合計	主治医	主治歯科医	の主治医以外	の主治医以外	薬剤師	管理栄養士	訪問看護師	保健師	介護職	タビョフ	訪問リハ	臨床心理士	い提相他	相供は、情種への	その他	無回答
全体	107	1	91	1	1	0	0	17	2	20	5	0	0	0	0	9	3
	100.0%	0.9%	85.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	15.9%	1.9%	18.7%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.4%	2.8%	
病院	2	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0
	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
診療所	10	1	7	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	1	1
	100.0%	10.0%	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	
歯科診療所	95	0	83	1	1	0	0	14	2	16	4	0	0	0	0	7	2
	100.0%	0.0%	87.4%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	14.7%	2.1%	16.8%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	2.1%	
その他	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	

図表 ④-77 よく同行する職種（訪問リハビリテーションスタッフ）

	合計	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	無回答
全体	5	2	0	3	0
	100.0%	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%
病院	1	0	0	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
診療所	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歯科診療所	4	2	0	2	0
	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
その他	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

⑤ 管理栄養士票

I 専門職編

ア. 属性

本調査に回答した管理栄養士は、診療所に所属する者が 73.1%と最も多く、次いで病院が 26.9%であった。

また、管理栄養士としての経験年数は 10 年未満が 54.0%で最も多く、次いで 10～20 年未満が 26.9%であり、平均で 10.6 年の経験年数であった。このうち、在宅患者訪問栄養食事指導の経験年数は平均 2.4 年、居宅療養管理指導については 3.0 年であった。

(ア) 所属機関

図表 ⑤-1 所属機関（複数回答）

全体	病院	診療所	その他	無回答
26 100.0%	7 26.9%	19 73.1%	1 3.8%	0 0.0%

(イ) 管理栄養士としての経験年数

図表 ⑤-2 管理栄養士としての経験年数

	合計	1 0 年 未 満	年 1 未 0 満 2 0	年 2 未 0 満 3 0	年 3 未 0 満 4 0	4 0 年 以 上	無 回 答	平均	標準 偏差
全体	26 100.0%	14 54.0%	7 26.9%	3 11.5%	1 3.8%	0 0.0%	1 3.8%	10.6	8.7
病院	7 100.0%	3 42.8%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	13.6	11.8
診療所	19 100.0%	11 57.8%	4 21.1%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	9.4	7.3
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8.0	-

(ウ) 在宅患者訪問栄養食事指導の経験年数

図表 ⑤-3 在宅患者訪問栄養食事指導の経験年数

	合計	0年	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答	平均	標準偏差
全体	26 100.0%	11 42.4%	6 23.1%	2 7.7%	4 15.4%	1 3.8%	1 3.8%	0 0.0%	1 3.8%	2.4	3.8
病院	7 100.0%	3 42.8%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2.7	4.1
診療所	19 100.0%	8 42.0%	4 21.1%	2 10.5%	3 15.8%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	2.3	3.8
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3.0	-

(エ) 居宅療養管理指導の経験年数

図表 ⑤-4 居宅療養管理指導の経験年数

	合計	0年	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答	平均	標準偏差
全体	26 100.0%	9 34.7%	6 23.1%	3 11.5%	4 15.4%	3 11.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	3.0	3.7
病院	7 100.0%	3 42.8%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2.6	3.7
診療所	19 100.0%	6 31.5%	4 21.1%	3 15.8%	3 15.8%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	3.1	3.7
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3.0	-

イ. 居宅療養管理指導に関する訪問人数について

2013年12月の1ヶ月間に訪問診療、居宅療養管理指導等で訪問を実施した人数は平均4.6人、うち、居宅療養管理指導を算定している人数は4.2人であった。同様に2013年12月1ヶ月間の訪問回数をみると、8.7回であり、うち居宅療養管理指導を算定している訪問回数は8.1回であった。

(ア) 2013年12月に訪問した人数

図表 ⑤-5 2013年12月に訪問した人数

	合計	0人	未1 満5 1 0 人	人1 未0 満3 0	人3 未0 満5 0	満15 00 05 人未	上1 0 0 人以	無 回 答	平 均	標 準 偏 差
全体	26 100.0%	14 53.9%	9 34.6%	2 7.7%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	4.6	14.6
病院	7 100.0%	5 71.4%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1.7	4.1
診療所	19 100.0%	9 47.3%	8 42.1%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	5.7	16.9
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2.0	-

図表 ⑤-6 うち居宅療養管理指導を算定している人数

	合計	0人	未1 満5 1 0 人	人1 未0 満3 0	人3 未0 満5 0	満15 00 05 人未	上1 0 0 人以	無 回 答	平 均	標 準 偏 差
全体	26 100.0%	14 53.9%	8 30.8%	2 7.7%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	1 3.8%	4.2	14.1
病院	7 100.0%	5 71.4%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1.6	3.7
診療所	19 100.0%	9 47.3%	7 36.8%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	5.2	16.5
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1.0	-

エ. 居宅療養管理指導について

居宅療養管理指導を実施する上で、他職種と連携する際の困難点については、「多職種が顔を合わせる機会が少ない」が38.5%と最も多く、次いで「地域で居宅療養管理指導をしている他職種の情報が入ってこない」が26.9%と続いた。

また、訪問の際の他職種同行訪問の希望については、73.1%が「はい」を選択した。

(ア) 居宅療養管理指導で他職種と連携する上での困難点

図表 ⑤-10 居宅療養管理指導で他職種と連携する上での困難点（複数回答）

	合計	識連医 し携師 ての い必歯 な要科 い性医 を師 認が	識連ケ し携ア ての い必マ な要ナ い性ジ をヤ 認が	を職訪 認が問 識連看 し携護 ての師 い必・ な要介 い性護	し携そ てのの い必他 な要の い性職 を種 認が 識連	供医 ・師 報へ が情 煩報 雑提	のケ 情ア 報マ 提ネ 供が 煩ヤ 雑へ	情そ 報の 提他 供の が職 煩種 雑へ	のを医 か提師 分供に かすど られん ない情 いい報 のを か提 分供に	かすど られん ない情 いい報 のを か提 分供に	られん ない情 いい報 のを か提 分供に	そ の 他 の 職 種 に か す ど
全体	26 100.0%	1 3.8%	3 11.5%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	2 7.7%	2 7.7%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
病院	7 100.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	19 100.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	ン退 ス院 に時 呼カ ばン れフ ない アレ	参 加 ス 院 に 時 呼カ ば ン れ フ て も	議サ ー に 呼 ば ス 担 当 の 者 会	参 議 サ ー に 呼 ば ス 担 当 の 者 会	せ 多 る 職 種 が 顔 を 合 わ ない	な べ 多 き 職 種 間 が 明 確 有 で す	入 他 理 地 づ 職 指 導 を し 居 宅 療 養 管 理	要 そ と も は そ も 連 携 が 必 ず	そ の 他	無 回 答		
全体	5 19.2%	1 3.8%	5 19.2%	0 0.0%	10 38.5%	2 7.7%	7 26.9%	0 0.0%	1 3.8%	8 30.8%		
病院	2 28.6%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	2 28.6%	1 14.3%	5 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%		
診療所	3 15.8%	1 5.3%	3 15.8%	0 0.0%	8 42.1%	1 5.3%	2 10.5%	0 0.0%	1 5.3%	7 36.8%		
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

(イ) 他職種との同行訪問への意向

図表 ⑤-11 他職種との同行訪問への意向

	合計	はい	いいえ	無回答
全体	26 100.0%	19 73.1%	2 7.7%	5 19.2%
病院	7 100.0%	6 85.7%	0 0.0%	1 14.3%
診療所	19 100.0%	13 68.4%	2 10.5%	4 21.1%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

オ. 管理栄養士の各職種との同行訪問の希望及び同行訪問時に助言してほしいこと、行って欲しいことについて

管理栄養士の他の職種に対する同行訪問の希望と同行訪問時に各職種に助言してほしいこと、実施してほしいと感じていることを以下に対象職種別に整理する。

(ア) 医師

医師に対しては、57.9%の管理栄養士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「既往症に応じた注意事項」が72.7%と最も多く、次いで「在宅療養全般に関する利用者・家族の希望の把握」(63.6%)、「糖尿病利用者への対応」(45.5%)と続いた。

図表 ⑤-12 医師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	19 100.0%	11 57.9%	7 36.8%	1 5.3%
病院	6 100.0%	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%
診療所	13 100.0%	7 53.8%	5 38.5%	1 7.7%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-13 医師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施してほしいこと）（複数回答）

	合計	の在宅療養 の把握・一般 に族関	意既往症に 応じた注	薬状態像に 応じた服	必薬剤性の 訪問指導の	説処方設計 の意図の	感染症予防 対策	対糖 尿病 利用者 への	その他	無回答
全体	11 100.0%	7 63.6%	8 72.7%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	5 45.5%	0 0.0%	0 0.0%
病院	4 100.0%	2 50.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	7 100.0%	5 71.4%	5 71.4%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 歯科医師

歯科医師に対しては、63.1%の管理栄養士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「摂食・嚥下機能訓練・評価」が83.3%と最も多く、次いで「口腔衛生状態の評価」「義歯の状態評価」(41.7%)、「口腔衛生指導」(33.3%)と続いた。

図表 ⑤-14 歯科医師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	19 100.0%	12 63.1%	6 31.6%	1 5.3%
病院	6 100.0%	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%
診療所	13 100.0%	8 61.5%	4 30.8%	1 7.7%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-15 歯科医師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	口腔衛生状態の評価	口腔衛生指導	口腔清掃の指導	義歯の状態評価	義歯清掃方法指導	摂食・嚥下機能訓練・評価	糖尿病利用者への対応	出血・処置による説明	その他	無回答
全体	12 100.0%	5 41.7%	4 33.3%	2 16.7%	5 41.7%	0 0.0%	10 83.3%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
病院	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	8 100.0%	2 25.0%	2 25.0%	2 25.0%	3 37.5%	0 0.0%	7 87.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(ウ) 薬剤師

薬剤師に対しては、36.8%の管理栄養士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「薬剤と栄養製剤・食事の副作用・相互作用についての助言」が71.4%と最も多く、次いで「血糖・血圧等の管理指導」「内服薬の副作用の検討と防止」(57.1%)、「静脈・経腸栄養療法の指導」「薬剤効果の評価」(42.9%)と続いた。

図表 ⑤-16 薬剤師 (同行希望の有無)

	合計	あり	なし	無回答
全体	19 100.0%	7 36.8%	11 57.9%	1 5.3%
病院	6 100.0%	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%
診療所	13 100.0%	6 46.1%	6 46.2%	1 7.7%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-17 薬剤師 (同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと) (複数回答)

	合計	のた利用 適切な 者の状 態に応 じた	薬事 にの 副作用 の製 剤相 互・ 作食	の静 脈指 導・ 経腸 栄養 療法	指血 糖・ 血圧 等の 管理	用シ 法等 の指 導	シ ン チ ン グ 外 用 薬 や ド レ ッ ツ	薬 剤 効 果 の 評 価	討内 と服 止薬 の副 作用 の検	緩和 ケア	その他	無 回 答
全体	7 100.0%	2 28.6%	5 71.4%	3 42.9%	4 57.1%	2 28.6%	3 42.9%	4 57.1%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	
病院	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
診療所	6 100.0%	2 33.3%	4 66.7%	2 33.3%	3 50.0%	2 33.3%	3 50.0%	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

(エ) 歯科衛生士

歯科衛生士に対しては、73.6%の管理栄養士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にはほしい助言・実施項目として「口腔衛生状態の評価」「摂食・嚥下機能訓練・評価」が71.4%と最も多く、次いで「口腔衛生指導」「口腔清掃の指導」「義歯の状態評価」(42.9%)と続いた。

図表 ⑤-18 歯科衛生士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	19 100.0%	14 73.6%	4 21.1%	1 5.3%
病院	6 100.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	13 100.0%	8 61.5%	4 30.8%	1 7.7%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-19 歯科衛生士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	口腔衛生状態の評価	口腔衛生指導	口腔清掃の指導	義歯の状態評価	義歯清掃方法指導	摂食・嚥下機能訓練の評価	糖尿病患者への病対応	その他	無回答
全体	14 100.0%	10 71.4%	6 42.9%	6 42.9%	6 42.9%	3 21.4%	10 71.4%	4 28.6%	0 0.0%	0 0.0%
病院	6 100.0%	5 83.3%	1 16.7%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	8 100.0%	5 62.5%	5 62.5%	5 62.5%	3 37.5%	3 37.5%	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(オ) 訪問看護師

訪問看護師に対しては、73.6%の管理栄養士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「利用者の療養上の様子の把握」が78.6%と最も多く、次いで「利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有」(71.4%)、「利用者・家族の療養上の要望の把握」(57.1%)と続いた。

図表 ⑤-20 訪問看護師（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	19 100.0%	14 73.6%	4 21.1%	1 5.3%
病院	6 100.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%
診療所	13 100.0%	9 69.2%	3 23.1%	1 7.7%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-21 訪問看護師（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	様利 子用 者の 把の 療 養 上 の	握利 用者 の 嗜 好 の 把	養利 上用 者の 要・ 望家 族の 把の 握療	点用 服に 薬か 把か 握か 助 わ・ る薬 問剤 題使	る養 職上用 種の間 要・情 望に 報に 共関 の有 す療	その他	無 回 答
全体	14 100.0%	11 78.6%	7 50.0%	8 57.1%	2 14.3%	10 71.4%	0 0.0%	0 0.0%
病院	5 100.0%	4 80.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	9 100.0%	7 77.8%	4 44.4%	6 66.7%	2 22.2%	6 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

(カ) 介護職

介護職に対しては、78.9%の管理栄養士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「利用者の療養上の様子の把握」が73.3%と最も多く、次いで「利用者の嗜好の把握」「利用者・家族の生活像を踏まえた要望の把握」(60.0%)、「利用者・家族の生活上の要望に関する職種間情報共有」(53.3%)と続いた。

図表 ⑤-2 2 介護職（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	19 100.0%	15 78.9%	3 15.8%	1 5.3%
病院	6 100.0%	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%
診療所	13 100.0%	11 84.6%	1 7.7%	1 7.7%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-2 3 介護職（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	様 子 用 の 者 把 握 の 療 養 上 の	握 用 者 の 嗜 好 の 把	望 活 利 の 像 用 把 を 者 握 踏 ・ ま え 族 た の 要 生	服 薬 状 況 の 確 認	る 活 利 職 上 用 種 の 者 間 要 ・ 情 望 に 族 共 関 の 有 す 生	握 活 利 ・ 用 者 ・ 経 済 ・ 状 況 の 把 生	そ の 他	無 回 答
全体	15 100.0%	11 73.3%	9 60.0%	9 60.0%	2 13.3%	8 53.3%	6 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
病院	4 100.0%	3 75.0%	3 75.0%	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	11 100.0%	8 72.7%	6 54.5%	5 45.5%	2 18.2%	7 63.6%	5 45.5%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

(キ) 保健師

保健師に対しては、21.1%の管理栄養士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「利用者の嗜好の把握」「利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有」が75.0%と最も多く、次いで「利用者の療養上の様子の把握」「利用者・家族の療養上の要望の把握」(50.0%)と続いた。

図表 ⑤-24 保健師 (同行希望の有無)

	合計	あり	なし	無回答
全体	19 100.0%	4 21.1%	13 68.4%	2 10.5%
病院	6 100.0%	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%
診療所	13 100.0%	3 23.1%	8 61.5%	2 15.4%
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%

図表 ⑤-25 保健師 (同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと) (複数回答)

	合計	様利 子用 者の 把の 療 養 上 の	握利 用者 の 嗜 好 の 把	養利 上用 の者 要・ 望家 族の 把の 療	点用 服 のに 薬 把か 介 握か 助 わ・ る薬 問 剤 題使	る養 職上用 種 の者 間要・ 情望家 報に族 共関の 有す療	そ の 他	無 回 答
全体	4 100.0%	2 50.0%	3 75.0%	2 50.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%
病院	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(ク) 理学療法士

理学療法士に対しては、68.4%の管理栄養士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「食事姿勢指導」が92.3%と最も多く、次いで「摂食・嚥下に関連した指導・訓練」(69.2%)、「食欲や栄養吸収能力を高める身体運動指導」(46.2%)と続いた。

図表 ⑤-26 理学療法士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	19 100.0%	13 68.4%	6 31.6%	0 0.0%
病院	6 100.0%	2 33.3%	4 66.7%	0 0.0%
診療所	13 100.0%	11 84.6%	2 15.4%	0 0.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-27 理学療法士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	の関節拘縮へ	麻痺への対	ヘリパ浮腫	指に摂食・連・嚥下	運動指導	高吸収能や栄養	食事姿勢指導	その他	無回答
全体	13 100.0%	3 23.1%	5 38.5%	3 23.1%	9 69.2%	6 46.2%	12 92.3%	0 0.0%	0 0.0%	
病院	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
診療所	11 100.0%	3 27.3%	3 27.3%	3 27.3%	7 63.6%	5 45.5%	10 90.9%	0 0.0%	0 0.0%	
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	

(ケ) 作業療法士

作業療法士に対しては、63.1%の管理栄養士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「食事姿勢指導」が91.7%と最も多く、次いで「摂食・嚥下に関連した指導・訓練」(75.0%)、「食欲や栄養吸収能力を高める身体運動指導」(50.0%)と続いた。

図表 ⑤-28 作業療法士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	19 100.0%	12 63.1%	6 31.6%	1 5.3%
病院	6 100.0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%
診療所	13 100.0%	9 69.2%	3 23.1%	1 7.7%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-29 作業療法士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	応節拘縮への対応	麻痺への対応	リンパ浮腫への対応	連続した・指導下に関連	体能力や栄養吸収	食事姿勢指導	家事動作・家族の支援	その他	無回答
全体	12 100.0%	1 8.3%	3 25.0%	0 0.0%	9 75.0%	6 50.0%	11 91.7%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
病院	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%	2 66.7%	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	9 100.0%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	6 66.7%	4 44.4%	8 88.9%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(コ) 言語聴覚士

言語聴覚士に対しては、73.7%の管理栄養士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「摂食・嚥下訓練」が100.0%と最も多く、次いで「高次脳機能障害の評価」(21.4%)、「高次脳機能障害への対応」「言語機能の評価」(14.3%)と続いた。

図表 ⑤-30 言語聴覚士 (同行希望の有無)

	合計	あり	なし	無回答
全体	19 100.0%	14 73.7%	5 26.3%	0 0.0%
病院	6 100.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	13 100.0%	8 61.5%	5 38.5%	0 0.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-31 言語聴覚士 (同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと) (複数回答)

	合計	高次脳機能障害の評価	高次脳機能障害への対応	言語機能の評価	回復方法の指導	代替音声機の選定	代替音声訓練	摂食・嚥下訓練	その他	無回答
全体	14 100.0%	3 21.4%	2 14.3%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
病院	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	8 100.0%	3 37.5%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

(サ) 臨床心理士

臨床心理士に対しては、21.1%の管理栄養士が同行訪問を希望しており、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「不安症状・抑うつ利用者への対応」「認知症利用者への対応」「症状に関する利用者の心理的負担の検討・改善」「症状に関する家族の心理的負担の検討・改善」が50.0%と最も多かった。

図表 ⑤-3 2 臨床心理士（同行希望の有無）

	合計	あり	なし	無回答
全体	19 100.0%	4 21.1%	13 68.4%	2 10.5%
病院	6 100.0%	1 16.7%	4 66.6%	1 16.7%
診療所	13 100.0%	3 23.1%	9 69.2%	1 7.7%
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%

図表 ⑤-3 3 臨床心理士（同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと）（複数回答）

	合計	不安症状・抑うつ の評価	不安利用者への 抑対	認知症の評価	認知症利用者へ の対応	症者の状態に 関する改善 の検討	家族の心理的 負担の軽減 の検討	緩和ケア の活用 の検討	その他	無回答
全体	4 100.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	2 50.0%	2 50.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
病院	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

カ. 居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点について

居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点については、「医師と同行訪問しても算定可能にしてほしい」「他職種が管理栄養士の訪問を気軽に依頼できる仕組みがほしい」との回答が 42.3%で最も多く、次いで「医療保険で算定可能にしてほしい」「居宅療養管理指導を実施している機関が実施していない機関からの依頼を受けられるようにしてほしい」が 38.5%であった。

図表 ⑤-34 居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点（複数回答）

	合計	医師・歯科医師の指示が無くても実施できるようにしてほしい	医師と同行訪問しても算定可能にしてほしい	医療保険で算定可能にしてほしい	管理栄養士を活用することで医師に追加されるような仕組みがほしい	訪問回数の上限を上げてほしい	算定単位数を増やしてほしい	指導開始からの期間によって単位数を変えてほしい	居宅療養管理指導を実施している依頼を受けられるようにしてほしい	他職種が管理栄養士の訪問を気軽に依頼できる仕組みがほしい	前情報提供時から容体に変化がなかった場合のケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい	前情報提供時から容体に変化がなかった場合のケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい	その他	無回答
全体	26 100.0%	3 11.5%	11 42.3%	10 38.5%	6 23.1%	3 11.5%	2 7.7%	1 3.8%	10 38.5%	11 42.3%	2 7.7%	0 0.0%	1 3.8%	8 30.8%
病院	7 100.0%	0 0.0%	2 28.6%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%
診療所	19 100.0%	3 15.8%	9 47.4%	8 42.1%	5 26.3%	3 15.8%	2 10.5%	1 5.3%	8 42.1%	7 36.8%	2 10.5%	0 0.0%	1 5.3%	6 31.6%
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

Ⅱ 利用者編

ア. 属性

本調査に回答した管理栄養士が担当する居宅療養管理指導の利用者は、平均年齢 77.2 歳、介護度は要介護 5 が 15.4% を占めた。認知症高齢者の日常生活自立度では「認知症なし」、「無回答」（診断を受けていない利用者が含まれると思われる）以外では「Ⅱa」「Ⅲa」が 7.7% で最も多かった。

居住状態は「利用者宅で同居者あり」が 34.6% で最も多かった。主な介護者は「同居の配偶者」「ホームヘルパーなど介護サービス」が 19.2% で最も多く、次いで「同居の子または子の配偶者」が 15.4% であった。

(ア) 年齢

図表 ⑤-35 年齢

	合計	50歳以下	60歳	70歳	80歳	90歳以上	無回答	平均	標準偏差
全体	26 100.0%	2 7.7%	1 3.8%	5 19.2%	5 19.2%	3 11.5%	10 38.6%	77.2	15.6
病院	7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	3 42.8%	63.8	22.6
診療所	19 100.0%	1 5.3%	0 0.0%	4 21.1%	4 21.1%	3 15.8%	7 36.7%	81.7	10.3
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	57.0	-

(イ) 現在の要介護度・日常生活自立度

図表 ⑤-36 現在の状態（要介護度）

	合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	26 100.0%	0 0.0%	3 11.5%	3 11.5%	2 7.7%	0 0.0%	3 11.5%	4 15.4%	11 42.4%
病院	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	3 42.8%
診療所	19 100.0%	0 0.0%	2 10.5%	3 15.8%	1 5.3%	0 0.0%	2 10.5%	3 15.8%	8 42.1%
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-37 現在の状態（認知高齢者の日常生活自立度）

	合計	認知症なし	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明	無回答
全体	26 100.0%	6 23.1%	1 3.8%	2 7.7%	1 3.8%	2 7.7%	1 3.8%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	12 46.3%
病院	7 100.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	3 42.8%
診療所	19 100.0%	4 21.1%	1 5.3%	2 10.5%	1 5.3%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 47.2%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(ウ) 現在の居住状態

図表 ⑤-38 現在の居住状態

	合計	者合へ利用 ありで建者 同・宅 居集	合へ利用 で建者 独・宅 居集	けきサ 住高 宅齢 者ス 向付	ホ有 料 ム老 人	アホグ ハム ウス プ ケ	その他	無回答
全体	26 100.0%	9 34.6%	5 19.2%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	0 0.0%	10 38.6%
病院	7 100.0%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	3 42.8%
診療所	19 100.0%	7 36.8%	4 21.1%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	7 36.8%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(エ) 主な介護者

図表 ⑤-39 主な介護者

	合計	者同居 の配 偶	偶た同 者は居 子の 配ま	他同居 族の その	族在別 ・住居 親の 族家近 隣	族在別 ・住居 親の 族家遠 方	護パホ サー ナム ビどへ ス介	者主 はた いる ない 介 護	その他	無回答
全体	26 100.0%	5 19.2%	4 15.4%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	5 19.2%	0 0.0%	0 0.0%	10 38.6%
病院	7 100.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.8%
診療所	19 100.0%	3 15.8%	4 21.1%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	7 36.7%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

イ. 利用者に対する居宅療養管理指導の指導実績

訪問診療の開始時期については「平成 25 年」に開始したとの回答が 26.9%で最も多く、次いで「平成 19 年以前」が 3.8%であった。

居宅療養管理指導の開始時期についても「平成 25 年」が最も多く 46.2%、次いで「平成 21 年」「平成 24 年」が 3.8%であった。

(ア) 在宅患者訪問栄養指導を実施したことがある場合、開始した時期

図表 ⑤-4 0 在宅患者訪問栄養指導を実施したことがある場合、開始した時期

	合計	以 平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	無 回答
全体	26 100.0%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 26.9%	0 0.0%	18 69.3%
病院	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	4 57.1%
診療所	19 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 26.3%	0 0.0%	14 73.7%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 居宅療養管理指導を開始した時期

図表 ⑤-4 1 居宅療養管理指導を開始した時期

	合計	以 平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	無 回答
全体	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	12 46.2%	0 0.0%	12 46.2%
病院	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%	4 57.1%
診療所	19 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	9 47.3%	0 0.0%	8 42.1%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

ウ. 居宅療養管理指導の利用に至った理由と経緯

当該利用者が居宅療養管理指導の利用に至った理由については、「栄養状態改善の必要性が生じたため」が46.2%と最も多く、次いで「医療機関からの退院のため」が15.4%、「医学的・歯学的ケアの必要性が生じたため」が11.5%と続いた。

居宅療養管理指導開始の直接的な経緯については、「医師からの指示・依頼による」が53.8%で最も多く、次いで「ケアマネジャーからの依頼・情報提供による」が26.9%と続いた。

(ア) 居宅療養管理指導の利用に至った理由

図表 ⑤-4 2 居宅療養管理指導の利用に至った理由（複数回答）

	合計	医療機関からの退院のため	要介護認定されたため	要介護度が重度化したため	認知症が発症・重症化したため	身体機能が低下したため	栄養状態が改善されたため	医学的・歯学的ケアの必要性が生じたため	薬学的管理の必要性が生じたため	ケアマネジャーからの情報提供のため	その他	無回答
全体	26 100.0%	4 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	2 7.7%	12 46.2%	3 11.5%	1 3.8%	0 0.0%	1 3.8%	11 42.3%
病院	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	3 42.9%
診療所	19 100.0%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	10 52.6%	3 15.8%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	8 42.1%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 居宅療養管理指導開始の経緯

図表 ⑤-4 3 居宅療養管理指導開始の経緯（複数回答）

	合計	ケアマネジャーからの依頼・情報提供	利用者の患者・担当	職種からの施設・他	家族による利用者・の	医師からの指示・	歯科医師からの指	その他	無回答
全体	26 100.0%	7 26.9%	0 0.0%	2 7.7%	2 7.7%	14 53.8%	0 0.0%	1 3.8%	11 42.3%
病院	7 100.0%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%
診療所	19 100.0%	4 21.1%	0 0.0%	2 10.5%	2 10.5%	10 52.6%	0 0.0%	1 5.3%	8 42.1%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

エ. 訪問回数について

利用者への訪問開始後1ヶ月間の訪問回数は平均2.1回、直近(2013年12月)1ヶ月では平均3.7回であった。訪問開始から現在までの合計訪問回数は平均15.7回であり、うち、居宅療養管理指導を算定した訪問回数は12.3回であった。

(ア) 訪問開始後1ヶ月間の訪問回数

図表 ⑤-4 4 訪問開始後1ヶ月間の訪問回数

	合計	0回	満1 3 回未	満3 5 回未	未5 満1 0回	1 0 回 以上	無 回 答	平均	標準 偏差
全体	26 100.0%	1 3.8%	12 46.3%	1 3.8%	1 3.8%	0 0.0%	11 42.3%	2.1	1.8
病院	7 100.0%	1 14.3%	3 42.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	1.3	1.0
診療所	19 100.0%	0 0.0%	9 47.3%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	8 42.1%	2.5	2.0
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2.0	-

(イ) 12月の訪問回数

図表 ⑤-4 5 12月の訪問回数

	合計	0回	満1 3 回未	満3 5 回未	未5 満1 0回	1 0 回 以上	無 回 答	平均	標準 偏差
全体	26 100.0%	2 7.7%	5 19.2%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	17 65.5%	3.7	5.9
病院	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	5 71.4%	9.0	12.7
診療所	19 100.0%	1 5.3%	5 26.3%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	12 63.1%	2.1	2.7
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%		

(ウ) 訪問開始から現在までの合計訪問回数

図表 ⑤-46 訪問開始から現在までの合計訪問回数

	合計	0人	未満足1人	未満足1人	未満足3人	未満足5人	未満足10人以上	無回答	平均	標準偏差
全体	26 100.0%	0 0.0%	9 34.6%	2 7.7%	4 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	11 42.3%	15.7	17.8
病院	7 100.0%	0 0.0%	3 42.8%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	8.3	9.3
診療所	19 100.0%	0 0.0%	6 31.6%	1 5.3%	4 21.1%	0 0.0%	0 0.0%	8 42.0%	18.4	19.7
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2.0	-

図表 ⑤-47 うち居宅療養管理指導を算定した回数

	合計	0人	未満足1人	未満足1人	未満足3人	未満足5人	未満足10人以上	無回答	平均	標準偏差
全体	26 100.0%	1 3.8%	8 30.8%	4 15.4%	2 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	11 42.3%	12.3	15.0
病院	7 100.0%	0 0.0%	3 42.8%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	8.0	9.4
診療所	19 100.0%	1 5.3%	5 26.3%	3 15.8%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	8 42.1%	13.9	16.7
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2.0	-

オ. 栄養ケア計画について

栄養ケア計画を立てたとき、協働した職種は「主治医」が46.2%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が38.5%であった。栄養ケア計画の見直しの頻度は「必要に応じて実施するため頻度は不定」が46.2%で最も多かった。

(ア) 栄養ケア計画を立てたとき、協働した職種

図表 ⑤-48 栄養ケア計画を立てたとき、協働した職種（複数回答）

	合計	ケアマネ	主治医	主治歯科医	の主治 医師以外	の主治 歯科医以外	薬剤師	歯科衛生士	訪問看護師	保健師	介護職	ソーシャルワーカー	訪問リハ	臨床心理士	で自分 ひとり	その他	無回答
全体	26 100.0%	10 38.5%	12 46.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 26.9%	0 0.0%	2 7.7%	1 3.8%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	10 38.5%
病院	7 100.0%	3 42.9%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%
診療所	19 100.0%	7 36.8%	9 47.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 21.1%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	7 36.8%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 栄養ケア計画の見直しの頻度

図表 ⑤-49 栄養ケア計画の見直しの頻度

	合計	毎 実 回 地 指 導 後	1 回 3 地 回 指 導 に 2	1 回 5 地 回 指 導 に 4	不 定 頻 度 は 必 要 に 応 じ る	な ほ い と ん ど し	そ の 他	無 回 答
全体	26 100.0%	1 3.8%	3 11.5%	0 0.0%	12 46.2%	0 0.0%	0 0.0%	10 38.5%
病院	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	3 42.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%
診療所	19 100.0%	1 5.3%	2 10.5%	0 0.0%	9 47.4%	0 0.0%	0 0.0%	7 36.8%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

カ. 栄養スクリーニングについて

栄養スクリーニングの実施頻度は「必要に応じて実施するため頻度は不定」が 26.9%で最も多く、次いで「3~4ヶ月に1回」が 19.2%であった。

栄養スクリーニングでの具体的な測定内容は「身体計測」が 61.5%で最も多く、次いで「経口摂取状況」が 57.7%であった。「身体計測」の内訳は「BMI」が最も多く 81.3%であった。

(ア) 栄養スクリーニングの実施頻度

図表 ⑤-50 栄養スクリーニングの実施頻度

	合計	に1 1 回2 ヶ月	に3 1 回4 ヶ月	に5 1 回6 ヶ月	それ 以下	不 た 定 め 実 要 に 頻 度 す は る じ	な ほ と ん ど し	そ の 他	無 回 答
全体	26 100.0%	4 15.4%	5 19.2%	0 0.0%	0 0.0%	7 26.9%	0 0.0%	0 0.0%	10 38.5%
病院	7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.8%
診療所	19 100.0%	3 15.8%	4 21.1%	0 0.0%	0 0.0%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	7 36.8%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 栄養スクリーニングでの具体的な測定内容

図表 ⑤-51 栄養スクリーニングでの具体的な測定内容（複数回答）

	合計	身 生 活 機 能 ・	身 体 計 測	理 学 的 所 見	臨 床 検 査 値	経 口 摂 取 状 況	経 腸 補 給 の 脈 絡	消 化 器 症 状	褥 瘡 の 有 無	の 食 欲 ・ 食 事 感	そ の 他	無 回 答
全体	26 100.0%	7 26.9%	16 61.5%	2 7.7%	13 50.0%	15 57.7%	4 15.4%	2 7.7%	7 26.9%	8 30.8%	1 3.8%	10 38.5%
病院	7 100.0%	4 57.1%	4 57.1%	1 14.3%	3 42.9%	4 57.1%	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%	3 42.9%	0 0.0%	3 42.9%
診療所	19 100.0%	3 15.8%	12 63.2%	1 5.3%	10 52.6%	11 57.9%	3 15.8%	1 5.3%	5 26.3%	5 26.3%	1 5.3%	7 36.8%
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%

図表 ⑤-52 栄養スクリーニングでの具体的な測定（身体計測）（複数回答）

	合計	B M I	体 重 変 化 率	無 回 答
全体	16 100.0%	13 81.3%	11 68.8%	1 6.3%
病院	4 100.0%	4 100.0%	3 75.0%	0 0.0%
診療所	12 100.0%	9 75.0%	8 66.7%	1 8.3%
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%

図表 ⑤-5 3 栄養スクリーニングでの具体的な測定（理学的所見）

	合計	皮膚状態 下肢脂肪損	筋肉 損失状	毛髪、 腹水、 状態	無回答
全体	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
病院	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-5 4 栄養スクリーニングでの具体的な測定（臨床検査値）（複数回答）

	合計	血清 アルブミン	ヘモグロ ビン	血糖 値	総コレ ステロ ール	pt ru or p t e i v e r	クレ アチ ニン	素B UN （尿 素窒	無 回 答
全体	13 100.0%	11 84.6%	11 84.6%	10 76.9%	8 61.5%	0 0.0%	8 61.5%	7 53.8%	1 7.7%
病院	3 100.0%	3 100.0%	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%
診療所	10 100.0%	8 80.0%	8 80.0%	8 80.0%	7 70.0%	0 0.0%	5 50.0%	5 50.0%	1 10.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-5 5 栄養スクリーニングでの具体的な測定（経口摂取状況）（複数回答）

	合計	食事 形態	摂 取 量	況 況 養 養 摂 摂 取 取 状 状	方 姿 勢 ・ 勢 む せ ・ 食 べ	無 回 答
全体	15 100.0%	7 46.7%	13 86.7%	13 86.7%	5 33.3%	1 6.7%
病院	4 100.0%	2 50.0%	4 100.0%	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%
診療所	11 100.0%	5 45.5%	9 81.8%	9 81.8%	4 36.4%	1 9.1%
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

キ. 栄養アセスメントについて

栄養アセスメントの実施頻度は「必要に応じて実施するため頻度は不定」が 30.8%で最も多く、次いで「3~4ヶ月に1回」が 15.4%であった。

栄養アセスメントでの具体的な測定内容は「身体計測」「経口摂取状況」が 61.5%で最も多く、次いで「臨床検査値」が 50.0%であった。「身体計測」の内訳は「BMI」が最も多く 75.0%であった。

(ア) 栄養アセスメントの実施頻度

図表 ⑤-56 栄養アセスメントの実施頻度

	合計	に1 1ヶ月 1回	に3 1ヶ月 4回	に5 1ヶ月 6回	それ 以下	不 定	た め	必 要 に 応 じ	な ほ い と ん ど し	そ の 他	無 回 答
全体	26 100.0%	3 11.5%	4 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	8 30.8%	1 3.8%	0 0.0%	10 38.5%		
病院	7 100.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.8%		
診療所	19 100.0%	1 5.3%	4 21.1%	0 0.0%	0 0.0%	6 31.6%	1 5.3%	0 0.0%	7 36.7%		
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

(イ) 栄養アセスメントでの具体的な測定内容

図表 ⑤-57 栄養アセスメントでの具体的な測定内容（複数回答）

	合計	身 体 機 能	身 体 計 測	理 学 的 所 見	臨 床 検 査 値	経 口 摂 取 状 況	経 路 状 況 ・ 静 脈 給 養 状 況	消 化 器 症 状	褥 瘡 の 有 無	の 食 欲 ・ 食 事	有 無 水 症 状 の	排 泄 状 況	そ の 他	無 回 答
全体	26 100.0%	9 34.6%	16 61.5%	1 3.8%	13 50.0%	16 61.5%	3 11.5%	5 19.2%	6 23.1%	11 42.3%	8 30.8%	11 42.3%	4 15.4%	9 34.6%
病院	7 100.0%	4 57.1%	4 57.1%	0 0.0%	3 42.9%	4 57.1%	0 0.0%	2 28.6%	2 28.6%	4 57.1%	3 42.9%	4 57.1%	1 14.3%	3 42.9%
診療所	19 100.0%	5 26.3%	12 63.2%	1 5.3%	10 52.6%	12 63.2%	3 15.8%	3 15.8%	4 21.1%	7 36.8%	5 26.3%	7 36.8%	3 15.8%	6 31.6%
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%

図表 ⑤-5 8 栄養アセスメントでの具体的な測定内容（身体計測）（複数回答）

	合計	B M I	体 重 変 化 率	無 回 答
全体	16 100.0%	12 75.0%	11 68.8%	3 18.8%
病院	4 100.0%	4 100.0%	3 75.0%	0 0.0%
診療所	12 100.0%	8 66.7%	8 66.7%	3 25.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%

図表 ⑤-5 9 栄養アセスメントでの具体的な測定内容（理学的所見）（複数回答）

	合計	失 皮 状 下 態 脂 肪 損	態 筋 肉 損 失 状	毛 蹠 、 腹 水 、 毛 髪 の 腹 状 水 態	無 回 答
全体	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
病院	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-6 0 栄養アセスメントでの具体的な測定内容（臨床検査値）（複数回答）

	合計	血 清 ア ル ブ ミ ン	ヘ モ グ ロ ビ ン	血 糖 値	総 コ レ ス テ ロ ール	p t r u r o r n i t e o d i v e r	ク レ ア チ ニ ン	素 B U N （ 尿 素 窒	無 回 答
全体	13 100.0%	10 76.9%	10 76.9%	9 69.2%	7 53.8%	0 0.0%	8 61.5%	7 53.8%	2 15.4%
病院	3 100.0%	3 100.0%	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%
診療所	10 100.0%	7 70.0%	7 70.0%	7 70.0%	6 60.0%	0 0.0%	5 50.0%	5 50.0%	2 20.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-6 1 栄養アセスメントでの具体的な測定内容（経口摂取状況）（複数回答）

	合計	食事形態	摂取頻度	摂取量	栄養摂取量	食品の栄養補助状況	姿勢・むせ・食べ	無回答
全体	16 100.0%	11 68.8%	7 43.8%	13 81.3%	14 87.5%	9 56.3%	8 50.0%	2 12.5%
病院	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	3 75.0%	3 75.0%	2 50.0%	2 50.0%	1 25.0%
診療所	12 100.0%	8 66.7%	6 50.0%	10 83.3%	11 91.7%	7 58.3%	6 50.0%	1 8.3%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-6 2 栄養アセスメントでの具体的な測定内容（排泄）（複数回答）

	合計	排尿回数	便秘	発汗状況	無回答
全体	11 100.0%	3 27.3%	9 81.8%	2 18.2%	1 9.1%
病院	4 100.0%	1 25.0%	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%
診療所	7 100.0%	2 28.6%	5 71.4%	1 14.3%	1 14.3%
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

ク. 医師へのモニタリング報告について

医師へのモニタリング報告の主な手段は「文書（手渡し）」が 42.3%で最も多く、次いで「口頭」が 26.9%であった。情報提供に際しての具体的な内容は「食事状況」が 57.7%で最も多かった。「食事状況」の内訳は「栄養摂取状況」に関する情報提供が最も多く 86.7%であった。

(ア) 医師へのモニタリング報告の主な手段

図表 ⑤-63 医師へのモニタリング報告の主な手段（複数回答）

	合計	口頭	し文書 （手渡し）	電話	F A X	メ ー ル	そ の 他	無 回 答
全体	26 100.0%	7 26.9%	11 42.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.7%	2 7.7%	10 38.5%
病院	7 100.0%	2 28.6%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%
診療所	19 100.0%	5 26.3%	7 36.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.5%	2 10.5%	7 36.8%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%

(イ) 医師へのモニタリング報告での具体的な報告項目

図表 ⑤-64 医師へのモニタリング報告での具体的な報告項目（複数回答）

	合計	身生活機能 ・ 健康	親主観 的健康	る食満 事に 対 す	体重	B M I	体 重 変 化 率	ミ血 清 ア ル ブ	食 事 状 況	状栄経 況養腸 補・ 給静 の脈	褥瘡 の 状 態	者主 のた る 状 況 介 護	そ の 他	無 回 答
全体	26 100.0%	7 26.9%	7 26.9%	6 23.1%	13 50.0%	10 38.5%	8 30.8%	6 23.1%	15 57.7%	0 0.0%	1 3.8%	6 23.1%	1 3.8%	9 34.6%
病院	7 100.0%	3 42.9%	3 42.9%	3 42.9%	4 57.1%	3 42.9%	2 28.6%	2 28.6%	4 57.1%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	3 42.9%
診療所	19 100.0%	4 21.1%	4 21.1%	3 15.8%	9 47.4%	7 36.8%	6 31.6%	4 21.1%	11 57.9%	0 0.0%	0 0.0%	4 21.1%	1 5.3%	6 31.6%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-65 歯科医師へのモニタリング報告での具体的な報告項目（食事状況）（複数回答）

	合計	食 事 形 態	摂 取 量	況栄 養 摂 取 状	方姿 ・ 勢 む ・ 食 べ	無 回 答
全体	15 100.0%	8 53.3%	12 80.0%	13 86.7%	8 53.3%	2 13.3%
病院	4 100.0%	2 50.0%	4 100.0%	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%
診療所	11 100.0%	6 54.5%	8 72.7%	9 81.8%	6 54.5%	2 18.2%
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

ケ. 利用者・家族への情報提供

利用者・家族への情報提供については、「口頭」が46.2%と最も多く、次いで「文書（手渡し）」が26.9%であった。利用者・家族への情報提供の具体的内容は「調理法」が42.3%で最も多く、次いで「食事の形態」が34.6%であった。

(ア) 利用者や家族への指導・助言の主な手段

図表 ⑤-66 利用者や家族への指導・助言の主な手段（複数回答）

	合計	口頭	し文書 （手渡 し）	電話	F A X	メ ー ル	そ の 他	無 回 答
全体	26 100.0%	12 46.2%	7 26.9%	4 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 11.5%	9 34.6%
病院	7 100.0%	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	3 42.9%
診療所	19 100.0%	10 52.6%	6 31.6%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.5%	6 31.6%
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(イ) 利用者や家族への指導・助言の具体的な内容

図表 ⑤-67 利用者や家族への指導・助言の具体的な内容（複数回答）

	合計	食事時間	食事の形態	ス食事 チャ ー テ ク	量栄 養素 摂取	取食 品 群 別 摂	調理 法	り治 療 食 の 作	付減 塩 け ら ・ 方 し 甘 み 味 を	法食 品 販 の 利 介 用 護
全体	26 100.0%	5 19.2%	9 34.6%	3 11.5%	6 23.1%	5 19.2%	11 42.3%	5 19.2%	5 19.2%	4 15.4%
病院	7 100.0%	2 28.6%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	2 28.6%	2 28.6%	2 28.6%	1 14.3%
診療所	19 100.0%	3 15.8%	6 31.6%	3 15.8%	5 26.3%	5 26.3%	9 47.4%	3 15.8%	3 15.8%	3 15.8%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	品栄 の養 利補 用助 法食	食 事 介 助	使と 用ろ 法み 剤の	の食 対欲 応不 振へ	買 物	ス配 食サ ー ビ	情昇 報に 腔提 関機 提供 する 上	食食 環事 境姿 勢や	そ の 他	無 回 答
全体	7 26.9%	3 11.5%	6 23.1%	3 11.5%	3 11.5%	3 11.5%	2 7.7%	4 15.4%	1 3.8%	9 34.6%
病院	2 28.6%	1 14.3%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	3 42.9%
診療所	5 26.3%	2 10.5%	4 21.1%	2 10.5%	3 15.8%	2 10.5%	1 5.3%	3 15.8%	1 5.3%	6 31.6%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

コ. 一回あたりの指導時間

居宅療養管理指導一回あたりに要する時間については、「移動時間」に平均 23.8 分、「情報収集等の準備時間」に平均 27.8 分、「実際の指導時間」に平均 40.9 分、「訪問後の帳簿記載」に平均 26.5 分、「他職種への連絡調整」に平均 18.9 分を要するとの回答が得られた。ただし、他の制度等による診療時間と居宅療養管理指導における指導時間を明確に分離できないため、両者の時間を合計した時間数が解答されている可能性がある点に留意が必要である。

図表 ⑤-68 1回の指導にかかる時間(移動時間)

	合計	5分未満	5分未満 10分	10分未満 15分	15分未満 20分	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	26 100.0%	0 0.0%	1 3.8%	4 15.4%	1 3.8%	11 42.4%	9 34.6%	23.8	14.6
病院	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%	3 42.8%	18.8	8.5
診療所	19 100.0%	0 0.0%	1 5.3%	3 15.8%	0 0.0%	9 47.3%	6 31.6%	25.4	16.0
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	30.0	-

図表 ⑤-69 1回の指導にかかる時間(情報収集の準備時間)

	合計	5分未満	5分未満 10分	10分未満 15分	15分未満 20分	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	26 100.0%	0 0.0%	1 3.8%	2 7.7%	3 11.5%	10 38.5%	10 38.5%	27.8	21.1
病院	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 57.1%	3 42.9%	32.5	12.6
診療所	19 100.0%	0 0.0%	1 5.3%	2 10.5%	3 15.8%	6 31.6%	7 36.8%	26.3	23.5
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10.0	-

図表 ⑤-70 1回の指導にかかる時間(実際の指導時間)

	合計	5分未満	5分未満 10分	10分未満 15分	15分未満 20分	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	16 61.6%	9 34.6%	40.9	13.8
病院	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 57.1%	3 42.9%	37.5	15.0
診療所	19 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	12 63.1%	6 31.6%	41.9	13.9
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	45.0	-

図表 ⑤-7 1 1回の指導にかかる時間(訪問後の帳簿記載)

	合計	5分未満	5分未満 5分	10分未満 5分	15分未満 5分	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	26 100.0%	0 0.0%	2 7.7%	3 11.5%	1 3.8%	11 42.4%	9 34.6%	26.5	20.3
病院	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 57.1%	3 42.9%	30.0	0.0
診療所	19 100.0%	0 0.0%	2 10.5%	3 15.8%	1 5.3%	7 36.8%	6 31.6%	25.4	23.3
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10.0	-

図表 ⑤-7 2 1回の指導にかかる時間(他職種への連絡調整時間)

	合計	5分未満	5分未満 5分	10分未満 5分	15分未満 5分	20分以上	無回答	平均	標準偏差
全体	26 100.0%	1 3.8%	1 3.8%	4 15.4%	2 7.7%	8 30.8%	10 38.5%	18.9	12.1
病院	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	3 42.8%	3 42.9%	21.3	6.3
診療所	19 100.0%	1 5.3%	1 5.3%	4 21.1%	1 5.3%	5 26.3%	7 36.7%	18.1	13.7
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10.0	-

サ. 他の職種との連携について

利用者の指導に関して管理栄養士が普段相談している職種は「訪問看護師」が46.2%で最も多く、次いで「主治医」が42.3%、「介護職」が19.2%であった。

(ア) 利用者の指導に関して普段相談をしている職種

図表 ⑤-7 3 利用者の指導に関して普段相談をしている職種（複数回答）

	合計	主治医	主治歯科医	の主治 医師 以外	の主治 歯科医 以外	薬剤師	歯科衛生士	訪問 看護師	保健師	介護職	タフ ン・フ ン・ス テ ィ	訪問 リハ ビ テ ィ	臨床 心理 士	い 提 相 他 供 談 職 は ・ 種 し 情 へ の	そ の 他	無 回 答
全体	26 100.0%	11 42.3%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 46.2%	0 0.0%	5 19.2%	4 15.4%	4 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	4 15.4%	0 0.0%
病院	7 100.0%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	19 100.0%	7 36.8%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 47.4%	0 0.0%	4 21.1%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 21.1%	0 0.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-7 4 利用者の指導に関して普段相談をしている職種（訪問リハビリテーションスタッフ）

	合計	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	無回答
全体	4 100.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
病院	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
診療所	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(ウ) よく同行する職種

図表 ⑤-77 よく同行する職種 (複数回答)

	合計	主治医	主治歯科医	の主治医以外	の主治歯科医以外	薬剤師	歯科衛生士	訪問看護師	保健師	介護職	訪問リハビリテーションスタッフ	臨床心理士	提供・情報への	他職種への	その他	無回答
全体	13 100.0%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 30.8%	0 0.0%	4 30.8%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 38.5%	0 0.0%
病院	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療所	10 100.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	4 40.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 50.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 ⑤-78 よく同行する職種 (訪問リハビリテーションスタッフ)

	合計	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	無回答
全体	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
病院	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
診療所	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(3) 事業所票調査結果

① 在宅療養支援診療所

ア. 基本情報

(ア) 開設年（西暦年）

図表 ①-1 開設年（西暦年）

	全体	1997年以前	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	無回答
合計	500 100.0%	77 15.4%	52 10.4%	110 22.0%	82 16.4%	102 20.4%	59 11.8%	18 3.6%	

(イ) 開設主体

図表 ①-2 開設主体

	全体	個人	医療法人	公立・市町村一部事務組合	公的団体、社会保険関係	社会福祉法人	協会、同組合および連合	営利法人	その他	無回答
合計	500 100.0%	135 27.0%	330 66.0%	6 1.2%	0 0.0%	1 0.2%	21 4.2%	0 0.0%	7 1.4%	0 0.0%

(ウ) 標榜診療科

図表 ①-3 標榜診療科（複数回答）

	全体	内科	外科	整形外科	皮膚科	精神科	眼科	耳鼻科	泌尿器科	歯科	その他	無回答
合計	500 100.0%	471 94.2%	128 25.6%	90 18.0%	56 11.2%	21 4.2%	10 2.0%	9 1.8%	30 6.0%	9 1.8%	186 37.2%	0 0.0%

(エ) 併設サービス

図表 ①-4 併設サービス（複数回答）

	全体	介護老人保健施設	介護老人福祉施設	介護療養型医療施設	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション
合計	500 100.0%	38 7.6%	6 1.2%	9 1.8%	48 9.6%	1 0.2%	145 29.0%	81 16.2%	184 36.8%	53 10.6%	91 18.2%
	全体	短期入所生活介護	短期入所療養介護	生活介護	特定施設入所者生活介護	福祉用具貸与	居宅介護支援	特になし	その他	無回答	
合計	500 100.0%	17 3.4%	28 5.6%	30 6.0%	4 0.8%	5 1.0%	86 17.2%	160 32.0%	14 2.8%	73 14.6%	

イ. 施設規模

(ア) 施設区分

図表 ①-5 施設区分

	全体	無床診療所	有床診療所	無回答
合計	500 100.0%	409 81.8%	84 16.8%	7 1.4%

(イ) 病床数

図表 ①-6 病床数

	全体	0床	1 ～ 5 床 未 満	5 ～ 1 0 床 未 満	1 0 ～ 1 5 床 未 満	1 5 床 以上	無回答	平均	標準偏差
病床数 合計	84 100.0%	0 0.0%	6 7.1%	3 3.6%	10 11.9%	65 77.4%	0 0.0%	16.2	4.9
うち一般病床	84 100.0%	7 8.3%	7 8.3%	11 13.1%	13 15.5%	46 54.8%	0 0.0%	13.0	6.7
うち療養病床	84 100.0%	57 67.8%	3 3.6%	11 13.1%	9 10.7%	4 4.8%	0 0.0%	3.2	5.4
うち精神病床	84 100.0%	84 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0	0.0
うち感染症病床	84 100.0%	84 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0	0.0
うち結核病床	84 100.0%	84 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0	0.0

(ウ) 1日平均入院患者数

図表 ①-7 1日平均入院患者数

	全体	0人	1 ～ 5 人 未 満	5 ～ 1 0 人 未 満	1 0 ～ 1 5 人 未 満	1 5 人 以上	無回答	平均	標準偏差
合計	84 100.0%	14 16.7%	7 8.3%	14 16.7%	23 27.4%	24 28.5%	2 2.4%	10.2	6.5

(工) 平均在院日数 (2013年10月~12月実績)

図表 ①-8 平均在院日数 (2013年10月~12月実績)

	全体	10日未満	10日~19日未満	20日~29日未満	30日~39日未満	40日~49日未満	50日以上	無回答	平均	標準偏差
合計	84 100.0%	24 28.5%	19 22.6%	16 19.0%	4 4.8%	2 2.4%	15 17.9%	4 4.8%	27.8	32.5

(才) 1日平均外来患者数 (2013年12月実績)

図表 ①-9 1日平均外来患者数 (2013年12月実績)

	全体	20人未満	20人~39人未満	40人~59人未満	60人~79人未満	80人~99人未満	100人以上	無回答	平均	標準偏差
合計	500 100.0%	70 14.0%	86 17.2%	87 17.4%	84 16.8%	38 7.6%	72 14.4%	63 12.6%	68.8	94.3

(力) 月間処方箋発行枚数 (2013年12月実績)

図表 ①-10 月間処方箋発行枚数 (2013年12月実績)

	全体	200枚未満	200枚~399枚未満	400枚~599枚未満	600枚~799枚未満	800枚~999枚未満	1000枚以上	無回答	平均	標準偏差
合計	500 100.0%	109 21.8%	26 5.2%	37 7.4%	46 9.2%	45 9.0%	134 26.8%	103 20.6%	932.9	1462.7

ウ. 職員体制

(ア) 職種別職員数

図表 ①- 1 1 職種別職員数

	全体	0人	1 ~ 3 人未 満	3 ~ 5 人未 満	5 ~ 1 0 人未 満	1 0 人 以上	無 回 答	平均	標準 偏差
ア) 医師_常勤換算計	500 100.0%	22 4.4%	351 70.2%	64 12.8%	17 3.4%	4 0.8%	42 8.4%	2.0	2.3
イ) 歯科医師_常勤換算計	500 100.0%	121 24.2%	6 1.2%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	372 74.4%	0.1	0.5
ウ) 薬剤師_常勤換算計	500 100.0%	113 22.6%	21 4.2%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	365 73.0%	0.2	0.5
エ) 看護職員(看護師・准看護師)_常勤換算計	500 100.0%	24 4.8%	139 27.8%	100 20.0%	83 16.6%	42 8.4%	112 22.4%	4.8	5.3
オ) 歯科衛生士_常勤換算計	500 100.0%	119 23.8%	2 0.4%	0 0.0%	3 0.6%	0 0.0%	376 75.2%	0.1	0.8
カ) 管理栄養士_常勤換算計	500 100.0%	112 22.4%	40 8.0%	0 0.0%	1 0.2%	0 0.0%	347 69.4%	0.4	0.8

(イ) 居宅療養管理指導従事職員数

図表 ①- 1 2 居宅療養管理指導従事職員数

	全体	0人	1 ~ 3 人未 満	3 ~ 5 人未 満	5 ~ 1 0 人未 満	1 0 人 以上	無 回 答	平均	標準 偏差
常勤実人数	500 100.0%	58 11.6%	132 26.4%	40 8.0%	17 3.4%	3 0.6%	250 50.0%	1.8	2.0
非常勤実人数	500 100.0%	85 17.0%	38 7.6%	10 2.0%	13 2.6%	1 0.2%	353 70.6%	1.3	2.4

工. 在宅療養実施状況

図表 ①-13 在宅療養実施状況

	全体	あり	なし	無回答
①往診・訪問診療の実施状況	500 100.0%	447 89.4%	14 2.8%	39 7.8%
②在宅時医学総合管理料	500 100.0%	392 78.4%	57 11.4%	51 10.2%
③在宅患者訪問薬剤管理指導料	500 100.0%	30 6.0%	353 70.6%	117 23.4%
④在宅患者訪問栄養食事指導料	500 100.0%	10 2.0%	367 73.4%	123 24.6%
⑤訪問看護指示料	500 100.0%	358 71.6%	78 15.6%	64 12.8%
⑥在宅患者連携指導料	500 100.0%	8 1.6%	362 72.4%	130 26.0%

図表 ①-14 1か月あたりの実施件数

	全体	20件未満	20~40件未満	40~60件未満	60~80件未満	80~100件未満	100~200件未満	200件以上	無回答	平均	標準偏差
①往診・訪問診療の実施状況/月	447 100.0%	99 22.1%	66 14.8%	36 8.1%	29 6.5%	23 5.1%	75 16.8%	93 20.8%	26 5.8%	155.8	285.3

	全体	1~3件未満	3~5件未満	5~10件未満	10~20件未満	20~30件未満	30~40件未満	40~50件未満	50件以上	無回答	平均	標準偏差
②在宅時医学総合管理料	392 100.0%	22 5.6%	17 4.3%	36 9.2%	51 13.0%	51 13.0%	31 7.9%	22 5.6%	145 37.1%	17 4.3%	65.8	89.5
③在宅患者訪問薬剤管理指導料	30 100.0%	9 30.0%	0 0.0%	5 16.7%	0 0.0%	3 10.0%	1 3.3%	3 10.0%	6 20.0%	3 10.0%	30.8	42.8
④在宅患者訪問栄養食事指導料	10 100.0%	7 70.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2.3	1.6
⑤訪問看護指示料	358 100.0%	48 13.4%	38 10.6%	74 20.6%	67 18.7%	36 10.1%	26 7.3%	17 4.7%	36 10.1%	16 4.5%	21.1	28.9
⑥在宅患者連携指導料	8 100.0%	6 75.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5.0	8.5

図表 ①-15 居宅療養管理指導実施の有無

	全体	実施している	実施していない	無回答
合計	500 100.0%	315 63.0%	159 31.8%	26 5.2%

オ. 居宅療養管理指導の実施状況

(ア) 月間のべ算定件数

図表 ①-16 月間のべ算定件数

	全体	0件	1 ～ 10 件未 満	1 0 ～ 3 0 件未 満	3 0 ～ 5 0 件未 満	5 0 ～ 1 0 0 件未 満	1 0 0 件 以上	無 回 答	平均	標 準 偏 差
ア) 医師_I	315 100.0%	20 6.3%	110 35.0%	74 23.5%	18 5.7%	20 6.3%	10 3.2%	63 20.0%	26.9	97.1
ア) 医師_II	315 100.0%	8 2.5%	32 10.2%	41 13.0%	42 13.3%	52 16.5%	86 27.4%	54 17.1%	122.5	182.9

	全体	0件	1 ～ 3 件未 満	3 ～ 5 件未 満	5 ～ 1 0 件未 満	1 0 件 以上	無 回 答	平均	標 準 偏 差
イ) 歯科医師_同一建物居住者以外	315 100.0%	30 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	284 90.2%	1.2	6.5
イ) 歯科医師_同一建物居住者	315 100.0%	31 9.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	283 89.9%	2.3	12.7
ウ) 薬剤師_同一建物居住者以外	315 100.0%	32 10.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.6%	2 0.6%	279 88.6%	1.7	5.7
ウ) 薬剤師_同一建物居住者	315 100.0%	31 9.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	2 0.6%	281 89.3%	3.6	18.2
エ) 看護職員_同一建物居住者以外	315 100.0%	32 10.2%	2 0.6%	1 0.3%	1 0.3%	5 1.6%	274 87.0%	12.9	40.9
エ) 看護職員_同一建物居住者	315 100.0%	32 10.2%	1 0.3%	1 0.3%	0 0.0%	5 1.6%	276 87.6%	5.4	17.4
オ) 歯科衛生士_同一建物居住者以外	315 100.0%	30 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	284 90.2%	1.3	7.4
オ) 歯科衛生士_同一建物居住者	315 100.0%	31 9.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	284 90.2%	0.0	0.0
カ) 管理栄養士_同一建物居住者以外	315 100.0%	29 9.2%	4 1.3%	1 0.3%	1 0.3%	0 0.0%	280 88.9%	0.4	1.0
カ) 管理栄養士_同一建物居住者	315 100.0%	30 9.5%	2 0.6%	1 0.3%	0 0.0%	2 0.6%	280 89.0%	7.8	40.6

(イ) 月間実利用者数

図表 ①-17 月間実利用者数

	全体	0件	1 5 10 件未 満	1 5 30 件未 満	3 0 5 0 件未 満	5 0 5 10 0 件未 満	1 0 0 件 以 上	無 回 答	平均	標 準 偏 差
ア) 医師_I	315 100.0%	19 6.0%	118 37.5%	66 21.0%	14 4.4%	16 5.1%	6 1.9%	76 24.1%	18.7	51.0
ア) 医師_II	315 100.0%	7 2.2%	48 15.2%	62 19.7%	43 13.7%	45 14.3%	50 15.9%	60 19.0%	66.3	91.8

	全体	0件	1 5 3 件未 満	3 5 5 件未 満	5 5 10 件未 満	1 0 0 件 以 上	無 回 答	平均	標 準 偏 差
イ) 歯科医師_同一建物居住者以外	315 100.0%	28 8.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	1 0.3%	285 90.5%	1.0	4.4
イ) 歯科医師_同一建物居住者	315 100.0%	29 9.2%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	285 90.5%	0.1	0.7
ウ) 薬剤師_同一建物居住者以外	315 100.0%	30 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	3 1.0%	281 89.2%	1.6	4.8
ウ) 薬剤師_同一建物居住者	315 100.0%	29 9.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	2 0.6%	283 89.9%	2.9	11.1
エ) 看護職員_同一建物居住者以外	315 100.0%	30 9.5%	4 1.3%	0 0.0%	1 0.3%	4 1.3%	276 87.6%	5.4	16.6
エ) 看護職員_同一建物居住者	315 100.0%	30 9.5%	1 0.3%	1 0.3%	2 0.6%	3 1.0%	278 88.3%	2.8	8.9
オ) 歯科衛生士_同一建物居住者以外	315 100.0%	28 8.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	286 90.8%	0.8	4.5
オ) 歯科衛生士_同一建物居住者	315 100.0%	29 9.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	286 90.8%	0.0	0.0
カ) 管理栄養士_同一建物居住者以外	315 100.0%	27 8.6%	4 1.3%	2 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	282 89.5%	0.3	0.8
カ) 管理栄養士_同一建物居住者	315 100.0%	29 9.2%	2 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.6%	282 89.6%	4.1	20.9

(ウ) 算定期間別の実利用者数

図表 ①-18 算定期間別の実利用者数

	全体	0件	1 5 3 人未 満	3 5 5 人未 満	5 5 10 人未 満	1 0 5 2 0 人未 満	2 0 人 以 上	無 回 答	平均	標 準 偏 差
~1ヶ月未満	315 100.0%	40 12.7%	79 25.1%	20 6.3%	29 9.2%	16 5.1%	5 1.6%	126 40.0%	3.7	5.6
1~3ヶ月未満	315 100.0%	17 5.4%	57 18.1%	40 12.7%	44 14.0%	26 8.3%	19 6.0%	112 35.5%	7.0	9.4
3~6ヶ月未満	315 100.0%	14 4.4%	48 15.2%	42 13.3%	49 15.6%	27 8.6%	27 8.6%	108 34.3%	8.7	12.7
6~12ヶ月未満	315 100.0%	9 2.9%	47 14.9%	31 9.8%	48 15.2%	44 14.0%	41 13.0%	95 30.2%	13.2	23.4
1年以上	315 100.0%	8 2.5%	16 5.1%	12 3.8%	28 8.9%	50 15.9%	148 47.0%	53 16.8%	45.3	58.2

(エ) 2013年12月時点で居宅療養管理指導を算定している利用者のうち、要介護認定を受ける以前から、貴院から医療保険による訪問（訪問診療・訪問歯科診療・訪問薬剤管理指導・訪問栄養食事指導等）を実施していた利用者の割合

図表①-19 2013年12月時点で居宅療養管理指導を算定している利用者のうち、要介護認定を受ける以前から、貴院から医療保険による訪問（訪問診療・訪問歯科診療・訪問薬剤管理指導・訪問栄養食事指導等）を実施していた利用者の割合

	全体	0割	1割未満	2割未満	3割未満	4割未満	5割以上	無回答	平均	標準偏差
合計	315 100.0%	113 36.0%	30 9.5%	56 17.8%	18 5.7%	8 2.5%	2 0.6%	29 9.2%	59 18.7%	1.4 2.5

(オ) 職員配置別の居宅療養管理指導算定件数

図表①-20 月間のべ算定件数（医師_I）×医師常勤実人員別

	合計	0件	1~10件未満	10~30件未満	30~50件未満	50~100件未満	100件以上	無回答	平均	標準偏差
全体	315 100.0%	20 6.3%	110 35.0%	74 23.5%	18 5.7%	20 6.3%	10 3.2%	63 20.0%	26.9	97.1
1人	176 100.0%	12 6.8%	65 36.9%	37 21.0%	12 6.8%	14 8.0%	4 2.3%	32 18.2%	20.4	33.3
2人以上	116 100.0%	8 6.9%	37 31.8%	29 25.0%	6 5.2%	6 5.2%	6 5.2%	24 20.7%	40.1	154.8

※常勤医師1名当たりの月間延べ算定件数を集計した

図表①-21 月間のべ算定件数（医師_II）×医師常勤実人員別

	合計	0件	1~10件未満	10~30件未満	30~50件未満	50~100件未満	100件以上	無回答	平均	標準偏差
全体	315 100.0%	8 2.5%	32 10.2%	41 13.0%	42 13.3%	52 16.5%	86 27.4%	54 17.1%	122.5	182.9
1人	176 100.0%	3 1.7%	22 12.5%	23 13.1%	27 15.3%	31 17.6%	38 21.6%	32 18.2%	84.3	108.1
2人以上	116 100.0%	5 4.3%	9 7.8%	15 12.9%	13 11.2%	17 14.7%	43 37.0%	14 12.1%	173.1	237.0

※常勤医師1名当たりの月間延べ算定件数を集計した

② 在宅療養支援病院

ア. 基本情報

(ア) 開設年（西暦年）

図表 ②-1 開設年（西暦年）

	全体	1997年以前	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	無回答
合計	86 100.0%	37 43.1%	13 15.1%	13 15.1%	3 3.5%	10 11.6%	7 8.1%	3 3.5%	

(イ) 開設主体

図表 ②-2 開設主体

	全体	個人	医療法人	公立・市町村一部事務組合	公的団体、社会保険関係	社会福祉法人	協会、組合および連合	営利法人	その他	無回答
合計	86 100.0%	0 0.0%	61 70.9%	10 11.6%	3 3.5%	3 3.5%	3 3.5%	0 0.0%	6 7.0%	0 0.0%

(ウ) 標榜診療科

図表 ②-3 標榜診療科（複数回答）

	全体	内科	外科	整形外科	皮膚科	精神科	眼科	耳鼻科	泌尿器科	歯科	その他	無回答
合計	86 100.0%	85 98.8%	58 67.4%	61 70.9%	42 48.8%	9 10.5%	29 33.7%	16 18.6%	33 38.4%	10 11.6%	57 66.3%	0 0.0%

(エ) 併設サービス

図表 ②-4 併設サービス（複数回答）

	全体	介護老人保健施設	介護老人福祉施設	介護療養型医療施設	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション
合計	86 100.0%	23 26.7%	2 2.3%	16 18.6%	27 31.4%	2 2.3%	54 62.8%	34 39.5%	43 50.0%	16 18.6%	40 46.5%
	全体	短期入所生活介護	短期入所療養介護	生活介護	特定施設入所者生活介護	福祉用具貸与	居宅介護支援	特になし	その他	無回答	
合計	86 100.0%	7 8.1%	20 23.3%	7 8.1%	3 3.5%	2 2.3%	43 50.0%	9 10.5%	2 2.3%	6 7.0%	

イ. 施設規模

(ア) 病床数

図表 ②-5 病床数

	全体	20床未満	20≤40床未満	40≤60床未満	60≤80床未満	80≤100床未満	100床以上	無回答	平均	標準偏差
病床数 合計	86 1.0%	0 0.0%	5 0.1%	12 0.1%	11 0.1%	12 0.1%	45 0.5%	1 0	112.2	52.9
うち一般病床	86 1.0%	12 0.1%	12 0.1%	19 0.2%	11 0.1%	6 0.1%	25 0.3%	1 0	73.1	54.0
うち療養病床	86 1.0%	35 0.4%	17 0.2%	12 0.1%	7 0.1%	7 0.1%	7 0.1%	1 0	38.1	42.8

	全体	0床	1≤5床未満	5≤10床未満	10≤15床未満	15床以上	無回答	平均	標準偏差
うち精神病床	86 100.0%	85 98.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	0.0	0.0
うち感染症病床	86 100.0%	84 97.6%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	0.0	0.4
うち結核病床	86 100.0%	83 96.5%	0 0.0%	2 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	0.1	0.9

(イ) 1日平均入院患者数

図表 ②-6 1日平均入院患者数

	20人未満	20≤40人未満	40≤60人未満	60≤80人未満	80≤100人未満	100人以上	無回答	平均	標準偏差
合計	6 0.1%	11 0.1%	17 0.2%	10 0.1%	7 0.1%	33 0.4%	2 0.0%	86.0	52.8

(ウ) 平均在院日数 (2013年10月~12月実績)

図表 ②-7 平均在院日数 (2013年10月~12月実績)

	全体	10日未満	10≤20日未満	20≤30日未満	30≤40日未満	40≤50日未満	50日以上	無回答	平均	標準偏差
合計	86 100.0%	0 0.0%	47 54.7%	19 22.1%	2 2.3%	1 1.2%	10 11.6%	7 8.1%	28.6	30.6

(工) 1日平均外来患者数 (2013年12月実績)

図表 ②-8 1日平均外来患者数 (2013年12月実績)

	全体	200人未満	205~400人未満	405~600人未満	605~800人未満	805~1000人未満	1000人以上	無回答	平均	標準偏差
合計	86 100.0%	1 1.2%	3 3.5%	5 5.8%	8 9.3%	8 9.3%	61 70.9%	0 0.0%	216.9	398.7

(才) 月間処方箋発行枚数 (2013年12月実績)

図表 ②-9 月間処方箋発行枚数 (2013年12月実績)

	全体	2000枚未満	2005~4000枚未満	4005~6000枚未満	6005~8000枚未満	8005~10000枚未満	10000枚以上	無回答	平均	標準偏差
合計	86 100.0%	8 9.3%	6 7.0%	3 3.5%	1 1.2%	7 8.1%	57 66.2%	4 4.7%	2211.8	1993.0

ウ. 職員体制

(ア) 職種別職員数

図表 ②-10 職種別職員数

	全体	0人	1 ~ 3 人未 満	3 ~ 5 人未 満	5 ~ 1 0 人未 満	1 0 人 以 上	無 回 答	平均	標 準 偏 差
ア) 医師_常勤換算計	86 100.0%	8 9.3%	7 8.1%	9 10.5%	34 39.6%	26 30.2%	2 2.3%	9.4	7.8
イ) 歯科医師_常勤換算計	86 100.0%	76 88.4%	6 7.0%	2 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.3%	0.2	0.7
ウ) 薬剤師_常勤換算計	86 100.0%	24 27.9%	24 27.9%	22 25.6%	13 15.1%	1 1.2%	2 2.3%	2.5	2.4
エ) 看護職員(看護師・准看護師)_常勤換算計	86 100.0%	12 14.0%	3 3.5%	1 1.2%	3 3.5%	65 75.5%	2 2.3%	50.1	41.5
オ) 歯科衛生士_常勤換算計	86 100.0%	75 87.2%	2 2.3%	4 4.7%	3 3.5%	0 0.0%	2 2.3%	0.4	1.4
カ) 管理栄養士_常勤換算計	86 100.0%	27 31.4%	42 48.8%	12 14.0%	3 3.5%	0 0.0%	2 2.3%	1.4	1.4

(イ) 居宅療養管理指導従事職員数

図表 ②-11 居宅療養管理指導従事職員数

	全体	0人	1 ~ 3 人未 満	3 ~ 5 人未 満	5 ~ 1 0 人未 満	1 0 人 以 上	無 回 答	平均	標 準 偏 差
常勤実人数	86 100.0%	46 53.6%	15 17.4%	13 15.1%	7 8.1%	3 3.5%	2 2.3%	1.6	2.8
非常勤実人数	86 100.0%	76 88.4%	7 8.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	2 2.3%	0.2	1.1

エ. 在宅療養実施状況

図表 ②-12 在宅療養実施状況

	全体	あり	なし	無回答
①住診・訪問診療(歯科診療)の実施状況	86 100.0%	65 75.6%	16 18.6%	5 5.8%
②在宅時総合管理料総合管理料	86 100.0%	51 59.3%	28 32.6%	7 8.1%
③在宅患者訪問薬剤管理指導料	86 100.0%	1 1.2%	72 83.7%	13 15.1%
④在宅患者訪問栄養食事指導料	86 100.0%	2 2.3%	72 83.7%	12 14.0%
⑤訪問看護指示料	86 100.0%	58 67.5%	18 20.9%	10 11.6%
⑥在宅患者連携指導料	86 100.0%	1 1.2%	69 80.2%	16 18.6%

図表 ②-13 1か月あたりの実施件数

	全体	20件未満	20540件未満	40560件未満	60580件未満	805100件未満	1005200件未満	2000件以上	無回答	平均	標準偏差
①住診・訪問診療(歯科診療)の実施状況	65 100.0%	16 24.7%	8 12.3%	8 12.3%	5 7.7%	1 1.5%	14 21.5%	10 15.4%	3 4.6%	122.0	174.5

	全体	153件未満	355件未満	5510件未満	10520件未満	20530件未満	30540件未満	40550件未満	50件以上	無回答	平均	標準偏差
②在宅時総合管理料総合管理料	51 100.0%	4 7.8%	2 3.9%	10 19.6%	3 5.9%	7 13.7%	6 11.8%	5 9.8%	13 25.5%	1 2.0%	45.4	53.8
③在宅患者訪問薬剤管理指導料	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16.0	
④在宅患者訪問栄養食事指導料	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1.5	0.7
⑤訪問看護指示料	58 100.0%	7 12.1%	6 10.3%	13 22.4%	10 17.2%	6 10.3%	3 5.2%	7 12.1%	3 5.2%	3 5.2%	18.7	21.3
⑥在宅患者連携指導料	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2.0	

図表 ②-14 居宅療養管理指導実施の有無

	全体	実施している	実施していない	無回答
合計	86 100.0%	46 53.4%	36 41.9%	4 4.7%

オ. 居宅療養管理指導の実施状況

(ア) 月間のべ算定件数

図表 ②-15 月間のべ算定件数

	全体	0件	1 ～ 10 件未 満	1 0 ～ 3 0 件未 満	3 0 ～ 5 0 件未 満	5 0 ～ 1 0 0 件未 満	1 0 0 件 以上	無 回 答	平均	標 準 偏 差
ア) 医師_I	46 100.0%	5 10.9%	15 32.6%	9 19.6%	10 21.7%	5 10.9%	0 0.0%	2 4.3%	22.9	23.4
ア) 医師_II	46 100.0%	6 13.0%	8 17.4%	4 8.7%	3 6.5%	8 17.4%	10 21.8%	7 15.2%	66.9	82.5
イ) 歯科医師_同一建物居住者以外	46 100.0%	6 13.0%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	38 82.6%	96.4	265.0
イ) 歯科医師_同一建物居住者	46 100.0%	8 17.4%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	37 80.4%	2.7	8.0

	全体	0件	1 ～ 3 件未 満	3 ～ 5 件未 満	5 ～ 1 0 件未 満	1 0 件 以上	無 回 答	平均	標 準 偏 差
ウ) 薬剤師_同一建物居住者以外	46 100.0%	8 17.4%	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	36 78.2%	3.7	11.0
ウ) 薬剤師_同一建物居住者	46 100.0%	9 19.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	37 80.4%	0.0	0.0
エ) 看護職員_同一建物居住者以外	46 100.0%	8 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	38 82.6%	0.0	0.0
エ) 看護職員_同一建物居住者	46 100.0%	8 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	38 82.6%	0.0	0.0
オ) 歯科衛生士_同一建物居住者以外	46 100.0%	6 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	39 84.8%	7.0	18.5
オ) 歯科衛生士_同一建物居住者	46 100.0%	8 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	38 82.6%	0.0	0.0
カ) 管理栄養士_同一建物居住者以外	46 100.0%	7 15.2%	1 2.2%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	37 80.4%	0.9	2.0
カ) 管理栄養士_同一建物居住者	46 100.0%	8 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	37 80.4%	1.0	3.0

(イ) 月間実利用者数

図表 ②-16 月間実利用者数

	全体	0件	1 ～ 10 件未 満	10 ～ 30 件未 満	30 ～ 50 件未 満	50 ～ 100 件未 満	100 件 以上	無 回 答	平均	標準 偏差
ア) 医師_I	46 100.0%	5 10.9%	15 32.6%	10 21.7%	10 21.7%	1 2.2%	0 0.0%	5 10.9%	18.1	17.1
ア) 医師_II	46 100.0%	6 13.0%	10 21.8%	6 13.0%	4 8.7%	5 10.9%	5 10.9%	10 21.7%	39.0	49.7
イ) 歯科医師_同一建物居住者以外	46 100.0%	6 13.0%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	38 82.6%	17.5	43.4
イ) 歯科医師_同一建物居住者	46 100.0%	7 15.2%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	38 82.6%	3.1	8.8

	全体	0件	1 ～ 3 件未 満	3 ～ 5 件未 満	5 ～ 10 件未 満	10 件 以上	無 回 答	平均	標準 偏差
ウ) 薬剤師_同一建物居住者以外	46 100.0%	8 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	37 80.4%	2.2	6.7
ウ) 薬剤師_同一建物居住者	46 100.0%	8 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	38 82.6%	0.0	0.0
エ) 看護職員_同一建物居住者以外	46 100.0%	8 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	38 82.6%	0.0	0.0
エ) 看護職員_同一建物居住者	46 100.0%	8 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	38 82.6%	0.0	0.0
オ) 歯科衛生士_同一建物居住者以外	46 100.0%	7 15.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	38 82.6%	2.0	5.7
オ) 歯科衛生士_同一建物居住者	46 100.0%	7 15.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	39 84.8%	0.0	0.0
カ) 管理栄養士_同一建物居住者以外	46 100.0%	7 15.2%	1 2.2%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	37 80.4%	0.7	1.7
カ) 管理栄養士_同一建物居住者	46 100.0%	8 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	37 80.4%	0.6	1.7

(ウ) 算定期間別の実利用者数

図表 ②-17 算定期間別の実利用者数

	全体	0件	1 ～ 3 人未 満	3 ～ 5 人未 満	5 ～ 10 人未 満	10 ～ 20 人未 満	20 人 以上	無 回 答	平均	標準 偏差
～1ヶ月未満	46 100.0%	6 13.0%	14 30.5%	6 13.0%	8 17.4%	0 0.0%	1 2.2%	11 23.9%	3.3	5.0
1～3ヶ月未満	46 100.0%	4 8.7%	10 21.7%	9 19.6%	11 24.0%	0 0.0%	2 4.3%	10 21.7%	4.9	7.1
3～6ヶ月未満	46 100.0%	5 10.9%	6 13.0%	6 13.0%	11 23.9%	3 6.5%	2 4.3%	13 28.4%	5.6	5.8
6～12ヶ月未満	46 100.0%	3 6.5%	7 15.2%	6 13.0%	7 15.2%	6 13.0%	6 13.0%	11 24.1%	13.3	24.2
1年以上	46 100.0%	5 10.9%	2 4.3%	3 6.5%	2 4.3%	6 13.0%	22 48.0%	6 13.0%	29.8	33.7

(エ) 2013年12月時点で居宅療養管理指導を算定している利用者のうち、要介護認定を受ける以前から、貴院から医療保険による訪問（訪問診療・訪問歯科診療・訪問薬剤管理指導・訪問栄養食事指導等）を実施していた利用者の割合

図表 ②-18 2013年12月時点で居宅療養管理指導を算定している利用者のうち、要介護認定を受ける以前から、貴院から医療保険による訪問（訪問診療・訪問歯科診療・訪問薬剤管理指導・訪問栄養食事指導等）を実施していた利用者の割合

	全体	0割	1割未満	1割2割未満	2割3割未満	3割4割未満	4割5割未満	5割以上	無回答	平均	標準偏差
合計	46 100.0%	26 56.5%	6 13.0%	3 6.5%	1 2.2%	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	9 19.6%	0.3	0.7

③ 在宅療養支援歯科診療所

ア. 基本情報

(ア) 開設年（西暦年）

図表 ③-1 開設年（西暦年）

	全体	1999年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	無回答
合計	402 100.0%	54 13.4%	110 27.4%	131 32.6%	36 9.0%	27 6.7%	19 4.7%	25 6.2%

(イ) 開設主体

図表 ③-2 開設主体

	全体	個人	医療法人	町立（一部事務組合）	公立（都道府県・市）	公的、社会保険関係	社会福祉法人	協同組合および連合	営利法人	その他	無回答
合計	402 100.0%	268 66.8%	125 31.1%	2 0.5%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.7%	3 0.7%	

(ウ) 併設サービス

図表 ③-3 併設サービス（複数回答）

	全体	介護老人保健施設	介護老人福祉施設	介護療養型医療施設	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション
合計	402 100.0%	3 0.7%	1 0.2%	1 0.2%	4 1.0%	0 0.0%	3 0.7%	2 0.5%	96 23.9%	3 0.7%	1 0.2%
	全体	短期入所生活介護	短期入所療養介護	認知症対応型共同生活介護	特定施設入所者生活介護	福祉用具貸与	居宅介護支援	特になし	その他	無回答	
合計	402 100.0%	0 0.0%	1 0.2%	2 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	10 2.5%	209 52.0%	3 0.7%	86 21.4%	

イ. 施設規模

(ア) 施設区分

図表 ③-4 施設区分

	全体	無床診療所	有床診療所	無回答
合計	402 100.0%	377 93.8%	5 1.2%	20 5.0%

(イ) 病床数

図表 ③-5 病床数

	全体	0床	1 ～ 3 床 未 満	3 ～ 5 床 未 満	5 床 以上	無回答	平均	標準偏差
合計	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	4.3	1.9

(ウ) 1日平均外来患者数 (2013年12月実績)

図表 ③-6 1日平均外来患者数 (2013年12月実績)

	全体	2 0 人 未 満	2 0 ～ 4 0 人 未 満	4 0 ～ 6 0 人 未 満	6 0 ～ 8 0 人 未 満	8 0 ～ 1 0 0 人 未 満	1 0 0 人 以上	無回答	平均	標準偏差
合計	402 100.0%	95 23.6%	183 45.5%	60 14.9%	16 4.0%	12 3.0%	8 2.0%	28 7.0%	34.3 -	51.4 -

ウ. 職員体制

(ア) 職種別職員数

図表 ③-7 職種別職員数

	全体	0人	1 ~ 3 人未 満	3 ~ 5 人未 満	5 ~ 1 0 人未 満	1 0 人 以 上	無 回 答	平 均	標 準 偏 差
ア) 歯科医師_常勤換算計	402 100.0%	13 3.2%	337 83.9%	38 9.5%	11 2.7%	1 0.2%	2 0.5%	1.6	1.3
イ) 歯科衛生士_常勤換算計	402 100.0%	57 14.2%	216 53.7%	90 22.4%	34 8.5%	3 0.7%	2 0.5%	2.3	2.1

(イ) 居宅療養管理指導従事職員数

図表 ③-8 居宅療養管理指導従事職員数

	全体	0人	1 ~ 3 人未 満	3 ~ 5 人未 満	5 ~ 1 0 人未 満	1 0 人 以 上	無 回 答	平 均	標 準 偏 差
常勤実人数	402 100.0%	238 59.2%	96 23.9%	46 11.4%	16 4.0%	4 1.0%	2 0.5%	1.1	1.9
非常勤実人数	402 100.0%	301 74.9%	64 15.9%	18 4.5%	11 2.7%	6 1.5%	2 0.5%	0.8	2.4

エ. 在宅療養実施状況

図表 ③-9 在宅療養実施状況

	全体	あり	なし	無回答
①訪問歯科診療の実施状況	402 100.0%	301 74.9%	95 23.6%	6 1.5%
②歯科疾患在宅療養管理料	402 100.0%	190 47.3%	196 48.7%	16 4.0%
③在宅患者連携指導料	402 100.0%	9 2.2%	348 86.6%	45 11.2%

図表 ③-10 1か月あたりの実施件数

	全体	5 1 0 件 未 満	1 0 5 3 0 件 未 満	3 0 5 5 0 件 未 満	5 0 5 1 0 0 件 未 満	1 0 0 件 以 上	無 回 答	平均	標準 偏差
①訪問歯科診療の実施状況	301 100.0%	127 42.2%	66 21.9%	21 7.0%	30 10.0%	37 12.3%	20 6.6%	59.8	205.1
②歯科疾患在宅療養管理料	190 100.0%	94 49.5%	42 22.1%	16 8.4%	11 5.8%	16 8.4%	11 5.8%	35.9	94.0
③在宅患者連携指導料	9 100.0%	6 66.7%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	47.0	122.5

図表 ③-11 居宅療養管理指導実施の有無

	全体	実施 している	実施 していない	無 回 答
合 計	402 100.0%	195 48.5%	192 47.8%	15 3.7%

オ. 居宅療養管理指導の実施状況

(ア) 月間のべ算定件数

図表 ③-12 月間のべ算定件数

	全体	0件	1 ~ 10 件未 満	1 0 ~ 3 0 件未 満	3 0 ~ 5 0 件未 満	5 0 ~ 1 0 0 件未 満	1 0 0 件以 上	無 回 答	平均	標 準 偏 差
ア) 歯科医師_同一建物居住者以外	195 100.0%	14 7.2%	86 44.1%	31 15.9%	15 7.7%	10 5.1%	12 6.2%	27 13.8%	23.9	42.8
ア) 歯科医師_同一建物居住者	195 100.0%	41 21.0%	39 20.0%	30 15.4%	12 6.2%	14 7.2%	12 6.2%	47 24.0%	41.8	112.9
イ) 歯科衛生士_同一建物居住者以外	195 100.0%	30 15.4%	66 33.8%	32 16.4%	7 3.6%	11 5.6%	13 6.7%	36 18.5%	27.0	53.2
イ) 歯科衛生士_同一建物居住者	195 100.0%	44 22.6%	26 13.3%	29 14.9%	15 7.7%	10 5.1%	15 7.7%	56 28.7%	52.2	145.3

(イ) 月間実利用者数

図表 ③-13 月間実利用者数

	全体	0件	1 ~ 10 件未 満	1 0 ~ 3 0 件未 満	3 0 ~ 5 0 件未 満	5 0 ~ 1 0 0 件未 満	1 0 0 件以 上	無 回 答	平均	標 準 偏 差
ア) 歯科医師_同一建物居住者以外	195 100.0%	13 6.7%	97 49.7%	28 14.4%	9 4.6%	11 5.6%	5 2.6%	32 16.4%	15.7	27.6
ア) 歯科医師_同一建物居住者	195 100.0%	38 19.5%	46 23.6%	28 14.4%	11 5.6%	8 4.1%	9 4.6%	55 28.2%	53.0	326.9
イ) 歯科衛生士_同一建物居住者以外	195 100.0%	28 14.4%	74 37.8%	28 14.4%	10 5.1%	6 3.1%	4 2.1%	45 23.1%	13.8	25.9
イ) 歯科衛生士_同一建物居住者	195 100.0%	42 21.5%	42 21.5%	26 13.3%	10 5.1%	5 2.6%	8 4.1%	62 31.9%	25.1	67.7

(ウ) 算定期間別の実利用者数

図表 ③-14 算定期間別の実利用者数

	全体	0件	1 ~ 3 人未 満	3 ~ 5 人未 満	5 ~ 1 0 人未 満	1 0 ~ 2 0 人未 満	2 0 人 以 上	無 回 答	平均	標 準 偏 差
~1ヶ月未満	195 100.0%	21 10.8%	59 30.3%	18 9.2%	17 8.7%	5 2.6%	10 5.1%	65 33.3%	6.3	21.1
1~3ヶ月未満	195 100.0%	19 9.7%	55 28.2%	19 9.7%	20 10.3%	10 5.1%	13 6.7%	59 30.3%	10.5	40.8
3~6ヶ月未満	195 100.0%	23 11.8%	41 21.0%	11 5.6%	20 10.3%	8 4.1%	16 8.2%	76 39.0%	16.0	72.8
6~12ヶ月未満	195 100.0%	20 10.3%	39 20.0%	7 3.6%	27 13.8%	13 6.7%	16 8.2%	73 37.4%	29.0	177.5
1年以上	195 100.0%	16 8.2%	33 16.9%	27 13.8%	17 8.7%	11 5.6%	31 15.9%	60 30.9%	17.2	35.0

(エ) 2013年12月時点で居宅療養管理指導を算定している利用者のうち、要介護認定を受ける以前から、貴院から医療保険による訪問（訪問歯科診療・訪問栄養食事指導等）を実施していた利用者の割合

図表 ③-15 2013年12月時点で居宅療養管理指導を算定している利用者のうち、要介護認定を受ける以前から、貴院から医療保険による訪問（訪問歯科診療・訪問栄養食事指導等）を実施していた利用者の割合

	全体	0割	1割未満	2割未満	3割未満	4割未満	5割以上	無回答	平均	標準偏差
合計	195 100.0%	124 63.7%	9 4.6%	19 9.7%	2 1.0%	2 1.0%	0 0.0%	17 8.7%	22 11.3%	0.9 2.2

(オ) 職員配置別の居宅療養管理指導算定件数

図表 ③-16 月間のべ算定件数（歯科医師_同一建物居住者以外）×歯科医師常勤実人員別

	合計	0件	1~10件未満	10~30件未満	30~50件未満	50~100件未満	100件以上	無回答	平均	標準偏差
全体	195 100.0%	14 7.2%	86 44.1%	31 15.9%	15 7.7%	10 5.1%	12 6.2%	27 13.8%	23.9	42.8
1人	118 100.0%	12 10.2%	55 46.7%	20 16.9%	7 5.9%	3 2.5%	2 1.7%	19 16.1%	12.8	23.5
2人以上	77 100.0%	2 2.6%	31 40.2%	11 14.3%	8 10.4%	7 9.1%	10 13.0%	8 10.4%	39.8	57.1

※常勤歯科医師1名あたりの月間延べ算定件数を集計した

図表 ③-17 月間のべ算定件数（歯科医師_同一建物居住者）×歯科医師常勤実人員別

	合計	0件	1~10件未満	10~30件未満	30~50件未満	50~100件未満	100件以上	無回答	平均	標準偏差
全体	195 100.0%	41 21.0%	39 20.0%	30 15.4%	12 6.2%	14 7.2%	12 6.2%	47 24.0%	41.8	112.9
1人	118 100.0%	29 24.6%	30 25.4%	15 12.7%	7 5.9%	6 5.1%	4 3.4%	27 22.9%	24.3	74.4
2人以上	77 100.0%	12 15.6%	9 11.7%	15 19.5%	5 6.5%	8 10.4%	8 10.4%	20 25.9%	69.8	152.5

※常勤歯科医師1名あたりの月間延べ算定件数を集計した

④ 保険薬局

ア. 基本情報

(ア) 開設年（西暦年）

図表 ④-1 開設年（西暦年）

	全体	以 前 1 9 7 9 年	1 1 9 9 年	1 1 9 9 年	2 2 0 0 年	2 2 0 0 年	2 2 0 0 年	無 回 答
合 計	124 100.0%	4 3.2%	11 8.9%	27 21.8%	24 19.4%	31 24.9%	25 20.2%	2 1.6%

(イ) 開設主体

図表 ④-2 開設主体

	全体	個人	医 療 法 人	町 立 （ 都 道 府 県 ・ 市 ） 一 部 事 務 組 合 ） お よ び	公 立 （ 都 道 府 県 ・ 市 ） お よ び	公 的 、 社 会 保 険 関 係	社 会 福 祉 法 人	会 協 同 組 合 お よ び 連 合	営 利 法 人	そ の 他	無 回 答
合 計	124 100.0%	45 36.3%	2 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.6%	72 58.1%	2 1.6%	1 0.8%	

(ウ) 併設サービス

図表 ④-3 併設サービス（複数回答）

	全体	介 護 老 人 保 健 施 設	介 護 老 人 福 祉 施 設	設 介 護 療 養 型 医 療 施 設	訪 問 介 護	訪 問 入 浴 介 護	訪 問 看 護	シ ョ ン 訪 問 リ ハ ビ リ テ ー	居 宅 療 養 管 理 指 導	通 所 介 護	シ ョ ン 通 所 リ ハ ビ リ テ ー
合 計	124 100.0%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	2 1.6%	0 0.0%	2 1.6%	1 0.8%	37 29.8%	0 0.0%	0 0.0%
合 計	124 100.0%	1 0.8%	1 0.8%	1 0.8%	0 0.0%	4 3.2%	8 6.5%	70 56.5%	1 0.8%	9 7.3%	

イ. 施設規模

(ア) 月間処方箋発行枚数 (2013年12月実績)

図表 ④-4 月間処方箋発行枚数 (2013年12月実績)

	全体	500枚未満	500枚～1000枚未満	1000枚～1500枚未満	1500枚～2000枚未満	2000枚～2500枚未満	2500枚以上	無回答	平均	標準偏差
合計	124 100.0%	8 6.5%	36 29.0%	26 21.0%	19 15.3%	17 13.7%	16 12.9%	2 1.6%	1507.7	984.6

ウ. 職員体制

(ア) 職種別職員数

図表 ④-5 職種別職員数

	全体	0人	1～3人未満	3～5人未満	5～10人未満	10人以上	無回答	平均	標準偏差
①薬剤師_常勤実人数	124 100.0%	1 0.8%	80 64.5%	30 24.2%	12 9.7%	1 0.8%	0 0.0%	2.5	1.7
①薬剤師_非常勤実人数	124 100.0%	39 31.5%	51 41.0%	25 20.2%	8 6.5%	1 0.8%	0 0.0%	1.7	2.0
①薬剤師_常勤換算計	124 100.0%	3 2.4%	71 57.3%	32 25.8%	14 11.3%	4 3.2%	0 0.0%	3.0	2.4
②うち居宅療養管理指導従事者_常勤実人数	124 100.0%	43 34.7%	61 49.2%	13 10.5%	7 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	1.4	1.5
②うち居宅療養管理指導従事者_非常勤実人数	124 100.0%	103 83.1%	15 12.1%	5 4.0%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0.3	0.9

エ. 在宅療養実施状況

(ア) 在宅患者訪問薬剤管理指導料

図表 ④-6 在宅患者訪問薬剤管理指導料の有無

	全 体	あ り	な し	無 回 答
合 計	124 100.0%	48 38.7%	72 58.1%	4 3.2%

図表 ④-7 1か月あたりの在宅患者訪問薬剤管理指導料の件数

	全 体	1 5 1 0 件 未 満	1 0 5 3 0 件 未 満	3 0 5 5 0 件 未 満	5 0 5 1 0 0 件 未 満	1 0 0 件 以 上	無 回 答	平 均	標 準 偏 差
合 計	48 100.0%	23 47.8%	13 27.1%	2 4.2%	3 6.3%	6 12.5%	1 2.1%	71.7	292.5

(イ) 居宅療養管理指導

図表 ④-8 居宅療養管理指導の有無

	全 体	実 施 し て い る	実 施 し て い な い	無 回 答
合 計	124 100.0%	71 57.3%	50 40.3%	3 2.4%

オ. 居宅療養管理指導の実施状況

(ア) 月間のべ算定件数

図表 ④-9 月間のべ算定件数

	全体	0件	1 ～ 10 件未 満	10 ～ 30 件未 満	30 ～ 50 件未 満	50 ～ 100 件未 満	100 件以上	無回答	平均	標準偏差
同一建物居住者以外	71 100.0%	6 8.5%	26 36.6%	16 22.5%	8 11.3%	6 8.5%	5 7.0%	4 5.6%	45.3	130.6
同一建物居住者	71 100.0%	20 28.0%	13 18.3%	9 12.7%	7 9.9%	6 8.5%	10 14.1%	6 8.5%	59.1	145.1

(イ) 月間実利用者数

図表 ④-10 月間実利用者数

	全体	0人	1 ～ 10 人未 満	10 ～ 30 人未 満	30 ～ 50 人未 満	50 ～ 100 人未 満	100 人以上	無回答	平均	標準偏差
同一建物居住者以外	71 100.0%	6 8.5%	35 49.4%	15 21.1%	5 7.0%	3 4.2%	3 4.2%	4 5.6%	20.4	48.9
同一建物居住者	71 100.0%	20 28.1%	18 25.4%	12 16.9%	7 9.9%	4 5.6%	2 2.8%	8 11.3%	23.3	66.2

(ウ) 算定期間別の実利用者数

図表 ④-11 算定期間別の実利用者数

	全体	0件	1 ～ 3 人未 満	3 ～ 5 人未 満	5 ～ 10 人未 満	10 ～ 20 人未 満	20 人以上	無回答	平均	標準偏差
～1ヶ月未満	71 100.0%	16 22.5%	12 16.9%	7 9.9%	2 2.8%	3 4.2%	1 1.4%	30 42.3%	3.5	8.5
1～3ヶ月未満	71 100.0%	12 16.9%	17 23.9%	8 11.3%	4 5.6%	1 1.4%	2 2.8%	27 38.1%	5.3	18.9
3～6ヶ月未満	71 100.0%	8 11.3%	19 26.8%	8 11.3%	7 9.9%	1 1.4%	4 5.6%	24 33.7%	8.3	21.7
6～12ヶ月未満	71 100.0%	10 14.1%	14 19.7%	7 9.9%	4 5.6%	3 4.2%	5 7.0%	28 39.5%	6.6	11.8
1年以上	71 100.0%	6 8.5%	7 9.9%	5 7.0%	14 19.7%	8 11.3%	19 26.7%	12 16.9%	27.4	70.9

(エ) 2013年12月時点で居宅療養管理指導を算定している利用者のうち、要介護認定を受ける以前から、貴院から医療保険による訪問（訪問薬剤管理指導等）を実施していた利用者の割合

図表 ④-12 2013年12月時点で居宅療養管理指導を算定している利用者のうち、要介護認定を受ける以前から、貴院から医療保険による訪問（訪問薬剤管理指導等）を実施していた利用者の割合

	全体	0割	1割未満	1割2割未満	2割3割未満	3割4割未満	4割5割未満	5割以上	無回答	平均	標準偏差
合計	71 100.0%	45 63.5%	3 4.2%	12 16.9%	1 1.4%	0 0.0%	1 1.4%	4 5.6%	5 7.0%	0.8	2.1

(オ) 職員配置別の居宅療養管理指導算定件数

図表 ④-13 月間のべ算定件数（薬剤師_同一建物居住者以外）×薬剤師常勤実人員別

	合計	0件	1件未満	1件3件未満	3件5件未満	5件10件未満	10件以上	無回答	平均	標準偏差
全体	71 100.0%	6 8.5%	26 36.6%	16 22.5%	8 11.3%	6 8.5%	5 7.0%	4 5.6%	45.3	130.6
1人	16 100.0%	1 6.3%	11 68.7%	2 12.5%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10.5	15.2
2人以上	55 100.0%	5 9.1%	15 27.2%	14 25.5%	6 10.9%	6 10.9%	5 9.1%	4 7.3%	56.3	148.1

※常勤薬剤師1名あたりの月間延べ算定件数を集計した

図表 ④-14 月間のべ算定件数（薬剤師_同一建物居住者）×薬剤師常勤実人員別

	合計	0件	1件未満	1件3件未満	3件5件未満	5件10件未満	10件以上	無回答	平均	標準偏差
全体	71 100.0%	20 28.0%	13 18.3%	9 12.7%	7 9.9%	6 8.5%	10 14.1%	6 8.5%	59.1	145.1
1人	16 100.0%	5 31.1%	3 18.8%	3 18.8%	2 12.5%	2 12.5%	0 0.0%	1 6.3%	20.8	29.1
2人以上	55 100.0%	15 27.2%	10 18.2%	6 10.9%	5 9.1%	4 7.3%	10 18.2%	5 9.1%	70.6	163.3

※常勤薬剤師1名あたりの月間延べ算定件数を集計した

5. まとめと考察

(1) 専門職の回答に基づく整理

① 直近の訪問状況と居宅療養管理指導の算定状況

医師では、2013年12月の1ヶ月間に訪問診療、居宅療養管理指導等で訪問を実施した人数は平均62.1人、うち、居宅療養管理指導を算定している人数は44.8人であった。同様に2013年12月1ヶ月間の訪問回数をみると、136.6回であり、うち居宅療養管理指導料を算定している訪問回数は80.5回であった。

同様に歯科医師では、1ヶ月間に訪問歯科診療、居宅療養管理指導等で訪問を実施した人数は平均24.2人、うち、居宅療養管理指導を算定している人数は14.0人であった。同様に2013年12月1ヶ月間の訪問回数をみると、44.7回であり、うち居宅療養管理指導料を算定している訪問回数は19.4回であった。

薬剤師では、1ヶ月間に訪問診療、居宅療養管理指導等で訪問を実施した人数は平均22.3人、うち、居宅療養管理指導を算定している人数は21.2人であった。同様に2013年12月1ヶ月間の訪問回数をみると、58.0回であり、うち居宅療養管理指導料を算定している訪問回数は50.4回であった。

歯科衛生士は、1ヶ月間に訪問歯科診療、居宅療養管理指導等で訪問を実施した人数は平均22.7人、うち、居宅療養管理指導を算定している人数は14.6人であった。同様に2013年12月1ヶ月間の訪問回数をみると、34.6回であり、うち居宅療養管理指導料を算定している訪問回数は21.9回であった。

管理栄養士は、1ヶ月間に訪問診療、居宅療養管理指導等で訪問を実施した人数は平均4.6人、うち、居宅療養管理指導を算定している人数は4.2人であった。同様に2013年12月1ヶ月間の訪問回数をみると、8.7回であり、うち居宅療養管理指導料を算定している訪問回数は8.1回であった。

② 居宅療養管理指導を実施する上での困難点

居宅療養管理指導を実施する上での困難点について、医師では、「利用者や家族が金銭負担に拒否感を示す」、「家族の協力が得られない」、「利用者・家族に指導内容を理解してもらえない」「利用者の長年の習慣を変えるのが困難」などが挙げられた。歯科医師では、「利用者や家族からの口腔ケアの重要性への理解が得られない」、「家族の協力が得られない」「利用者の長年の習慣を変えるのが困難」、「利用者・家族に指導内容を理解してもらえない」が挙げられた。薬剤師では、「利用者・家族が居宅管理指導の金銭負担に拒否感を示す」、「利用者・家族から服薬コンプライアンスの重要性への理解が得られない」、「家族の協力が得られない」などが挙げられた。歯科衛生士では、「利用者の長年の習慣を変えるのが困難」、「利用者や家族から口腔ケアの重要性への理解が得られない」、「家族の協力が得られない」が続いた。管理栄養士では、「利用者の長年の習慣を変えるのが困難」、「利用者・家族から食事や栄養の重要性への理解が得られない」「利用者・家族が金銭負担に拒否感を示す」、「専門外の知識・技術が必要な場面がある」が挙げられた。

各職種特有の指導内容に関する困難さが挙げられるとともに、利用者家族からの理解や協力を得ることや利用者側の習慣の変革などに困難を感じているケースが多いと考えられる。

③ 多職種同行訪問に関する要望

他職種との連携に関する困難や他職種との同行訪問に関する各職種の要望は次のような状況であった。

医師は居宅療養管理指導を実施する上で、他職種と連携する際の困難点については、「サービス担当者会議に参加できない」、「多職種が顔を合わせる機会が少ない」を挙げる者が多かった。また、訪問の際の他職種同行訪問の希望については、58.7%が「はい」を選択した。

歯科医師は、「多職種が顔を合わせる機会が少ない」、「多職種間で共有すべき情報が明確でない」を挙げる者が多かった。訪問の際の他職種同行訪問の希望については、51.5%が「はい」を選択した。

薬剤師は、「多職種が顔を合わせる機会が少ない」、「退院時カンファレンスに呼ばれない」を挙げた。また、訪問の際の他職種同行訪問の希望については、62.5%が「はい」を選択した。

歯科衛生士では、「多職種が顔を合わせる機会が少ない」、「多職種間で共有すべき情報が明確でない」を挙げる者が多かった。訪問の際の他職種同行訪問の希望については、51.8%が「はい」を選択した。

管理栄養士では、「多職種が顔を合わせる機会が少ない」、「地域で居宅療養管理指導をしている他職種の情報が入ってこない」が挙げられた。訪問の際の他職種同行訪問の希望については、73.1%が「はい」を選択した。

本調査に回答した医師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士の5職種がそれぞれ同行訪問を希望する他職種について、図表に整理した。

図表 回答職種別の同行希望職種（対象職種別の同行希望割合）

(%)

	医師	歯科医師	薬剤師	歯科衛生士	管理栄養士	訪問看護師	介護職	保健師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士
医師	—	58.3	70.8	49.0	54.1	91.5	70.4	27.2	70.8	59.9	54.5	45.9
歯科医師	73.0	—	44.6	75.1	56.1	75.9	77.3	32.6	54.6	51.8	62.4	40.4
薬剤師	87.3	23.6	—	16.4	41.8	87.2	81.8	21.8	23.6	20.0	14.5	27.3
歯科衛生士	50.8	83.3	24.2	—	45.0	60.8	67.5	22.5	47.5	47.5	50.0	28.3
管理栄養士	57.9	63.1	36.8	73.6	—	73.6	78.9	21.1	68.4	63.1	73.7	21.1

医師では、薬剤師、訪問看護師、理学療法士などへの同行訪問希望が多く、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として薬剤師に対しては「利用者の状態に応じた適切な薬剤の形状の選択」、「薬剤と栄養製剤・食事の副作用・相互作用についての助言」、「内服薬の副作用の検討と防止」などが、訪問看護師に対しては、「利用者の療養上の様子の把握」、「利用者・家族の療養上の要望の把握」、「利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有」などが挙げられた。理学療法士に対しては、「関節拘縮への対応」、「麻痺への対応」、「摂食・嚥下に関連した指導・訓練」などを挙げる回答が多かった。

歯科医師では介護職、訪問看護師、歯科衛生士への同行訪問希望が多かった。同行訪問時にし

てほしい助言・実施項目として、介護職に対しては、「利用者の療養上の様子の把握」、「利用者・家族の生活像を踏まえた要望の把握」、「利用者・家族の生活上の要望に関する職種間情報共有」が挙げられた。訪問看護師に対しては、「利用者の療養上の様子の把握」「利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有」、「利用者・家族の療養上の要望の把握」との回答が多かった。歯科衛生士に対しては、「食事形態の提言」、「利用者の嗜好への対応」、「糖尿病利用者への対応」などが挙げられた。

薬剤師では、医師、訪問看護師、介護職への同行訪問希望が多かった。医師に同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「処方設計の意図の説明」、「在宅療養全般に関する利用者・家族の希望の把握」、「状態像に応じた服薬判断」などが挙げられた。同様に訪問看護師に対しては、「服薬介助・薬剤使用にかかわる問題点の把握」、「利用者の療養上の様子の把握」、「利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有」などが挙げられた。介護職に対する要望は「服薬状況の確認」、「利用者の療養上の様子の把握」、「利用者・家族の生活像を踏まえた要望の把握」「利用者・家族の生活上の要望に関する職種間情報共有」などであった。

歯科衛生士が同行訪問を希望する職種は歯科医師、介護職、訪問看護師が多く挙げられた。歯科医師に対して、同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として「義歯の状態評価」、「摂食・嚥下機能訓練・評価」、「口腔衛生状態の評価」などが挙げられた。介護職に対しては、「利用者の療養上の様子の把握」、「利用者・家族の生活像を踏まえた要望の把握」、「利用者・家族の生活上の要望に関する職種間情報共有」との回答が多かった。訪問看護師に対しては、「利用者の療養上の様子の把握」、「利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有」、「利用者・家族の療養上の要望の把握」との回答が多かった。

管理栄養士が同行を希望する職種は介護職、訪問看護師、歯科衛生士との回答が多かった。同行訪問時にしてほしい助言・実施項目として介護職に対しては「利用者の療養上の様子の把握」、「利用者の嗜好の把握」、「利用者・家族の生活像を踏まえた要望の把握」、「利用者・家族の生活上の要望に関する職種間情報共有」などが挙げられた。訪問看護師に対しては、「利用者の療養上の様子の把握」、「利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有」、「利用者・家族の療養上の要望の把握」などであった。歯科衛生士に対しては、「口腔衛生状態の評価」、「摂食・嚥下機能訓練・評価」、「口腔衛生指導」「口腔清掃の指導」「義歯の状態評価」などであった。

（２）居宅療養管理指導の利用者像

① 居宅療養管理指導の利用に至った理由・経緯

医師が担当する利用者が居宅療養管理指導の利用に至った理由については、「身体機能が低下したため」、「医療機関からの退院のため」、「ケアマネジャー等への情報提供の必要性が生じたため」との回答が多かった。居宅療養管理指導開始の直接的な経緯については、「ケアマネジャーからの依頼・情報提供による」が37.7%で最も多く、次いで「自身の患者・担当利用者であった」が29.0%と続いた。

歯科医師が担当する利用者が居宅療養管理指導の利用に至った理由については、「医学的・歯学的ケアの必要性が生じたため」、「身体機能が低下したため」、「ケアマネジャー等への情報提供の必要性が生じたため」などが挙げられた。居宅療養管理指導開始の直接的な経緯については、「ケアマネジャーからの依頼・情報提供による」が34.7%で最も多く、次いで「利用者・利用者の家

族からの依頼・相談による」が25.2%と続いた。

薬剤師が担当する利用者が居宅療養管理指導の利用に至った理由については、「薬学的管理の必要性が生じたため」、「医療機関からの退院のため」、「身体機能が低下したため」などが挙げられた。居宅療養管理指導開始の直接的な経緯については、「医師からの指示・依頼による」が70.5%で最も多く、次いで「ケアマネジャーからの依頼・情報提供による」が19.3%と続いた。

歯科衛生士が担当する利用者が居宅療養管理指導の利用に至った理由については、「医学的・歯学的ケアの必要性が生じたため」、「身体機能が低下したため」、「ケアマネジャー等への情報提供の必要性が生じたため」との回答が多かった。居宅療養管理指導開始の直接的な経緯については、「ケアマネジャーからの依頼・情報提供による」が31.5%で最も多く、次いで「利用者・利用者の家族からの依頼・相談による」が30.2%と続いた。

管理栄養士が担当する利用者が居宅療養管理指導の利用に至った理由については、「栄養状態改善の必要性が生じたため」、「医療機関からの退院のため」、「医学的・歯学的ケアの必要性が生じたため」を挙げる回答が多かった。居宅療養管理指導開始の直接的な経緯については、「医師からの指示・依頼による」が53.8%で最も多く、次いで「ケアマネジャーからの依頼・情報提供による」が26.9%と続いた。

② 情報提供の状況

1) ケアマネジャーへの情報提供

医師からケアマネジャーへの情報提供の主な手段は「文書（手渡し）」が最も多く、次いで「FAX」であった。情報提供に際しての具体的な内容は「病状変化」が最も多かった。

歯科医師からケアマネジャーへの情報提供の主な手段は医師と同様、「文書（手渡し）」次いで「FAX」が多かった。情報提供に際しての具体的な内容は「口腔内状況」が最も多かった。

薬剤師からケアマネジャーへの情報提供の主な手段は「FAX」が最も多く、次いで「文書（手渡し）」であった。情報提供に際しての具体的な内容は「処方薬の服薬状況」が最も多かった。

2) 利用者・家族への情報提供

医師から利用者・家族への情報提供については、「口頭」が最も多く、次いで「電話」であった。利用者・家族への情報提供の具体的な内容は「病状変化」が最も多く、次いで「体調悪化時の対応指示」であった。

歯科医師からの指導・助言については、「口頭」が最も多く、次いで「文書（手渡し）」であった。利用者・家族への情報提供の具体的な内容は「歯みがき支援」が最も多く、次いで「口腔機能向上に関する情報提供」であった。

薬剤師からの利用者・家族への情報提供については、歯科医師と同様、「口頭」、次いで「文書（手渡し）」であった。利用者・家族への情報提供の具体的な内容は「一包化調剤の実施」が最も多く、次いで「薬剤の内容説明」であった。

歯科衛生士からの指導・助言については、「口頭」次いで「文書（手渡し）」であった。利用者・家族への情報提供の具体的な内容は「機能訓練」が最も多く、次いで「歯磨き支援方法」であった。

管理栄養士から利用者・家族への情報提供については、「口頭」が最も多く、次いで「文書（手渡し）」であった。利用者・家族への情報提供の具体的な内容は「調理法」が最も多く、次いで「食事の形態」であった。

③ 多職種連携の状況

1) 他職種への相談実施状況

利用者の指導に関して医師が普段相談している職種は「訪問看護師」が64.8%で最も多く、次いで「介護職」が40.6%、「薬剤師」が40.4%であった。

歯科医師が普段相談している職種は「歯科衛生士」が36.1%で最も多く、次いで「介護職」が35.8%、「主治医」が34.7%であった。

薬剤師が普段相談している職種は「主治医」が71.6%で最も多く、次いで「訪問看護師」が38.6%、「介護職」が26.1%であった。

歯科衛生士が普段相談している職種は「主治歯科医」が62.9%で最も多く、次いで「介護職」が21.6%、「訪問看護師」が11.2%であった。

管理栄養士が普段相談している職種は「訪問看護師」が46.2%で最も多く、次いで「主治医」が42.3%、「介護職」が19.2%であった。

2) 多職種同行訪問の実績

他職種との同行訪問の実績について、医師では「たまにする」との回答が36.6%で最も多く、次いで「ときどきする」が17.1%であった。同行訪問する理由では「自らが必要と判断したため」が最も多く、次いで「他職種から依頼があったため」であった。

歯科医師の他職種との同行訪問の実績については、「まったくしない」との回答が22.6%で最も多く、次いで「たまにする」が21.5%であった。同行訪問する理由では「自らが必要と判断したため」が最も多く、次いで「他職種から依頼があったため」であった。

薬剤師では、「まったくしない」との回答が51.5%で最も多く、次いで「たまにする」が21.6%であった。同行訪問する理由では「自らが必要と判断したため」が最も多く、次いで「他職種から依頼があったため」であった。

歯科衛生士の他職種との同行訪問の実績については、「まったくしない」との回答が24.6%で最も多く、次いで「ほぼ毎回する」が21.6%であった。同行訪問する理由では「主治医・主治歯科医が必要と判断したため」が最も多く、次いで「自らが必要と判断したため」であった。

管理栄養士では、「たまにする」との回答が38.5%で最も多く、次いで「まったくしない」が15.4%であった。同行訪問する理由では「自らが必要と判断したため」「他職種から依頼があったため」が最も多く、次いで「ケアマネジャーが必要と判断したため」が続いた。

(3) 居宅療養管理指導の実態に関する考察と課題

調査結果から、居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点について、「医療保険で算定可能にしてほしい」との回答や「前回情報提供時から容体に変化が無かった場合のケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい」といった回答が医師、歯科医師等から多く寄せられた。特に歯科医師からは「記録や情報提供に記載義務のある項目を減らしてほしい」との要望もあがっており、居宅療養管理指導の実施に際しての事務手続き面の負担感を感じている医師、歯科医師が一定数いることが示唆された。

歯科医師については、後段の歯科衛生士における調査結果とも共通するが、口腔ケアに関連して医師や管理栄養士からの同行訪問の希望も多い。今後、医療依存度の高い高齢者が増加するこ

とからも、歯科口腔領域からの療養上の管理及び指導は益々、重要となってくると思われる。居宅療養管理指導の実務面では、医療保険との給付調整や介護支援専門員への情報提供などの課題、利用者や家族の理解や協力の不足など困難点が挙げられているが、今後、歯科と介護支援専門員とのさらなる連携や、利用者、家族への居宅療養管理指導の重要性についての啓発が必要であると思われる。

薬剤師からは、「訪問間隔の制限を緩めてほしい」との回答が最も多く、次いで「前回情報提供時から容体に変化が無かった場合のケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい」との要望が寄せられている。薬剤師については、事業所調査結果から保険薬局において薬剤師の配置数によって居宅療養管理指導の月間のべ算定件数に差が見られることから、個人開局薬剤師が居宅療養管理指導を実施するには非常勤職員の雇用等の工夫が必要になる可能性がある。

歯科衛生士については、「訪問回数の上限をあげてほしい」との回答が最も多かった。一方、居宅療養管理指導を実施する上での困難点について、「利用者の長年の習慣を変えるのが困難」が最も多く、より頻繁な訪問が必要との認識を持つ者がいる可能性があると思われる。この点については、高齢者が習慣を変えてくれなくても支援できる方法も検討する必要があり、歯科衛生士に対するより幅広い教育も必要となってくると可能性がある。また利用者の生活環境についてのアセスメント力や歯科衛生士からの情報提供力も高める必要があるのではないかと。

管理栄養士については、居宅療養管理指導料の算定要件に関しての要望や困難点として、「医師と同行訪問しても算定可能にしてほしい」「他職種が管理栄養士の訪問を気軽に依頼できる仕組みがほしい」との回答が最も多く、次いで「医療保険で算定可能にしてほしい」「居宅療養管理指導を実施している機関が実施していない機関からの依頼を受けられるようにしてほしい」が続いた。上記に加えて管理栄養士に関しては、調査回答数が非常に少ないものの、回答者の勤務先は病院よりも診療所が多く見られた。本調査の調査設計上の制約（各事業所管理者への協力依頼）から、管理栄養士の回答数を十分に確保できていないという限界と併せて考えると、在宅療養支援病院などの一定規模以上の組織における管理栄養士による居宅療養管理指導への認知そのものが十分ではない可能性もあり、今後も十分な実態把握のための努力が払われる必要があると思われる。

以上のように、職種それぞれに留意すべき課題を抱えつつ、地域での居宅療養管理指導の推進が介護予防や医療と介護の連携、多職種間の連携協働にもつながり、地域包括ケアの推進にも役立つと考えられることも確かであり、本実態調査結果を踏まえ、一層の施策の改善・充実が望まれるところである。



Ⅱ 資料編

1. 事業所票

(1) 在宅療養支援病院

居宅療養管理指導の実態に関する調査 (在宅療養支援病院) 施設票

—アンケート記入にあたってのお願い—

- アンケートを記入いただく方について
貴病院において、居宅療養管理指導に関する実績・実態を最も良くご存知の方がご記入ください。
- アンケートの返送について
ご回答済みのアンケートは、誠に恐れ入りますが、同封の返信用封筒にて2014年2月21日(金)までに
ご返送下さい。

(1) 基本情報

所在地 ()都・道・府・県	開設年 西暦()年	
開設主体		
1. 個人 2. 医療法人 3. 公立(都道府県・市町村・広域連合および一部事務組合)	4. 公的、社会保険関係団体 5. 社会福祉法人 6. 協同組合および連合会 ()	7. 営利法人 8. その他
標榜診療科(複数回答可)		
1. 内科 2. 外科 3. 整形外科	4. 皮膚科 5. 精神科 6. 眼科	7. 耳鼻科 8. 泌尿器科 9. 歯科 10. その他
併設サービス(2013年12月時点)(同一法人内の事業所で該当するものすべてに○)		
1. 介護老人保健施設 2. 介護老人福祉施設 3. 介護療養型医療施設 4. 訪問介護 5. 訪問入浴介護 6. 訪問看護	7. 訪問リハビリテーション 8. 居宅療養管理指導 9. 通所介護 10. 通所リハビリテーション 11. 短期入所生活介護 12. 短期入所療養介護	13. 認知症対応型共同生活介護 14. 特定施設入所者生活介護 15. 福祉用具貸与 16. 居宅介護支援 17. 特になし 18. その他()

(2) 施設規模

① 病床数(2013年12月1日時点)	()床	③ 平均在院日数(2013年10月～12月実績)	()日
うち一般病床	()床	※ 一般病床	()日
うち療養病床	()床	④ 1日平均外来患者数(2013年12月実績)	()人/日
うち精神病床	()床		
うち感染症病床	()床		
うち結核病床	()床	⑤ 月間処方箋発行枚数(2013年12月実績)	()枚/月
② 1日平均入院患者数(2013年12月実績)	()人/日		※外来患者への処方箋発行枚数

※平均在院日数については、以下の計算式で計算してください。小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで計上してください。

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{10～12月の3ヶ月間の在院患者延べ数}}{0.5 \times (\text{3ヶ月間の新入院患者数} + \text{3ヶ月間の退院患者数})}$$

裏面に続きます

(1) 職員体制(2013年12月1日時点)

① 職種別職員数	常勤実人数	非常勤実人数	常勤換算計
ア) 医師	()人	()人	()人
イ) 歯科医師	()人	()人	()人
ウ) 薬剤師	()人	()人	()人
エ) 看護職員(看護師・准看護師)	()人	()人	()人
オ) 歯科衛生士	()人	()人	()人
カ) 管理栄養士	()人	()人	()人
② 居宅療養管理指導従事職員数	()人	()人	()人

(2) 在宅療養実施状況(2013年12月実績)

① 往診・訪問診療(歯科診療)の実施状況	1. あり→()件/月	2. なし
② 在宅時在宅時総合管理料総合管理料	1. あり→()件/月	2. なし
③ 在宅患者訪問薬剤管理指導料	1. あり→()件/月	2. なし
④ 在宅患者訪問栄養食事指導料	1. あり→()件/月	2. なし
⑤ 訪問看護指示料	1. あり→()件/月	2. なし
⑥ 在宅患者連携指導料	1. あり→()件/月	2. なし
⑦ 居宅療養管理指導	1. 実施している ⇒(5)へお進みください 2. 実施していない ⇒以下の回答は不要です	

(3) 居宅療養管理指導の実施状況(2013年12月実績)

職種	① 月間のべ算定件数		② 月間実利用者数	
	I ()件/月	II ()件/月	I ()人/月	II ()人/月
ア) 医師	()件/月	()件/月	()人/月	()人/月
イ) 歯科医師	同一建物居住者以外 ()件/月 同一建物居住者 ()件/月	()件/月	同一建物居住者以外 ()人/月 同一建物居住者 ()人/月	()人/月
ウ) 薬剤師	同一建物居住者以外 ()件/月 同一建物居住者 ()件/月	()件/月	同一建物居住者以外 ()人/月 同一建物居住者 ()人/月	()人/月
エ) 看護職員	同一建物居住者以外 ()件/月 同一建物居住者 ()件/月	()件/月	同一建物居住者以外 ()人/月 同一建物居住者 ()人/月	()人/月
オ) 歯科衛生士	同一建物居住者以外 ()件/月 同一建物居住者 ()件/月	()件/月	同一建物居住者以外 ()人/月 同一建物居住者 ()人/月	()人/月
カ) 管理栄養士	同一建物居住者以外 ()件/月 同一建物居住者 ()件/月	()件/月	同一建物居住者以外 ()人/月 同一建物居住者 ()人/月	()人/月
③ 算定期間別の実利用者数(2013年12月時点の状況)				
	～1ヶ月未満 ()人	6～12ヶ月未満 ()人		
	1～3ヶ月未満 ()人	1年以上 ()人		
	3～6ヶ月未満 ()人			
④ 2013年12月時点で居宅療養管理指導を算定している利用者のうち、要介護認定を受ける以前から、貴院から医療保険による訪問(訪問診療・訪問歯科診療・訪問薬剤管理指導・訪問栄養食事指導等)を実施していた利用者の割合	約 ()割			

～～～ ご協力ありがとうございました ～～～

(2) 在宅療養支援診療所

**居宅療養管理指導の実態に関する調査
(在宅療養支援診療所) 施設票**

—アンケート記入にあたってのお願い—

- 1 アンケートを記入いただく方について
貴診療所において、居宅療養管理指導に関する実績・実態を最も良くご存知の方がご記入ください。
- 2 アンケートの返送について
ご回答済みのアンケートは、誠に恐れ入りますが、同封の返信用封筒にて2014年2月21日(金)までに
ご返送下さい。

(1) 基本情報

所在地 ()都・道・府・県	開設年 西暦()年		
開設主体			
1. 個人	4. 公的、社会保険関係団体	7. 営利法人	
2. 医療法人	5. 社会福祉法人	8. その他	
3. 公立(都道府県・市町村・広域連合 および一部事務組合)	6. 協同組合および連合会 ()		
標榜診療科(複数回答可)			
1. 内科	4. 皮膚科	7. 耳鼻科	10. その他
2. 外科	5. 精神科	8. 泌尿器科	〔)
3. 整形外科	6. 眼科	9. 歯科	
併設サービス(2013年12月時点)(同一法人内の事業所で該当するものすべてに○)			
1. 介護老人保健施設	7. 訪問リハビリテーション	13. 認知症対応型共同生活介護	
2. 介護老人福祉施設	8. 居宅療養管理指導	14. 特定施設入所者生活介護	
3. 介護療養型医療施設	9. 通所介護	15. 福祉用具貸与	
4. 訪問介護	10. 通所リハビリテーション	16. 居宅介護支援	
5. 訪問入浴介護	11. 短期入所生活介護	17. 特になし	
6. 訪問看護	12. 短期入所療養介護	18. その他()	

(2) 施設規模

① 施設区分	1. 無床診療所 ⇒⑤へ	2. 有床診療所 ⇒②へ
② 病床数(2013年12月1日時点)	()床	④ 平均在院日数(2013年10月~12月実績)
	うち一般病床 ()床	※ 一般病床 ()日
	うち療養病床 ()床	⑤ 1日平均外来患者数(2013年12月実績)
	うち精神病床 ()床	()人/日
	うち感染症病床 ()床	
うち結核病床 ()床	⑥ 月間処方箋発行枚数(2013年12月実績)	()枚/月
③ 1日平均入院患者数(2013年12月実績)	()人/日	※外来患者への処方箋発行枚数

※平均在院日数については、以下の計算式で計算してください。小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで計上してください。

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{10~12月の3ヶ月間の在院患者延べ数}}{0.5 \times (\text{3ヶ月間の新入院患者数} + \text{3ヶ月間の退院患者数})}$$

裏面に続きます

(1) 職員体制 (2013年12月1日時点)

① 職種別職員数	常勤実人数	非常勤実人数	常勤換算計
ア) 医師	()人	()人	(.)人
イ) 歯科医師	()人	()人	(.)人
ウ) 薬剤師	()人	()人	(.)人
エ) 看護職員(看護師・准看護師)	()人	()人	(.)人
オ) 歯科衛生士	()人	()人	(.)人
カ) 管理栄養士	()人	()人	(.)人
② 居宅療養管理指導従事職員数	()人	()人	

(2) 在宅療養実施状況 (2013年12月実績)

① 往診・訪問診療の実施状況	1. あり→()件/月	2. なし
② 在宅時医学総合管理料	1. あり→()件/月	2. なし
③ 在宅患者訪問薬剤管理指導料	1. あり→()件/月	2. なし
④ 在宅患者訪問栄養食事指導料	1. あり→()件/月	2. なし
⑤ 訪問看護指示料	1. あり→()件/月	2. なし
⑥ 在宅患者連携指導料	1. あり→()件/月	2. なし
⑦ 居宅療養管理指導	1. 実施していない ⇒以下の回答は不要です。 2. 実施している ⇒(5)へお進みください。	

(3) 居宅療養管理指導の実施状況 (2013年12月実績)

職種	① 月間のべ算定件数		② 月間実利用者数	
	I ()件/月	II ()件/月	I ()人/月	II ()人/月
ア) 医師				
イ) 歯科医師	同一建物居住者以外 ()件/月		同一建物居住者以外 ()人/月	
	同一建物居住者 ()件/月		同一建物居住者 ()人/月	
ウ) 薬剤師	同一建物居住者以外 ()件/月		同一建物居住者以外 ()人/月	
	同一建物居住者 ()件/月		同一建物居住者 ()人/月	
エ) 看護職員	同一建物居住者以外 ()件/月		同一建物居住者以外 ()人/月	
	同一建物居住者 ()件/月		同一建物居住者 ()人/月	
オ) 歯科衛生士	同一建物居住者以外 ()件/月		同一建物居住者以外 ()人/月	
	同一建物居住者 ()件/月		同一建物居住者 ()人/月	
カ) 管理栄養士	同一建物居住者以外 ()件/月		同一建物居住者以外 ()人/月	
	同一建物居住者 ()件/月		同一建物居住者 ()人/月	
③ 算定期間別の実利用者数 (2013年12月時点の状況)				
~1ヶ月未満		()人	6~12ヶ月未満	()人
1~3ヶ月未満		()人	1年以上	()人
3~6ヶ月未満		()人		
④ 2013年12月時点で居宅療養管理指導を算定している利用者のうち、要介護認定を受ける以前から、貴院から医療保険による訪問(訪問診療・訪問歯科診療・訪問薬剤管理指導・訪問栄養食事指導等)を実施していた利用者の割合				約 ()割

~~~ ご協力ありがとうございました ~~~

(3) 在宅療養支援歯科診療所

**居宅療養管理指導の実態に関する調査**  
(在宅療養支援歯科診療所) 施設票

—アンケート記入にあたってのお願い—

- 1 アンケートを記入いただく方について  
貴診療所において、居宅療養管理指導に関する実績・実態を最も良くご存知の方がご記入ください。
- 2 アンケートの返送について  
ご回答済みのアンケートは、誠に恐れ入りますが、同封の返信用封筒にて2014年2月21日(金)までに返送下さい。

(1) 基本情報

|                                           |                   |                  |
|-------------------------------------------|-------------------|------------------|
| 所在地<br>( )都・道・府・県                         | 開設年<br>西暦( )年     |                  |
| 開設主体                                      |                   |                  |
| 1. 個人                                     | 4. 公的、社会保険関係団体    | 7. 営利法人          |
| 2. 医療法人                                   | 5. 社会福祉法人         | 8. その他           |
| 3. 公立(都道府県・市町村・広域連合および一部事務組合)             | 6. 協同組合および連合会 ( ) |                  |
| 併設サービス(2013年12月時点)(同一法人内の事業所で該当するものすべてに○) |                   |                  |
| 1. 介護老人保健施設                               | 7. 訪問リハビリテーション    | 13. 認知症対応型共同生活介護 |
| 2. 介護老人福祉施設                               | 8. 居宅療養管理指導       | 14. 特定施設入所者生活介護  |
| 3. 介護療養型医療施設                              | 9. 通所介護           | 15. 福祉用具貸与       |
| 4. 訪問介護                                   | 10. 通所リハビリテーション   | 16. 居宅介護支援       |
| 5. 訪問入浴介護                                 | 11. 短期入所生活介護      | 17. 特になし         |
| 6. 訪問看護                                   | 12. 短期入所療養介護      | 18. その他( )       |

(2) 施設規模

|                        |          |                |
|------------------------|----------|----------------|
| ①施設区分                  | 1. 無床診療所 | 2. 有床診療所 →( )床 |
| ②1日平均外来患者数(2013年12月実績) | ( )人/日   |                |

(3) 職員体制 (2013年12月1日時点)

| ①職種別職員数        | 常勤実人数 | 非常勤実人数 | 常勤換算計  |
|----------------|-------|--------|--------|
| ア) 歯科医師        | ( )人  | ( )人   | ( . )人 |
| イ) 歯科衛生士       | ( )人  | ( )人   | ( . )人 |
| ②居宅療養管理指導従事職員数 | ( )人  | ( )人   |        |

(4) 在宅療養実施状況 (2013年12月実績)

|              |                                                  |
|--------------|--------------------------------------------------|
| ①訪問歯科診療の実施状況 | 1. あり→( )件/月 2. なし                               |
| ②歯科疾患在宅療養管理料 | 1. あり→( )件/月 2. なし                               |
| ③在宅患者連携指導料   | 1. あり→( )件/月 2. なし                               |
| ④居宅療養管理指導    | 1. 実施している ⇒(5)へお進みください<br>2. 実施していない ⇒以下の回答は不要です |

裏面に続きます

(1) 居宅療養管理指導の実施状況 (2013年12月実績)

| 職種                                                                                            | ①月間のべ算定件数        | ②月間実利用者数         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|
| ア) 歯科医師                                                                                       | 同一建物居住者以外 ( )件/月 | 同一建物居住者以外 ( )人/月 |
|                                                                                               | 同一建物居住者 ( )件/月   | 同一建物居住者 ( )人/月   |
| イ) 歯科衛生士                                                                                      | 同一建物居住者以外 ( )件/月 | 同一建物居住者以外 ( )人/月 |
|                                                                                               | 同一建物居住者 ( )件/月   | 同一建物居住者 ( )人/月   |
| ③算定期間別の実利用者数 (2013年12月時点の状況)                                                                  |                  |                  |
| ~1ヶ月未満                                                                                        | ( )人             | 6~12ヶ月未満 ( )人    |
| 1~3ヶ月未満                                                                                       | ( )人             | 1年以上 ( )人        |
| 3~6ヶ月未満                                                                                       | ( )人             |                  |
| ④ 2013年12月時点で居宅療養管理指導を算定している利用者のうち、要介護認定を受ける以前から、貴院から医療保険による訪問(訪問歯科診療・訪問栄養食事指導等)を実施していた利用者の割合 |                  | 約 ( )割           |

~~~~ ご協力ありがとうございました ~~~~

(4) 保険薬局

居宅療養管理指導の実態に関する調査（保険薬局）施設票

—アンケート記入にあたってのお願い—

- 1 アンケートを記入いただく方について
貴薬局において、居宅療養管理指導に関する実績・実態を最も良くご存知の方がご記入ください。
- 2 アンケートの返送について
ご回答済みのアンケートは、誠に恐れ入りますが、同封の返信用封筒にて2014年2月21日（金）までにご返送下さい。

(1) 基本情報

| | | |
|---|-----------------|------------------|
| 所在地
()都・道・府・県 | 開設年
西暦()年 | |
| 開設主体 | | |
| 1. 個人 | 4. 公的、社会保険関係団体 | 7. 営利法人 |
| 2. 医療法人 | 5. 社会福祉法人 | 8. その他 |
| 3. 公立(都道府県・市町村・広域連合および一部事務組合) | 6. 協同組合および連合会 | () |
| 併設サービス(2013年12月1日時点)(同一法人内の事業所で該当するものすべてに○) | | |
| 1. 介護老人保健施設 | 7. 訪問リハビリテーション | 13. 認知症対応型共同生活介護 |
| 2. 介護老人福祉施設 | 8. 居宅療養管理指導 | 14. 特定施設入所者生活介護 |
| 3. 介護療養型医療施設 | 9. 通所介護 | 15. 福祉用具貸与 |
| 4. 訪問介護 | 10. 通所リハビリテーション | 16. 居宅介護支援 |
| 5. 訪問入浴介護 | 11. 短期入所生活介護 | 17. 特になし |
| 6. 訪問看護 | 12. 短期入所療養介護 | 18. その他() |

(2) 施設規模

| | |
|---------------------------|--------|
| ① 月間取り扱い処方箋枚数(2013年12月実績) | ()枚/月 |
|---------------------------|--------|

(3) 職員体制 (2013年12月1日時点)

| | 常勤実人数 | 非常勤実人数 | 常勤換算計 |
|------------------|-------|--------|--------|
| ① 薬剤師数 | ()人 | ()人 | (.)人 |
| ② うち居宅療養管理指導従事者数 | ()人 | ()人 | |

(4) 在宅療養実施状況 (2013年12月実績)

| | | |
|-----------------|--|-------|
| ① 在宅患者訪問薬剤管理指導料 | 1. あり→()件/月 | 2. なし |
| ② 居宅療養管理指導 | 1. 実施している ⇒(5)へお進みください
2. 実施していない ⇒以下の回答は不要です | |

(5) 居宅療養管理指導の算定状況 (2013年12月実績)

| ① 月間のべ算定件数 | | ② 月間実利用者数 | |
|--|--------|-----------|--------|
| 同一建物居住者以外 | ()件/月 | 同一建物居住者以外 | ()人/月 |
| 同一建物居住者 | ()件/月 | 同一建物居住者 | ()人/月 |
| ③ 算定期間別の実利用者数 (2013年12月時点の状況) | | | |
| ～1ヶ月未満 | ()人 | 6～12ヶ月未満 | ()人 |
| 1～3ヶ月未満 | ()人 | 1年以上 | ()人 |
| 3～6ヶ月未満 | ()人 | | |
| ④ 2013年12月時点で居宅療養管理指導を算定している利用者のうち、要介護認定を受ける以前から、貴院から医療保険による訪問(訪問薬剤管理指導等)を実施していた利用者の割合 | | | 約()割 |

～～～ ご協力ありがとうございました ～～～

2. 職種別票

(1) 医師票

居宅療養管理指導の実態に関する調査 【医師票】

■記入にあたってのご注意

- この調査票は、Ⅰ. 専門職編（P1～3）およびⅡ. 利用者編（P5～7）に分かれています。
- 「Ⅰ. 専門職編」については、医師の方がご記入ください。「Ⅱ. 利用者編」については、**直近で訪問した居宅療養管理指導の利用者を一人選定し、その利用者の状況・サービス内容について、Ⅰを記入いただいた医師、または当該利用者の状況を良くご存じの方がご記入下さい。**
- 特に指定の無い限り、**平成25年12月時点の状況についてご回答下さい。**
- 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- 数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、**必ず「0」とご記入下さい。**

Ⅰ 専門職編

以下の各設問については、居宅療養管理指導を担当されている医師がご回答ください。

| 1. ご記入者の属性 | | | |
|-------------------|-------------------------------------|-------------|-----------|
| ① 年齢 | () 歳 | ② 性別 | 1. 男 2. 女 |
| ③ 所属機関
(複数回答可) | 1. 病院 2. 診療所
3. 介護保険施設 4. その他() | | |
| ④ 勤務形態 | 1. 常勤専任 2. 常勤兼務 3. 非常勤 | | |
| ⑤ 医師としての経験年数 | () 年 | ⑥ 訪問診療の経験年数 | () 年 |
| ⑦ 居宅療養管理指導の経験年数 | () 年 | | |

| 2. あなたが実施している居宅療養管理指導について | |
|-------------------------------|--|
| ① 2013年12月に訪問した人数 (実人数) | () 人
→うち居宅療養管理指導を算定している人数() 人 |
| ② 2013年12月に訪問した回数 | 合計() 回
→うち居宅療養管理指導を算定した回数() 回 |
| ③ 居宅療養管理指導を実施する上での困難点 (複数回答可) | 1. 利用者・家族に指導内容を理解してもらえない
2. 訪問看護師・介護職に指導内容を理解してもらえない
3. 利用者や家族が医師が住居に上がること拒否感を示す
4. 利用者や家族が金銭負担に拒否感を示す
5. ケアマネジャーとの連携がうまく取れない
6. その他の職種との連携がうまく取れない
7. 家族の協力が得られない(関心が無い、忙しい等)
8. 利用者の長年の習慣を変えるのが困難
9. 忙しくて居宅療養管理指導のニーズに対応しきれない
10. 求められるケアの水準が高い
11. 専門外の知識・技術が必要な場面がある
12. その他() |

| 3. 他職種(ケアマネジャー、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士など)との連携について | |
|--|--|
| ① 居宅療養管理指導で他職種と連携する上での困難点 (複数回答可) | 1. ケアマネジャーが連携の必要性を認識していない
2. 訪問看護師・介護職が連携の必要性を認識していない
3. その他の職種が連携の必要性を認識していない
4. ケアマネジャーへの情報提供が煩雑
5. その他の職種への情報提供が煩雑
6. ケアマネジャーにどんな情報を提供すればいいのかわからない
7. その他の職種にどんな情報を提供すればいいのかわからない
8. サービス担当者会議に参加できない
9. 多職種が顔を合わせる機会が少ない
10. 多職種間で共有すべき情報が明確でない
11. 地域で居宅療養管理指導をしている他職種の情報が入ってこない
12. そもそも連携が必要とは思わない
13. その他() |
| ② 居宅療養管理指導の際に、他の職種と同行訪問をしたいと思うことはありますか。 | 1. はい ⇒ 4. にお進みください
2. いいえ ⇒ 5. へお進みください |

| 4. ①～⑦での各職種との同行訪問の希望及び同行訪問時に利用者に対して助言してほしいこと、行って欲しいことについてお伺いします。同行訪問の希望「あり」の場合は[SQ]にもご回答ください。 | |
|---|--|
| 職種 | 同行訪問の希望 [SQ] 同行訪問時に、利用者に対して助言・実施してほしいこと(複数回答可) |
| ① 歯科医師 | 1. あり⇒
2. なし
1. 口腔衛生状態の評価 2. 口腔衛生指導 3. 口腔清掃の指導
4. 義歯の状態評価 5. 義歯清掃方法指導 6. 摂食・嚥下機能訓練・評価
7. 糖尿病利用者への対応 8. 歯科処置による出血・顎骨壊死リスクの説明
9. その他() |
| ② 薬剤師 | 1. あり⇒
2. なし
1. 利用者の状態に応じた適切な薬剤の形状の選択
2. 薬剤と栄養剤・食事の副作用・相互作用についての助言
3. 静脈・経腸栄養療法の指導 4. 血糖・血圧等の管理指導
5. 褥瘡外用薬やドレッシング剤の選定・使用法等の指導
6. 薬剤効果の評価 7. 内服薬の副作用の検討と防止 8. 緩和ケア
9. その他() |
| ③ 管理栄養士 | 1. あり⇒
2. なし
1. 必要な栄養量の算出 2. 利用者の嗜好への対応
3. 使用する食品や調理法の決定 4. 栄養補助食品の選択
5. 献立の提案 6. 食事形態の提言
7. 水分・電解質管理の評価 8. 糖尿病利用者への対応
9. その他() |
| ④ 歯科衛生士 | 1. あり⇒
2. なし
1. 口腔衛生状態の評価 2. 口腔衛生指導 3. 口腔清掃の指導
4. 義歯の状態評価 5. 義歯清掃方法指導 6. 摂食・嚥下機能訓練・評価
7. 糖尿病利用者への対応 8. その他() |
| ⑤ 訪問看護師 | 1. あり⇒
2. なし
1. 利用者の療養上の様子の把握 2. 利用者の嗜好の把握
3. 利用者・家族の療養上の要望の把握 4. 服薬介助・薬剤使用にかかわる問題点の把握
5. 利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有
6. その他() |

| 職種 | 同行訪問の希望 | [SQ]同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと(複数回答可) |
|--------|-----------------|--|
| ⑥介護職員 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の療養上の様子の把握 2. 利用者の嗜好の把握
3. 利用者・家族の生活像を踏まえた要望の把握 4. 服薬状況の確認
5. 利用者・家族の生活上の要望に関する職種間情報共有
6. 利用者・家族の生活・経済状況の把握
7. その他() |
| ⑦保健師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の療養上の様子の把握 2. 利用者の嗜好の把握
3. 利用者・家族の療養上の要望の把握 4. 服薬介助・薬剤使用にかかわる問題点の把握
5. 利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有
6. その他() |
| ⑧理学療法士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 関節拘縮への対応 2. 麻痺への対応
3. リンパ浮腫への対応 4. 摂食・嚥下に関連した指導・訓練
5. 食欲や栄養吸収能力を高める身体運動指導 6. 食事姿勢指導
7. その他() |
| ⑨作業療法士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 関節拘縮への対応 2. 麻痺への対応
3. リンパ浮腫への対応 4. 摂食・嚥下指導に関連した指導・訓練
5. 食欲や栄養吸収能力を高める身体運動指導 6. 食事姿勢指導
7. 利用者・家族の家事動作の支援
8. その他() |
| ⑩言語聴覚士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 高次脳機能障害の評価 2. 高次脳機能障害への対応
3. 言語機能の評価 4. 言語機能の回復方法指導
5. 代用音声機器の選定 6. 代用音声訓練
7. 摂食・嚥下訓練
8. その他() |
| ⑪臨床心理士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 不安症状・抑うつの評価 2. 不安症状・抑うつ利用者への対応
3. 認知症の評価 4. 認知症利用者への対応
5. 症状に関する利用者の心理的負担の検討・改善
6. 症状に関する家族の心理的負担の検討・改善
7. 緩和ケアにおける利用者・家族の心のケア
8. その他() |

| 5 居宅療養管理指導料の算定要件についての要望や困難点(複数回答可) | |
|--|--|
| 1. 訪問診療の実績が無くても算定可能にしてほしい | |
| 2. 医療保険で算定可能にしてほしい | |
| 3. 訪問回数の上限を上げてほしい | |
| 4. 算定単位数を増やしてほしい | |
| 5. 指導開始からの期間によって単位数を変えてほしい | |
| 6. 記録や情報提供に記載義務のある項目を減らしてほしい | |
| 7. 前回情報提供時から容体に変化が無かった場合のケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい | |
| 8. 前回情報提供時から容体に変化が無かった場合のケアマネへの情報提供の手段を緩和してほしい | |
| 9. その他() | |

II 利用者編

以下の各設問は、直近で訪問した居宅療養管理指導の利用者を1人選定してご回答ください。
Iを回答いただいた医師の方、または当該利用者を良くご存じの職員がご回答ください。

| 1. 利用者の属性 | | | | | | |
|-----------|------------------|----------------------|------------------|---------|---------|---------|
| ①年齢 | ()歳 | ②性別 | 1. 男 | 2. 女 | | |
| ③初回訪問時の状態 | 要介護度 | 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | 3. 要介護1 | 4. 要介護2 | |
| | 認知高齢者の日常生活自立度 | 5. 要介護3 | 6. 要介護4 | 7. 要介護5 | | |
| | 障害高齢者の日常生活自立度 | 1. 認知症なし | 2. I | 3. IIa | 4. IIb | 5. IIIa |
| ④現在の状態 | 要介護度 | 6. IIIb | 7. IV | 8. M | 9. 不明 | |
| | 認知高齢者の日常生活自立度 | 1. J | 2. A | 3. B | 4. C | 5. 不明 |
| | 障害高齢者の日常生活自立度 | 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | 3. 要介護1 | 4. 要介護2 | |
| ⑤現在の居住状態 | 要介護度 | 5. 要介護3 | 6. 要介護4 | 7. 要介護5 | | |
| | 認知高齢者の日常生活自立度 | 1. 認知症なし | 2. I | 3. IIa | 4. IIb | 5. IIIa |
| | 障害高齢者の日常生活自立度 | 6. IIIb | 7. IV | 8. M | 9. 不明 | |
| ⑥主な介護者 | 要介護度 | 1. J | 2. A | 3. B | 4. C | 5. 不明 |
| | 現在の居住状態 | 1. 利用者宅(戸建・集合)で同居者あり | 4. 有料老人ホーム | | | |
| | 現在の居住状態 | 2. 利用者宅(戸建・集合)で独居 | 5. グループホーム・ケアハウス | | | |
| 現在の居住状態 | 3. サービス付き高齢者向け住宅 | 6. その他() | | | | |
| 現在の居住状態 | 1. 同居の配偶者 | 5. 別居・遠方在住の家族・親族 | | | | |
| 現在の居住状態 | 2. 同居の子または子の配偶者 | 6. ホームヘルパーなど介護サービス | | | | |
| 現在の居住状態 | 3. 同居のその他親族 | 7. 主たる介護者はいない | | | | |
| 現在の居住状態 | 4. 別居・近隣在住の家族・親族 | 8. その他() | | | | |

| 2. 利用者に対する居宅療養管理指導の指導実績 | | |
|---------------------------|--|--|
| ①訪問診療を実施している場合、開始した時期 | 平成()年()月()日 | |
| ②居宅療養管理指導を開始した時期 | 平成()年()月()日 | |
| ③居宅療養管理指導の利用に至った理由(複数回答可) | 1. 医療機関からの退院のため
2. 要介護認定されたため
3. 要介護度が重度化したため
4. 認知症が発症・重症化したため
5. 身体機能が低下したため
6. 栄養状態改善の必要性が生じたため
7. 医学的・歯学的ケアの必要性が生じたため
8. 薬学的管理の必要性が生じたため
9. ケアマネジャー等への情報提供の必要性が生じたため
10. その他() | |
| ④居宅療養管理指導開始の経緯(複数回答可) | 1. ケアマネジャーからの依頼・情報提供による
2. 自身の患者・担当利用者であった
3. 自身と同施設他職種からの依頼・情報提供による
4. 利用者・利用者の家族からの依頼・相談による
5. その他() | |
| ⑤訪問開始後1ヶ月間の訪問回数 | ()回 | ⑥12月の訪問回数(訪問開始から2ヶ月以内の場合はこの設問は飛ばして⑦にお進みください)
()回 |
| ⑦訪問開始から現在までの合計訪問回数 | ()回 | うち居宅療養管理指導を算定した回数()回 |

| 3. 利用者に対する居宅療養管理指導の具体的な内容について | |
|--------------------------------|--|
| ① ケアマネジャーへの情報提供の主な手段(複数回答可) | 1. サービス担当者会議
2. 文書(手渡し)
3. メール
4. FAX
5. 口頭
6. 電話
7. その他() |
| ② ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容(複数回答可) | 1. 訪問診療での処方内容
2. 利用している居宅サービスの種類と利用頻度
3. 今後の居宅サービス利用の維持・中止・頻度変更の提案
4. 病状変化
→ 1. 発生頻度の高い病態 2. 病態への対処方法
3. 必要な医学管理の種類 4. その他()
5. 生活自立度
→ 1. 移動 2. 摂食 3. 排泄 4. 入浴
6. 利用者の身体状況
→ 1. 体温 2. 血圧 3. 血糖 4. ADL 5. その他()
7. 体調悪化時の対応指示
→ 1. 発熱時 2. 疼痛時 3. 不眠時 4. その他()
8. 主たる介護者の状況
9. その他() |
| ③ 利用者や家族への指導・助言の主な手段(複数回答可) | 1. 口頭
2. 文書(手渡し)
3. 電話
4. FAX
5. メール
6. その他() |
| ④ 利用者ご家族への指導・助言の具体的な内容(複数回答可) | 1. 今後の居宅サービス利用の維持・中止・頻度変更の提案
2. 病状変化
→ 1. 発生頻度の高い病態
2. 病態への対処方法
3. 必要な医学管理の種類
4. その他()
3. 精神状態
4. 生活自立度
→ 1. 移動 2. 摂食 3. 排泄 4. 入浴
5. 利用者の身体状況
→ 1. 体温 2. 血圧 3. 血糖 4. ADL 5. その他()
6. 体調悪化時の対応指示
→ 1. 発熱時 2. 疼痛時 3. 不眠時 4. その他()
7. その他() |
| ⑤ 利用者や家族への指導・助言を行ううえでの課題(自由回答) | |
| ⑥ 1回の指導にかかる時間(利用者1人1回あたり:分) | 情報収集等の準備時間 ()分 |
| | 実際の指導時間 ()分 |
| | 訪問後の帳簿記載 ()分 |
| | 他職種への連絡調整時間 ()分 |

| 4. 他の職種との連携について | |
|---|--|
| ① 利用者の指導に関して普段相談または情報提供をしている職種(複数回答可) | 1. 主治歯科医 2. 主治医以外の医師
3. 主治医以外の歯科医師 4. 薬剤師
5. 歯科衛生士 6. 訪問看護師 7. 保健師 8. 介護職
9. 訪問リハビリテーションスタッフ
→ 1. 理学療法士 2. 作業療法士 3. 言語聴覚士
10. 臨床心理士 11. 他職種への相談・情報提供はしない
12. その他() |
| ② 【①で11.以外に○をつけた方】他職種への相談・情報提供の具体的な内容(複数回答可) | 1. 処方内容
2. 利用している居宅サービスの種類と利用頻度
3. 今後の居宅サービス利用の維持・中止・頻度変更の提案
4. 病状変化
→ 1. 発生頻度の高い病態
2. 病態への対処方法
3. 必要な医学管理の種類
4. その他()
5. 精神状態
6. 生活自立度
→ 1. 移動 2. 摂食 3. 排泄 4. 入浴
7. 利用者の身体状況
→ 1. 体温 2. 血圧 3. 血糖 4. ADL 5. その他()
8. 体調悪化時の対応指示
→ 1. 発熱時 2. 疼痛時 3. 不眠時 4. その他()
9. 主たる介護者の状況
10. その他() |
| ③ 【①で11.に○をつけた方】他職種への相談・情報提供をしない理由(複数回答可) | 1. 自らが不必要と判断したため
2. ケアマネジャーが不必要と判断したため
3. 他職種から依頼が無かったため
4. 利用者・家族が拒否したため
5. その他() |
| ④ 他の職種との同行訪問の有無 | 1. ほぼ毎回する 2. ときどきする
3. たまにする 4. まったくしない |
| ⑤ 【④で「1. ほぼ毎回する」「2. ときどきする」「3. たまにする」を選んだ方】同行訪問をする理由(複数回答可) | 1. 自らが必要と判断したため
2. ケアマネジャーが必要と判断したため
3. 他職種から依頼があったため
4. 利用者・家族からの要望があったため
5. その他() |

■■■ご協力ありがとうございました■■■

(2) 歯科医師票

居宅療養管理指導の実態に関する調査
【歯科医師票】

■記入にあたってのご注意

- この調査票は、Ⅰ. 専門職編 (P 1~3) およびⅡ. 利用者編 (P 5~7) に分かれています。
- 「Ⅰ. 専門職編」については、歯科医師の方がご記入ください。「Ⅱ. 利用者編」については、直近で訪問した居宅療養管理指導の利用者を一人選定し、その利用者の状況・サービス内容について、Ⅰを記入いただいた歯科医師、または当該利用者の状況を良くご存じの方がご記入下さい。
- 特に指定の無い限り、平成 25 年 12 月時点の状況についてご回答下さい。
- 特に指定の無い限り、選択肢の番号 1 つを選んで○印をお付け下さい。
- 数字を記入する欄が 0 (ゼロ) の場合、空欄のままではなく、**必ず「0」とご記入下さい。**

Ⅰ 専門職編

以下の各設問については、居宅療養管理指導を担当されている歯科医師がご回答ください。

| 1. ご記入者の属性 | | | |
|---------------------|--------------------|---------------------|-----------|
| ① 年齢 | () 歳 | ② 性別 | 1. 男 2. 女 |
| ③ 所属機関
(複数回答可) | 1. 病院
4. 介護保険施設 | 2. 診療所
5. その他() | 3. 歯科診療所 |
| ④ 勤務形態 | 1. 常勤専任 | 2. 常勤兼務 | 3. 非常勤 |
| ⑤ 歯科医師としての
経験年数 | () 年 | ⑥ 訪問歯科診療
の経験年数 | () 年 |
| ⑦ 居宅療養管理指導
の経験年数 | () 年 | | |

| 2. あなたが実施している居宅療養管理指導について | |
|------------------------------|---|
| ① 2013 年 12 月に訪問した人数 (実人数) | () 人
→うち居宅療養管理指導を算定している人数() 人 |
| ② 2013 年 12 月に訪問した回数 | 合計() 回
→うち居宅療養管理指導を算定した回数() 回 |
| ③ 居宅療養管理指導を実施する上での困難点(複数回答可) | 1. 利用者・家族に指導内容を理解してもらえない
2. 訪問看護師・介護職に指導内容を理解してもらえない
3. 利用者や家族から口腔ケアの重要性への理解が得られない
4. 訪問看護師・介護職から口腔ケアの重要性への理解が得られない
5. 利用者や家族が歯科医師が住居に上ることに拒否感を示す
6. 利用者や家族が金銭負担に拒否感を示す
7. ケアマネジャーとの連携がうまく取れない
8. その他の職種との連携がうまく取れない
9. 家族の協力が得られない(関心が無い、忙しい等)
10. 利用者の長年の習慣を変えるのが困難
11. 忙しくて居宅療養管理指導のニーズに対応しきれない
12. 求められるケアの水準が高い
13. 専門外の知識・技術が必要な場面がある
14. その他() |

3. 他職種(ケアマネジャー、医師、薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士など)との連携について

| | |
|------------------------------------|--|
| ① 居宅療養管理指導で他職種と連携する上での困難点(複数回答可) | 1. ケアマネジャーが連携の必要性を認識していない
2. 訪問看護師・介護職が連携の必要性を認識していない
3. その他の職種が連携の必要性を認識していない
4. ケアマネジャーへの情報提供が煩雑
5. その他の職種への情報提供が煩雑
6. ケアマネジャーにどんな情報を提供すればいいのかわからない
7. その他の職種にどんな情報を提供すればいいのかわからない
8. サービス担当者会議に参加できない
9. 多職種が顔を合わせる機会が少ない
10. 多職種間で共有すべき情報が明確でない
11. 地域で居宅療養管理指導をしている他職種の情報が入ってこない
12. そもそも連携が必要とは思わない
13. その他() |
| ② 居宅療養管理指導の際に、他の職種と同行訪問をしたいと思いますか。 | 1. はい ⇒ 4. にお進みください
2. いいえ ⇒ 5. へお進みください |

4. ①~⑦での各職種との同行訪問の希望及び同行訪問時に利用者に対して助言してほしいこと、行って欲しいことについてお伺いします。同行訪問の希望「あり」の場合は[SQ]にもご回答ください。

| 職種 | 同行訪問の希望 | [SQ] 同行訪問時に、利用者に対して助言・実施してほしいこと(複数回答可) |
|---------|-----------------|--|
| ① 医師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 在宅療養全般に関する利用者・家族の希望の把握 2. 既往症に応じた注意事項
3. 状態像に応じた服薬判断 4. 薬剤師訪問指導の必要性の説明
5. 処方設計の意図の説明 6. 感染症予防対策 7. 糖尿病利用者への対応
8. その他() |
| ② 薬剤師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の状態に応じた適切な薬剤の形状の選択
2. 薬剤と栄養剤・食事の副作用・相互作用についての助言
3. 静脈・経腸栄養療法の指導 4. 血糖・血圧等の管理指導
5. 褥瘡外用薬やドレッシング剤の選定・使用方法等の指導
6. 薬剤効果の評価 7. 内服薬の副作用の検討と防止 8. 緩和ケア
9. その他() |
| ③ 管理栄養士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 必要な栄養量の算出 2. 利用者の嗜好への対応
3. 使用する食品や調理法の決定 4. 栄養補助食品の選択
5. 献立の提案 6. 食事形態の提言
7. 水分・電解質管理の評価 8. 糖尿病利用者への対応
9. その他() |
| ④ 歯科衛生士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 必要な栄養量の算出 2. 利用者の嗜好への対応
3. 使用する食品や調理法の決定 4. 栄養補助食品の選択
5. 献立の提案 6. 食事形態の提言
7. 水分・電解質管理の評価 8. 糖尿病利用者への対応
9. その他() |
| ⑤ 訪問看護師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の療養上の様子の把握 2. 利用者の嗜好の把握
3. 利用者・家族の療養上の要望の把握 4. 服薬介助・薬剤使用にかかわる問題点の把握
5. 利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有
6. その他() |

| 職種 | 同行訪問の希望 | [SQ]同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと(複数回答可) |
|--------|-----------------|--|
| ⑥介護職員 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の療養上の様子の把握 2. 利用者の嗜好の把握
3. 利用者・家族の生活像を踏まえた要望の把握 4. 服薬状況の確認
5. 利用者・家族の生活上の要望に関する職種間情報共有
6. 利用者・家族の生活・経済状況の把握
7. その他() |
| ⑦保健師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の療養上の様子の把握 2. 利用者の嗜好の把握
3. 利用者・家族の療養上の要望の把握 4. 服薬介助・薬剤使用にかかわる問題点の把握
5. 利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有
6. その他() |
| ⑧理学療法士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 関節拘縮への対応 2. 麻痺への対応
3. リンパ浮腫への対応 4. 摂食・嚥下に関連した指導・訓練
5. 食欲や栄養吸収能力を高める身体運動指導 6. 食事姿勢指導
7. その他() |
| ⑨作業療法士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 関節拘縮への対応 2. 麻痺への対応
3. リンパ浮腫への対応 4. 摂食・嚥下に関連した指導・訓練
5. 食欲や栄養吸収能力を高める身体運動指導 6. 食事姿勢指導
7. 利用者・家族の家事動作の支援
8. その他() |
| ⑩言語聴覚士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 高次脳機能障害の評価 2. 高次脳機能障害への対応
3. 言語機能の評価 4. 言語機能の回復方法指導
5. 代用音声機器の選定 6. 代用音声訓練
7. 摂食・嚥下訓練
8. その他() |
| ⑪臨床心理士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 不安症状・抑うつの評価 2. 不安症状・抑うつ利用者への対応
3. 認知症の評価 4. 認知症利用者への対応
5. 症状に関する利用者の心理的負担の検討・改善
6. 症状に関する家族の心理的負担の検討・改善
7. 緩和ケアにおける利用者・家族の心のケア
8. その他() |

| 5 居宅療養管理指導料の算定要件に関するの要望や困難点(複数回答可) | |
|--|--|
| 1. 訪問歯科診療の実績が無くても算定可能にしてほしい | |
| 2. 医療保険で算定可能にしてほしい | |
| 3. 訪問回数の上限を上げてほしい | |
| 4. 算定単位数を増やしてほしい | |
| 5. 指導開始からの期間によって単位数を変えてほしい | |
| 6. 記録や情報提供に記載義務のある項目を減らしてほしい | |
| 7. 前回情報提供時から容体に変化が無かった場合のケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい | |
| 8. 前回情報提供時から容体に変化が無かった場合のケアマネへの情報提供の手段を緩和してほしい | |
| 9. その他() | |

II 利用者編

以下の各設問は、直近で訪問した居宅療養管理指導の利用者を1人選定してご回答ください。

I を回答いただいた歯科医師の方、または当該利用者を良くご存じの職員がご回答ください。

| 1. 利用者の属性 | | | |
|-----------|---|---|-----------|
| ①年齢 | ()歳 | ②性別 | 1. 男 2. 女 |
| ③初回訪問時の状態 | 要介護度 | 1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2
5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 | |
| | 認知高齢者の日常生活自立度 | 1. 認知症なし 2. I 3. IIa 4. IIb 5. IIIa
6. IIIb 7. IV 8. M 9. 不明 | |
| | 障害高齢者の日常生活自立度 | 1. J 2. A 3. B 4. C 5. 不明 | |
| ④現在の状態 | 要介護度 | 1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2
5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 | |
| | 認知高齢者の日常生活自立度 | 1. 認知症なし 2. I 3. IIa 4. IIb 5. IIIa
6. IIIb 7. IV 8. M 9. 不明 | |
| | 障害高齢者の日常生活自立度 | 1. J 2. A 3. B 4. C 5. 不明 | |
| ⑤現在の居住状態 | 1. 利用者宅(戸建・集合)で同居者あり 4. 有料老人ホーム
2. 利用者宅(戸建・集合)で独居 5. グループホーム・ケアハウス
3. サービス付き高齢者向け住宅 6. その他() | | |
| ⑥主な介護者 | 1. 同居の配偶者 5. 別居・遠方在住の家族・親族
2. 同居の子または子の配偶者 6. ホームヘルパーなど介護サービス
3. 同居のその他親族 7. 主たる介護者はいない
4. 別居・近隣在住の家族・親族 8. その他() | | |

| 2. 利用者に対する居宅療養管理指導の指導実績 | | | |
|---------------------------|---|--|------|
| ①訪問歯科診療を実施している場合、開始した時期 | 平成()年()月()日 | | |
| ②居宅療養管理指導を開始した時期 | 平成()年()月()日 | | |
| ③居宅療養管理指導の利用に至った理由(複数回答可) | 1. 医療機関からの退院のため 6. 栄養状態改善の必要性が生じたため
2. 要介護認定されたため 7. 医学的・歯学的ケアの必要性が生じたため
3. 要介護度が重度化したため 8. 薬学的管理の必要性が生じたため
4. 認知症が発症・重症化したため 9. ケアマネジャー等への情報提供の必要性が生じたため
5. 身体機能が低下したため 10. その他() | | |
| ④居宅療養管理指導開始の経緯(複数回答可) | 1. ケアマネジャーからの依頼・情報提供による
2. 自身の患者・担当利用者であった
3. 自身と同施設他職種からの依頼・情報提供による
4. 利用者・利用者の家族からの依頼・相談による
5. その他() | | |
| ⑤訪問開始後1ヶ月間の訪問回数 | ()回 | ⑥12月の訪問回数(訪問開始から2ヶ月以内の場合はこの設問は飛ばして⑦にお進みください) | ()回 |
| ⑦訪問開始から現在まで | ()回 | うち居宅療養管理指導を算定した回数()回 | |

| 3. 利用者に対する居宅療養管理指導の具体的な内容について | | |
|-------------------------------|--|-----------------------------------|
| ① ケアマネジャーへの情報提供の主な手段(複数回答可) | 1. サービス担当者会議
3. メール
5. 口頭
7. その他() | 2. 文書(手渡し)
4. FAX
6. 電話 |
| ② ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容(複数回答可) | 1. 歯科医師による居宅療養管理指導・訪問歯科診療の受給状況
2. 利用している居宅サービスの種類と利用頻度
3. 今後の居宅サービス利用の維持・中止・頻度変更の提案
4. 口腔内状態
→ 1. 清掃の状況 2. 口腔乾燥 3. むし歯 4. 歯周疾患
5. 口腔機能の状態
→ 1. 咀嚼機能 2. 摂食・嚥下機能 3. 発音機能
6. 歯科管理計画
7. 改善目標
8. 利用者の日常生活上の留意事項
9. その他() | |
| ③ 利用者や家族への指導・助言の主な手段(複数回答可) | 1. 口頭
3. 電話
5. メール | 2. 文書(手渡し)
4. FAX
6. その他() |
| ④ 利用者ご家族への指導・助言の具体的な内容(複数回答可) | 1. 今後の居宅サービス利用の維持・中止・頻度変更の提案
2. 口腔機能向上に関する情報提供
3. 口腔体操・嚥下体操
4. 歯みがき支援
5. 食事姿勢・食環境指導
6. 訓練
→ 1. 歯みがき
2. かむ
3. 飲み込み
4. 発音・発声
5. 呼吸
6. その他()
7. その他() | |
| ⑤ 利用者や家族への指導・助言を行ううえでの課題 | | |
| ⑥ 1回の指導にかかる時間(利用者1人1回あたり:分) | 情報収集等の準備時間 | ()分 |
| | 実際の指導時間 | ()分 |
| | 訪問後の帳簿記載 | ()分 |
| | 他職種への連絡調整時間 | ()分 |

| 4. 他の職種との連携について | |
|---|--|
| ① 利用者の指導に関して普段相談または情報提供をしている職種(複数回答可) | 1. 主治医 2. 主治医以外の医師 3. 主治医以外の歯科医師
4. 薬剤師 5. 歯科衛生士 6. 訪問看護師 7. 保健師
8. 介護職
9. 訪問リハビリテーションスタッフ
→ 1. 理学療法士 2. 作業療法士 3. 言語聴覚士
10. 臨床心理士 11. 他職種への相談・情報提供はしない
12. その他() |
| ② 【①で11.以外に○をつけた方】他職種への相談・情報提供の具体的な内容(複数回答可) | 1. 歯科医師による居宅療養管理指導・訪問歯科診療の受給状況
2. 利用している居宅サービスの種類と利用頻度
3. 今後の居宅サービス利用の維持・中止・頻度変更の提案
4. 口腔内状態
→ 1. 清掃の状況 2. 口腔乾燥 3. むし歯 4. 歯周疾患
5. 口腔機能の状態
→ 1. 咀嚼機能 2. 摂食・嚥下機能 3. 発音機能
6. 歯科管理計画
7. 改善目標
8. 利用者の日常生活上の留意事項
9. その他() |
| ③ 【①で11.に○をつけた方】他職種への相談・情報提供をしない理由(複数回答可) | 1. 自らが必要ないと判断したため
2. ケアマネジャーが必要ないと判断したため
3. 他職種から依頼が無かったため
4. 利用者・家族が拒否したため
5. その他() |
| ④ 他の職種との同行訪問の有無 | 1. ほぼ毎回する 2. ときどきする
3. たまにする 4. まったくしない |
| ⑤ 【④で「1. ほぼ毎回する」「2. ときどきする」「3. たまにする」を選んだ方】同行訪問をする理由(複数回答可) | 1. 自らが必要と判断したため
2. ケアマネジャーが必要と判断したため
3. 他職種から依頼があったため
4. 利用者・家族からの要望があったため
5. その他() |

■■■ご協力ありがとうございました■■■

(3) 薬剤師票

居宅療養管理指導の実態に関する調査
【薬剤師票】

■記入にあたってのご注意

・この調査票は、Ⅰ. 専門職編（P1～3）およびⅡ. 利用者編（P4～8）に分かれています。
 ・「Ⅰ. 専門職編」については、薬剤師の方がご記入ください。「Ⅱ. 利用者編」については、**直近で訪問した居宅療養管理指導の利用者を一人選定し、その利用者の状況・サービス内容について、Ⅰを記入いただいた薬剤師、または当該利用者の状況を良くご存じの方がご記入下さい。**
 特に指定の無い限り、平成25年12月時点の状況についてご回答下さい。
 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
 数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。

Ⅰ 専門職編

以下の各設問については、居宅療養管理指導を担当されている薬剤師がご回答ください。

| 1. ご記入者の属性 | | | |
|---------------------|--------------------|-----------------------------|-----------|
| ① 年齢 | ()歳 | ② 性別 | 1. 男 2. 女 |
| ③ 所属機関
(複数回答可) | 1. 病院
4. 介護保険施設 | 2. 診療所
5. その他() | 3. 保険薬局 |
| ④ 勤務形態 | 1. 常勤専任 | 2. 常勤兼務 | 3. 非常勤 |
| ⑤ 薬剤師としての
経験年数 | ()年 | ⑥ 在宅患者訪問
薬剤管理指導
の経験年数 | ()年 |
| ⑦ 居宅療養管理指導
の経験年数 | ()年 | | |

| 2. あなたが実施している居宅療養管理指導について | |
|------------------------------|--|
| ① 2013年12月に訪問した人数 (実人数) | ()人
→うち居宅療養管理指導を算定している人数()人 |
| ② 2013年12月に訪問した回数 | 合計()回
→うち居宅療養管理指導を算定した回数()回
→うち緊急訪問(医療保険適用)の回数()回 |
| ③ 居宅療養管理指導を実施する上での困難点(複数回答可) | 1. 利用者・家族に指導内容を理解してもらえない
2. 訪問看護師・介護職に指導内容を理解してもらえない
3. 利用者・家族から服薬コンプライアンスの重要性への理解が得られない
4. 訪問看護師・介護職から服薬コンプライアンスの重要性への理解が得られない
5. 利用者・家族が薬剤師が住居に上がることに拒否感を示す
6. 利用者・家族が居宅管理指導の金銭負担に拒否感を示す
7. 利用者・家族が服薬支援ツールや嚥下補助具の金銭負担に拒否感を示す
8. ケアマネジャーとの連携がうまく取れない
9. その他の職種との連携がうまく取れない
10. 家族の協力が得られない(関心が無い、忙しい等)
11. 利用者の長年の習慣を変えるのが困難
12. 忙しくて居宅療養管理指導のニーズに対応しきれない
13. 求められるケアの水準が高い
14. 専門外の知識・技術が必要な場面がある |

3. 他職種(ケアマネジャー、医師、歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士など)との連携について

| | | |
|---|---|-----|
| ① 居宅療養管理指導で他職種と連携する上での困難点(複数回答可) | 1. 医師・歯科医師が必要性を認識していない |)) |
| | 2. ケアマネジャーが連携の必要性を認識していない | |
| 3. 訪問看護師・介護職が連携の必要性を認識していない | | |
| 4. その他の職種が連携の必要性を認識していない | | |
| 5. 医師への情報提供・報告が煩雑 | | |
| 6. ケアマネジャーへの情報提供が煩雑 | | |
| 7. その他の職種への情報提供が煩雑 | | |
| 8. 医師にどんな情報を提供すればいいのかわからない | | |
| 9. ケアマネジャーにどんな情報を提供すればいいのかわからない | | |
| 10. その他の職種にどんな情報を提供すればいいのかわからない | | |
| 11. 退院時カンファレンスに呼ばれない | | |
| 12. 退院時カンファレンスに呼ばれても参加できない | | |
| 13. サービス担当者会議に呼ばれない | | |
| 14. サービス担当者会議に呼ばれても参加できない | | |
| 15. 多職種が顔を合わせる機会が少ない | | |
| 16. 多職種間で共有すべき情報が明確でない | | |
| 17. 地域で居宅療養管理指導をしている他職種の情報が入ってこない | | |
| 18. そもそも連携が必要とは思わない | | |
| 19. その他() | | |
| ② 居宅療養管理指導の際に、他の職種と同行訪問をしたいと思うことはありますか。 | 1. はい ⇒ 4. にお進みください
2. いいえ ⇒ 5. へお進みください | |

4. ①～⑦での各職種との同行訪問の希望及び同行訪問時に助言してほしいこと、行って欲しいことについてお伺いします。同行訪問の希望「あり」の場合は[SQ]にもご回答ください。

| 職種 | 同行訪問の希望 | [SQ] 同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと(複数回答可) |
|---------|-----------------|---|
| ① 医師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 在宅療養全般に関する利用者・家族の希望の把握 2. 既往症に応じた注意事項
3. 状態像に応じた服薬判断 4. 薬剤師訪問指導の必要性の説明
5. 処方設計の意図の説明 6. 感染症予防対策 7. 糖尿病利用者への対応
8. その他() |
| ② 歯科医師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 口腔衛生状態の評価 2. 口腔衛生指導 3. 口腔清掃の指導
4. 義歯の状態評価 5. 義歯清掃方法指導 6. 摂食・嚥下機能訓練・評価
7. 糖尿病利用者への対応 8. 歯科処置による出血・顎骨壊死リスクの説明
9. その他() |
| ③ 管理栄養士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 必要な栄養量の算出 2. 利用者の嗜好への対応
3. 使用する食品や調理法の決定 4. 栄養補助食品の選択
5. 献立の提案 6. 食事形態の提言
7. 水分・電解質管理の評価 8. 糖尿病利用者への対応
9. その他() |
| ④ 歯科衛生士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 口腔衛生状態の評価 2. 口腔衛生指導 3. 口腔清掃の指導
4. 義歯の状態評価 5. 義歯清掃方法指導 6. 摂食・嚥下機能訓練・評価
7. 糖尿病利用者への対応 8. その他() |

| 職種 | 同行訪問の希望 | [SQ] 同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと(複数回答可) |
|---------|-----------------|--|
| ⑤ 訪問看護 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の療養上の様子の把握 2. 利用者の嗜好の把握
3. 利用者・家族の療養上の要望の把握 4. 服薬介助・薬剤使用にかかわる問題点の把握
5. 利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有
6. その他() |
| ⑥ 介護職 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の療養上の様子の把握 2. 利用者の嗜好の把握
3. 利用者・家族の生活像を踏まえた要望の把握 4. 服薬状況の確認
5. 利用者・家族の生活上の要望に関する職種間情報共有
6. 利用者・家族の生活・経済状況の把握
7. その他() |
| ⑦ 保健師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の療養上の様子の把握 2. 利用者の嗜好の把握
3. 利用者・家族の療養上の要望の把握 4. 服薬介助・薬剤使用にかかわる問題点の把握
5. 利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有
6. その他() |
| ⑧ 理学療法士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 関節拘縮への対応 2. 麻痺への対応
3. リンパ浮腫への対応 4. 摂食・嚥下に関連した指導・訓練
5. 食欲や栄養吸収能力を高める身体運動指導 6. 食事姿勢指導
7. その他() |
| ⑨ 作業療法士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 関節拘縮への対応 2. 麻痺への対応
3. リンパ浮腫への対応 4. 摂食・嚥下に関連した指導・訓練
5. 食欲や栄養吸収能力を高める身体運動指導 6. 食事姿勢指導
7. 利用者・家族の家事動作の支援
8. その他() |
| ⑩ 言語聴覚士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 高次脳機能障害の評価 2. 高次脳機能障害への対応
3. 言語機能の評価 4. 言語機能の回復方法指導
5. 代用音声機器の選定 6. 代用音声訓練
7. 摂食・嚥下訓練
8. その他() |
| ⑪ 臨床心理士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 不安症状・抑うつの評価 2. 不安症状・抑うつ利用者への対応
3. 認知症の評価 4. 認知症利用者への対応
5. 症状に関する利用者の心理的負担の検討・改善
6. 症状に関する家族の心理的負担の検討・改善
7. 緩和ケアにおける利用者・家族の心のケア
8. その他() |

| 5 居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点(複数回答可) | |
|--|--|
| 1. 医師・歯科医師の指示が無くても実施できるようにしてほしい | |
| 2. 医療保険で算定可能にほしい | |
| 3. 訪問回数の上限を上げてほしい | |
| 4. 訪問間隔の制限を緩めてほしい | |
| 5. 算定単位数を増やしてほしい | |
| 6. 指導開始からの期間によって単位数を変えてほしい | |
| 7. 記録や情報提供に記載義務のある項目を減らしてほしい | |
| 8. 前回情報提供時から容体に変化が無かった場合のケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい | |
| 9. 前回情報提供時から容体に変化が無かった場合のケアマネへの情報提供の手段を緩和してほしい | |
| 10. その他() | |

II 利用者編

以下の各設問は、直近で訪問した居宅療養管理指導の利用者を1人選定してご回答ください。
Iを回答いただいた薬剤師の方、または当該利用者を良くご存じの職員がご回答ください。

| 1. 利用者の属性 | | | |
|------------|---|---|-----------|
| ① 年齢 | ()歳 | ② 性別 | 1. 男 2. 女 |
| ③ 初回訪問時の状態 | 要介護度 | 1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2
5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 | |
| | 認知高齢者の日常生活自立度 | 1. 認知症なし 2. I 3. IIa 4. IIb 5. IIIa
6. IIIb 7. IV 8. M 9. 不明 | |
| | 障害高齢者の日常生活自立度 | 1. J 2. A 3. B 4. C 5. 不明 | |
| ④ 現在の状態 | 要介護度 | 1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2
5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 | |
| | 認知高齢者の日常生活自立度 | 1. 認知症なし 2. I 3. IIa 4. IIb 5. IIIa
6. IIIb 7. IV 8. M 9. 不明 | |
| | 障害高齢者の日常生活自立度 | 1. J 2. A 3. B 4. C 5. 不明 | |
| ⑤ 現在の居住状態 | 1. 利用者宅(戸建・集合)で同居者あり 4. 有料老人ホーム
2. 利用者宅(戸建・集合)で独居 5. グループホーム・ケアハウス
3. サービス付き高齢者向け住宅 6. その他() | | |
| ⑥ 主な介護者 | 1. 同居の配偶者 5. 別居・遠方在住の家族・親族
2. 同居の子どもまたは子の配偶者 6. ホームヘルパーなど介護サービス
3. 同居のその他親族 7. 主たる介護者はいない
4. 別居・近隣在住の家族・親族 8. その他() | | |

| 2. 利用者に対する居宅療養管理指導の指導実績 | | | |
|-----------------------------------|---|---|------|
| ① 在宅患者訪問薬剤管理指導を実施したことがある場合、開始した時期 | 平成()年()月()日 | | |
| ② 居宅療養管理指導を開始した時期 | 平成()年()月()日 | | |
| ③ 居宅療養管理指導の利用に至った理由(複数回答可) | 1. 医療機関からの退院のため 6. 栄養状態改善の必要性が生じたため
2. 要介護認定されたため 7. 医学的・歯学的ケアの必要性が生じたため
3. 要介護度が重度化したため 8. 薬学的管理の必要性が生じたため
4. 認知症が発症・重症化したため 9. ケアマネジャー等への情報提供の必要性が生じたため
5. 身体機能が低下したため 10. その他() | | |
| ④ 居宅療養管理指導開始の経緯(複数回答可) | 1. ケアマネジャーからの依頼・情報提供による
2. 自身の患者・担当利用者であった
3. 自身と同施設他職種からの依頼・情報提供による
4. 利用者・利用者の家族からの依頼・相談による
5. 医師からの指示・依頼による
6. 歯科医師からの指示・依頼による
7. その他() | | |
| ⑤ 訪問開始後1ヶ月間の訪問回数 | ()回 | ⑥ 12月の訪問回数(訪問開始から2ヶ月以内の場合はこの設問は飛ばして⑦にお進みください) | ()回 |
| ⑦ 訪問開始から現在までの合計訪問回数 | ()回 | うち居宅療養管理指導を算定した回数()回 | |

| 3. 利用者に対する居宅療養管理指導の具体的な内容について | |
|-------------------------------|---|
| ① ケアマネジャーへの情報提供の主な手段(複数回答可) | 1. サービス担当者会議 2. 文書(手渡し) 3. メール
4. FAX 5. 口頭 6. 電話
7. その他() |
| ② ケアマネジャーへの情報提供の具体的な内容(複数回答可) | 1. 処方薬の服用状況
2. 併用薬品・健康食品の服用状況
3. 他科受診の有無
4. 薬剤の管理状況
→ 1. 保管状況 2. 薬剤の重複 3. 飲み忘れ
4. 飲みにくいため飲み残し 5. 飲みすぎ
5. 食事状況
→ 1. 食欲 2. 食事量・回数 3. 味覚 4. 嚥下障害 5. 副作用の影響
6. 排泄
→ 1. 排尿回数 2. 便秘 3. 発汗 4. 副作用の影響
7. 睡眠
→ 1. 睡眠時間(i 昼間 ii 夜間) 2. 睡眠導入剤服用時間
3. 睡眠導入剤服用後環境 4. 睡眠導入剤の効果判定
5. 副作用の影響
8. 運動
→ 1. ふらつき・不随意運動等の問題 2. 薬剤の影響
9. 処方内容と食習慣の食い違い
10. 処方薬の効果
11. 副作用・相互作用の有無
12. 指導・助言への理解度
13. 認知症の度合い
14. ADL
15. QOL
16. 主たる介護者の状況
17. 日常訪問を担当する介護職に対する依頼事項
→ 1. 服薬介助に関する事項 2. 服薬コンプライアンスに関する事項
3. 副作用についての状況報告依頼
18. その他() |
| ③ 医師・歯科医師への情報提供の主な手段(複数回答可) | 1. 口頭 2. 文書(手渡し)
3. メール 4. FAX
5. 電話 6. その他() |

| | |
|-------------------------------|---|
| ④ 医師・歯科医師への情報提供の具体的な内容(複数回答可) | 1. 処方薬の服用状況
2. 併用薬品・健康食品の服用状況
3. 他科受診の有無
4. 薬剤の管理状況
→ 1. 保管状況 2. 薬剤の重複 3. 飲み忘れ
4. 飲みにくいため飲み残し 5. 飲みすぎ
5. 食事状況
→ 1. 食欲 2. 食事量・回数 3. 味覚 4. 嚥下障害 5. 副作用の影響
6. 排泄
→ 1. 排尿回数 2. 便秘 3. 発汗 4. 副作用の影響
7. 睡眠
→ 1. 睡眠時間(i 昼間 ii 夜間) 2. 睡眠導入剤服用時間
3. 睡眠導入剤服用後環境 4. 睡眠導入剤の効果判定
5. 副作用の影響
8. 運動
→ 1. ふらつき・不随意運動等の問題 2. 薬剤の影響
9. 処方内容と食習慣の食い違い
10. 処方薬の効果
11. 副作用・相互作用の有無
12. 指導・助言への理解度
13. 認知症の度合い
14. ADL
15. QOL
16. 主たる介護者の状況
17. 日常訪問を担当する介護職に対して依頼した事項
→ 1. 服薬介助に関する事項 2. 服薬コンプライアンスに関する事項
3. 副作用についての状況報告依頼
18. その他() |
| ⑤ 薬剤師による報告・提案に関する状況 | 1. 関係職種によって報告・提案について協議のうえ、実施された
2. 報告・提案したが、協議の上、反映されなかった
3. 報告・提案はしていない(必要なかった) |
| ⑥ 薬学的管理指導計画の変更の頻度 | 1. 1~2ヶ月に1回 2. 3~4ヶ月に1回 3. 5~6ヶ月に1回
4. それ以下 5. 必要に応じて実施するため頻度は決まっていない |
| ⑦ 利用者や家族への指導・助言の主な手段(複数回答可) | 1. 口頭 2. 文書(手渡し) 3. 電話
4. FAX 5. メール 6. その他() |
| ⑧ 利用者ご家族への指導・助言の具体的な内容(複数回答可) | 1. 薬剤保管の方法 2. 服薬方法 3. 薬剤の内容説明
4. 薬識を高めるための情報提供・指導
5. 服薬支援ツールの利用
→ 1. お薬手帳 2. 服薬カレンダー 3. 薬整理箱 4. その他()
6. 嚥下の補助
→ 1. 粉碎調剤の実施 2. 簡易懸濁法の実施 3. 剤形変更の実施
4. 錠剤カッターの利用 5. ゼリータイプのオブラートの活用
6. その他()
7. 一包化調剤の実施
8. その他() |

| | | | |
|------------------------------------|-------------|------------|----------|
| ⑨利用者や家族への指導・助言を行ううえでの課題
(自由回答) | | | |
| ⑩1回の指導にかかる時間
(利用者1人1回あたり:
分) | 情報収集等の準備時間 | ()分 | |
| | 実際の指導時間 | ()分 | |
| | 訪問後の帳簿記載 | ()分 | |
| | 他職種への連絡調整時間 | ()分 | |
| ⑪利用者の要介護度の確認 | 1. よくしている | 2. たまにしている | 3. していない |
| ⑫利用者の疾患の確認 | 1. よくしている | 2. たまにしている | 3. していない |
| ⑬利用者のほかの介護サービス利用状況の確認 | 1. よくしている | 2. たまにしている | 3. していない |
| ⑭要介護認定後の在宅緊急訪問指導の実施経験の有無 | 1. ある | 2. ない | |

| 4. 他の職種との連携について | |
|---|---|
| ① 利用者の指導に関して普段相談をしている職種
(複数回答可) | 1. 主治医 2. 主治歯科医 3. 主治医以外の医師
4. 主治医以外の歯科医師 5. 管理栄養士
6. 歯科衛生士 7. 訪問看護師 8. 保健師 9. 介護職
10. 訪問リハビリテーションスタッフ
→ 1. 理学療法士 2. 作業療法士 3. 言語聴覚士
11. 臨床心理士 12. 他職種への相談・情報提供はしない
13. その他() |
| ② 他の職種との同行訪問の有無 | 1. ほぼ毎回する 2. ときどきする
3. たまにする 4. まったくしない |
| ③ 【②で「1. ほぼ毎回する」「2. ときどきする」「3. たまにする」を選んだ方】
同行訪問をする理由(複数回答可) | 1. 主治医・主治歯科医が必要と判断したため
2. ケアマネジャーが必要と判断したため
3. 自らが必要と判断したため
4. 他職種から依頼があったため
5. 利用者・家族からの要望があったため
6. その他() |
| ④ 【②で「1. ほぼ毎回する」「2. ときどきする」「3. たまにする」を選んだ方】
よく同行する職種(複数回答可) | 1. 主治医 2. 主治歯科医 3. 主治医以外の医師
4. 主治医以外の歯科医師 5. 管理栄養士
6. 歯科衛生士 7. 訪問看護師 8. 保健師 9. 介護職
10. 訪問リハビリテーションスタッフ
→ 1. 理学療法士 2. 作業療法士 3. 言語聴覚士
11. 臨床心理士
12. その他() |

| 5. サポート薬局(緊急時等に代わりに居宅療養管理指導を実施できる提携薬局)について | |
|--|--|
| ① 当該利用者についてサポート薬局との情報共有 | 1. 提携しているサポート薬局があり、情報共有している
2. 提携しているサポート薬局はあるが、当該患者は対象としていない
3. すべての患者に対してサポート薬局は使用していない
4. サポート薬局の制度を知らない |
| ② 【①で「1. 情報共有している」を選んだ方】情報共有の主な手段
(複数回答可) | 1. 口頭 2. 文書(手渡し)
3. メール 4. FAX
5. 電話 6. その他() |
| ③ 【①で「2. 提携しているサポート薬局はあるが、当該患者は対象としていない」を選んだ方】
当該患者を対象としていない理由
(複数回答可) | 1. 算定の手続きが煩雑
2. 情報共有や報告に手間がかかる
3. 人手が足りており、必要性を感じない
4. 利用者や家族に拒否された
5. その他() |
| ④ 【①で「3. すべての患者に対してサポート薬局は使用していない」を選んだ方】
サポート薬局がない理由(複数回答可) | 1. 地域に他に居宅療養管理指導を導入している薬局が無い
2. 責任を持って引き継げる相手がいない
3. 算定の手続きが煩雑
4. 情報共有や報告に手間がかかる
5. 人手が足りており、必要性を感じない
6. その他() |

■■■ご協力ありがとうございました■■■

(4) 歯科衛生士票

居宅療養管理指導の実態に関する調査
【歯科衛生士票】

■記入にあたってのご注意

- この調査票は、Ⅰ. 専門職編 (P 1~3) およびⅡ. 利用者編 (P 4~8) に分かれています。
- 「Ⅰ. 専門職編」については、歯科衛生士の方がご記入ください。「Ⅱ. 利用者編」については、**直近で訪問した居宅療養管理指導の利用者を一人選定し、その利用者の状況・サービス内容について、Ⅰを記入いただいた歯科衛生士、または当該利用者の状況を良くご存じの方がご記入下さい。**
- 特に指定の無い限り、**平成 25 年 12 月時点の状況についてご回答下さい。**
- 特に指定の無い限り、選択肢の番号 1 つを選んで○印をお付け下さい。
- 数字を記入する欄が 0 (ゼロ) の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。

Ⅰ 専門職編

以下の各設問について居宅療養管理指導を担当されている歯科衛生士にご回答ください。

| 1. ご記入者の属性 | | | |
|-------------------|--|---------------|-----------|
| ① 年齢 | () 歳 | ② 性別 | 1. 男 2. 女 |
| ③ 所属機関
(複数回答可) | 1. 病院 2. 診療所 3. 歯科診療所
4. 介護保険施設 5. その他() | | |
| ④ 勤務形態 | 1. 常勤専任 2. 常勤兼務 3. 非常勤 | | |
| ⑤ 歯科衛生士としての経験年数 | () 年 | ⑥ 訪問歯科診療の経験年数 | () 年 |
| ⑦ 居宅療養管理指導の経験年数 | () 年 | | |

| 2. あなたが実施している居宅療養管理指導について | |
|------------------------------|--|
| ① 2013 年 12 月に訪問した人数 (実人数) | () 人
→うち居宅療養管理指導を算定している人数() 人 |
| ② 2013 年 12 月に訪問した回数 | 合計() 回
→うち居宅療養管理指導を算定した回数() 回 |
| ③ 居宅療養管理指導を実施する上での困難点(複数回答可) | 1. 利用者・家族に指導内容を理解してもらえない
2. 訪問看護師・介護職に指導内容を理解してもらえない
3. 利用者や家族から口腔ケアの重要性への理解が得られない
4. 訪問看護師・介護職から口腔ケアの重要性への理解が得られない
5. 利用者・家族が歯科衛生士が住居に上ることに拒否感を示す
6. 利用者・家族が金銭負担に拒否感を示す
7. ケアマネジャーとの連携がうまく取れない
8. その他の職種との連携がうまく取れない
9. 家族の協力が得られない(関心が無い、忙しい等)
10. 利用者の長年の習慣を変えるのが困難
11. 忙しくて居宅療養管理指導のニーズに対応しきれない
12. 求められるケアの水準が高い
13. 専門外の知識・技術が必要な場面がある
14. その他() |

| 3. 他職種(ケアマネジャー、医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士など)との連携について | |
|---|---|
| ① 居宅療養管理指導で他職種と連携する上での困難点(複数回答可) | 1. 医師・歯科医師が連携の必要性を認識していない
2. ケアマネジャーが連携の必要性を認識していない
3. 訪問看護師・介護職が連携の必要性を認識していない
4. その他の職種が連携の必要性を認識していない
5. 医師への情報提供・報告が煩雑
6. ケアマネジャーへの情報提供・報告が煩雑
7. その他の職種への情報提供・報告が煩雑
8. 医師にどんな情報を提供すればいいのか分からない
9. ケアマネジャーにどんな情報を提供すればいいのか分からない
10. その他の職種にどんな情報を提供すればいいのか分からない
11. 退院時カンファレンスに呼ばれない
12. 退院時カンファレンスに呼ばれるが、参加できない
13. サービス担当者会議に呼ばれない
14. サービス担当者会議に呼ばれるが、参加できない
15. 多職種が顔を合わせる機会が少ない
16. 多職種間で共有すべき情報が明確でない
17. 地域で居宅療養管理指導をしている他職種の情報が入ってこない
18. そもそも連携が必要とは思わない
19. その他() |
| ② 居宅療養管理指導の際に、他の職種と同行訪問をしたいと思うことはありますか。 | 1. はい ⇒ 4. にお進みください
2. いいえ ⇒ 5. へお進みください |

| 4. ①~⑩での各職種との同行訪問の希望及び同行訪問時に助言してほしいこと、行って欲しいことについてお伺いします。同行訪問の希望「あり」の場合は[SQ]にもご回答ください。 | | |
|--|-----------------|---|
| 職種 | 同行訪問の希望 | [SQ] 同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと(複数回答可) |
| ① 医師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 在宅療養全般に関する利用者・家族の希望の把握 2. 既往症に応じた注意事項
3. 状態に応じた服薬判断 4. 薬剤師訪問指導の必要性の説明
5. 処方設計の意図の説明 6. 感染症予防対策 7. 糖尿病利用者への対応
8. その他() |
| ② 歯科医師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 口腔衛生状態の評価 2. 口腔衛生指導 3. 口腔清掃の指導
4. 義歯の状態評価 5. 義歯清掃方法指導 6. 摂食・嚥下機能訓練・評価
7. 糖尿病利用者への対応 8. 歯科処置による出血・顎骨壊死リスクの説明
9. その他() |
| ③ 薬剤師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の状態に応じた適切な薬剤の形状の選択
2. 薬剤と栄養剤・食事の副作用・相互作用についての助言
3. 静脈・経腸栄養療法の指導 4. 血糖・血圧等の管理指導
5. 褥瘡外用薬やドレッシング剤の選定・使用法等の指導
6. 薬剤効果の評価 7. 内服薬の副作用の検討と防止 8. 緩和ケア
9. その他() |
| ④ 管理栄養士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 必要な栄養量の算出 2. 利用者の嗜好への対応
3. 使用する食品や調理法の決定 4. 栄養補助食品の選択
5. 献立の提案 6. 食事形態の提言
7. 水分・電解質管理の評価 8. 糖尿病利用者への対応
9. その他() |

| 職種 | 同行訪問の希望 | [SQ]同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと(複数回答可) |
|--------|-----------------|--|
| ⑤訪問看護 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の療養上の様子の把握 2. 利用者の嗜好の把握
3. 利用者・家族の療養上の要望の把握 4. 服薬介助・薬剤使用にかかわる問題点の把握
5. 利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有
6. その他() |
| ⑥介護職 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の療養上の様子の把握 2. 利用者の嗜好の把握
3. 利用者・家族の生活像を踏まえた要望の把握 4. 服薬状況の確認
5. 利用者・家族の生活上の要望に関する職種間情報共有
6. 利用者・家族の生活・経済状況の把握
7. その他() |
| ⑦保健師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の療養上の様子の把握 2. 利用者の嗜好の把握
3. 利用者・家族の療養上の要望の把握 4. 服薬介助・薬剤使用にかかわる問題点の把握
5. 利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有
6. その他() |
| ⑧理学療法士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 関節拘縮への対応 2. 麻痺への対応
3. リンパ浮腫への対応 4. 摂食・嚥下に関連した指導・訓練
5. 食欲や栄養吸収能力を高める身体運動指導 6. 食事姿勢指導
7. その他() |
| ⑨作業療法士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 関節拘縮への対応 2. 麻痺への対応
3. リンパ浮腫への対応 4. 摂食・嚥下に関連した指導・訓練
5. 食欲や栄養吸収能力を高める身体運動指導 6. 食事姿勢指導
7. 利用者・家族の家事動作の支援
8. その他() |
| ⑩言語聴覚士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 高次脳機能障害の評価 2. 高次脳機能障害への対応
3. 言語機能の評価 4. 言語機能の回復方法指導
5. 代用音声機器の選定 6. 代用音声訓練
7. 摂食・嚥下訓練
8. その他() |
| ⑪臨床心理士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 不安症状・抑うつの評価 2. 不安症状・抑うつ利用者への対応
3. 認知症の評価 4. 認知症利用者への対応
5. 症状に関する利用者の心理的負担の検討・改善
6. 症状に関する家族の心理的負担の検討・改善
7. 緩和ケアにおける利用者・家族の心のケア
8. その他() |

| 5 居宅療養管理指導料の算定要件に関する要望や困難点(複数回答可) |
|--|
| 1. 医療保険で算定可能にしてほしい
2. 訪問回数の上限を上げてほしい
3. 訪問できる期間の制限を緩めてほしい
4. 採算が合わないので算定単位数を増やしてほしい
5. 指導開始からの期間によって単位数を変えてほしい
6. 居宅療養管理指導を実施している機関が実施していない機関からの依頼を受けられるようにしてほしい
7. 前回情報提供時から容体に変化が無かった場合のケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい
8. 前回情報提供時から容体に変化が無かった場合のケアマネへの情報提供の手数を緩和してほしい
9. その他() |

II 利用者編

以下の各設問は、直近で訪問した居宅療養管理指導の利用者を1人選定してご回答ください。
I を回答いただいた歯科衛生士の方、または当該利用者を良くご存じの職員がご回答ください。

| 1. 利用者の属性 | | | |
|-----------|---|---|-----------|
| ①年齢 | ()歳 | ②性別 | 1. 男 2. 女 |
| ③初回訪問時の状態 | 要介護度 | 1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2
5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 | |
| | 認知高齢者の日常生活自立度 | 1. 認知症なし 2. I 3. IIa 4. IIb 5. IIIa
6. IIIb 7. IV 8. M 9. 不明 | |
| | 障害高齢者の日常生活自立度 | 1. J 2. A 3. B 4. C 5. 不明 | |
| ④現在の状態 | 要介護度 | 1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2
5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 | |
| | 認知高齢者の日常生活自立度 | 1. 認知症なし 2. I 3. IIa 4. IIb 5. IIIa
6. IIIb 7. IV 8. M 9. 不明 | |
| | 障害高齢者の日常生活自立度 | 1. J 2. A 3. B 4. C 5. 不明 | |
| ⑤現在の居住状態 | 1. 利用者宅(戸建・集合)で同居者あり 4. 有料老人ホーム
2. 利用者宅(戸建・集合)で独居 5. グループホーム・ケアハウス
3. サービス付き高齢者向け住宅 6. その他() | | |
| ⑥主な介護者 | 1. 同居の配偶者 5. 別居・遠方在住の家族・親族
2. 同居の子または子の配偶者 6. ホームヘルパーなど介護サービス
3. 同居のその他親族 7. 主たる介護者はいない
4. 別居・近隣在住の家族・親族 8. その他() | | |

| 2. 利用者に対する居宅療養管理指導の指導実績 | |
|------------------------------|---|
| ①在宅患者訪問栄養指導を実施したことがある場合、開始時期 | 平成()年()月()日 |
| ②居宅療養管理指導を開始時期 | 平成()年()月()日 |
| ③居宅療養管理指導の利用に至った理由(複数回答可) | 1. 医療機関からの退院のため 6. 栄養状態改善の必要性が生じたため
2. 要介護認定されたため 7. 医学的・歯学的ケアの必要性が生じたため
3. 要介護度が重度化したため 8. 薬学的管理の必要性が生じたため
4. 認知症が発症・重症化したため 9. ケアマネジャー等への情報提供の必要性が生じたため
5. 身体機能が低下したため 10. その他() |
| ④居宅療養管理指導開始の経緯(複数回答可) | 1. ケアマネジャーからの依頼・情報提供による
2. 自身の患者・担当利用者であった
3. 自身と同施設他職種からの依頼・情報提供による
4. 利用者・利用者の家族からの依頼・相談による
5. 医師からの指示・依頼による
6. 歯科医師からの指示・依頼による
7. その他() |

| | | | |
|--------------------|------|---|------|
| ⑤訪問開始後 1ヶ月間の訪問回数 | ()回 | ⑥12月の訪問回数(訪問開始から2ヶ月以内の場合はこの設問は飛ばして⑦)にお進みください) | ()回 |
| ⑦訪問開始から現在までの合計訪問回数 | ()回 | うち居宅療養管理指導を算定した回数(| ()回 |

3. 利用者に対する居宅療養管理指導の具体的な内容について

| | |
|--------------------------------|---|
| ① 管理指導計画を立てたとき、協働した職種(複数回答可) | 1. ケアマネジャー 2. 主治医 3. 主治歯科医
4. 主治医以外の医師 5. 主治医以外の歯科医 6. 薬剤師
7. 管理栄養士 8. 訪問看護師 9. 保健師 10. 介護職
11. 訪問リハビリテーションスタッフ
→ 1. 理学療法士 2. 作業療法士 3. 言語聴覚士
12. 臨床心理士 13. 自分ひとりで立てた
14. その他() |
| ② 管理指導計画の見直しの頻度 | 1. 実地指導後毎回
2. 実地指導 2~3回毎に1回
3. 実地指導 4~5回毎に1回
4. 必要に応じて実施するため頻度は不定
5. ほとんどしない
6. その他() |
| ③ 口腔機能スクリーニングの実施頻度 | 1. 1~2ヶ月に1回
2. 3~4ヶ月に1回
3. 5~6ヶ月に1回
4. それ以下
5. 必要に応じて実施するため頻度は不定
6. ほとんどしない
7. その他() |
| ④ 口腔機能スクリーニングでの具体的な測定内容(複数回答可) | 1. 問診または視診等による口腔内の衛生状況
→ 1. う歯 2. 歯周病 3. 食物残渣 4. 舌苔 5. 義歯または歯の汚れ
6. 口臭 7. 口の渇き
2. 義歯の状況(種類やメンテナンス状況)
3. 口腔衛生習慣の有無
4. 口腔清掃の自立状況
5. 清掃用具の状態
6. 食事状況
→ 1. むせ 2. 食べこぼし 3. 痰のからみ 4. 残食量
5. 固い食物の食べにくさ
7. 反復唾液嚥下テスト(RSST)
8. オーラルディアドコキネシス
9. 頬の膨らまし(空ぶくぶくがよい)
10. QOL
→ 1. 食事への意欲 2. 食事への満足度 3. 食事摂取量
4. 口腔内の主観的健康観
11. 一定期間における発熱回数
12. その他() |

| | |
|----------------------------------|--|
| ⑤口腔機能アセスメントの実施頻度 | 1. 1~2ヶ月に1回
2. 3~4ヶ月に1回
3. 5~6ヶ月に1回
4. それ以下
5. 必要に応じて実施するため頻度は不定
6. ほとんどしない
7. その他() |
| ⑥口腔機能アセスメントでの具体的な測定内容(複数回答可) | 1. 問診または視診等による口腔内の衛生状況
→ 1. う歯 2. 歯周病 3. 食物残渣 4. 舌苔 5. 義歯または歯の汚れ
6. 口臭 7. 口の渇き
2. 義歯の状況(種類やメンテナンス状況)
3. 口腔衛生習慣の有無
4. 口腔清掃の自立状況
5. 清掃用具の状態
6. 食事状況
→ 1. むせ 2. 食べこぼし 3. 痰のからみ 4. 残食量
5. 固い食物の食べにくさ
7. 反復唾液嚥下テスト(RSST)
8. オーラルディアドコキネシス
9. 頬の膨らまし(空ぶくぶくがよい)
10. 改訂水飲みテスト(MWST) 11. フードテスト(FT)
12. QOL
→ 1. 食事への意欲 2. 食事への満足度 3. 食事摂取量
4. 口腔内の主観的健康観
13. 一定期間における発熱回数
14. その他() |
| ⑦歯科医師へのモニタリング報告の主な手段(複数回答可) | 1. 口頭 2. 文書(手渡し)
3. 電話 4. FAX
5. メール 6. その他() |
| ⑧歯科医師へのモニタリング報告での具体的な報告項目(複数回答可) | 1. 問診または視診等による口腔内の衛生状況
→ 1. う歯 2. 歯周病 3. 食物残渣 4. 舌苔 5. 義歯または歯の汚れ
6. 口臭 7. 口の渇き
2. 義歯の状況(種類やメンテナンス状況)
3. 口腔衛生習慣の有無
4. 口腔清掃の自立状況
5. 清掃用具の状態
6. 食事状況
→ 1. むせ 2. 食べこぼし 3. 痰のからみ 4. 残食量
5. 固い食物の食べにくさ
7. 反復唾液嚥下テスト(RSST)
8. オーラルディアドコキネシス
9. 頬の膨らまし(空ぶくぶくがよい)
10. QOL
→ 1. 食事への意欲 2. 食事への満足度 3. 食事摂取量
4. 口腔内の主観的健康観
11. 一定期間における発熱回数
12. その他() |

| | | |
|-------------------------------|--|-----------------------------------|
| ⑨利用者や家族への指導・助言の主な手段(複数回答可) | 1. 口頭
3. 電話
5. メール | 2. 文書(手渡し)
4. FAX
6. その他() |
| ⑩利用者ご家族への指導・助言の具体的な内容(複数回答可) | 1. 機能訓練
→ 1. 歯磨き実地指導 2. 噛む 3. 飲み込み 4. 発音・発声 5. 呼吸
2. 口腔機能上昇に関する情報提供
3. 口腔体操・嚥下体操
4. 歯磨き支援方法
5. 食事姿勢や食環境
6. 義歯の状態評価
7. 義歯の清掃方法の指導
8. その他() | |
| ⑪利用者や家族への指導・助言を行ううえでの課題(自由回答) | | |
| ⑫1回の指導にかかる時間(利用者1人1回あたり:分) | 情報収集等の準備時間 | ()分 |
| | 実際の指導時間 | ()分 |
| | 訪問後の帳簿記載 | ()分 |
| | 他職種への連絡調整時間 | ()分 |

| 4. 他の職種との連携について | | |
|---|---|--|
| ① 利用者の指導に関して普段相談をしている職種(複数回答可) | 1. 主治医 2. 主治歯科医 3. 主治医以外の医師
4. 主治医以外の歯科医師 5. 薬剤師
6. 管理栄養士 7. 訪問看護師 8. 保健師 9. 介護職
10. 訪問リハビリテーションスタッフ
→ 1. 理学療法士 2. 作業療法士 3. 言語聴覚士
11. 臨床心理士 12. 他職種への相談はしない
13. その他() | |
| ② 他の職種との同行訪問の有無 | 1. ほぼ毎回する 2. ときどきする
3. たまにする 4. まったくしない | |
| ③ 【②で「1. ほぼ毎回する」「2. ときどきする」「3. たまにする」を選んだ方】
同行訪問をする理由(複数回答可) | 1. 主治医・主治歯科医が必要と判断したため
2. ケアマネジャーが必要と判断したため
3. 自らが必要と判断したため
4. 他職種から依頼があったため
5. 利用者・家族からの要望があったため
6. その他() | |
| ④ 【②で「1. ほぼ毎回する」「2. ときどきする」「3. たまにする」をよく同行する職種(複数回答可) | 1. 主治医 2. 主治歯科医 3. 主治医以外の医師
4. 主治医以外の歯科医師 5. 薬剤師
6. 管理栄養士 7. 訪問看護師 8. 保健師 9. 介護職
10. 訪問リハビリテーションスタッフ
→ 1. 理学療法士 2. 作業療法士 3. 言語聴覚士
11. 臨床心理士 12. 他職種への相談・情報提供はしない
13. その他() | |

■■■ご協力ありがとうございました■■■

(5) 管理栄養士票

居宅療養管理指導の実態に関する調査
【管理栄養士票】

■記入にあたってのご注意

- この調査票は、Ⅰ. 専門職編 (P 1~3) およびⅡ. 利用者編 (P 4~8) に分かれています。
- 「Ⅰ. 専門職編」については、管理栄養士の方がご記入ください。「Ⅱ. 利用者編」については、**直近で訪問した居宅療養管理指導の利用者を一人選定し、その利用者の状況・サービス内容について、Ⅰを記入いただいた管理栄養士、または当該利用者の状況を良くご存じの方がご記入下さい。**
- 特に指定の無い限り、平成 25 年 12 月時点の状況についてご回答下さい。
- 特に指定の無い限り、選択肢の番号 1 つを選んで○印をお付け下さい。
- 数字を記入する欄が 0 (ゼロ) の場合、空欄のままではなく、**必ず「0」とご記入下さい。**

Ⅰ 専門職編

以下の各設問について居宅療養管理指導を担当されている管理栄養士がご回答ください。

1. ご記入者の属性

| | | | |
|-------------------|-------------------------------------|-----------------------------|-----------|
| ① 年齢 | () 歳 | ② 性別 | 1. 男 2. 女 |
| ③ 所属機関
(複数回答可) | 1. 病院 2. 診療所
3. 介護保険施設 4. その他() | | |
| ④ 勤務形態 | 1. 常勤専任 2. 常勤兼務 3. 非常勤 | | |
| ⑤ 管理栄養士としての経験年数 | () 年 | ⑥ 在宅患者訪問
栄養食事指導
の経験年数 | () 年 |
| ⑦ 居宅療養管理指導の経験年数 | () 年 | | |

2. あなたが実施している居宅療養管理指導について

| | |
|------------------------------|---|
| ① 2013 年 12 月に訪問した人数【実人数】 | () 人
→うち居宅療養管理指導を算定している人数() 人 |
| ② 2013 年 12 月に訪問した回数 | 合計() 回
→うち居宅療養管理指導を算定した回数() 回 |
| ③ 居宅療養管理指導を実施する上での困難点(複数回答可) | 1. 利用者・家族に指導内容を理解してもらえない
2. 訪問看護師・介護職に指導内容を理解してもらえない
3. 利用者・家族から食事や栄養の重要性への理解が得られない
4. 訪問看護師・介護職から食事栄養の重要性への理解が得られない
5. 利用者・家族が管理栄養士が住居に上がることに拒否感を示す
6. 利用者・家族が金銭負担に拒否感を示す
7. ケアマネジャーとの連携がうまく取れない
8. その他の職種との連携がうまく取れない
9. 家族の協力が得られない(関心が無い、忙しい等)
10. 利用者の長年の習慣を変えるのが困難(食習慣含む)
11. 忙しくて居宅療養管理指導のニーズに対応しきれない
12. 求められるケアの水準が高い
13. 専門外の知識・技術が必要な場面がある
14. その他() |

3. 他職種(ケアマネジャー、医師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士など)との連携について

| | |
|---|--|
| ① 居宅療養管理指導で他職種と連携する上での困難点(複数回答可) | 1. 医師・歯科医師が連携の必要性を認識していない
2. ケアマネジャーが連携の必要性を認識していない
3. 訪問看護師・介護職が連携の必要性を認識していない
4. その他の職種が連携の必要性を認識していない
5. 医師への情報提供・報告が煩雑
6. ケアマネジャーへの情報提供が煩雑
7. その他の職種への情報提供が煩雑
8. 医師にどんな情報を提供すればいいのかわからない
9. ケアマネジャーにどんな情報を提供すればいいのかわからない
10. その他の職種にどんな情報を提供すればいいのかわからない
11. 退院時カンファレンスに呼ばれない
12. 退院時カンファレンスに呼ばれても参加できない
13. サービス担当者会議に呼ばれない
14. サービス担当者会議に呼ばれるが、参加できない
15. 多職種が顔を合わせる機会が少ない
16. 多職種間で共有すべき情報が明確でない
17. 地域で居宅療養管理指導をしている他職種の情報が入ってこない
18. そもそも連携が必要とは思わない
19. その他() |
| ② 居宅療養管理指導の際に、他の職種と同行訪問をしたいと思うことはありますか。 | 1. はい ⇒ 4. にお進みください
2. いいえ ⇒ 5. へお進みください |

4. ①~③での各職種との同行訪問の希望及び同行訪問時に助言してほしいこと、行って欲しいことについてお伺いします。同行訪問の希望「あり」の場合は[SQ]にもご回答ください。

| 職種 | 同行訪問の希望 | [SQ] 同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと(複数回答可) |
|---------|-----------------|---|
| ① 医師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 在宅療養全般に関する利用者・家族の希望の把握 2. 既往症に応じた注意事項
3. 状態像に応じた服薬判断 4. 薬剤師訪問指導の必要性の説明
5. 処方設計の意図の説明 6. 感染症予防対策 7. 糖尿病利用者への対応
8. その他() |
| ② 歯科医師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 口腔衛生状態の評価 2. 口腔衛生指導 3. 口腔清掃の指導
4. 義歯の状態評価 5. 義歯清掃方法指導 6. 摂食・嚥下機能訓練・評価
7. 糖尿病利用者への対応 8. 歯科処置による出血・顎骨壊死リスクの説明
9. その他() |
| ③ 薬剤師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の状態に応じた適切な薬剤の形状の選択
2. 薬剤と栄養製剤・食事の副作用・相互作用についての助言
3. 静脈・経腸栄養法の指導 4. 血糖・血圧等の管理指導
5. 褥瘡外用薬やドレッシング剤の選定・使用法等の指導
6. 薬剤効果の評価 7. 内服薬の副作用の検討と防止 8. 緩和ケア
9. その他() |
| ④ 歯科衛生士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 口腔衛生状態の評価 2. 口腔衛生指導 3. 口腔清掃の指導
4. 義歯の状態評価 5. 義歯清掃方法指導 6. 摂食・嚥下機能訓練・評価
7. 糖尿病利用者への対応 8. その他() |

| 職種 | 同行訪問の希望 | [SQ]同行訪問時に、利用者に対して助言・実施して欲しいこと(複数回答可) |
|--------|-----------------|--|
| ⑤訪問看護 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の療養上の様子の把握 2. 利用者の嗜好の把握
3. 利用者・家族の療養上の要望の把握 4. 服薬介助・薬剤使用にかかわる問題点の把握
5. 利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有
6. その他() |
| ⑥介護職 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の療養上の様子の把握 2. 利用者の嗜好の把握
3. 利用者・家族の生活像を踏まえた要望の把握 4. 服薬状況の確認
5. 利用者・家族の生活上の要望に関する職種間情報共有
6. 利用者・家族の生活・経済状況の把握
7. その他() |
| ⑦保健師 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 利用者の療養上の様子の把握 2. 利用者の嗜好の把握
3. 利用者・家族の療養上の要望の把握 4. 服薬介助・薬剤使用にかかわる問題点の把握
5. 利用者・家族の療養上の要望に関する職種間情報共有
6. その他() |
| ⑧理学療法士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 関節拘縮への対応 2. 麻痺への対応
3. リンパ浮腫への対応 4. 摂食・嚥下に関連した指導・訓練
5. 食欲や栄養吸収能力を高める身体運動指導 6. 食事姿勢指導
7. その他() |
| ⑨作業療法士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 関節拘縮への対応 2. 麻痺への対応
3. リンパ浮腫への対応 4. 摂食・嚥下に関連した指導・訓練
5. 食欲や栄養吸収能力を高める身体運動指導 6. 食事姿勢指導
7. 利用者・家族の家事動作の支援
8. その他() |
| ⑩言語聴覚士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 高次脳機能障害の評価 2. 高次脳機能障害への対応
3. 言語機能の評価 4. 言語機能の回復方法指導
5. 代用音声機器の選定 6. 代用音声訓練
7. 摂食・嚥下訓練
8. その他() |
| ⑪臨床心理士 | 1. あり⇒
2. なし | 1. 不安症状・抑うつの評価 2. 不安症状・抑うつ利用者への対応
3. 認知症の評価 4. 認知症利用者への対応
5. 症状に関する利用者の心理的負担の検討・改善
6. 症状に関する家族の心理的負担の検討・改善
7. 緩和ケアにおける利用者・家族の心のケア
8. その他() |

| 5 居宅療養管理指導料の算定要件に関するの要望や困難点(複数回答可) |
|---|
| 1. 医師・歯科医師の指示が無くても実施できるようにしてほしい
2. 医師と同行訪問しても算定可能にほしい
3. 医療保険で算定可能にほしい
4. 管理栄養士を活用することで医師に加算されるような仕組みがほしい
5. 訪問回数の上限を上げてほしい
6. 算定単位数を増やしてほしい
7. 指導開始からの期間によって単位数を変えてほしい
8. 居宅療養管理指導を実施している機関が実施していない機関からの依頼を受けられるようにしてほしい
9. 他職種が管理栄養士の訪問を気軽に依頼できる仕組みがほしい
10. 前回情報提供時から容体に変化がなかった場合のケアマネへの情報提供の頻度を緩和してほしい
11. 前回情報提供時から容体に変化がなかった場合のケアマネへの情報提供の手段を緩和してほしい
12. その他() |

II 利用者編

以下の各設問は、直近で訪問した居宅療養管理指導の利用者を1人選定してご回答ください。
Iを回答いただいた管理栄養士の方、または当該利用者を良くご存じの職員がご回答ください。

| 1. 利用者の属性 | | | |
|----------------------------------|---|---|-----------|
| ①年齢 | ()歳 | ②性別 | 1. 男 2. 女 |
| ③初回訪問時の状態 | 要介護度 | 1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2
5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 | |
| | 認知高齢者の日常生活自立度 | 1. 認知症なし 2. I 3. IIa 4. IIb 5. IIIa
6. IIIb 7. IV 8. M 9. 不明 | |
| | 障害高齢者の日常生活自立度 | 1. J 2. A 3. B 4. C 5. 不明 | |
| ④現在の状態 | 要介護度 | 1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2
5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 | |
| | 認知高齢者の日常生活自立度 | 1. 認知症なし 2. I 3. IIa 4. IIb 5. IIIa
6. IIIb 7. IV 8. M 9. 不明 | |
| | 障害高齢者の日常生活自立度 | 1. J 2. A 3. B 4. C 5. 不明 | |
| ⑤現在の居住状態 | 1. 利用者宅(戸建・集合)で同居者あり 4. 有料老人ホーム
2. 利用者宅(戸建・集合)で独居 5. グループホーム・ケアハウス
3. サービス付き高齢者向け住宅 6. その他() | | |
| ⑥主な介護者 | 1. 同居の配偶者 5. 別居・遠方在住の家族・親族
2. 同居の子または子の配偶者 6. ホームヘルパーなど介護サービス
3. 同居のその他親族 7. 主たる介護者はいない
4. 別居・近隣在住の家族・親族 8. その他() | | |
| 2. 利用者に対する居宅療養管理指導の指導実績 | | | |
| ①在宅患者訪問栄養食事指導を実施したことがある場合、開始した時期 | 平成()年()月()日 | | |
| ②居宅療養管理指導を開始した時期 | 平成()年()月()日 | | |
| ③居宅療養管理指導の利用に至った理由(複数回答可) | 1. 医療機関からの退院のため 6. 栄養状態改善の必要性が生じたため
2. 要介護認定されたため 7. 医学的・歯学的ケアの必要性が生じたため
3. 要介護度が重度化したため 8. 薬学的管理の必要性が生じたため
4. 認知症が発症・重症化したため 9. ケアマネジャー等への情報提供の必要性が生じたため
5. 身体機能が低下したため 10. その他() | | |
| ④居宅療養管理指導開始の経緯(複数回答可) | 1. ケアマネジャーからの依頼・情報提供による
2. 自身の患者・担当利用者であった
3. 自身と同施設他職種からの依頼・情報提供による
4. 利用者・利用者の家族からの依頼・相談による
5. 医師からの指示・依頼による
6. 歯科医師からの指示・依頼による
7. その他() | | |

| | | | |
|--------------------|------|--|------|
| ⑤訪問開始後 1 ヶ月間の訪問回数 | ()回 | ⑥12月の訪問回数(訪問開始から2ヶ月以内の場合はこの設問は飛ばして⑦)にお進みください | ()回 |
| ⑦訪問開始から現在までの合計訪問回数 | ()回 | うち居宅療養管理指導を算定した回数(| ()回 |

| 3. 利用者に対する居宅療養管理指導の具体的な内容について | |
|-------------------------------|--|
| ① 栄養ケア計画を立てたとき、協働した職種(複数回答可) | 1. ケアマネジャー 2. 主治医 3. 主治歯科医
4. 主治医以外の医師 5. 主治医以外の歯科医 6. 薬剤師
7. 歯科衛生士 8. 訪問看護師 9. 保健師 10. 介護職
11. 訪問リハビリテーションスタッフ
→ 1. 理学療法士 2. 作業療法士 3. 言語聴覚士
12. 臨床心理士 13. 自分ひとりで立てた
14. その他() |
| ② 栄養ケア計画の見直しの頻度 | 1. 実地指導後毎回
2. 実地指導 2~3 回毎に 1 回
3. 実地指導 4~5 回毎に 1 回
4. 必要に応じて実施するため頻度は不定
5. ほとんどしない
6. その他() |
| ③ 栄養スクリーニングの実施頻度 | 1. 1~2ヶ月に1回
2. 3~4ヶ月に1回
3. 5~6ヶ月に一回
4. それ以下
5. 必要に応じて実施するため頻度は不定
6. ほとんどしない
7. その他() |
| ④ 栄養スクリーニングでの具体的な測定内容(複数回答可) | 1. 生活機能・身体機能
2. 身体計測
→ 1. BMI 2. 体重変化率
3. 理学的所見
→ 1. 皮下脂肪損失状態 2. 筋肉損失状態 3. 踝、腹水、毛髪の状態
4. 臨床検査値
→ 1. 血清アルブミン 2. ヘモグロビン 3. 血糖値 4. 総コレステロール
5. rapid turnover protein 6. クレアチニン 7. BUN(尿素窒素)
5. 経口摂取状況
→ 1. 食事形態 2. 摂取量 3. 栄養摂取状況 4. 姿勢・食べ方・むせ
6. 経腸・静脈栄養補給の状況
7. 消化器症状
8. 褥瘡の有無
9. 食欲・食事の満足感
10. その他() |

| | |
|--------------------------------|--|
| ⑤栄養アセスメントの実施頻度 | 1. 1~2ヶ月に1回
2. 3~4ヶ月に1回
3. 5~6ヶ月に一回
4. それ以下
5. 必要に応じて実施するため頻度は不定
6. ほとんどしない
7. その他() |
| ⑥栄養アセスメントでの具体的な測定内容(複数回答可) | 1. 生活機能・身体機能
2. 身体計測
→ 1. BMI 2. 体重変化率
3. 理学的所見
→ 1. 皮下脂肪損失状態 2. 筋肉損失状態 3. 踝、腹水、毛髪の状態
4. 臨床検査値
→ 1. 血清アルブミン 2. ヘモグロビン 3. 血糖値 4. 総コレステロール
5. rapid turnover protein 6. クレアチニン 7. BUN(尿素窒素)
5. 経口摂取状況
→ 1. 食事形態 2. 摂取頻度 3. 摂取量 4. 栄養摂取量
5. 栄養補助食品の利用状況 6. 姿勢・食べ方・むせ
6. 経腸・静脈栄養補給の状況
7. 消化器症状
8. 褥瘡の有無
9. 食欲・食事の満足感
10. 脱水症状の有無
11. 排泄状況
→ 1. 排尿回数 2. 便通 3. 発汗状況
12. その他() |
| ⑦医師へのモニタリング報告の主な手段(複数回答可) | 1. 口頭 2. 文書(手渡し)
3. 電話 4. FAX
5. メール 6. その他() |
| ⑧医師へのモニタリング報告での具体的な報告項目(複数回答可) | 1. 生活機能・身体機能
2. 主観的健康観
3. 食事に対する満足感
4. 体重
5. BMI
6. 体重変化率
7. 血清アルブミン
8. 食事状況
→ 1. 食事形態 2. 摂取量 3. 栄養摂取状況 4. 姿勢・食べ方・むせ
9. 経腸・静脈栄養補給の状況
10. 褥瘡の状態
11. 主たる介護者の状況
12. その他() |

| | | |
|-------------------------------|---|--|
| ⑨利用者や家族への指導・助言の主な手段(複数回答可) | 1. 口頭
3. 電話
5. メール | 2. 文書(手渡し)
4. FAX
6. その他() |
| ⑩利用者ご家族への指導・助言の具体的な内容(複数回答可) | 1. 食事時間
3. 食事のテクスチャー
5. 食品群別摂取量
7. 治療食の作り方
9. 市販の介護食品の利用法
11. 食事介助
13. 食欲不振への対応
15. 配食サービス
17. 食事姿勢や食環境 | 2. 食事の形態
4. 栄養素摂取量
6. 調理法
8. 塩・甘みを減らした味付け方法
10. 栄養補助食品の利用法
12. とろみ剤の使用法
14. 買物
16. 口腔機能上昇に関する情報提供
18. その他() |
| ⑪利用者や家族への指導・助言を行ううえでの課題(自由回答) | | |
| ⑫1回の指導にかかる時間(利用者1人1回あたり:分) | 移動時間 | ()分 |
| | 情報収集等の準備時間 | ()分 |
| | 実際の指導時間 | ()分 |
| | 訪問後の帳簿記載 | ()分 |
| | 他職種への連絡調整時間 | ()分 |

| 4. 他の職種との連携について | |
|---|---|
| ① 利用者の指導に関して普段相談をしている職種(複数回答可) | 1. 主治医 2. 主治歯科医 3. 主治医以外の医師
4. 主治医以外の歯科医師 5. 薬剤師
6. 歯科衛生士 7. 訪問看護師 8. 保健師 9. 介護職
10. 訪問リハビリテーションスタッフ
→ 1. 理学療法士 2. 作業療法士 3. 言語聴覚士
11. 臨床心理士 12. 他職種への相談・情報提供はしない
13. その他() |
| ② 他の職種との同行訪問の有無 | 1. ほぼ毎回する 2. ときどきする
3. たまにする 4. まったくしない |
| ③ 【②で「1. ほぼ毎回する」「2. ときどきする」「3. たまにする」を選んだ方】同行訪問をする理由(複数回答可) | 1. 主治医・主治歯科医が必要と判断したため
2. ケアマネジャーが必要と判断したため
3. 自らが必要と判断したため
4. 他職種から依頼があったため
5. 利用者・家族からの要望があったため
6. その他() |
| ④ 【②で「1. ほぼ毎回する」「2. ときどきする」「3. たまにする」を選んだ方】よく同行する職種(複数回答可) | 1. 主治医 2. 主治歯科医 3. 主治医以外の医師
4. 主治医以外の歯科医師 5. 薬剤師
6. 歯科衛生士 7. 訪問看護師 8. 保健師 9. 介護職
10. 訪問リハビリテーションスタッフ
→ 1. 理学療法士 2. 作業療法士 3. 言語聴覚士
11. 臨床心理士 12. 他職種への相談・情報提供はしない
13. その他() |

■■■ご協力ありがとうございました■■■

平成 25 年度 老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）

居宅療養管理指導の実態に関する調査研究事業
報告書

平成 26（2014）年 3 月発行

発行 株式会社 三菱総合研究所 人間・生活研究本部

〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3

TEL 03 (6705) 6024 FAX 03 (5157) 2143

不許複製